

琉球の方言 11巻 : 八重山・与那国島

法政大学沖縄文化研究所

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

11

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

359

(発行年 / Year)

1987-03-16

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012658>

N	ン	[辞]	生
棒状のものを数える単位。			
N (1)	ン	[助]	沖M
…も。添加等を表す係助詞。 ujaN barasadu aru; 親も悪い。 anuN hirukaja; 私も行こうかしら。			
N (2)	ン	[助]	T
…も。事のはなはだしいことを表す係助詞。 ta:N buranuN; 誰もいない。 uN kariN naranu; あれもこれもできない。			
N:	ンー	[感]	昔25
ああ。 N: uNninai; ああ、そうか。			
N:	ンー	[感]	1 6
はい。(同輩に使う)。			
N:na	ンーナ	[副]	1 1
たくさん。 amitinu hatani N:na kuganinu burusadu aḡa; 道の端にはたくさん黄金の固まりがあるが…。 何気なしにそこにあるような時に使われる。			
N:ta	ンータ	[名]	昔127
三日。 dwaḡa hukkaN N:taN cidikiti; 祝いが二日も三日も続いて。			
N:taiNtu	ンータイントゥ	[名]	昔15
三人。			
Nba	ンバ	[名]	生
(植) 西表シャミセンヅル<カニクサ科>。 蔓は魔よけにしたり、司の冠にしたりする。			
Nba	ンバ	[名]	生
唇。			
NbaNba	ンバンバ	[副]	3
<擬>メーメー。 山羊の泣き声。			
Nbai	ンバイ	[名]	生
小便。			
Nbakagi	ンバカギ	[名]	こ5
兔唇(いぐち)。			
NbakuriruN	ンバクリルン	[動] 6B型 NbakuruN	生
ひねくれる。			
NbasaN	ンバサン	[名]	3
おさがまち。おさ(機織の付属具)の枠。			
Nbati	ンバティ	[名]	T
口笛。 Nbaḡ'uN; 口笛を吹く。(黒潮)			
Nbe	ンベ	[名]	5

<幼>やぎ。

Nbi (1)	ンビ	[名]	生
尻。Nbi naNsuja; 長居したね。			
Nbi (2)	ンビ	[名]	昔224
びり。最後。後ろ。ittiNbi; 一番最後。			
Nbibuni	ンビブニ	[名]	5
尾てい骨。			
Nbibura	ンビブラ	[名]	続22
いざり。尻を地につけたままで進むこと。足の立たぬ不具者。尻の重い人、すぐ仕事につかない人。			
Nbici	ンビチ	[名]	2
踊りおさめの踊り。			
Nbinaga	ンビナガ	[名]	生
(貝) カワニナ。			
Nbinumasa*	ンビヌマサ	[名]	A 37
田の名。			
Nbirumagai	ンビルマカ°イ	[名]	こ36
痔疾。			
Nbirumi	ンビルミ	[名]	生
こう門。尻の穴。			
Nbisisi	ンビシシ	[名]	5
尻肉。			
Nbjagi	ンビャギ	[名]	生
尻が。牛、馬の尻に掛けるひも。			
Nbu	ンブ	[名]	沖I
用水池。田の水の落し口などの深くなっている所なども言う。			
Nbu	ンブ	[名]	T
<擬>モー。牛の泣き声。			
Nbu (ti)	ンブ(ティ)	[名]	生
(貝) 宝贝 (ホシダカラなど)。背のまるい事と模様が牛を思わせる。子供はこれを牛にみたてて遊ぶ。			
NbuN	ンブン	[動]	4A型 NbusjaN 3
蒸す。kibuNcisi Nbusi; 煙でいぶせ(T)。NbanuN; 蒸さない。内間論文ではNbwanuN。			
Nbuci	ンブチ	[名]	生
ひざぼうず。膝。			
Nbuci	ンブチ	[名]	こ15

錘（おもり）。hagainuNbuci とも言う。

Nbucikamai	ンブチカマイ	[名]	9
ひざまずき。			
NbucipaNdi*	ンブチパンディ	[名]	黒63
膝が外れること。脱臼。			
Nbugu	ンブグ	[名]	生
釣り竿。			
Nbuguci	ンブグチ	[名]	生
芋を掘る道具。			
Nbugudaki*	ンブグダキ	[名]	植182
(植) ホテイチク<イネ科>。			
Nbunumaci*	ンブヌマチ	[名]	A 37
田の名。			
Nburisi	ンブリシ	[名]	1 1
岩の名。比川湾中に立っている。潮の満ち引きの目安となっていた。			
Nburu	ンブル	[名]	3
(植) ユウガオ<ウリ科>。			
Nburu*	ンブル	[名]	A 46
田の名。			
NburuN	ンブルン	[動] 2B型 NbwaN	T
しほる。Nbuiti huNdidu buru; しほって干そうとしている。			
Nburubagaci	ンブルバガチ	[名]	昔15
ヒョウタン製の瓶。ヒョウタンでつくった液体などを入れる容器。			
Nburuhata	ンブルハタ	[名]	生
(昆) クマンバチ。			
Nbusa	ンブサ	[名]	民
蒸し器。蒸し籠。蒸し網。			
Nbuta*	ンブタ	[名]	A 45
田の名。			
Nda	ンダ	[名]	3
機織りの付属具の名。小管（糸を巻つける棒）。			
Nda	ンダ	[名]	生
あなた。おまえ。			
Nda	ンダ	[名]	生
稲をこく道具。竹製で、稲をはさんでもみを取るもの。			
Nda	ンダ	[名]	沖T

(貝) オミナエシダカラ、ヒメヤクジマダカラなどの貝。底面が広く周縁部に黒斑をもつ。

Nda ンダ [名] 6

未熟な木の實。Nda; つぼみ。(こ61)

Nda ンダ [名] T

＜古＞（貝）タカラガイ。Nbu 参照。

Nda ンダ [名] 生

(植) ニラ<ユリ科>。Ndanuha とも言う。

Nda ンダ [名] 昔212

(昆) 南京虫の類。和名不明。不潔にした畳の中から出てくる人の血を吸う白い虫。

NdaN ンダン [形] 沖 4

塩辛い。abaN よりもっと辛い意。

NdaN	ンダン	[名]	A8
------	-----	-----	----

(地) 帆安。与那国町内の字名。サンニヌ台の西の辺り。末尾の地図参照。東崎の近くにある。(3) 祖納村の発祥地。その後、ウラダ、ウラヌ、現在小学校のある所へと移動する。(3)

NdaN ンダン [動] 3A型 NdasiaN T

出す。diNbuN NdaN: 知恵を出す。

NdaN ンダン [名] 1 0

烟。

NdaNgaru* ンダンガル [名] 植80

(植) リュウキュウアカメガシワ<トウダイグサ科>。

NdaNunaN	ンダンウカ°ン	[名]	2
----------	---------	-----	---

ンダンという拝所。

NdaNuibaru	ンダンウイバル	[名]	A8
------------	---------	-----	----

(地) 帆安上原。与那国町内の字名。末尾の地図参照。

Ndabu ンダブ [名] 生

(植) ハマゴウ<クマツヅラ科>。

Ndaci	ンダチ	[名]	3
-------	-----	-----	---

麻を巻く小管。米寿のお祝いに銘柄入りで配る。普通の小管よりも大きい。

Ndadagi ンダダギ [名] 生

(植) ホウライチク<イネ科>。編んで籠を作る。

Ndagi (1) ンダギ [名] T

よう。同様。様子。連用形に接続し、助動詞のように用いられる。karija katiNdagi aN; 彼は書きそうだ。uNni Ndidagi kabaranuN; そんなに言うほど変わらない。dagi 参照。

Ndagi (2) ンダギ [名] T

…しよう。連用形に接続し、勧誘をあらわす。文末に来る。maduN katiNdagiju; 一緒に書こうね。mituda nasiNdagiNdi dagudu ki; 夫婦にさせようと約束をし…。(昔36)

Ndaginu	ンダギヌ	[連]	昔59
…ほどの。…くらいの。Ndagi (丈) + nu (の)。subani haN iriNdaginu acibadu ita k'uri; 側に足を入れられるほどの足場を作りなさい。			
Ndai	ンダイ	[名]	3
家畜小屋の柵。竹で編んで、出来ている。			
Ndai	ンダイ	[名]	生
すだれ。			
Ndai	ンダイ	[名]	T
左。			
Ndai	ンダイ	[名]	こ22
いさり (漁)。			
Ndamati	ンダマティ	[名]	生
糸を巻く物。四角あるいは六角。			
Ndami	ンダミ	[名]	T
(動) カタツムリ。			
Ndamidagu	ンダミダグ	[名]	T
(動) ナメクジ。			
NdamikaNna	ンダミカンナ	[名]	T
(動) 山の川にいるカニ。陸地ではほとんど動かない。前の二本が平たくて、後ろの足は小さい。			
NdamuN	ンダムン	[動] 1D型 NdamjaN	2
きざむ。ubuni NdamuN; 大根をきざむ。kuNni Ndamariruna; こんなにきざまれるか。			
NdamuN	ンダムン	[動] 1D型 NdamjaN	T
踏む。nucinu haNdu Ndamitaba; 主人の足を踏んだので…。(昔27)			
Ndanida*	ンダニダ	[名]	A 20
田の名。			
NdaraN	ンダラン	[形]	生
可愛い。			
Ndataki*	ンダタキ	[名]	植173
(植) ホウライチク<イネ科>。			
Ndatu*	ンダトゥ	[名]	A 18
田の名。			
Ndatugara	ンダトゥガラ	[名]	生
(動) シュウジャ (臭蛇)。捕えられるとこう門から悪臭を放つ。			
Ndi	ンディ	[名]	生
あなた達。おまえ達。			

Ndi	ンディ	[助]	T
…しに。動作の目的をあらわす格助詞。動詞の連用形に接続する。timunu tuiNdi hire; 薪を取りに行け。aNbiNdi hiranuna; 遊びに行かないか。N が重なる時は、1 つ N が脱落する。			
Ndi	ンディ	[助]	T
…と。引用を表わす格助詞。nai kadi kuNdi; 今、暴風が来るってよ。NmaNki hirariruka-ja:Ndi umuiburuNdja;; どこに行こうかと思っているんですよ。			
Ndiarasi	ンディアラシ	[名]	こ3
言い争い。言い合い。			
Ndihajasi	ンディハヤシ	[名]	続20
言いふらすこと。subiNkiruN 参照。			
Ndikuru	ンディクル	[名]	7
抜け殻。			
Ndimaciri	ンディマチリ	[名]	年182
祭りの名。1 2 月頃に比川で行う。結婚奨励、家庭円満、子孫繁盛の祈願祭である。			
NdimiN	ンディミン	[名]	生
泉。			
Ndimura	ンディムラ	[名]	T
(地) 比川。与那国町内の字名。末尾の地図参照。			
Ndinu	ンディヌ	[名]	T
(地) 比川にある放牧場。			
Ndinu	ンディヌ	[連]	T
…ての。…という。Ndi (引用の格助詞で) + nu (の)。icibagiNdinu ciruci; いつまでも〈離れない〉という印。(昔186)			
Ndinuhama	ンディヌハマ	[名]	T
(地) 比川村落東方の小さな浜の名。ここは潮が干いた時、砂を少し掘ると湧水が出る。			
NdiruN	ンディルン	[動]	2A型 NdiraN 1
出る。			
Nditaburusugu*	ンディタブルスグ	[名]	A 37
田の名。			
Nditi	ンディティ	[名]	3
ひ。機織りの時横糸を通す物。船の形をしている。			
NditiNmu	ンディティンム	[名]	T
一本だけ長く横にたなびいている雲。			
NdiugaN	ンディウカ ^ン	[名]	2
比川村にある拝所。			
Ndja	ンヂャ	[名]	資

君達の家。お宅。Ndi (君達) +ja (家) の熟合した形。NdjaNki hiraNna; お宅へ行きませんか。			
Ndja*	ンデャ	[助]	S 11
…よ。軽い強調を表す終助詞。gamaN kiti ku:Ndidu aru tuduti Ndja; 我慢して来いと言うことなのよ。			
Ndu	ンドゥ	[名]	T
溝。			
NduN	ンドゥン	[動] 1D型 NdjaN	生
言う。			
NduguN	ンドゥグン	[動] 1B型 NdutjaN	3
退く。			
Ndugudari	ンドゥグダリ	[名]	4
(植) シチク<イネ科>。Nbugudagi (ホウライチク) のことか?			
Nduji*	ンドゥキ°	[名]	資359
気の毒。かわいそう。Ndugi i: hamiti darai; きのどくに、ご飯を食べさせて行かしなさい。unu agami Nduji nagaNna; その子はかわいそうに、泣かさなさい。			
Ndunaimunu*	ンドゥナイムヌ	[名]	昔138
かわいそうなもの。			
Ndutihaga	ンドゥティハガ	[名]	沖I
苗の縦幅。			
Ngajati*	ンガヤティ	[名]	A 23
田の名。			
Ngana	ンガナ	[名]	1
(植) ホソバワダン<キク科>。葉をすり潰して汁を飲むと、腹痛に利く。俗にニガナと言っているもの。			
Ngani	ンガニ	[名]	1 3
どもり。どもる人。			
NgaruN	ンガルン	[動] 2A型 NgaN	T
濡れる。			
Ngi	ンギ	[名]	T
とげ。			
NgiNda*	ンギンダ	[名]	A 48
田の名。			
NgiNdi	ンギンディ	[名]	沖I
粘土質の白みがかった土。湿気が強くて一番干ばつに強い。			
Ngibaru	ンギバル	[名]	沖I

満田原内の田の名。

Ngidata	ンギダタ	[名]	生
(動) ウニ。			
Ngimuja:	ンギムヤー	[名]	T
毛がたくさん生えている人。			
Ngimujadagu	ンギムヤダグ	[名]	T
(昆) 虫の一種。毛深い虫。			
NgiruN	ンギルン	[動] 6A型 NgjaN	T
(穴などに) 入れる。はめる。			
Ngitagu	ンギタグ	[名]	沖T
(動) テナガダコ。全長 6 0 cm くらいのタコ。背中側の 1 対の腕がとくに長い。			
Ngu (1)	ング	[名]	生
一升樽。			
Ngu (2)	ング	[辞]	6
升。穀物などを計るときの単位。t'uNgu; 1 升。液体の時は bagaci を使う。			
Nguci	ングチ	[名]	9
針の目。Nbuci とも言う。			
Ngudimi	ングディミ	[名]	昔162
升到物を詰めること。ぎっしりと満たし詰めること。hagudimi 参照。			
Ngui	ングイ	[名]	生
こう丸。ふぐり。			
Ngukati	ングイカティ	[名]	続16
おべっか。			
Nguja:	ングヤー	[名]	生
(動) ヤシガニ。体長が 3 0 cm 前後あり、アダンの木の下に巣をつくる。夏の夜出て来てアダンの実を食べる。			
Ngujabari*	ングヤバリ	[名]	A51
田の名。			
Ngujati	ングヤティ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
NguriruN	ングリルン	[動] 6B型 NguruN	生
ずれ落ちる。NguruNsai; (ほら、言った通りに) 滑べりこけたでしょう。Nguri hjuNsai; ずれ落ちたでしょう。karaŋa NguriruN; 瓦が剥けておちる(資353)。kigara Nguri utiruN; 木からずれおちる(資353)。			
NguruN	ングルン	[動] 2B*	生
むしりとる。稲を扱(こ)く。mai NguruN; 稲を扱(こ)く(資354)。bu: NguruN; 麻の皮から繊維			

をはぎとる(資354)。duru NguruN; 高い所の土を掻き取って低い所に埋める(資354)。				
Ngasija	ンカ°シヤ	[助]		T
…すると。…するやいなや。接続助詞。huganu c'u NniNgasija kanadi kabi; 他の大便を見ると必ず嗅ぎ…。(昔226)				
Ngu	ンク°	[名]		生
三味線の箱になっている部分。				
NkaN	ンカン	[動]	3A型 NkasjaN (1)	生
沈める。				
NkaN	ンカン	[動]	3A型	生
満たす。				
Nkaci	ンカチ	[名]		T
昔。				
Nkaciduci	ンカチドゥチ	[名]		こ22
旧友。				
Nkacihanasi	ンカチハナシ	[名]		T
昔話。				
NkacituN	ンカチトゥン	[慣]		昔185
昔の事。昔話の始めに使う語。				
Nkadi	ンカディ	[名]		生
(動) ムカデ。				
Nkai	ンカイ	[名]		T
向い。				
Nkaidatu	ンカイダトゥ	[名]		T
よく反抗する人。				
Nkaisimunu	ンカイシムヌ	[名]		5
霊を迎える吸い物。豚肉 wa:nuusai、ねぎ (c'iNda)、椎茸などを入れる。				
NkaruN	ンカルン	[動]	2A型 NkaN	1
向く。向かう。今婦仁ではムカールン。				
Nki	ンキ	[助]		T
…に。動作の対象・帰着点等を表わす格助詞。daNki di;; 家に(帰ろう)、さあ。nu:nu kutuNkiN t'usatini tuNdiranu kutudu; 何事につけ人より先に出ないことだよ。(昔13)				
Nki	ンキ	[助]		昔219
…ないで。動詞の否定形に接続する。hisakubai kiranuNki; 寒さにも凍えないで…。(昔219)				
Nkida*	ンキダ	[名]		A33
田の名。				
Nkidamaja*	ンキダマヤ	[名]		A33

田の名。			
NkiruN	ンキルン	[動] 6B型 NkuN	生
沈む。			
NkuN	ンクン	[動] 1A型 NtjaN	生
満ちる。NtiruN とも言う。			
Nkuti	ンクティ	[名]	生
幼児。			
Nma	ンマ	[名]	3
馬。mi:Nma; 雌馬。bigiNma; 雄馬。			
Nma	ンマ	[名]	生
どこ。Nma Nmaja; どこどこは。(昔45)			
Nma	ンマ	[名]	T
午(十二支の一つ)。			
Nma:	ンマー	[名]	3
こしきの管。			
NmaNkiruN	ンマンキルン	[動] 6A型 NmaNkjaN	1
くくる。結ぶ。NmaNkiri; くくりなさい。NmaiNkiruN とも言う。			
Nmaabuci	ンマアブチ	[名]	沖I
低い畦。			
NmabagiN	ンマバギン	[連語]	続8
どこまでも。Nma (どこ) + bagiN (までも)。			
Nmabana(sati)	ンマバナ(サティ)	[名]	3
(地) 馬鼻崎。			
Nmabarasaki	ンマバラサティ	[名]	A 61
(地) 岬の名。今の飛行場の裏の、断崖になった辺り。			
Nmaburu	ンマブル	[名]	沖T
(貝) マルクチヒメジ、イトタマガシラ。頭部に青色の斜線をもち、ひげが長い。尾びれはややくびれ、上端は赤味がある。			
Nmaharasi	ンマハラシ	[名]	2
競馬。ツァバムヌンの時に行われる。			
NmaiNkiruN	ンマインキルン	[動] 6A型 NmaiNkjaN	こ110
くくる。結ぶ。NmaiNkiNna; 結ぶな。NmaNkiruN とも言う。			
Nmami	ンマミ	[名]	1 1
田の土をならすこと。雨が少ない時、牛、馬等で土をならす。			
Nmanaga	ンマナガ	[名]	A 8
(地) 島仲。与那国町内の字名。人糞田のある辺り。末尾の地図参照。			

Nmanagahaci	ンマナガハチ	[名]	5
島仲橋。ティンダバナに行く途中にある橋。			
Nmanagamaciri	ンマナガマチリ	[名]	年182
島仲祭り。旧島仲部落で行う豊作の祈願祭。ご馳走として、陸の幸・海の幸が出される。午の日に行われる。(16)			
Nmanuca	ンマヌツァ	[名]	こ87
馬草。			
Nmanuda	ンマヌダ	[名]	こ10
馬舎(うまや)。			
Nmanuha	ンマヌハ	[名]	T
南の方角。			
NmanuhaN	ンマヌハン	[名]	続36
馬の判。耳を切ってその切り方で持ち主を判別する。			
NmanuhaNnuN	ンマヌハンヌン	[名]	T
家の南の隅。			
Nmanuhahuci	ンマヌハフチ	[名]	生
南十字星。			
Nmanui:	ンマヌイー	[名]	生
昼飯。cumadugi とも言う。			
Nmanukata	ンマヌカタ	[句]	T
どの辺。どの方向。			
NmanumaratagaciN	ンマヌマラタガチン	[名]	3
(植) トウモロコシ<イネ科>。			
Nmanuta	ンマヌタ	[名]	T
まないた。			
Nmasa	ンマサ	[名]	2
ひずめ。			
Nmati	ンマティ	[名]	続187
(貝) ヒザラガイ(火皿貝)。親指くらいの大きさの楕円形の貝。淡黒褐色で、岩礁上にすむ。			
Nmi	ンミ	[名]	生
爪。			
Nmi	ンミ	[名]	3
糸車の小管を入れる棒。			
Nmi	ンミ	[名]	生
どこで。			
NmiNku*	ンミンク	[名]	歴143

＜古＞小鼓の一種。野底屋の所有する神器。			
Nmimunu	ンミムヌ	[名]	T
履物。			
Nmo	ンモ	[名]	5
＜幼＞牛。			
Nmu	ンム	[名]	T
雲。			
NmuN	ンムン	[動] 1D型	生
澄む。			
NmuN	ンムン	[動] 1D型 NmjaN	3
(下駄、靴を) 履く。			
NmuN	ンムン	[動] 1D型 NmjaN	3
編む。NmamjaN; 編ませた。			
NmuN	ンムン	[動] 1D型 NmjaN	3
汲む。			
NmuN	ンムン	[動] 1D型 NmjaN	昔94
踏む。Nmitiburja; 踏んでいたら。			
Nna	ンナ	[名]	T
綱。			
Nna	ンナ	[副]	S 60
ただ。Nna uNni isi hagataba; ただこのようにして測ったら…。(S60)			
NnaN	ンナン	[動] 3A型 NnasjaN	T
死なす。kadaNku Nnasi; 蚊を殺せ。			
Nnada*	ンナダ	[名]	A 13
田の名。			
Nnadami	ンナダミ	[名]	続59
かたず(固唾)。			
Nnaga	ンナガ	[名]	T
中。途中。間。			
Nnahatarati	ンナハタラティ	[名]	こ66
無駄働き。徒労。			
Nnahi	ンナヒ	[名]	沖I
欠けた米。酒の材料や、家畜の餌などにする。			
Nnai	ンナイ	[名]	1
船酔い。Nnai kiranutaN; 船酔いしなかった。			
Nnakuru*	ンナクル	[名]	歴151

<古>船香炉。

Nnani	ンナニ	[名]	8
着物。			
Nnara	ンナラ	[名]	続128
(深田) の中で稲を運ぶ小舟。			
Nnaratagabi	ンナラタガビ	[名]	歴151
祭りの名。旧の大晦日に行われる航海の安全を祈る祭り。			
Nnasi	ンナシ	[名]	3
機織りの道具の名。かせぎ。(I字形で整経する貝)。			
NnasuN	ンナスン	[動]	1D型 NnasjaN 1 1
揃える。			
Nnati	ンナティ	[名]	2
綱引き。豊年祭の時に部落対抗で行う。			
Nnatotu*	ンナトトゥ	[名]	歴117
(地)ンナトトゥ。浦野共同墓地をそう呼んでいた。平田親雲上之碑が建立してあるところ。			
Nnatu	ンナトゥ	[名]	こ27
港。			
Nne:Nne:	ンネー ンネー	[名]	続30
入船の知らせ。			
Nni	ンニ	[名]	5
稲。米。			
Nni	ンニ	[名]	生
船。			
Nni	ンニ	[名]	T
ように。itimucinu buruNni bu:ru dusi si:ti; 動物のいる限り、全部、寄せ集めて来て。(昔223)			
amitinu a: ruNni; 道のあるままに。(昔61)			
Nni Nninu t'u	ンニ ンニヌ ットゥ	[句]	続60
飾り気のない人。			
NniN	ンニン	[名]	生
(植)ミカン。九年母。			
NniNguimunu	ンニングイムヌ	[名]	民
脱穀管。NniNgurumunu とも言う。二本の竹を紐で結んだもの。その間で、脱穀する。			
Nniagi	ンニアキ°	[名]	こ97
棟上げ。			
Nnicagikaba	ンニツァギカバ	[名]	芸288
横杵。玄米の精白を大量に処理する場合に用いる。			

Nnicapiuci	ンニツァキ°ウチ	[名]	芸288
臼。玄米の精白を大量に処理する場合に用いる。c'agiuci,c'i:uci,iciuci などの種類がある。			
Nnicira	ンニチラ	[名]	こ103
死相。死んだ人の顔。			
Nniciruuci	ンニチルウチ	[名]	生
もみを半分ぐらい取るためのつき臼。			
Nnicubihatu	ンニツビハトゥ	[名]	T
(鳥) 河原バト。セキレイ。(続120)			
Nnidami	ンニダミ	[名]	6
死に目にあうほどの大病。			
Nniguti*	ンニグティ	[名]	昔203
死に目。死にぎわ。			
Nnikatikaba	ンニカティカバ	[名]	昔286
杵。この杵の打撃面はデイゴの木製で、直径約20cm、長さ25cmほどの大きさである。 katikaba とも言う。			
Nnikita	ンニキタ	[名]	生
屋根組の一番上にある棟 (桁)。			
Nnimunu	ンニムヌ	[名]	2
忌み物 (動物の死骸など)。寝ている者の胸を押えついたりする。(T)			
Nninu	ンニヌ	[連語]	昔169
…のような。Nni (さま) +nu (の)。kidimunu Nninu munu; ゆうれいのような者。			
Nninukagu	ンニヌカゲ	[名]	昔141
船員。			
Nninukamabugu	ンニヌカマブグ	[名]	続92
米のかまぼこ。米粉をねって赤や黄色で縋どりこれを蒸して、かまぼこのように切って御祝いに使う。			
Nninuku	ンニヌク	[名]	続92
米の粉を水と砂糖で調合した食べ物。			
NniruN	ンニルン	[動] 6A*	こ72
似る。Nnidu buru; 似ている。			
NniruN	ンニルン	[動] 6B型 NnuN	T
死ぬ。udu haiqasija NniruNdo; これを食べたら死ぬよ。hu:minuNki NnituN; 餓死する。			
Nnitaruci	ンニタルチ	[句]	こ100
命日。死んだ日。maitaruci とも言う (敬語)。			
Nnitu	ンニトゥ	[名]	T
死人。Nnitunu tuduti kiti; 死人の始末をして…。(昔31)			

Nnitunumikadi	ンニトゥヌミカディ	[名]	続53
怨霊（死人の霊）。			
Nniurusi	ンニウルシ	[名]	こ45
進水（船下ろし）。haciurusi とも言う。			
NniutusuN	ンニウトゥスン	[動] 1D型 NniutusjaN	3
見落す。			
Nnu	ンヌ	[名]	生
昨日。			
Nnu:	ンヌー	[名]	民
衰。			
NnuN	ンヌン	[名]	生
太鼓。			
NnuN	ンヌン	[名]	生
隅。			
NnuN	ンヌン	[名]	T
（牛などの）角。			
NnuN (1)	ンヌン	[動] 1D型 NnjaN	T
見る。覗く。			
NnuN (2)	ンヌン	[助]	昔128
…してみる。こころみる。uNni isi Nni; そうやってみなさい。nai mati Nni; 今、待ってみて。ちょっと待てごらん。			
NnuNkaiju	ンヌンカーイユ	[名]	沖T
（魚）テンジクハギ。NnuN（角）という意味から命名。頭に角状突起を持っている。尾の根元に2個の骨板突起がある。			
Nnubututi	ンヌブトゥティ	[名]	T
一昨日。			
Nnugasa	ンヌガサ	[名]	T
みのかさ。Nnukasa とも言う。Nnukasa camjaru mama agamija tu:N Ngaranu; 蓑笠を着せた継子は全然漏れずに…。(昔92)			
Nnumaci *	ンヌマチ	[名]	A 27
田の名。			
NnurutuN	ンヌルトゥン	[句]	こ84
亡妻。死んだ妻。			
Nsa ai wataNsa	ンサ アイ ワタンサ	[慣]	資
お元気でしたか（敬い言葉）。Nsa（元気で）+siwataN（いらっしゃった）+sa（ね）。			
NsaN	ンサン	[形]	沖4

良い。大丈夫。ma:ti Nsaru t'u du aNsujã; とても良い人でありますネ。aru juNgara NsaN; あるからいいよ。Nsaru kaja; 大丈夫でしょうか。(昔149)				
NsimiruN	ンシミルン	[動]	6A型 NsimjaN	1
見せる。				
NsuNbusa	ンスンブサ	[名]		生
味噌の煮付け。				
Nsudiru	ンスディル	[名]		5
味噌汁。				
Nta	ンタ	[名]		生
土。				
Nta	ンタ	[辞]		T
…たち。複数を表す接尾辞。agamitiNta; 小さな子供たち。itimusiNta; 生き物など。t'uNta; 人達。人々。				
NtaN	ンタン	[連語]		1 6
…なども。Nta (など) + N (も)。uciNtaN umaNtaN butaN; 牛とか馬とかいた。				
NtaNta	ンタンタ	[副]		3
<擬>豚を呼ぶ時の言葉。豚に餌をあげる時や、呼ぶ時に言う言葉。鍋をたたきながら言う と喜んで、寄って来る。				
Ntabimunu	ンタビムヌ	[名]		こ14
玩具。遊ぶ物。				
NtabuN	ンタブン	[動]	1D型 NtabjaN	こ104
遊ぶ。				
Ntairi	ンタイリ	[名]		昔277
畑仕事の1つ。土入れ。旧暦の七・八月頃、原野の土と草とを肥料がわりに田に入れる客土 作業。				
NtakudiruN	ンタクディルン	[動]	6A型 NtakudjaN	T
踏みつける。				
Nti-kiruN	ンティキルン	[動]	6A型 NtikjaN	4
太る。満ちる。harataruN 参照。				
Ntinati	ンティナティ	[名]		T
一昨年。				
NtiruN	ンティルン	[動]	6A型 NtuN	T
満ちる。NkuN とも言う。su: NtiaiguN; 潮が満ちてくる。				
Ntisu	ンティス	[名]		3
満ち潮。				
Ntu	ントゥ	[助]		T

…さえ。副助詞。aiguNsuNtu naranuna; 歩くのさえ出来ないか。

NtuN	ントウン	[助]	沖M
…さえも。副助詞。t'uciNtuN nuguranu; 一つも残っていません。tubataNtiN munuiNtuN kiranu; 会っても話しもしない。			
Ntuimunu	ントウイムヌ	[名]	T
椅子（座り物）。			
NturuN	ントウルン	[動] 2B*	生
座る。			
a:	アー	[名]	生
栗。			
a:	アー	[感]	昔111
ああ。a:isimai; ああ、そうね。			
a:bu	アーブ	[名]	6
穴。anaNpu とも言う。			
a:di	アーディ	[名]	沖I
稲を広げてほすこと。脱穀機のない時は、刈りとった稲を牛馬に乗せて持ち帰った。そして、稲を地面に広げて乾燥させた。			
a:di	アーディ	[名]	S 58
遠く。ずっと。a:di dunaNdagi gara; 遠く ドナン岳から…。(S58)			
a:ha	アーハ	[感]	S 66
なるほど。			
a:iju	アーイユ	[名]	沖T
（魚）タイワンダツやオキザヨリなど。体が細く長い。			
a:ma:ti	アーマーティ	[名]	昔97
ちょっとの間。			
a:sa	アーサ	[名]	沖I
（植）田草の一種。水面を青々と覆う。			
a:tu:tu:	アートゥートゥー	[感]	続64
神に祈る時の言葉。u:tu:tu:, u:sutui とも言う。			
aN	アン	[名]	昔187
網。			
aN	アン	[助動]	無159
…である。断定の助動詞。否定形は aranuN. umanu hanasidu aga; その話であるが…。			
aN	アン	[動] 3A型 asjaN	2
合わす。ti: asjaN; 手を合わした。(T)			
aN	アン	[動] 不1B	3

ある。否定形 aranuN は「…ではない」の意味。「ない」は minuN。

aNbuN	アンブン	[動]	1D型	生
遊ぶ。aNbidatana; 遊びがてら…。(資)				
aNbuku	アンブク	[名]		こ1
泡。				
aNbusa	アンブサ	[名]		生
漁法的一种。潮がよくひく所に網をしかけて魚をとる方法。				
aNda	アンダ	[名]		3
油。				
aNda	アンダ	[名]		歴104
(地) 比川の水の霊所。比川の東の出入り口にあつて、小川が流れて白砂の浜に注いでいる。				
(歴104)				
aNdabagu	アンダバグ	[名]		3
油箱。				
aNdabutaN	アンダブタン	[形]		生
油っこい。aNdabutaru ciru; 油っこい汁。				
aNdacibu	アンダチブ	[名]		8
油壺。				
aNdagi	アンダギ	[名]		5
油で揚げた物。てんぷら。				
aNdaijugacu	アンダイユガツ	[名]		3
油ののった鰹。				
aNdakabica:	アンダカビツァー	[名]		沖T
(魚) サザナミヤッコ。				
aNdakaci	アンダカチ	[名]		3
油のかす。				
aNdaujagu *	アンダウヤグ	[名]		続105
脂肪親類。昔葬儀の時、身内の次に座る親類。				
aNdaujakwa *	アンダウヤクァ	[名]		歴35
<古>遠い親類。脂肪親類。				
aNdikaNdi	アンディカンディ	[名]		1 1
あふれるさま。たくさん。				
aNdikabi	アンディカビ	[名]		生
紙銭。ちり紙に銭の形を押したもの。あの世でのお金といい、彼岸・清明・お盆の時に後生				
の人に供えて、焼く。				
aNdiru	アンディル	[名]		生

アダンの毛で作ったびく。			
aNdunucima	アンドゥヌチマ	[名]	昔16
理想郷（安堵の島）。			
aNjo	アンヨ	[名]	5
<幼>歩くこと。			
aNka	アンカ	[名]	生
<外>錨。			
aNkadi	アンカディ	[名]	生
病気をもたらす悪い風。悪霊が近くで片足を丘にかけ、他方の足で風を起していると言う。			
aNkaruN	アンカルン	[動] 2A型 aNkaN	3
預かる。			
aNki ?	アンキ	[名]	7
預け。			
aNkiruN	アンキルン	[動] 6A型 aNkjaN	生
預ける。			
aNmai	アンマイ	[名]	2
（動物などが）じゃれること。majunuaNmai; 猫がじゃれること。			
aNmasaN	アンマサン	[形]	生
気分がすぐれない状態。			
aNnai	アンナイ	[名]	3
家畜の交換。売買。行商。多くは後者の意で使う。			
aNsjami	アンシャミ	[名]	6
（昆）キンカメムシ。カナブンに似ているが、それより小さい。			
aNtadiku *	アンタディク	[名]	植172
（植）ダンチク<イネ科>。			
aNtadumi	アンタドゥミ	[名]	生
村祭り終了の拝礼。甲申の日にハイナグ（地名）で神別れの拝礼をし、チラクンダ（地名）で主別れの拝礼をする。これで神女は神衣装を解き、マチリは終了する。			
abaN	アバン	[形]	生
塩辛い。			
ababa	アババ	[名]	2
おし。啞者。			
abamiN	アバミン	[名]	T
塩気のある水。			
abanaguN	アバナゲン	[動] 1B型	生
あおむけになる。abanagi;; あおむけになれ。相手を打ち負かした場合に勝ち誇って言う言葉。			

(昔32)

abanati	アバナティ	[名]	T
あおむけ。			
abatikabati	アバティカバティ	[名]	こ124
狼狽。慌てる事。			
abatiruN	アバティルン	[動] 6A型 abatjaN	4
慌てる。急ぐ。abatiri; 急げ。			
abiNdasi	アビンダシ	[名]	続50
呼出。			
abira	アビラ	[名]	生
(動) アヒル。			
abiruN	アビルン	[動] 6A型 abjaN	生
叫ぶ。呼ぶ。			
abja	アビャ	[名]	沖T
(貝) クロチョウガイ。黒真珠を生み出す貝。表面は緑褐色で放射斑をもつ。			
abjaN	アビャン	[形]	沖 4
美しい。abjaru minuga;美しい女性。			
abu	アブ	[名]	生
たて穴。			
abu	アブ	[名]	生
祖母。abuNta; おばあさんたち。(無174)			
abuci	アブチ	[名]	沖I
畦。			
abuciNmi	アブチンミ	[名]	昔279
畦踏み。水田で漏水を防ぐために、畦の内側を牛に踏み固めさせること。			
abucidi	アブチディ	[名]	沖I
田の中に臨時に作る畦。			
abuciharai	アブチハライ	[名]	沖I
畦の草を刈ること。			
abucimujasi	アブチムヤシ	[名]	沖I
畦の草を焼くこと。			
abuhinusuNgui	アブヒヌスングイ	[句]	続102
子宮脱(悪口に使われる)。			
abuhiti	アブヒティ	[名]	A 60
(地) 海岸名。ナンタ浜の北の小さな浜。末尾の地図参照。			
abuta	アブタ	[名]	生

母。			
abuta	アブタ	[名]	沖1
田の一種。地下に穴があいている田。珊瑚石のとなりにある田。			
abutagukuru	アブタグクル	[名]	1
親心。			
abutaju:	アブタユー	[感]	T
驚いた時に発する語。abutaju: anu uduriti minuN; アー、驚いた。			
abutati	アブタティ	[名]	生
三女以下のおばさん。おばさんが二人の時は、次女のおばさんのこと。			
abutawa:	アブタワー	[名]	昔33
親豚。ahiwa:: 親豚（雌）参照。			
acaN	アツァン	[形]	沖4
厚い。			
acaN	アツァン	[形]	沖4
暑い。熱い。			
aci	アチ	[名]	生
網の下端のおもし。			
aciba:	アチバー	[名]	昔60
足場。			
acibai	アチバイ	[名]	1
網の下部。			
acida	アチダ	[名]	生
げた（足駄）。			
acidanubu	アチダヌブ	[句]	こ79
鼻緒。下駄の緒。			
acidu	アチドゥ	[名]	こ71
熱湯。			
acimaruN	アチマルン	[動] 2A型	生
集まる。			
acimiruN	アチミルン	[動] 6A型 acimjaN	生
集める。			
acinagui	アチナク°イ	[名]	昔117
足音。aciutu とも言う。			
aciraN	アチラン	[動] 3A型 acirasjaN	3
温める。i: acirai; 御飯を温めなさい。(T)			
acisagai	アチサカ°イ	[名]	T

後ずさり。驚いて退くこと。

acitaburu*	アチタブル	[名]	歴83
＜古＞田の名。仲宗根玄雅が、ウニトラと戦っている時につまずき倒れたと言い伝えられている所。			
aciotu	アチウトゥ	[名]	昔28
足音。acinagui とも言う。			
ada	アダ	[名]	T
あざ。			
adaNkuN	アダンクン	[動] 1A型 adaNtjaN	6
あやす。			
adagiruN	アダギルン	[動] 6A型 adagjaN	素38
(藪などを) 切りひらく。かたずける。dama adagiruN; 山を切り開く。amuti adagiruN; 畦の雑草を刈り払う。hai adagiruN; 食べつくす。残らず食べて片づける。			
adagisa*	アダギサ	[名]	続118
清潔。adagjaN とも言う。			
adagjaN*	アダギャン	[名]	続118
清潔。adagisa とも言う。			
adami	アダミ	[名]	T
(植) アザミ <キク科>。			
adanibana*	アダニバナ	[名]	A9
(地) 阿陀尼花。与那国町内の字名。末尾の地図参照。			
adanigu*	アダニグ	[名]	黒65
あばた。kumuda とも言う。			
adanu	アダヌ	[名]	4
(植) アダン<ソテツ科>。7、8月頃に花が咲き、台風が、この花を落したら、台風はもう来ないと言われている。			
adanuci:	アダヌチー	[名]	生
アダンの皮の繊維 (アダンの気根)。これで、もっこ・かごなどを作る。			
adanudama	アダヌダマ	[名]	昔208
阿檀山。アダンの生い茂っている山。			
adanuhura	アダヌフラ	[名]	続11
アダンの枯木。			
adanusaba	アダヌサバ	[名]	5
アダンで作ったぞうり。			
adi	アディ	[名]	生
えら。			

adi	アディ	[名]	3
綜棒（機織りの器具の名）。経糸を上下に分けるもの。			
adi	アディ	[名]	続9
味。			
adi*	アディ	[名]	昔70
按司。王様。領主。			
adi-kiruN	アディキルン	[動]	6A型 adikjaN 5
味見する。			
adibarai	アディバライ	[名]	昔10
あざ笑い。			
adibuni	アディブニ	[名]	T
えらの骨。			
adidasiki	アディダシキ	[名]	T
（地）按司屋敷。満田原南方の丘の上の大きな平たい岩のこと。もと按司の住んでいた所と伝えられている。adinu dasiki とも言う。			
adigara	アディガラ	[名]	歴75
用水場の跡。ダンノ浜の近く。			
adiha	アディハ	[名]	5
八重歯。			
adika*	アディカ	[名]	植111
（植）アデク<フトモモ科>。			
adima:	アディマー	[名]	1 1
ひき臼台。			
aditihusi	アディティフシ	[名]	沖I
稲を地面に広げてほすこと。			
adu	アドゥ	[名]	生
かかと。			
adubira	アドゥビラ	[名]	T
かかとの平たい所。			
aga	アガ	[名]	生
赤。			
aga	アガ	[名]	T
<新>垢。ふけ。hurucu 参照。			
aga	アガ	[副]	昔151
只。aga t'ui; 只一人。			
aga*	アガ	[名]	昔82

明り。da: t'ubuguini turunu aga Nnaritaba; 一軒の家に明りが見えたので…。(昔82)			
aga*	アガ	[名]	続6
船底にたまる水。			
agaN	アガン	[形]	沖 4
明るい。			
agaN	アガン	[名]	続8
(植) アカギ<トウダイグサ科>。赤檀材をとる木。agaNgi とも言う。			
agaNda*	アガンダ	[名]	A 41
田の名。			
agaNga	アガンカ°	[名]	T
赤児。これより少し成長すると Nkuti と言う。			
agaNmaburu	アガンマブル	[名]	沖T
(魚) オジサン。			
agaNmu	アガンム	[名]	生
赤い雲。			
agaNtaNbu	アガantanブ	[名]	T
(地) 干瀬にある穴の名。カタバルの近くの海にある。			
agaNtaduru	アガンタドゥル	[名]	生
赤土。			
agaNtahatagi	アガンタハタギ	[名]	1
赤土の畑 (固い畑)。			
agaNtai	アガンタイ	[形]	沖 4
赤い。agaNtari とも言う。			
agaagidaN	アガアギダン	[名]	続6
(昆) 赤とんぼ。			
agaba*	アガバ	[名]	黒65
皮膚病の一種。首や耳のあたりにできる皮膚病。			
agaca	アガツァ	[名]	生
(植) イボクサ <ツユクサ科>。茎が赤く、庭のすみや道端に生えている。			
agaciri	アガチリ	[名]	沖I
いもち病の一種。これにかかると、植えて一か月後頃に枯れていく。			
agagirasa	アガギラサ	[名]	沖t
(魚) ツユベラ の成魚。体やひれに美しい青点をちりばめる。幼魚には kurugirasa という。			
agagukaru	アガグカル	[名]	1 1
(鳥) 渡り鳥の一種。和名不明。			
agaharaN	アガハラン	[名]	3

魚の赤ハラミ (卵)。			
agahuki	アガフキ	[名]	続179
はしか。			
agai	アガイ	[名]	T
障子。			
agaibana	アガイバナ	[名]	T
上がる瞬間。tidaNnu agaibana; 太陽の上がる瞬間。			
agaiju	アガイユ	[名]	沖T
(魚) イットウダイ科の魚の総称。ギンメヒメダイも含む。体の幅が広く長い。			
agairabuta	アガイラブタ	[名]	沖T
(魚) イチモンジブダイ, ナガブダイなど。体の色が赤味を帯びている。			
agaja	アガヤ	[名]	生
二枚貝の総称。			
agaki*	アガキ	[名]	植151
(植) サンゴジュ<スイカズラ科>。iributi とも言う。			
agamaci	アガマチ	[名]	沖T
(魚) ハマダイ。尾びれは深く切れこみ、両端が糸状にのびる。			
agamami	アガマミ	[名]	5
小豆。五月に収穫するので、guNgacira とも言う。			
agamamii:	アガマミイー	[名]	8
あずき御飯。ma:miguhaN, ma:minui: とも言う。			
agamaruuci	アガマルウチ	[名]	続6
赤牛。			
agami	アガミ	[名]	生
子供。接尾辞 t'i が付いた agamiti は4、5歳位の子をさす。			
agamiNta	アガミンタ	[名]	T
子供たち。			
agamikaNgi	アガミカンギ	[名]	図
子供を背負うこと。			
agamikuru	アガミクル	[名]	続102
子宮。			
agaminasi	アガミナシ	[名]	2
出産。			
agamisudati	アガミスダティ	[名]	2
育児。子育て。			
agamisuitu	アガミスイトウ	[名]	T

子守りする人。			
agamiurusi	アガミウルシ	[名]	こ54
流産。			
agamuti	アガムティ	[名]	沖T
(魚) ロクセンフエダイなど。えらぶたに大きな切れこみがある。体は黄色で5・6本の青色縦じまがはしる			
agana	アガナ	[名]	沖T
(魚) バラフエダイ (フエダイ科)。体は紫褐色をし、食中毒をもたらす。猛毒をもっている。			
agaraN	アガラン	[動] 3A型 agarasjaN	T
明かるくする。			
agarisuni	アガリスニ	[名]	A 65
与那国島の近海の魚礁の名。祖納の漁場。			
agaruN	アガルン	[動] 2A型 agaN	4
明るくなる。			
agaruN	アガン	[動] 2A型 agaN	3
明かす。			
agarucu	アガルツ	[名]	生
昼間。t'umuti (朝) と dusabi (夕方) の間。			
agasati	アガサティ	[名]	A 7
(地) 赤崎。与那国町内の字名。末尾の地図参照。			
agasimugata	アガシムガタ	[名]	生
なぞなぞ。			
agataNgasa	アガタンガサ	[名]	4
(植) ナンキンハゼ<タカトウダイ科>。タビョーカの葉に似ていて、赤い。実から油が出る。siroagataNgasa とは葉脈の色で区別する。終戦後までタバコの代用にした。			
agatiNka*	アガティンカ	[名]	黒65
(小さな) おでき。nibutu 参照。			
agatubugi	アガトゥブギ	[名]	生
しのめ (東雲) から暁にかけての頃。agatubugui とも言う。(資25)			
agauci	アガウチ	[名]	6
赤牛。agamaruci とも言う。			
agaudu	アガウドゥ	[名]	6
(魚) ウツボ。uNnaganu irabu agauduja nataruNdi; 海中のイラブ、ウツボになったと…。(昔46)			
agiNda	アギンダ	[名]	無8
(地) アギンダ。ウラブ山の南方にある山の名。			

agidaN	アギダン	[名]	生
(昆) トンボ。			
agidaN _{gusa}	アギダンク°サ	[名]	T
(植) クマツヅラ<クマツヅラ科>。			
agiruN	アギルン	[動]	6A型 agjaN 4
開ける。agiri; 開けなさい。			
agu	アグ	[名]	3
あく (灰汁)。灰を水に浸してとったうわ水。色止めに使われる。masu<塩>、hairi<酢>、uru<石灰>なども色止めに使われる			
agu	アグ	[名]	4
(植) アコウ<クワ科>。			
agui	アグイ	[名]	生
あくび。			
agui*	アグイ	[名]	民
網編具の名。網針。			
agunuhi	アグヌヒ	[名]	4
(植) サキシマスオウノキ<アオギル科>。この樹液を目につけると、目が悪くなる。			
agusagi*	アグサキ°	[名]	黒45
頬づえ。			
agutiki	アグティキ	[名]	T
(植) モクタチバナ<ヤブコウジ科>。「植物方言」120頁参照。			
agabara	アカ°バラ	[名]	生
東側。			
agabata	アカ°バタ	[名]	T
東側。agabara に比べ近い所を指す。			
agabatanukaNnuta*	アカ°バタヌカンヌタ	[名]	A18
田の名。			
agai	アカ°イ	[名]	生
東。			
agaiNbuta*	アカ°インブタ	[名]	A33
田の名。			
agaihaNda*	アカ°イハンダ	[名]	A42
田の名。			
agaihamati	アカ°イハマティ	[名]	歴34
(地) 祖納村の発祥地。明治の始め頃まで、港であった。現在、田んぼになっている。			
agaihanaga*	アカ°イハナカ°	[名]	A26

田の名。			
agaikadi	アカ°イカディ	[名]	4
東風。			
agaimiduci	アカ°イミドゥチ	[名]	A 62
(地) 新川鼻の山中の小さな川の名。			
agaimiduci*	アカ°イミドゥチ	[名]	歴145
<古> (地) 新川の上流にある水の霊所。			
agaimura*	アカ°イムラ	[名]	歴111
<古> (地) 古い村落の名。			
againutu	アカ°イヌトゥ	[名]	昔141
東の海。			
agaisati	アカ°イサティ	[名]	こ2
(地) 東崎。末尾の地図参照。			
agaitidaN	アカ°イティダン	[名]	続8
朝日。上る太陽。			
agamai	アカ°マイ	[名]	T
東村。祖納内の集団の一つ。agaimura とも言う。村内の競技などは、この集団間で行った。			
agamata*	アカ°マタ	[名]	A 36
田の名。			
agamura	アカ°ムラ	[名]	こ2
東村。agamai ともいう。			
agarasihagu	アカ°ラシハグ	[名]	6
むし器(箱型)。			
agarasimuti	アカ°ラシムティ	[名]	続61
餅の一種。餅米に黒砂糖を混ぜて形を作ったのち蒸して作る。agarasimunu とも言う。			
agaruN	アカ°ルン	[動] 2A型 ajaN*	生
上がる。揚がる。			
aji	アキ°	[名]	昔206
陸。			
ajida	アキ°ダ	[名]	稲266
浅田。苗が若い時に植える。			
ajiruN	アキ°ルン	[動] 6A型 ajaN	4
上げる。揚げる。			
agu	アク°	[名]	生
あぶみ。			
agu	アク°	[名]	昔49

相手。同行する者。(黒60) agu kiraijo; 相手してよ。

agui アク°イ [名] 植193

(植) シュロ<ヤシ科>。クロツグにも言う。(植192) bani 参照。

aguiNna アク°インナ [名] 昔41

縄の一種。クロツグ(ヤシ科の植物)の黒髭で編んだ縄。材質が強く、雨風に耐え、長く朽ちる事がない。魔よけに使用されることもある

agunumunu アク°ヌムヌ [名] 2

胎盤。agunumunu NduN; 胎盤が出た(後産した)。

aha: アハー [感] 1 1

納得する時に発する語。

ahari アハリ [名] T

あわれ。みじめ。苦勞。難儀。awari とも言う。ahari kiruN; 苦勞する。anuja aharinu daN-daN kucisa ki:du; 私は、哀れなことばかりで…。(昔81)

aharitiguti アハリティグティ [名] 沖I

満田原内の田の名。

ahiwa: アヒワー [名] 続52

(動)(雌の)親豚。

ahja アヒャ [名] 7

おしゃべり。悪口。

ahjamaruguN アヒャマルゲン [動] 1B型* 素49

うるさく長々としゃべる。しつこく繰り返す。argu ahjamaruguNna; あまりおしゃべりするな。(14)

ai アイ [名] 沖T

(魚) サンゴアイゴ, ゴマアイゴなどの魚。目の上のトゲに猛毒をもつ。

ai アイ [名] 3

藍。

ai アイ [感] 1 1

あれ。ai kujaNdi c'ubara tuNkai Nnja; 「あれ、これは。」と後ろを振り向くと。

aiciruN アイチルン [動] 6B型 aicuN 生

散る。落ちる。

aida アイダ [名] T

間。tugakara dugunitinu aida buri; 1 0日から1 5日までの間(ずっと)居れ。

aidi アイディ [名] こ1

合図。

aidi アイディ [名] 1 5

隙。

aidubuNga	アイドゥブンガ	[句]	資
… (で) あるのだが。kumani uNninu hanasidu aidubuNga; ここに、こんな話があるのだけれど…。			
aiguN	アイグン	[動] 1B型 aitjaN	5
歩く。来る。通う。aiti gurisanu miti; 歩みにくい道。aiguNdo, aigunDo, hiNgiriyo; (鬼が) 来るよ, 来るよ, 逃げろ。gakkuNki aigamiruN; 学校に通わせる。			
aajakiruN	アイヤキルン	[句]	T
ありはする。でありはする。uja tucinu sataja aajakiru; これは年のせいではある。(資340)			
ainaka	アイナカ	[名]	T
(時間の) 間。tugakara dugunitinu ainaka kiwari; 1 0 日から 1 5 日の間に来て下さい。			
ainaka *	アイナカ	[名]	A 62
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。			
ainubutu	アイヌブトゥ	[名]	植28
(植) リュウキュウタデ<タデ科>。			
ainuhi	アイヌヒ	[名]	T
(植) タビエ<イネ科>。田に稲と一緒に生える。			
aisati	アイサティ	[名]	昔120
挨拶。			
aisu	アイス	[名]	こ1
相性。			
aitarasi	アイトラシ	[名]	T
競走。aitarasi kiruN; 競走する。			
aitasi:	アイタシー	[名]	5
アイタシー (遊びの名)。エノコロ草の先の部分をパンパンと手で風を送り、競争する。			
aitiarasi	アイティアラシ	[句]	1 2
駆け足。aitarasi とも言う。			
aiwaruN	アイワルン	[連語]	6
ありなさる。ai (あり) + waruN (いらっしゃる)。niguraNdija aiwaranuna; 恐いということはありませんか。(資343) kamisamadu aiwaru; 神様でありなさる。(昔98)			
aja	アヤ	[名]	続17
(動) アリ (蟻)。			
aja (1)	アヤ	[名]	3
模様。tatiaja; 縦縞。			
aja (2)	アヤ	[名]	黒65
しわ。			
ajaN	アヤン	[動] 3A型	生

はれものの膿を出す。

ajaciti* アヤチティ [名] A 18

田の名。

ajagariruN アヤカ° リルン [動] 6A型 ajagarjaN こ1

あやかる。

ajagaruN アヤカ° ルン [動] 2A型 7

あやかる。

ajahabitu アヤハビトゥ [名] T

(植) ショウベンノキ <ミツバウツギ科>。「植物方言集」にはアヤハビタとある。

ajahi: アヤヒー [感] 昔114

やれやれ。(安心したりして) ホッとした時に発する語。ajahi:Ndi sjanaki; ああ、よかったと喜び…。(昔46)

ajaju: アヤユー [感] T

あれまあ。驚いた時に発する語。ajaju: hwicarasi minuN; あれまあ、散らかしてしまった。

ajaju: アヤヨー [感] 昔117

痛い。ajaju: ajaju: Ndi hiNgi hitaba; 「痛い、痛い。」と逃げて行ったので…。

ajamaci* アヤマチ [名] A 18

田の名。

ajami アヤミ [形] 続30

色混じり。ajamiuci; 白黒の牛。

ajamihabiru アヤミハビル [名] 生

(昆) ヨナグニサン。世界最大の蛾と言われている。

ajamiruN アヤミルン [動] 6A型 ajamirjaN 1 1

あやめる。競争する。

ajamutina アヤムティナ [名] 沖T

(魚) ニジハギ。眼から放射状に走る10本くらいの青帯がある。

aju アユ [名] 生

歌謡の一種。種まきの行事の時などに、豊作を願って歌う。八重山ではアヨーと言う。

ajuN アユン [動] 2A型* aN 生

闘う。けんかする。uci aidu buru; 牛が闘っている。aN; (目撃していないが、その様子からしてきっと) けんかした。aisimaN; 戦い終わった。ajuNdidu idiburu; けんかしようとしている。

akahudanumai* アカフダヌマイ [名] 芸

火の神。

akai アカイ [名] 1 1

扱い。

akakubi*	アカクビ	[名]	植18
(植) コウトウイヌビワ<クワ科>。			
akamiruN	アカミルン	[動] 6A型 akamirjaN	1 1
怒らせる。ti:ja akkami; 父を怒らせるので。(昔75)			
akasaNti	アカサンティ	[名]	生
(昆) カゲロウ。			
akasiro	アカシロ	[名]	5
五目並べ (子供の遊び)。			
akasita*	アカシタ	[名]	植43
(植) ハスノハギリ<ハスノハギリ科>。tudaNta 参照。			
akataNte:	アカタンテー	[名]	5
人助け遊び (子供の遊び)。木に人を縛り、その人を助ける。			
aku	アク	[名]	昔120
悪口。akuhi とも言う。suNtiNdasi aku kirutasi; あばき出して悪口をいうと…。(昔73)			
akuhi	アクヒ	[名]	4
悪口。			
akujuku	アクユク	[名]	6
<新>悪欲。akujuku minuN; 悪欲がない。無邪気である。			
akunuturaguti	アクヌトゥラク ^o ティ	[名]	T
悪口。罵ること。			
amaN	アマン	[形]	生
甘い。			
amaNbu	アマンプ	[名]	沖T
(動) ヤドカリ。			
amaNgi*	アマンギ	[名]	植44
(植) ギョボク<フウチョウソウ科>。			
amaNkuricai	アマンクリツァイ	[形] 特殊	生
非常に甘い。非常に味が薄い意味にも使う。			
amada	アマダ	[名]	4
(植) サトウキビ<イネ科>。			
amada	アマダ	[名]	続96
魚を焼く網。			
amadai	アマダイ	[名]	T
軒。ひさし。			
amadu	アマドゥ	[名]	T
窓。			

amaguri	アマグリ	[名]	生
雨が降る直前の薄暗い空。			
amaguimaciri	アマク°イマチリ	[名]	無6
雨乞い祭り。			
amamai	アママイ	[名]	昔130
まみれること。ci: amamai; 血まみれ。duru amamai; 泥まみれ。			
amamijadagu	アマミヤダグ	[名]	T
(昆) 虫の一種。3 cm位の長さで、黒と朱の縞模様のある虫。雨が降ると出てくる。いじると丸くなる。			
amaraN	アマラン	[動] 3A型 amarasjaN	2
余らす。			
amaruN	アマルン	[動] 2A型 amaN	3
余る。			
amasuda	アマスダ	[名]	6
軒下から雨の落ちてくる所。amadai とも言う。			
amasuda	アマスダ	[名]	続28
犬走り。家の軒下の部分。			
amata	アマタ	[名]	1 1
豊富。			
amati	アマティ	[名]	T
少し。ちょっと。amati gakuNki ititi kunutu naranu; 暫く学校に行って来ないといけない。			
amatti とも言う。nai amatinu himaja turasi wari; 今ちょっとの暇は下さい。(昔56)			
ami	アミ	[名]	4
雨。			
amigumu	アミグム	[名]	4
雨雲。			
aminagu	アミナグ	[名]	生
ゆりかご。			
aminumja:	アミヌミャー	[名]	生
虹。			
aminumja:naba	アミヌミャーナバ	[名]	T
(植) 虹きのこ。根元は腕の太さもあり、丸く大きく虹のようにのびて行く。牧場によく生え、乾燥させて食べる。			
amirikasugai	アミリカスカ°イ	[名]	こ114
<新>洋装。uraNdasugai とも言う。			
amiruN	アミルン	[動] 6A型 amjaN	生

	浴びる。		
amitabuja:	アミタブヤー	[名]	1
	網を揚げるもの。		
amiti	アミティ	[名]	生
	道。		
amiti	アミティ	[名]	1 1
	最年長のおばを敬って呼ぶ言葉。ubabuta; 最年長のおば。		
amitibata	アミティバタ	[名]	こ93
	道ばた。		
amiuri	アミウリ	[名]	生
	豊年を感謝する祭り。旧暦六月カネのイヌの日に新米と酒と櫛と御馳走をアガイヌユーというビディリに供える神女がアガマタ（水源の神）と東の港口の神を拝む。どらを鳴らしドゥンタを歌い踊る。		
amuti	アムティ	[名]	素
	畔。畔道。		
amutinadi	アムティナディ	[名]	沖1
	日当りをよくすること。特に畦にはえている木を切ったりする。		
anaNpu	アナンプ	[名]	昔120
	穴。a:bu とも言う。		
anaga*	アナガ	[副]	昔3
	こんなにながく。anaga naruta; こんなにまで。		
anici	アニチ	[名]	歴15
	番所の役職名。		
anici	アニチ	[名]	1 4
	荒地。まだ開墾されていない農地。arici とも言う。		
aninagu	アニナグ	[名]	6
	あまのじゃく。aninaguNninumunu とも言う。		
aninagumunui	アニナグムヌイ	[名]	続249
	根拠のない話。口先だけの話。aninagumunuija kiNna; 根拠のない話はするな。		
anu	アヌ	[名]	生
	私。		
apaNgarai	アパンガライ	[名]	1 1
	自棄。やけくそ。		
ara	アラ	[名]	沖T
	(魚) バラハタ。		
ara(:)gu	アラ(一)グ	[副]	生

とても。ara:gu i: ahiwadu ai;とても良い雌豚であって…(昔33)。ara:gu hugarasa; 大変ありがとう。

araN	アラン	[形]	生
荒い。			
araNbihui	アランビフイ	[名]	歴127
新川尻開さく。旧の川尻（波多浜の北端）を埋め立てて、新しい川尻を作った作業。			
araNnani	アランナニ	[名]	5
新しい着物。			
arada	アラダ	[名]	こ45
新居。			
araga	アラガ	[名]	歴2
東崎の西側に位置する拝所。海の神を祭る。(11)			
aragaNbi*	アラガンビ	[名]	A 24
田の名。			
aragabana	アラガバナ	[名]	T
(地) 新川鼻 (岬名)。aragasati とも言う。			
aragadatutagabi	アラガダトゥタガビ	[名]	歴145
新水の時期に行われる祭事。健康等の祈願を行う。年に一度、旧暦の八月にタバル川の清掃を行う。			
aragakuru	アラガクル	[名]	ま12
アラガ香炉。			
aragasati	アラガサティ	[名]	3
(地) 新川崎 (岬名)。			
aragata	アラガタ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
aragatati	アラガタティ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
aragaugaN	アラガウカ°ン	[名]	2
新川という拝所。			
araibana	アライバナ	[名]	生
供え物の一種。洗い花。もち米を洗って、茶碗に入れ、その上にチリビの葉を数枚のせた供え物。			
araisi	アライシ	[名]	歴145
(地) アライシ。東崎の方にある水の霊所。(歴145) 屋手久と東崎との中間にある。(歴145)			
aramidi	アラミディ	[名]	昔113
新水。正月の朝に初めて汲む水。			

arani	アラニ	[名]	沖I
田の最初の耕作。			
aranikisi	アラニキシ	[名]	沖I
最初に田を耕すこと。			
arata *	アラタ	[名]	A 19
田の名。			
aratadu *	アラタドゥ	[名]	歴77
<古> (地) 浦野御嶽の南側。			
arici	アリチ	[名]	こ1
荒れ地。			
aricihusi	アリチフシ	[名]	1 1
開拓。荒れ地の開墾。野原、荒地等を焼いて開拓する事。ariciukirasi とも言う。			
arisi	アリシ	[名]	A 60
(地) 東崎の下方の海岸名。末尾の地図参照。			
aru	アル	[連体]	昔73
ある。aru basu; ある時。			
aruN	アルン	[動] 5A型 araN	1
洗う。arai buru; 洗っている。ma araN; もう洗った。			
arubaN	アルバン	[連語]	T
…であっても。aruba (あれば) +N (も)。umija nu arubaN minuN; ここには何もありません。ici arubaN tubataNi;; いつであったかわからないが会ったね。taN arubaN hirutu bura-nukaja; 誰が行く人はいないか。			
arubaja	アルバヤ	[連語]	無164
あったら。aruba (あれば) +ja (係助詞)。			
arudi	アルディ	[名]	昔27
主。nuci とも言う。			
arumaNka	アルマンカ	[名]	昔43
ありのまま。naibagiNnu kutu arumaNka buru hanasi c'ariti; 今までのことありのままに全部話しをして…。(昔43)			
asa	アサ	[名]	生
祖父。			
asa	アサ	[名]	6
(植) アオサ<アオサ科>。海藻の一種で、食用にする。			
asaN	アサン	[形]	沖 4
浅い。			
asada	アサダ	[名]	沖I

浅田。			
asadusaN	アサドゥサン	[名]	無168
朝夕。			
asagi	アサギ	[名]	こ102
萌黄（もえぎ）。			
asaji	アサキ°	[名]	1 1
役所。			
asajuru*	アサク°ル	[名]	植114
（植）フカノキ<ウコギ科>。			
asajusaN	アサユサン	[名]	6
朝夕。			
asakadai	アサカダイ	[名]	ま26
村祭りの初めの拝礼。2 5 日間の祭りの中で司が行う拝礼の事。この祭りの間は、4 つ足の動物を食べてはいけなとされている。			
asatati	アサタティ	[形] 特殊	生
浅い。			
asati	アサティ	[名]	生
明後日。			
asatimuti	アサティムティ	[名]	6
鳥餅。			
asi	アシ	[名]	T
汗。			
asibu	アシブ	[名]	T
あせも。asigasa とも言う。			
asigasaN*	アシカガサン	[形]	生
（あせもで）かゆい。			
asigasa	アシカ°サ	[名]	5
あせも。asibu とも言う。			
asikai	アシカイ	[名]	N 108
扱い。dana asikai; 悪い扱い。			
asikaruN*	アシカルン	[動] 2A型* asikaN*	資337
しかる（叱る）。dakuniNtaNga ja baNta ijaNta abutaNta asikataru atigai; 役人達は私達の父達、母達をしかつたらしい。			
asikuN	アシクン	[動] 1A型 asikjaN	続22
いじめる。			
ata	アタ	[名]	生

明日。

ata:	アター	[副]	昔201
つい。ata: cimudari kiti; つい寝入り。(昔201) ijaja ata: cini umari; 父は瞬間気配を感じ…。(昔121)			
ataNtiN	アタンティン	[連語]	T
…であったとしても。…でも。ataN (あった) +tiN (でも)。ici ataNtiN;いつであっても。tuciataNtiNtaciataNtiN NsaN; 一つでも二つでも良い。			
atabita	アタピタ	[名]	T
(動) カエル。狭義では、大正7・8年頃、沖縄本島から持って来た食用のカエル。今では、一般のカエルもこのようにいう。			
atagaju	アタガユ	[名]	9
明晩。明日の夜。			
atagaci minumunu	アタカ ^o チ ミヌムヌ	[名]	続18
あわてん坊。要領の悪い者。			
atagai	アタカ ^o イ	[名]	生
家の裏側の軒。二番座の入口。(16)			
atakaN*	アタカン	[名]	歴30
出棺前の儀式をする女性。出棺直前に、故人の身内の女が着物を頭から被って顔をかくし、納棺のときに屍を包んだむしろの切端を持って、海浜または村外れの塵芥場へ捨てに行く、左手にクワズイモの茎を握り、死人の家の囲りを三度廻って、握っているイモの根で、その家の東北面の戸を三回逆打して、門を出ていく。			
atakui	アタクイ	[名]	生
<古>菜園。			
atama	アタマ	[名]	続78
<新>組長。			
ataniNdi	アタニンディ	[名]	続35
うたた寝。			
atanuduru	アタヌドゥル	[名]	6
明晩。			
atara-kiruN	アタラキルン	[動]	6A型 atarakjaN 3
可愛がる。			
ataraginu	アタラギヌ	[形]	昔202
大切な。尊い。ataraginu abuta; 尊い母。			
atarasaN	アタラサン	[形]	生
新しい。			
ataribaN*	アタリバン	[句]	昔120

…だったんだな。

ataruN	アタルン	[動]	2A型 ataN	4
当る。合う。				
atatumuti	アタトゥムティ	[名]		昔125
翌朝。明朝。				
ati	アティ	[名]		探190
四番目の姉。				
ati	アティ	[名]		昔82
見当。頼り。igu atiN minuNki; 行くあてもなく…。				
ati*	アティ	[名]		資53
収穫。tinu amutibarai; 収穫時の畦の木の枝葉を刈り払うこと。				
ati-kiruN	アティキルン	[動]	6A型 atikjaN*	3
目ざす。				
atigai	アティカイ	[名]		T
さま。様子。伝聞や様態を表す形式名詞。ujaja niNdidu buru atigai; 親は寝ているらしい。 Nnuja kaditjaru atigaidu aNsuja; 昨日台風が吹いたようだね。t'uN bagaranuNkidu butaru atigai irutasi; 全く知らずにいたらしく…。(昔160)				
atikura	アティクラ	[名]		生
部厚い様子。atikura sumuti; 厚い書物。				
atinai	アティナイ	[名]		こ40
商売。商い。				
atinaru	アティナル	[名]		昔27
不思議。atinarukutu; 不思議な事。				
atinuiju	アティヌイユ	[名]		生
(魚) クロカワ。				
atiruN	アティルン	[動]	6A型 atjaN	1 1
当てる。比べる。				
attaru	アッタル	[形]		昔196
大事な。attaru dunuujā tarumirumiru katiru kutuja batidu kaNdu; 大事な自分の親を目の当 り、捨てるなんて罰が当たる。				
atu	アトゥ	[名]		T
跡。atisabagari; 追及されて。跡をつけられ。				
atu	アトゥ	[名]		1 1
(時間を示す) 後。				
atuabuta	アトゥアブタ	[名]		1 1
後妻。継母。				

atubi	アトゥビ	[名]	沖I
後から植えたもの。			
atucigi	アトゥチギ	[名]	4
後継ぎ。			
atuja	アトゥヤ	[名]	生
子供が生れた後の婿。atuija (後親)の変化した形。			
atunai	アトゥナイ	[名]	沖I
後苗。一度に全部の種をまかずに、苗がその時期に合うように分けてまくこと。(田植え期間は約二ヶ月)。			
atutuN	アトゥトゥン	[名]	こ28
後妻。			
atuumui	アトゥウムイ	[名]	こ17
悔悟。後悔。			
au	アウ	[名]	生
青。			
auda	アウダ	[名]	生
(動) カエル。atabita; 食用のカエル。			
audanuagamiti	アウダヌアガミティ	[名]	続48
(動) おたまじゃくし (蛙の子)。			
awamura	アワムラ	[名]	歴152
<文>泡盛。与那国ションカネーの一節。			
ba	バ	[助]	T
強意を表す係助詞。nugusiba sabati aiti takaja; どんなに尋ねて来たか。nu:ba kibuNga; 何をしているのか。t'uba irubagi ki Nsana; 人を色分けしてよいか。iciba burukudata kuiti burar-irukaja; いつブロック建の家を作って居られるかな。			
ba	バ	[助]	T
…ば。順接を表わす副助詞。uNni itaba kuNni naru; こうしたらこうなるだろう。karatitaba daNki iritaru; 乾いたので、家に入れた。			
ba	バ	[名]	1 1
場合。わけ。(N135)			
ba:N	バーン	[名]	昔74
留守番。見張り。			
ba:bja	バービャ	[名]	沖T
(魚) イスズミ。テンジクイサギ等の魚。体は楕円形で平たく、青褐色で黄褐色の縦じまをもつ。テンジクイサギはイスズミに似るが背びれが違う。			
ba:ki	バーキ	[名]	生

竹製の大きなざる。芋や野菜などを入れて運んだりするもの。米を洗ったりするのにも使う。

ba:ri バーリ [名] 生

疲れ。体がきつい様。人から命令されたり、誘われたりした時に、断る言葉としてよく使われる。butai とも言う。

ba:rja バーリャ [感] 9

ご苦労さん。ありがとう。目上の人が目下に使う語。

baN (1) バン [助] T

…ても。逆接を表わす接続助詞。ibitati arubaN turasiwari; 少しでもよいから下さい。mis-arubaN ujasiwari; まずいですが、お上がりください。kagubaN kaganubaN NsaN; 書いても書かなくてもよい。nu:NbaN NsaN; 何でもよい。

baN (2) バン [助] 沖M

…でも。逆接を表す接続助詞。nuNdi arubaN Ndi; 何とでも言え。Nmi arubaN aN; どこにでもあります。ti:ci arubaN NsaN; 一つでも良い。

baNbani バンバニ [名] 生

えらぶた。

baNda バンダ [名] A 8

(地) 盤田。与那国町内の字名。末尾の地図参照。

baNdugani バンドゥガニ [名] T

角尺。香匠金。

baNgai バンガイ [名] 6

<新>例外。番外。

baNgiNdiruN バンギンディルン [動] 6A型 baNgiNdjaN こ126

湧き出る。

baNgimiN バンギミン [名] こ126

湧き水。batimiN とも言う。

baNguruN バングルン [動] 2B型 baNgwaN, baNgaN T

くすぐる。

baNninuju バンニヌユ [名] 歴133

(地) バンニヌユ (潮原門)。久部良から祖納へ行くところ。(11)

baNsuru バンスル [名] 生

(植) バンジロウ<フトモモ科>。山野に自生し、夏から秋にかけて果実ができる。

baNta バンタ [名] T

私達 (聞き手も含んでいる)。banu 参照。

baNta バンタ [名] 生

脇。

baNtanukadai バンタヌカダイ [句] 6

脇臭。(わきが)。				
baNtanuki	バンタヌキ	[句]		5
脇毛。				
baciruN	バチルン	[動]	6B型 bacuN	T
忘れる。naraimunu bu:ru bacina?; 習ったものを全部忘れたのか。baciNna; 忘れるな。				
bada	バダ	[名]		生
(魚) ボラ。				
bada	バダ	[名]		T
仕事。業。				
badabada	バダバダ	[副]		こ127
わざわざ。				
badara badara	バダラ バダラ	[副]		1 1
だらだら。うじうじ。sikama badara badara kiti; 仕事をだらだらして。uNnaga Nki badara badara udiya;海中にうようよ泳いで…。(昔46)				
badaruN	バダルン	[動]	2A型 badaN	1
さく。割る。				
badinai	バディナイ	[名]		昔90
調理。iju badinai kiti; 魚を調理し…。(昔90)				
badiruN	バディルン	[動]	6A型 badjaN	素271
怒る。ふんがいする。Ndaja nuNdiNtaNtiN anuja badiranuN; あなたがどんなに言っても私は怒らない。Ndaja unu kutusi badidu buruna; あなたはそのことで腹を立てているのか。				
bagaN	バガン	[形]		沖4
若い。bagaru munu; 若い者。				
bagaN	バガン	[動]	3A型	生
分かつ。解き明かす。				
bagaN	バガン	[動]	3A型 bagasjaN	3
沸かす。				
bagaca	バガツァ	[名]		こ125
若草。				
bagacaji*	バガツァキ°	[名]		黒41
若白髪。				
bagaci	バガチ	[名]		昔15
とっくりの形をした大きな瓶。口が小さく胴体がふくれている瓶。				
bagaci	バガチ	[辞]		8
升。液体を測る時の単位。t'ubagaci; (酒などの) 1 升。穀物などのときは、Nguを使う。				
bagacuma	バガツマ	[名]		生

午前 1 0 時頃。			
bagada *	バガダ	[名]	A 55
田の名。			
bagadiki	バガディキ	[名]	昔3
若月。			
bagadu	バガドゥ	[名]	生
(動) キシノウエトカゲ。			
bagajairuN	バガカ°ルン	[動] 6A型 bagajairjaN	昔113
若返る。			
bagajaruN	バガカ°ルン	[動] 2A型 bagajaN	こ125
若返る。bagajairuNとも言う。			
bagai	バガイ	[助]	沖M
…だけ。…ばかり。限定を表す副助詞。eNpicubagaidu aru;鉛筆だけがある。uNnaja nahaNkibagaidu hitaru;沖縄は那覇にだけ行った。hai bagadu kiruna;食べてばかりいるな。agamiNta bagaidu; 子供達ばかりぞ…。(N114)			
bagaituruN *	バガイトゥルン	[動] 2B型 * bagaitwaN *	昔172
奪い取る。mutiburu Nditi bagaituiti; 持っている箴を奪い取って…。(昔172)			
bagaki	バガキ	[名]	こ125
若木。			
bagaki	バガキ	[名]	9
若気。bagaruki とも言う。			
bagamunu	バガムヌ	[名]	T
若者。			
baganaci	バガナチ	[名]	9
初夏。若夏。			
baganai	バガナイ	[名]	沖I
若い苗。浅田に植えると一番良い。			
bagarikinai	バガリキナイ	[名]	1 2
分家。da:dati とも言う。			
bagariruN	バガリルン	[動] 6B型 bagaruN	生
別れる。			
bagaruN	バガルン	[動] 2A型 bagaN	5
分かる。			
bagasaN	バガサン	[形]	生
おかしい。おもしろい。			
bagasirunukada	バガシルヌカダ	[句]	続45

お産の後の肌の匂い。			
bagati	バガティ	[名]	生
新月前後の月。			
bagati	バガティ	[名]	T
新芽。若芽。basu hadi bagati uikaNdi bagasiti; 芭蕉をはいで表皮と若い部分とをよりわけ て…。(資340)			
bagauitu	バガウイトゥ	[名]	T
壮年の人。			
bagaurumu	バガウルム	[名]	T
旧暦の2、3月頃。			
bagi	バギ	[名]	T
ざる。食べ物の防腐、アリよけの為に天井からつるす。			
bagi	バギ	[名]	こ117
わけ。理由。mununubagi; 物のわけ。			
bagiN	バギン	[助]	T
…までも。icibagiN simaranuN; いつまでも終らない。			
bagibuN	バギブン	[名]	昔63
分け前。			
bagici	バギチ	[名]	T
＜新＞バケツ。			
bagihidati	バギヒダティ	[名]	こ33
差別。わけへだて。			
bagiri	バギリ	[名]	続80
区切り。			
bagiruN	バギルン	[動] 6A型 bagjaN	1
分ける。(髪を) とく。			
bagu	バグ	[名]	続74
協同。bagusikama; 協同作業。			
baguN	バグン	[動] 1B型 batjaN*	1
湧く。batibutaN; 湧いていた。baNgiruN とも言う。			
baguja	バグヤ	[名]	生
集団でする手伝い。			
bai	バイ	[名]	生
新芽。若葉。種子から出た芽にも、木や竹の切り口から出た芽にも言う。bai NduN; 芽が出た。			
bai	バイ	[辞]	昔26

…倍。tacibai; 2 倍。

baiNdi バインディ [名] 続119

青春。naibagasa とも言う。

baiNdi バインディ [名] 1 1

20～30才くらいの青年のこと。

baicaN バイツァン [動] 3A型 baicasjaN T

砕く。割る。

baiciruN バイチルン [動] 6*型 ? 生

砕ける。

baikaN * バイカン [名] 続80

くんせい (火であぶったもの)。baikaNkagasi とも言う。kaNdai (日に干したくんせい) 参照。

baikaNja バイカンヤ [名] 1 1

鰹節などを出荷していた業者。

baipuN-kiruN バイプンキルン [動] 6A型 baipuNkjaN 生

配る。

baja バヤ [名] T

我が家。(私達の家)。

bajaami バヤアミ [名] 生

菱形の模様に編むこと。

bakarigusa* バカリグサ [名] 植139

(植) プソロイバナ<シソ科>。

bakudaNgusa* バクダングサ [名] 植137

(植) フトボナガソウ<クマツヅラ科>。

bakuju バクユ [名] 3

ばくろう。家畜の仲買人。

bani バニ [名] 4

(植) クロツグ<ヤシ科>。黒くてよくヘビがつく。繊維が丈夫で、水にも強い。帽子、縄、タワシに使う。家の壁に使う。

banu バヌ [名] T

私達 (聞き手を含まない)。baNta 参照。

bapai バパイ [名] 生

間違い。

bara バラ [名] 5

わら。baraNpu; 2、3本のわら。

bara バラ [辞] T

…の方, …側の意味を表す接尾辞。agabara; 東の方。				
bara*	バラ	[名]		植51
(植) コウシンバラ<バラ科>。				
baraN	バラン	[名]		T
(植) ワラビ <ウラボシ科>。				
baraNna	バランナ	[名]		T
わらひも。				
baraNpu	バランブ	[名]		8
(2, 3本の) わら。				
baraNta	バランタ	[名]		沖I
稲こきの際のわらくず。				
barabutu*	バラブトゥ	[名]		植 8
(植) オオイワヒトデ<ウラボシ科>。				
baraicira	バライチラ	[名]		こ11
笑顔。				
baramiruN	バラミルン	[動]	6A型 baramjaN	3
笑わす。				
barasa-kiruN	バラサキルン	[動]	6A型 barasakjaN	3
謝まる。				
barasaN	バラサン	[名]		続248
藁算 (わらざん)。わらを結んでする計算。				
bari	バリ	[名]		生
岩の割れ目。谷。				
barimi	バリミ	[名]		3
割れ目。岩と岩の間。				
barinusi	バリヌシ	[名]		沖I
疲れ直し。晩酌。一日の仕事が終わってくつろぐこと。稲扱きが終わった後のお祝い。				
bariruN	バリルン	[動]	6A型 ?	生
疲れる。				
bariruN	バリルン	[動]	6B型 baruN	生
割れる。				
baruN	バルン	[動]	2A型 baN	3
割る。				
baruN	バルン	[動]	5A型 baraN	1
笑う。baranutaN; 笑わなかった。				
barumi*	バルミ	[名]		A 19

田の名。			
barumigata*	バルミガタ	[名]	A 20
田の名。			
barusaN	バルサン	[形]	沖 4
悪い。			
barusaru kutu	バルサル クトゥ	[句]	
悪い事。danakutu とも言う。			
basja	バシャ	[名]	民
<新>馬車。Nmaguruma とも言う。			
basu	バス	[名]	4
(植) 芭蕉<バショウ科>。葉は弁当を包んだりした。			
basu	バス	[名]	T
場合。時。uNninu basuni; そんな時に。			
basuNnani	バスンナニ	[名]	生
芭蕉の着物。			
basukagi	バスカギ	[名]	生
芭蕉の繊維。			
basununai	バスヌナイ	[名]	生
芭蕉の実。バナナ。			
bata	バタ	[名]	生
腹。腹わた。			
bata	バタ	[名]	生
あんこ。bata irjanu muti; あんこを入れてある餅。あん餅。(こ17)			
bata	バタ	[辞]	T
…の傍。agabata; 東側。iribata; 西側。niNbata; 北側。haibata; 南側。			
bata	バタ	[名]	こ101
綿。			
bata irjaru muti	バタ イリヤル ムティ	[句]	続17
あん餅。aNkumuti とも言う。			
bataN	バタン	[動] 3A型	生
渡す。			
bataNkuta*	バタンクタ	[名]	黒54
満腹。			
bataNti	バタンティ	[名]	昔173
腹いっぱい。			
batabu	バタブ	[名]	T

腹の出た人。batakura: とも言う。			
bataci	バタチ	[名]	生
神酒を入れる道具。			
batacigai	バタチガイ	[名]	1 5
腹違い。			
batadami	バタダミ	[名]	1
腹痛。			
bataguci	バタグチ	[名]	1 0
へそくり。			
batagurisaN	バタク°リサン	[形]	生
腹が痛い。			
batairi:	バタイリー	[名]	1
綿入れ。丹前。			
bataja	バタヤ	[名]	沖T
(動) タイワンガサミ (カニの名)。青紫色の斑紋が著しい。ハサミの腕の内側に3つのトゲがある。			
bataka(:)ri	バタカ(ー)リ	[名]	昔21
空腹。			
batakainu utuda	バタカイヌ ウトゥダ	[名]	続29
異母兄弟姉妹。腹違いの兄弟姉妹。			
bataku	バタク	[名]	9
いやがらせ。他人にいたずらすること。			
batakura:	バタクラ	[名]	T
腹の出た人。atabu とも言う。			
batakuru	バタクル	[名]	こ50
臓器。内臓。daimugu とも言う。			
batamuiciruN	バタムイチルン	[動] 6B型 batamuicuN	生
立腹する。腹が煮えくりかえる。batamuiciruta kuNdu NdiruN; 腹が煮えくりかえるほど怒る。			
batana*	バタナ	[名]	A 41
田の名。			
batanamaci*	バタナマチ	[名]	歴106
田の名。			
batanuga	バタヌガ	[名]	1
腹ぐろい人。			
batanuhana	バタヌハナ	[名]	こ101
(植) 綿花。			

batanumacinunasu*	バタヌマチヌナス	[名]	A 41
田の名。			
bataruN	バタルン	[動] 2A型	生
渡る。			
bati	バティ	[名]	昔112
罰。batikaNduN; 罰があたる。			
batibani	バティバニ	[名]	生
胸びれ。			
batimiN	バティミン	[名]	1 0
湧き水。baNgimiN とも言う。(こ126)			
bi	ビ	[助]	T
…だから。原因・理由を表わす接続助詞。hisabidu kunuru; 寒いから来ないのだ。nu: kibija; 何をするからか。どうしてか。(昔74)			
bi:	ビー	[名]	T
亥(十二支の一つ)。			
bi:Ndugi	ビーンドゥギ	[名]	沖I
田植えの一所作。受持の幅を持って植え進むこと。			
bi:agai	ビーアガイ	[名]	沖I
田植えが終了すること。bi:simaru,bi:simaN とも言う。			
bi:agai	ビーアカイ	[名]	こ117
乱酔。無意識。			
bi:kai	ビーカイ	[名]	1 0
植え替え。			
bi:samai	ビーサマイ	[名]	こ113
酔い醒め。			
bi:subi	ブースビ	[名]	沖I
田植えが終了したこと。			
bi:tariruN	ビータリルン	[動] 6B型 bi:taruN	昔126
酔っぱらう。酔ってグデングデンになる。			
biN	ビン	[名]	続14
音調。ふしまわし。utanubiN bagaranuN; 歌のふしまわしが、わからない。			
biNdarai	ビンダライ	[名]	生
洗面器。			
biNdiruN	ビンディルン	[動] 6B型 ?	T
飽きる。biNdidu buru; 飽きている。biNdi naranuN; 飽きてどうしようもない。			
biNga	ビンガ	[名]	T

男。			
biNga canu midu	ビンガ ツァヌ ミドゥ	[名]	続75
生娘。男をしらない女。			
biNgaagami	ビンガ アガミ	[名]	T
男の子。			
biNgakinai	ビンガキナイ	[名]	続54
男世帯。minugakinai; 女世帯。			
biNgaminuga	ビンガミヌカ°	[名]	こ43
男勝りの女（おとおんな）。			
biNgani	ビンガニ	[名]	生
指輪。			
biNganu uja	ビンガヌ ウヤ	[句]	T
父親。			
biNgudati*	ビングダティ	[名]	A41
田の名。			
biNkjo:	ビンキョウ	[名]	昔67
<新>勉強。			
biNta	ビンタ	[名]	生
びんた。こめかみ。頬・こめかみなど、人によって多少位置が異なる。biNta utuN du; 頬をたたくよ。			
bidagiruN	ビダギルン	[動] 6A型 bidagjaN	生
強くたたく。なぐる。			
bidariruta k'ai	ビダリルタ ッカイ	[名]	7
酷使（疲れる程使う）。			
bidiri	ビディリ	[名]	T
霊石。庭の東側に設けられており、毎月1日、15日に花を飾る。			
bidisi	ビディシ	[名]	9
敷石。			
bigi(1)	ビギ	[名]	生
雄。bigi uci; 雄の牛。			
bigi(2)	ビギ	[名]	T
男の兄弟。女からいう言葉。			
bigiNna	ビギンナ	[名]	2
男綱。綱引きの時の一方の綱、mi:Nna に対する。			
bigihucibinumutu*	ビギフチビヌムトゥ	[名]	植06
(植) タマシダ<シノブ科>。			

biginubuja*	ビギヌブヤ	[名]	植60
(植) ハマセンナ<マメ科>。「男の眠り草」の意。			
bigisuginujuda	ビギスギヌユダ	[名]	4
(植) モンパノキ<ムラサキ科>。この木で水中メガネを作ったり、イカ釣りの道具を作ったりする。			
bigisuruna*	ビギスルナ	[名]	植167
(植) タイワンハチジョウナ<キク科>。「雄のbigina (ハルノノゲシ)」の意。			
bigituruna*	ビギトゥルナ	[名]	植145
(植) オオバコ<オオバコ科>。tumutugusa とも言う。			
bigu	ビク°	[名]	T
(植) ビンゴイ<イグサ科>。di (イ) よりも細くて、まん丸い。			
bigui	ビク°イ	[名]	生
(植) クワズイモ<イモ科>。この汁が肌につくとかゆい。昔、この葉でセミ取り器を作った。			
biguigusa	ビク°イグサ	[名]	沖I
(植) 田草の一種。			
bihuna*	ビフナ	[名]	歴24
<文>男児。			
bikaruN	ビカルン	[動] 2A型 bikaN	3
ひつつく。なつく。c'i:ga bikai; 血が ^g 付いて。今婦仁ではpiccika:ruN と言う。			
biki	ビキ	[助動]	T
べき。…しなければならぬ。「べし」の連用形に対応する biki の形しか見あたらない。katibiki aranuN;書くべきではない。			
bikiruN	ビキルン	[動] 6A型 bikjaN	3
ひつつける。bikiri; ひつつけなさい。			
bikitabika*	ビキタビカ	[名]	植149
(植) ボチョウジ<アカネ科>。			
binuhakadi	ビヌハカディ	[名]	4
北西の風。			
biragiruN	ビラギルン	[動] 6A型 biragjaN	生
開ける。広げる。			
birai	ビライ	[名]	9
付き合い。hirai とも言う。			
biramati	ビラマティ	[名]	1 0
恋人 (男)。			
birati*	ビラティ	[名]	植205

(植) シナカンゾウ<ユリ科>。			
biri (1)	ビリ	[名]	T
破れた布。			
biri (2)	ビリ	[名]	T
(薄い) 膜。hugabiri; 外膜。utibiri; 内膜。			
birikagu	ビリカグ	[名]	生
ぼろぎれ。単に kagu とも言う。			
biriruN*	ビリルン	[動]	資284
(布地などが) よれよれになる。(糸などが) もつれる。Nnaninu biriṛa biriruN; 着物のお尻がよれよれになる。ituga biriti haikurarinuN; 糸がもつれてほどけない。			
biruN	ビルン	[動] 6A型 bjaN	4
植える。biwataN; 植えられた。			
biruN	ビルン	[動] 6A型 ?	1
酔う。bi:suri; 酔い過ぎ。			
bisuru	ビスル	[名]	3
酔っぱらい。bitu とも言う。			
bita	ビタ	[名]	3
腰板。機織り機の椅子。			
bitagati	ビタガティ	[名]	1 1
お互い。agamija bitagatisi ubut'u tagat'u kimiwai; 子供は互いに大きな人、高い人に育てなさって…。(資357)			
bitu	ビトゥ	[名]	T
酔っ払い。bisuru とも言う。			
bjati	ジャティ	[名]	生
すぐ上の兄。女の言葉。			
bju:da	ビューダ	[名]	生
病弱の人。bju:daNtu; 長い間病気にかかっている人。			
bju:danai*	ビューダナイ	[名]	黒66
半身不随。			
bju:ni	ビューニ	[名]	沖I
田ならしをして平にすること。			
bju:niki	ビューニキ	[名]	沖I
耕作用農具。田をならして平坦にするもの。角材でできている。bju:nikuba,bju:nitagi 参照。			
bju:nikuba	ビューニクバ	[名]	沖I
耕作用農具。田をならして平坦にするもの。くばの幹で作った。bju:niki,bju:nitagi 参照。			
bju:nitagi	ビューニタギ	[名]	沖I

耕作用農具。田をならして平坦にする竹。竹を二十本ないし三十本ほど束ねて作ったもの。

bju:niki,bju:nikuba 参照。

bjuNgaN	ビュンカ ^ン	[形]	
かゆい。bjugaN とも言う。			
bjugaN	ビュカ ^ン	[形]	生
かゆい。毒虫に刺されたり、クワズイモの汁が付いたりした時の痛いようなかゆさ。			
bjuNgaN とも言う。			
bjukati	ビュカティ	[名]	1 1
甥。自分より年下の甥。(続265)			
bu:	ブー	[名]	3
(植) マオあるいはカラムシ<イラクサ科>。bu:du umibutaba; 麻糸を紡いでいたので…。(昔129)			
bu:	ブー	[名]	3
棒。			
bu:bu:	ブーブー	[名]	3
民間治療法の一つ。高血圧によいと言われている。背中に傷を入れて、コップに入れた花酒を燃やし、それを傷口にあてる。すると傷口から血が出て治る。			
bu:kai	ブーカイ	[名]	2
棒踊り。			
bu:miruN	ブーミルン	[動] 6A型 bu:mjaN	1 1
蓄える。bu:mi; 蓄え。(昔219)			
bu:suami	ブースアミ	[名]	沖I
ぼう種の頃降る雨。この雨が續くと、穂から芽が出てしまい収穫できない。			
bu:umi	ブーウミ	[名]	9
苧麻をつむぐこと。			
buN	ブン	[名]	1 1
盆。marubuN; 丸いお盆。na:buN; 四角いお盆。			
buN	ブン	[名]	昔25
それに相当する分量。agaminu buNbagiNdi; 子供の分まで。			
buN (1)	ブン	[動] 不1型	生
居る。			
buN (2)	ブン	[動] 不1型	1 4
…している。動作の進行を表す補助動詞。matiburjaN matiburjaN ma: niranuN; 待っていても待っていてもまだ煮ない。(N.155)			
buN*	ブン	[名]	植209
(植) ダイジョ<ヤマノイモ科>。damaunTi とも言う。			

buNdi 恩義。	ブンディ	[名]	こ15
buNdi 恩礼。	ブンディ	[名]	7
buNdikaisi 恩返し。昔受けた恩を返すこと。(10)	ブンディカイシ	[名]	こ15
buNdiugui 恩返し。子供の祝い事に招待されたお返しに、自分の子供の祝い事に招待すること。	ブンディウグイ	[名]	1 0
buNgamiruN 折り曲げる。Ndaḡadu kabi buNgamjaNsa;; あなたが紙を折り曲げたんでしょう。	ブンガミルン	[動] 6A型 buNgamjaN	T
buNkaN (1) ほうりなげる。buru Ndi buNkataba; 全部言ってしまうと。	ブンカン	[動] 3A型 buNkasjaN	2
buNkaN (2) …してしまう。buru Ndi buNkataba; 全部言ってしまうと。	ブンカン	[動] 3A型*	昔193
buNnumai* 男の一物。	ブンヌマイ	[名]	昔213
buNtiti (年下の) おじ。	ブンティティ	[名]	生
buci 節。	ブチ	[名]	T
buci 武士。	ブチ	[名]	こ104
budairi budairi ぶらりぶらり。	ブダイリ ブダイリ	[副]	1
budasa 叔父。	ブダサ	[名]	昔123
budi 無事。	ブディ	[名]	T
budi 坊主。	ブディ	[名]	こ85
budi 踊り。budui とも言う。Nbuci; 踊りおさめ。	ブディ	[名]	昔197
budida* 田の名。	ブディダ	[名]	A 46
budidabari* 田の名。	ブディダバリ	[名]	A 46

buduNcaruN	ブドゥンツァルン	[動]	2A型 buduNcaN	T
跳ぶ。跳び下りる。uNnagaNki buduNcaruNdidu itaba; 海中に飛び降りようとしたら…。(昔119)				
buduNgai kuN	ブドゥンガイ クン	[句]		9
攻めてくる。buduNgai hiruN; 攻めて行く。				
budui	ブドゥイ	[名]		T
舞踊。				
budui-kiruN	ブドゥイキルン	[動]	6A型 buduikjaN	T
踊る。buduruN は「跳ぶ」の意。				
buduihani*	ブドゥイハニ	[名]		N 154
踊り。budi とも言う。				
buduruN	ブドゥルン	[動]	2B型 budwaN	T
跳ぶ。「踊る」は budui kiruN と言う。buduNti; 飛び込む。(b.167)				
bugui	ブグイ	[辞]		生
家を数える単位。戸。軒。t'ubugui; 一戸。				
buguriruN	ブグリルン	[動]	2A型 buguritaN	こ14
溺れる。				
bugutu	ブグトゥ	[名]		1 6
棒。				
bugimunu	ブキ°ムヌ	[名]		続63
化膿する食べ物。猪(ウムダ) 鯉(カツヌイユ)を食べると、傷口が化膿する。				
buhaNna	ブハンナ	[名]		生
しめなわ。お産のあった家はこれを門口に立てる。				
bui	ブイ	[名]		生
折り。時節。kadimajanu bui; 風車で遊ぶ時期。				
buiNtu	ブイントゥ	[名]		T
恋人。				
buicaN	ブイツァン	[動]	3A型	T
折る。buruN とも言う。				
buiha	ブイハ	[名]		生
おい(甥) や、めい(姪)。				
buika	ブイカ	[名]		1 6
続柄。自分より年上で、両親といとこ関係にある人から自分をさす呼び方。				
buikati	ブイカティ	[名]		1 6
続柄。自分より年下で、両親といとこ関係にある人から自分をさす呼び方。				
bukamui	ブカムイ	[名]		歴15

賦役係。世話役。			
bukumi	ブクミ	[名]	生
麻を糸状にしたもの。			
bunabidaki	ブナビキ	[名]	歴33
ブナビ岳（崖葬されたとされる場所）。人頭税の時代にここで夜なべをしたと言われる。			
bunadara	ブナダラ	[名]	歴97
奥方。按司の妻。			
bunahituNbinaga	ブナヒトゥンビナガ	[名]	T
（貝）カワニナ的一种。単に bunahitu とも言う。田などにいる。			
bunai	ブナイ	[名]	生
姉妹。			
bunaika:	ブナイカー	[名]	2
姉妹司。戸主の姉妹が、これになる。			
bunaikaN	ブナイカン	[名]	生
姉妹神。兄弟に対して特殊な霊力持ち、兄弟の守り神となる。			
bunu	ブヌ	[名]	生
斧。			
bura	ブラ	[名]	沖T
（貝）ホラガイ。			
bura	ブラ	[名]	1 0
声が大さい。声高い。			
huri	ブリ	[名]	生
無礼。huri kiruei; (お先に) 失礼します。			
huri	ブリ	[名]	1 0
群れ。			
burinati	ブリナティ	[名]	T
鶏があちこちで鳴くこと。			
burirabari*	ブリラバリ	[名]	A46
田の名。			
buriruN	フブリルン	[動] 6B型 buruN	生
折れる。			
buru	ブル	[副]	T
皆。			
buruN	ブルン	[動] 2B型 bwaN*	生
折る。buicaN とも言う。			
burusa	ブルサ	[名]	N125

塊。固まり。kuganinu burusa; 黄金の塊。			
busa	ブサ	[名]	続106
じゃんけんの一種。親指、ひとさし指、子指でする遊び。			
busaN	ブサン	[補] busataN	昔90
…したい。動詞連用形に接続し、希望を表す。haibusaN; 食べたい。			
busiki	ブシキ	[名]	歴35
(地) ブシキ。島の中央に当たる平地名。			
buta	ブタ	[辞]	T
…の大きな人という意味を表す接尾辞。cirabuta; 顔が丸くふとってる人。t'ibuta; 口の大きな人。			
butai	ブタイ	[名]	9
疲れ。ba:ri よりひどい疲れ。butataiti; 疲れ果てて。(昔127)			
buti	ブティ	[名]	T
鞭。			
butu	ブトゥ	[名]	T
夫。			
butumutiuta	ブトゥムティウタ	[名]	2
嫁入り歌。嫁入りの時に母から娘へ送る歌。			
bututi	ブトゥティ	[名]	生
一昨日。			
c'a	ツツア	[名]	沖1
草。			
c'a(:)N	ツツァ(一)ン	[形]	沖 4
臭い。c'a(:)rukidu; 臭い傷。			
c'a(:)tui	ツツァ(一)トゥイ	[名]	T
草取り。			
c'a(N)giuci	ツツァ(ン)キ°ウチ	[名]	生
もみを完全に取るためのつき臼。精米の意か。			
c'a:N	ツツァーン	[形]	沖 4
狭い。			
c'a:harai	ツツァーハライ	[名]	6
除草 (手で草取りをすること)。c'u:t'i;; へらなどを用いて草取りをする。			
c'a:nukatana	ツツァーヌカタナ	[句]	こ69
なまくら刀。よく切れない刀。			
c'a:ti:	ツツァーティー	[名]	6
除草 (へらなどを用いて草を引くこと)。c'a:harai; 手で草取りをすること。			

c'aN	ツツァン	[名]	T
(昆) シラミ。			
c'aNdiru	ツツァンディル	[名]	民
籠。山糸で編んだ丸い籠。高さ30センチ程。			
c'aNguN	ツツァングン	[動]	1C型 c'aNdjaN 1
せき止める。c'ajuN とも言う。			
c'aNgi	ツツァンキ°	[名]	T
白髪。			
c'aNta	ツツァンタ	[名]	沖I
稲穂が水にひたり腐ること。			
c'aNtaiNtui	ツツァンタイントゥイ	[句]	昔176
腰を抜かす。			
c'abamunuN	ツツァバムヌン	[名]	生
雑草がはえないように祈る行事。旧暦の三月中旬に行く。			
c'abi	ツツァビ	[名]	生
くさび。			
c'adaN	ツツァダン	[名]	続203
(昆) シラミの一種。洋服などにつく。溜り水などで泳ぐと付く。			
c'adagi	ツツァダギ	[名]	生
(植) リュキュウチク<イネ科>。俗の草竹。小さくて細い。			
c'ajiNni	ツツァキンニ	[名]	
白米。c'ajiarumai とも言う。			
c'ajiruN	ツツァキンルン	[動]	6A型 c'ajjaN 1
(米を) しらげる。精米する。c'ajiru mai; 精米した米。白米。(こ79) mi: Nnasi c'ajiti; 実を出し、精米して。(昔73)			
c'ajiuci	ツツァキンウチ	[名]	T
精米用臼。			
c'ajuN	ツツァク°ン	[動]	1C型 生
塞ぐ。c'aNguN とも言う。			
c'ai	ツツァイ	[名]	続112
白蟻。			
c'aiNsiru	ツツァインシル	[名]	生
かずらの皮で作ったざる。			
c'aici	ツツァイチ	[名]	生
砂岩。石垣に利用する。			
c'aja	ツツァヤ	[名]	7

潟。遠浅の海で潮が満ちると隠れ、潮が干くと現れる所。hi とも言う。

c'akai	ツツアカイ	[名]	1
草かり。			
c'amiruN	ツツアミルン	[動] 6A型 c'amjaN	5
着せる。			
c'amiruN	ツツアミルン	[動] 6A型 c'amjaN	昔39
挿す。c'aNburi kiti dubuciNki c'amiti; 知らぬふりをして鬻(まげ)に挿して…。			
c'anukaN	ツツアヌカン	[名]	歴33
(地) ツアヌカン。テンダバナの下にある。(11) 崖葬の場所であったと言われている。(歴33)			
c'araninuN	ツツアラニヌン	[連語]	T
寝入られない。niNduNdi umutaNtiN c'araninuN; 寝ようと思っても寝むれない。aragu udur-utiti t'umiN c'araninu; 大変驚いて一目も寝入られず…。(昔123)			
c'ari	ツツアリ	[感]	T
どうぞ。目上の人に物をすすめる時の言葉。目下の人には、uriと言う。			
c'aribaku*	ツツアリバク	[名]	植137
(植) クサギ<クマツヅラ科>。			
c'ariruN	ツツアリルン	[動] 6A型	生
申し上げる。「言う」の謙譲語。			
c'ariruN	ツツアリルン	[動] 6A型 c'arjaN	1 6
知らせる。			
c'ariruN	ツツアリルン	[動] 6B型 c'aruN	生
腐る。			
c'asidusi	ツツアシドウシ	[名]	5
炊き込み御飯。			
c'ata*	ツツアタ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
c'i	ツチ	[名]	生
タコの吸盤。			
c'i	ツチ	[名]	沖I
田の乾き上がること。			
c'i	ツチ	[名]	T
巢。			
c'i	ツチ	[名]	T
固形の物を数える助数詞。t'uci; 1つ。t'aci; 2つ。			
c'i	ツチ	[名]	続146

釣針。			
c'i:	ッチー	[名]	生
日。c'i:du taNdu datiburu; 毎日炭を焼いている。(昔108)			
c'i:	ッチー	[名]	生
樹液。basunuc'i;; 芭蕉の汁。			
c'i:	ッチー	[名]	3
潮が引くこと。			
c'i:	ッチー	[名]	生
樋。離れた所から、水をひくもの。			
c'i:	ッチー	[名]	1
火。火事(続61)。			
c'i:	ッチー	[名]	生
わらじ。ワラで作る。アダン葉製、ゴム製のは saba という。海に行く時によく履いた。			
c'i:	ッチー	[名]	T
乳。			
c'i:	ッチー	[名]	T
血。			
c'i:	ッチー	[名]	8
気性。c'i:ataranuN; 馬が合わない。			
c'i:du	ッチードウ	[名]	昔108
毎日。日々。hadimaigara c'i:du niguraruta kjaku hai; 毎日恐ろしい程客が入り…。(昔179)			
c'i:mai	ッチーマイ	[副]	昔155
たくさん。ma:siku よりも量が多い。			
c'i:nasi	ッチーナシ	[名]	8
吉日 (大みそかの日など)。			
c'i:nutiN*	ッチーヌティン	[句]	昔201
火種。taNdi c'inutiN bagihiri; お願いします。火種を分けて下さい。(昔201)			
c'i:tagi	ッチータキ°	[名]	1
着丈。			
c'i:ti	ッチーティ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
c'i:ti:munu	ッチーティームヌ	[名]	民
火吹き竹。			
c'i:tumi	ッチートゥミ	[名]	5
止血。			
c'i:uci	ッチーウチ	[名]	沖I

ひき臼。木製で、粃殻をとる道具。			
c'iN	ッチン	[名]	4
墨。			
c'iN	ッチン	[名]	昔219
粒。NninuciN; 米の粒。a:nuciN; 粟の粒。			
c'iN	ッチン	[名]	N 122
てっぺん。danu c'iN; 家の上。(N122)			
c'iNbikaci	ッチンピカチ	[名]	3
せんべい。siNbikaci とも言う。			
c'iNbuni	ッチンブニ	[名]	8
遺骨。			
c'iNda	ッチンダ	[名]	生
(植) ネギ<ネギ科>。正確にはワケギ。(植202)			
c'iNdaNki	ッチンダンキ	[名]	生
(植) センダン<センダン科>。この葉は毒で、ウジ虫退治になり、少量を煎じて飲むと下剤となる。セミがよく止まり、タンスやショウギなどを作る。(4)			
c'iNdagani	ッチンダカ°ニ	[名]	こ80
針金。			
c'iNdai	ッチンダイ	[名]	こ40
次第。順序。			
c'iNdukuniti	ッチンドウクニティ	[名]	2
四九日忌。			
c'iNgaci	ッチンガチ	[名]	T
四月。			
c'iNgiruN	ッチンギルン	[動] 6A型*	昔196
死ぬ。老衰。aga c'iNgiri bu:ranuNki narubaN; 自分が死んでいなくなっても…。			
c'iNguci	ッチングチ	[名]	T
洗骨。			
c'iNginubai	ッチンキ°ヌバイ	[名]	1 1
椎の木のひこばえ。昔は松がなかったので正月の門松に使った。(続186)			
c'iNmudiruN	ッチンムディルン	[動] 6A型 c'iNmudjaN	T
つねる。mudiruN 参照。			
c'iNmui	ッチンムイ	[名]	T
積み盛り。御馳走を立てて皿に盛り上げた物。			
c'iNnaja	ッチンナヤ	[名]	1
(植) ツルグミ<グミ科>。ミミズと一緒に、せんじて飲むと熱さましとも言われている			

る。			
c'iNpuru	ッチンブル	[名]	T
頂上。da:nu c'iNpuru; 屋根の頂上。			
c'iNsa	ッチンサ	[名]	素
非情。その人の自分に対する態度が非情であること。c'iNsa kiruN; 気を悪くする。(11)			
c'iNsaN	ッチンサン	[形]	生
憎い。			
c'iNta	ッチンタ	[名]	生
鍋のふた。カヤとトウヅルモドキのつるとで作った山形状のもの。			
c'iNtai	ッチンタイ	[名]	こ80
火遊び。			
c'iNtati	ッチンタティ	[名]	生
(鳥) ヒバリ。			
c'iNti	ッチンティ	[名]	3
(植) キビ<イネ科>。			
c'iNtu	ッチントウ	[名]	民65
火縄。40センチから50センチで、ガジュマルを枯らして藁で包んだもの。			
c'ibaN	ッチバン	[名]	生
<古>小皿。c'ibadara とも言う。			
c'ibadara	ッチバダラ	[名]	T
<古>小皿。今は kudara という。c'ibaN とも言う。			
c'ibagu	ッチバグ	[名]	T
火箱。マッチのこと。c'ikidagi, daNsiki とも言う。			
c'ibai	ッチバイ	[名]	T
切り口。c'ibai hikarigaraja djadidu; 切口に突れたら大変だよ。			
c'ibari	ッチバリ	[名]	T
地割れ。干ばつなどで地面が割れること。			
c'ibati	ッチバティ	[名]	生
(植) ヒハツモドキ<コショウ科>。葉はテンプラにしたり、みそ汁に入れたりすると、香りが良くおいしい。 実のはかげほしにして酒に入れると、薬(腹痛に効く)となる。石垣島では、実をコショウの代用にする。			
c'ibu	ッチブ	[名]	T
壺。酒漬とか塩漬とかをする。			
c'ibu	ッチブ	[名]	T
洗。c'ja:N 参照。			
c'ibu	ッチブ	[名]	T

坪 (広さの単位)。			
c'ibu*	ッチブ	[名]	黒66
急所。			
c'ibuNku	ッチブンク	[名]	1 6
ばち。太鼓を打つ棒。			
c'ibui	ッチブイ	[名]	生
(植) トウガン<ウリ科>。			
c'ibuiki	ッチブイキ	[名]	1 1
(動物の) 発情。			
c'iburari	ッチブラリ	[名]	続120
赤痢。			
c'iburima	ッチブリマ	[名]	こ22
汽船。c'ihurima とも言う。			
c'iburu	ッチブル	[名]	3
千巻。機織り機の一部。織られた織物を巻き取るための木製の円棒。			
c'icceja*	ッチッチャ	[名]	植169
(植) オニタビラコ<キク科>。daragusa とも言う。			
c'ici	ッチチ	[名]	T
すす (煤)。			
c'ici	ッチチ	[名]	T
<古>肉。			
c'ici	ッチチ	[名]	続103
獅子。			
c'icimasi	ッチチマシ	[名]	続103
獅子舞。			
c'iciratiti	ッチチラティティ	[名]	生
(鳥) メジロ。			
c'idama	ッチダマ	[名]	生
火の玉。赤色で、丸い形をして飛ぶ。天火の日に家を建てると、その家族の者にとりつく。			
そして、迷わして自分の家に放火させる。			
c'idi	ッチディ	[名]	生
山や丘のいただき。			
c'idi	ッチディ	[名]	生
次第。訳。			
c'idi	ッチディ	[名]	沖T
(魚) ハマダツ。ダツ科。体が細く長い。体の後部に6個から8個の黒い斑紋をもつ。			

c'idi 堤。	ッチディ	[名]	こ60
c'idi 料亭。	ッチディ	[名]	1 1
c'idiN 鼓。	ッチディン	[名]	無56
c'idiNka ひじ。	ッチディンカ	[名]	生
c'idiNku* 青あざ。	ッチディンク	[名]	黒65
c'idiguti 関節。	ッチディク°ティ	[名]	1 6
c'idigutinusuni* くるぶし。単にsuni とも言う。	ッチディク°ティヌスニ	[句]	黒63
c'idikiruN 続ける。c'idikiranutaN; 続けなかった。	ッチディキルン	[動] 6A型* c'idikjaN*	T
c'idikiti ランプの一種。空缶やインクの空瓶などの真中に穴をあけ、芯を差し石油を入れて火をと す。	ッチディキティ	[名]	5
c'idikituru 灯心ランプ。turu; 灯ろう。	ッチディキトゥル	[名]	5
c'idimaci (植) モクマオウ<モクマオウ科>。白蟻がおおいので嫌がられる。葉がはずせたり、くっ ついたりできる。	ッチディマチ	[名]	4
c'idimaruN かたづく。(どこにも行かず) 死ぬ。c'idimari; (ここで) 死ぬ。	ッチディマルン	[動] 2A型* c'idimaN *	T
c'idimiruN (1) かたづける。unu nida c'idimitigara iranuna; この寝床をかたづけてからしないか。	ッチディミルン	[動] 6A型	生
c'idimiruN (2) やっつける。殺す。退治する。c'idimiruNdu; 殺すヨ。unu uNja aga c'idimi katirurja; この鬼 は私が退治し、捨てるので…。(昔116) agamija c'idimi kati dukirariru; 娘を片付け捨てるこ とができる。(昔174)	ッチディミルン	[動] 6A型*	T
c'idinutagiruN (腕を通して肩に) ひっさげる。かける。idiru c'idinutagiti haruNki ititi; 弁当を引っさげて 畑に行って…。(昔129)	ッチイディヌタキ°ルン	[動] 6A型 c'idinutagjaN	T
c'idiri	ッチディリ	[名]	こ47

硯。			
c'idiributa	ッチディリブタ	[名]	1 1
結婚・結納の時の料理。			
c'idumica	ッチドゥミツァ	[名]	1
(植) 止血草。和名不明。もんでつけると止血作用がある。			
c'igumai	ッチグマイ	[名]	8
恥かしがること。			
c'igumaruN	ッチグマルン	[動] 2A型 c'igumaN	8
しびれる。			
c'igumaruN	ッチグマルン	[動] 2A型	昔68
縮込まる。はずかしくて、小さくなる事。higuN kaNdi cigumaiti bu:rjadu; 灰をかぶって小さくなっていると…。			
c'iguniti	ッチグニティ	[名]	8
四、五日。			
c'iguwa*	ッチグワ	[名]	植50
(植) モクコクモドキ<バラ科>。			
c'ijaN	ッチカ°ン	[名]	生
彼岸。最初の日、わらのたいまつを門の傍で燃やし、先祖を迎える。以後、4日間、仏壇に位牌の数だけ水を供える。それは、後生の人には水に不自由するからだと言われている。最後の日には御馳走をそなえる。そして、夜門の傍にバケツ言れた水、酒、火を付けた線香を置いて送る。			
c'ijaNnuiri	ッチカ°ンヌイリ	[句]	2
彼岸の入り。			
c'igata*	ッチカ°タ	[名]	A 57
田の名。			
c'iji	ッチキ°	[名]	T
より悪いこと。より劣ること。比較して悪い場合に言う。Ndaka c'ijiNdja anu; あなたより悪いんだよ、私は。(S17)			
c'iji*	ッチキ°	[名]	植82
(植) オキナワツゲ<ツゲ科>。クルバシャの歯車の材料とした。			
c'igidagu	ッチキ°ダグ	[名]	T
(昆) 毛虫の一種。1 2 cm位のこげ茶色をして、とげが生えている。年中いるが、特に秋に多い。			
c'iginuki	ッチキ°ヌキ	[名]	こ34
(植) 椎の木。			
c'igu	ッチク°	[名]	生

<移>おし。ababa 参照。				
c'iguN	ッチク [°] ン	[動]	1C型 c'idjaN	1
継ぐ。				
c'iguN	ッチク [°] ン	[動]	1C型 c'idjaN	生
注ぐ。				
c'igui	ッチク [°] イ	[名]		1
さむけがして震える状態。c'iguida:mi; さむけがして震える症状（病気）。				
c'iha	ッチハ	[名]		2
牙。				
c'ihadimi	ッチハディミ	[名]		8
着初め（初めて着る着物）。				
c'ihurima	ッチフリマ	[名]		こ42
蒸気船（火車の意）。c'iburima とも言う。				
c'iju	ッチユ	[名]		T
露。				
c'ika	ッチカ	[名]		こ46
（植）スイカ<ウリ科>。				
c'ikaragi	ッチカラギ	[名]		2
綱引きのとき使う貫棒。				
c'ikidagi	ッチキダギ	[名]		9
マッチ。火付け竹の意。c'ibagu, daNsiki とも言う。				
c'ikuN	ッチクン	[名]		8
うっ血。打撲したとき等にその箇所が血が固まり、紫色になること。				
c'ima	ッチマ	[名]		生
横糸。				
c'ima	ッチマ	[名]		生
島。村落を意味する時もある。				
c'ima	ッチマ	[名]		生
すもう。				
c'imaN	ッチマン	[動]	3A型 c'imasjaN	3
済ます。				
c'imabasu	ッチマバス	[名]		T
糸をとるために植える芭蕉。				
c'imacarasi	ッチマツァラシ	[名]		歴50
島の厄払い。急性伝染病の予防手段として、毎年10月1日にナンタ浜の出入口で行った。				
（歴50）				

c'imaci*	ッチマチ	[名]	A 18
田の名。			
c'imadu	ッチマドゥ	[名]	4
島中。			
c'imaduci	ッチマドゥチ	[名]	こ63
同郷の友。島友。			
c'imahaNti	ッチマハンティ	[名]	5
おはじき陣取り（子供の遊び）。隅の方から石をはじき四角の中に入れる。入れた所が自分の陣地になる。相手の石に当たると、自分の陣地の半分を相手にあげる。			
c'imakana	ッチマカナ	[名]	1
ちょんまげ。			
c'imamai	ッチママイ	[名]	T
島内産の米。在来種の米。			
c'imami	ッチマミ	[名]	生
（動）ヤモリ。			
c'imamiha	ッチマミハ	[名]	5
虫歯。muciba とも言う。			
c'imana	ッチマナ	[名]	生
童名。島名。長男、長女には父方の祖父母の名を付ける。次男、次女には母方の祖父母の名を付け、以下交互に付ける。ただし、入り婿の時は逆になる。			
c'imanagadiNnuci*	ッチマナガディンヌチ	[名]	歴136
新川御嶽の神名。			
c'imanagari	ッチマナガリ	[名]	8
島流れ。流刑。c'imanagasi とも言う。			
c'imanagasi	ッチマナガシ	[名]	こ118
流刑。島流し。c'imanagari とも言う。			
c'imanagimitinuci	ッチマナギミティヌチ	[名]	歴135
泊御嶽の神名。			
c'imaruN	ッチマルン	[動] 2A型 c'imaN	3
詰まる。			
c'imata	ッチマタ	[名]	こ59
辻。			
c'imati	ッチマティ	[名]	2
前夜祭。祭の前日。			
c'imatuja	ッチマトゥヤ	[名]	こ117
すもうをとる人。力士。			

c'imi	ッチミ	[名]	1
罪。			
c'imiNkatjarumunu	ッチミンカタルムヌ	[句]	1 1
世の中から捨てられた人。最低な人という言葉。			
c'imiruN	ッチミルン	[動] 6A型 c'imjaN	5
詰める。			
c'imu	ッチム	[名]	1
肝。心。本来は肝臓の意味であるが、心という意味でも使われる。			
c'imu	ッチム	[名]	生
炊事場。台所。昔は、炊事場のある西側の庭のことにも言っていたようである。(12)			
c'imu tjaN	ッチム テャン	[句]	1
びっくりした時につかう。			
c'imu (:):risaN	ッチム(一)リサン	[名]	生
気の毒である。かわいそうである。			
c'imuN	ッチムン	[動] 1D型	生
積む。			
c'imuN	ッチムン	[動] 1D型	T
済む。			
c'imuN	ッチムン	[動] 1D型 c'imjaN	こ103
(水中に) 潜る。潜水する。鹿児島方言の「すむ」。			
c'imuN	ッチムン	[動] 1D型 cimjaN	こ61
摘む。			
c'imuNdi	ッチムンディ	[名]	昔110
かんしゃく。怒ること。			
c'imuNdiruN	ッチムンディルン	[動] 6A型 c'imuNdirjaN	昔85
怒る (肝が出る)。c'imuNditaja; 怒りだすと。c'imu; 肝。			
c'imuabjaN	ッチムアビャン	[形]	生
心がきれい。			
c'imubagati	ッチムバガティ	[名]	T
満月から新月に至る月。			
c'imuda:ri	ッチムダーリ	[名]	8
気がゆるむ。氣力をなくす事。c'imuta:ri とも言う。			
c'imudami	ッチムダミ	[名]	生
心痛。			
c'imuduruN	ッチムドゥルン	[動] 4A型*	1
心をなだめる。安心する。c'imudurutaN; 安心した。			

c'imugumaN	ッ チ ム グ マ ン	[形]	生
小心である。			
c'imugurisaN	ッ チ ム ク ° リ サ ン	[形]	生
気の毒である。かわいそうである。c'imu(:)risaN とも言う。			
c'imuguti	ッ チ ム ク ° テ ィ	[名]	生
みぞおち。胸の内。(こ97)			
c'imuhaNki	ッ チ ム ハ ン キ	[名]	続75
しゃくにさわること。嫌いなこと。			
c'imuhatarati	ッ チ ム ハ タ ラ テ ィ	[名]	続104
炊事の手伝い。下働き。			
c'imuhiragiNtai	ッ チ ム ヒ ラ ギ ン タ イ	[名]	続54
おったまげた(肝が冷えた)様。			
c'imuhuriNgai	ッ チ ム フ リ ン ガ イ	[名]	こ128
わななく。			
c'imuiiri	ッ チ ム イ リ	[名]	昔32
真面目。肝入り。c'imuiiri hatarati; 真面目に働いて。			
c'imuirini	ッ チ ム イ リ ニ	[副]	昔44
ねんごろに。心をこめて。minugaja kabanaruNki c'imuirini turimuti; 女は平常どうりねんごろにもてなし…。(昔44)			
c'imukagai	ッ チ ム カ ガ イ	[名]	こ127
心残り。わだかまり。			
c'imuki abanaguN *	ッ チ ム キ ア バ ナ グ ン	[句]	c'imukiruN 8
あきれかえる。			
c'imunuda	ッ チ ム ヌ ダ	[句]	T
台所の間。			
c'imunuminukutu	ッ チ ム ヌ ミ ヌ ク ト ウ	[句]	8
奇蹟。			
c'imunusumibana	ッ チ ム ヌ ス ミ バ ナ	[名]	続52
思い初め。			
c'imurisa	ッ チ ム リ サ	[名]	N 128
かわいそう。c'imugurisa とも言う。			
c'imusasaraN	ッ チ ム サ サ ラ ン	[名]	1 1
いらいらすること。心配事がある時など。			
c'imusuri	ッ チ ム ス リ	[名]	こ16
晴ればれとした気持ち。爽快。快活。心配事や考え事が、何も無い状態。c'imusuri:suri: とも言う。			

c'imuta:ri	ッチムターリ	[名]	8
気が緩み、気力が無くなる事。c'imuda:ri とも言う。			
c'imutiki	ッチムティキ	[名]	T
気を静めること。itikukuhanasi umuiNdasiti c'imutiki ki; 一石話を思いだして、気を静め…。 (昔153)			
c'imutikiruN	ッチムティキルン	[動] 6A型*	1 1
心を落ち着かせる。気を静める。			
c'imutugutunaN	ッチムトゥグトゥナン	[句]	1 1
心が落ち着く。			
c'inaN	ッチナン	[名]	生
砂。			
c'inaNda	ッチナンダ	[名]	沖I
砂地の田。			
c'inaNdati *	ッチナンダティ	[名]	A 33
田の名。			
c'inaNdi	ッチナンディ	[名]	生
砂の多い土。芋などを植えるのに良い土。			
c'inagakija	ッチナガキヤ	[名]	1
追いこみ漁。			
c'inakakija	ッチナカキヤ	[名]	1
帆柱の先にある帆綱を通す穴。			
c'ini	ッチニ	[名]	T
足のすね。			
c'iniki *	ッチニキ	[名]	植15
(植) イタジイ<ブナ科>。c'iNgi とも言う。			
c'inikura	ッチニクラ	[名]	T
こむら。ふくらはぎ。			
c'inikurakuri *	ッチニクラクリ	[名]	黒63
こむら返り。ふくらはぎの筋肉が急にけいれんを起こすこと。			
c'ininumidati	ッチニヌミダティ	[名]	こ96
向うすね。			
c'iniumariruN	ッチニウマリルン	[動] 6A型 c'iniumarirjaN	昔121
気に思われる。気配を感じる。			
c'inuhana	ッチヌハナ	[句]	こ86
火花。炎。			
c'inukaN	ッチヌカン	[名]	生

火の神。かまどのほとりに置いてある3つの石が神体で、家と食物に関する願いをする。

c'inukadi	ッチヌカディ	[句]	S 27
日ごと。日頃。			
c'inunagui	ッチヌナク°イ	[句]	9
海鳴り。hinunagui, hicinunagui* とも言う。(続36)			
c'inuti	ッチヌティ	[名]	T
火口。燃え口。火種。NdaiNtu; 火種。			
c'ira	ッチラ	[名]	生
顔。			
c'ira	ッチラ	[名]	生
三味線歌のディバをはさんでいる部分。			
c'ira c'uru t'u	ッチラ ツツル ットゥ	[句]	こ101
面識のある人。顔を知っている人。c'urutu とも言う。			
c'irabiruN	ッチラビルン	[動]	6A型 c'irabjaN N 122
調べる。			
c'iraduNgurasi	ッチラドゥングラシ	[名]	こ61
面汚し。			
c'irakataci	ッチラカタチ	[名]	8
人相。			
c'irakuNda	ッチラクンダ	[名]	歴141
(地) チラクンダ。与那国小学校の近く。アンタドゥミの祭りを行う場所。			
c'iranutaraiti	ッチラヌタライティ	[句]	続39
えくぼ。			
c'iri	ッチリ	[名]	沖I
いもち病。c'iri kagai; いもち病にかかる事。			
c'iri	ッチリ	[名]	T
霧。			
c'iri	ッチリ	[名]	T
きせる (煙管)。			
c'iri	ッチリ	[名]	T
釣瓶。			
c'iriba	ッチリバ	[名]	N 115
<新>塵捨て場。			
c'iribi	ッチリビ	[名]	T
(植) マサキ<ニシキギ科>。c'irubi とも言うか。(植) 仏壇に供える。			

c'iriguruma	ッチリグルマ	[名]	T
釣瓶を上下させる車。			
c'irigani	ッチリカ°ニ	[名]	9
(ランプなどを掛ける) 吊り金。			
c'iru	ッチル	[名]	5
汁。			
c'iru *	ッチル	[名]	黒65
筋。血管。c'iruN 参照。			
c'iruN	ッチルン	[名]	生
血管。			
c'iruN	ッチルン	[名]	生
蔓。			
c'iruN	ッチルン	[動] 6A型 c'jaN	生
擦る。			
c'iruN	ッチルン	[動] 6B型 c'uN	T
(潮が ⁹) 引く。干る。su: c'idu buNgaja;; 潮が ⁹ 引いているかネー。			
c'iruN	ッチルン	[動] 6B型 c'uN <稀>	T
すえる。腐れかける。unu duja c'idu buru; このかゆはすえっている。			
c'iruNmaja *	ッチルンマヤ	[名]	A 55
田の名。c'inuNmaja とも言う。(歴105) ナブガ豊見親という人が、その田を見てチヌンマヤと叫んだことから、その田の名称となって伝わっている。(歴105)			
c'irubi	ッチルビ	[名]	5
(植) チョウメイグサ。昔はこの花を仏壇に飾った。			
c'iruci	ッチルチ	[名]	昔3
印。			
c'iruga	ッチルガ	[名]	生
虹の一種。虹に似ているが、それよりも赤色が多く、短いもの。暴風の来る前日の昼、東南東に出る。			
c'irumaN	ッチルマン	[名]	6
不思議。珍しい。			
c'irumagai	ッチルマガイ	[名]	T
汁碗。			
c'irumi	ッチルミ	[名]	53
類 (たぐい)。tacukui, nitakita 参照。			
c'irunabi	ッチルナビ	[名]	T
汁鍋。			

c'isu	ッチス	[名]	こ36
＜新＞師匠。			
c'isuja	ッチスヤ	[名]	T
タバコ盆。			
c'itakudiruN	ッチタクディルン	[動] 6A型 c'itakudjaN	生
こする。ねじりつぶす。			
c'itatidai	ッチタティダイ	[名]	歴147
(地)のろしを挙げた場所。宇良部岳の東の麓。			
c'iti *	ッチティ	[名]	A 24
田の名。			
c'ituN	ッチトゥン	[動] 4A型 c'itusjaN	T
(指先で)こする。			
c'ituN	ッチトゥン	[動] 4B型	T
切り倒す。			
c'itumiruN	ッチトゥミルン	[動] 6A型 c'itumjaN	5
務める。			
c'iurusi	ッチウルシ	[名]	1 6
妊娠1・2カ月目に流産すること。			
c'ja:N	ッチャーン	[形]	生
渋い。すっぱい。			
c'jo:ciNmaci	ッチョーチンマチ	[名]	沖T
(魚)チビキ。体色は朱紅色。			
c'juhuruma	ッチュフルマ	[名]	T
突棒船。カジキ船。船の先端に人が立ってカジキを突くことから命名。			
c'u:	ッツー	[名]	3
糞。			
c'u:	ッツー	[名]	生
白。			
c'u:ita	ッツーイタ	[名]	沖T
(動)アオノリイカ。4 5 cmにも達する大型のイカ。ヒレは丸みをおび発達している。			
c'u:kabi	ッツーカビ	[名]	4
シロカビ。白いカビ。			
c'u:mai	ッツーマイ	[名]	1 6
米の品種。穂が白く、とげがある。			
c'u:nunu	ッツーヌヌ	[名]	続112
白い布。			

c'u:sata	ッツーサタ	[名]	続112
白砂糖。			
c'uN	ッツン	[動] 1D型	生
へをひる。			
c'uN	ッツン	[動] 1D型 c'jaN	生
着る。			
c'uN	ッツン	[動] 1D型 ?	1
知る。c'anutan; 知らなかった。			
c'uN (1)	ッツン	[動] 1D型 c'jaN	生
切る。ki: c'amiruN; 木を切らす。			
c'uN (2)	ッツン	[補] 1D型 c'jaN	T
…しきれる。可能の意を表わす。dumicuna; 読みきれるか。			
c'uNbuti	ッツンブティ	[名]	沖T
(貝) フシダカキイロダカラ。			
c'uNkimi	ッツンキミ	[名]	2
動物を交尾させること。			
c'uNmu	ッツンム	[名]	生
白い雲。			
c'uNuiNna *	ッツンウインナ	[名]	歴24
黒つく縄。			
c'ubaiNti	ッツバインティ	[名]	生
唾液。			
c'ubara	ッツバラ	[名]	T
後側。			
c'uca	ッツツァ	[名]	生
魔よけの一種。麦わらとか、ススキとかを2・3本重ねて結んだもの。			
c'uca	ッツツァ	[名]	沖I
耕作用農具。土を高い所から低い所に寄せるもの。			
c'uca	ッツツァ	[名]	T
農具の一種。田の盛土を平にするもの。			
c'ucabai	ッツツァバイ	[名]	こ44
白癬(しらくも・みずむし・たむし等の皮膚病)。			
c'ucuN	ッツツン	[動] 1D型 c'icjaN*	生
すする。c'iru c'ucuN; 汁を吸う。			
c'uda:ri	ッツダーリ	[形]	沖4
白い。			

c'uga	ッツガ	[名]	1 1
反物などにつける印。nanairu ata nanairu Ndi c'uga k'iruNsai; 七尋だったら七尋と印をつけるさ。(N)			
c'ui	ツツイ	[名]	生
後。uccu: とも言う。			
c'uibatabari *	ツツイバタバリ	[名]	A 16
田の名。			
c'uiḡatata: *	ツツイカ°タター	[名]	A 18
田の名。			
c'uihaN	ツツイハン	[名]	2
後足。			
c'uimaci *	ツツイマチ	[名]	A 19
田の名。			
c'uimai	ツツイマイ	[名]	2
年子。			
c'uka *	ツツカ	[名]	歴8
年貢。			
c'uma	ツツマ	[名]	生
正午頃。			
c'umadugi	ツツマドゥギ	[名]	沖1
<古>三時頃にとる食事。			
c'umakataNti	ツツマカタンティ	[名]	生
昼さがり。			
c'umaniNdi	ツツマニンディ	[名]	1
昼寝。			
c'unaN	ツツナン	[名]	3
白波。			
c'uri	ツツリ	[名]	5
薬。			
c'urutu	ツツルトウ	[名]	こ101
面識。c'iracurutu とも言う。			
catati *	ツァタティ	[名]	A 55
田の名。			
da(:)saN	ダ(一)サン	[形]	沖 4
ひもじい。da:sa kiranuN; ひもじくない。bataka:ri 参照。			
da:	ダー	[名]	生

8。			
da:	ダー	[名]	生
家。			
da:kiruN	ダーキルン	[動]	6A型 da:kjaN T
家を継ぐ。NdaNki da:kimiruN; お前に家を継がせる。			
da:da:	ダーダー	[感]	8
牛馬に対する掛け声。da:dada*とも言う。(続34)			
da:dada	ダーダダ	[感]	続34
牛馬を止める時の掛け声。			
da:dati	ダーダティ	[名]	婚
分家。bagarikinai とも言う。			
da:duḡuti	ダードゥク°ティ	[名]	T
家の出入口。			
da:haN	ダーハン	[名]	昔3
家判 (人頭税時代の語)。			
da:hai	ダーハイ	[名]	8
厄介。dakkai とも言う。			
da:mutu	ダームトゥ	[名]	4
本家。			
da:nai *	ダーナイ	[名]	こ108
家鳴り。			
da:niNdu	ダーニンドゥ	[名]	T
家族。			
da:nuciNpuru	ダーヌチンプル	[名]	T
屋根の一番高い所。			
da:nudugu	ダーヌドゥグ	[句]	9
家財道具。duguhjagu とも言う。			
da:nukita	ダーヌキタ	[句]	N 141
家の桁。			
da:nuna	ダーヌナ	[名]	T
姓。姓と名を区別して言う時の語。			
da:ridari	ダーリダリ	[名]	1 2
垂れ下がっているさま。da:ridari sutaba; 垂れて来たので。(昔95) NniNki da:ridari sutaba- du k'aNki ututjaru; みかんの木が垂れていたのので (支え棒を) 置いた。(12)			
da:samunu	ダーサムヌ	[名]	T
飢えた者。貧乏人。			

da:tu	ダートゥ	[副]	昔121
やっと。da:tusi nuihiti; やっとで登って来て…。(昔60)			
daNbaru	ダンバル	[名]	沖T
(魚) ルリハタ。体は楕円形で平い。青色で背にそって黄帯が走っている。			
daNbarukucabi	ダンバルクツァビ	[名]	沖T
(魚) ニシキベラ。頭に鱗がない。胸びれの根元が赤い。			
daNda *	ダンダ	[名]	A 26
田の名。			
daNdaN	ダンダン	[名]	昔81
段々。数々。abutaga maisibi anuja aharinu daNdaN kucisakidu; お母さんが亡くなられて私は苦勞の数々を苦勞して。			
daNdaN	ダンダン	[副]	昔3
あれこれ。iruiru daNdaN; 色々、あれこれ。			
daNdaN	ダンダン	[動] 3A型 daNdasjaN	3
破る。こわす。daNburaN とも言う。			
daNdaNta	ダンダンタ	[名]	沖I
田の一種。幾段にもなっている田。			
daNdati *	ダンダティ	[名]	A 26
田の名。			
daNdatinuhana *	ダンダティヌハナ	[名]	A 61
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。			
daNdimai	ダンディマイ	[名]	沖I
破れ米。実らない稲。			
daNdimunu	ダンディムヌ	[名]	昔67
破れた物。sumutinu daNdimunu; 本の破れた物。			
daNdiruN	ダンディルン	[動] 6B型 daNduN	生
破れる。こわれる。wasiki daNdiruN; 天気が悪くなる。kucu daNduN; 靴が破れている。			
daNduN	ダンドゥン	[副]	昔13
なるほど。なるほど、それでの意。			
daNgasa	ダンガサ	[名]	こ113
洋傘。sana 参照。			
daNnu *	ダンヌ	[名]	A 61
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。			
daNnuhana *	ダンヌハナ	[名]	A 61
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。			
daNnumi	ダンヌミ	[名]	T

暗闇。			
daNnumura *	ダンヌムラ	[名]	歴75
<古> (地) 古い村落の名。			
daNpacija	ダンパチヤ	[名]	続243
理容店。			
daNsaN	ダンサン	[形]	沖 4
悲しい。			
daNsiki	ダンシキ	[名]	生
マッチのこと。c'ikidagi, c'ibagu とも言う。			
dabadati	ダバダティ	[名]	生
柔軟な様。			
dabici *	ダビチ	[名]	植78
(植) オオバギ<トウダイグサ科>。			
dabira	ダビラ	[名]	T
ペシャンコ。物を平たく押しつぶしたさま。			
dabiraNkaN	ダビランカン	[動] 3A型	生
平たくする。ペシャンコにする。			
dabusa	ダブサ	[名]	こ110
(薬品名) みょうばん。カイセンの薬として使用した。(9)			
dabusa	ダブサ	[名]	8
やぶ医者。			
dacaN	ダツァン	[形]	生
易しい。dacaru munu; 安い物。dacagusi ui; 安くして売れ。			
daci	ダチ	[名]	生
(植) ヤシ<ヤシ科>。			
daci	ダチ	[名]	T
だし。だし汁。			
daciNbana	ダチンバナ	[名]	3
八つ花模様。			
dacidaci	ダチダチ	[副]	昔137
やすやす。dacidaci munarirunai; やすやすと物が言えるか。(昔137)			
daciju *	ダチュ	[名]	植204
(植) ナンゴククサスギカズラ<ユリ科>。			
dacimi	ダチミ	[名]	T
休み。			
dacimunu	ダチムヌ	[名]	こ108

安物。itaujaja dacimunuti; ああ、たやすい事だ。			
dacinuusai	ダチヌウサイ	[名]	8
祝いの大盛御馳走。竹の串に御馳走を7品か9品貫いたもの。			
daciui	ダチウイ	[名]	こ108
安売り。daccagusi ui とも言う。			
dadigutati *	ダディグタティ	[名]	A37
田の名。			
dadu	ダドゥ	[名]	生
戸。			
daduja	ダドゥヤ	[名]	T
宿屋。dadujani tumiruN; 宿屋に泊める。			
daga	ダガ	[名]	2
(動) ジャコウネズミ。当地ではジャコウネズミを「もぐら」と理解している。			
dagamasaN	ダガマサン	[形]	1
喧しい。			
dagariruN	ダガリルン	[動] 6A型 dagarjaN	昔168
抱かれる。			
dagaruNgiN	ダガルンギン	[名]	T
土の一種。フカフカした、こわれやすい土。			
dagata	ダガタ	[名]	こ126
脇ばら。			
dagata *	ダガタ	[名]	A13
田の名。			
dagati	ダガティ	[副]	昔45
やがて。ma:dagati kuNdu; もうやがて来るよ。			
dagi	ダギ	[名]	黒66
熱。			
dagi (1)	ダギ	[名]	昔141
同様。agami dagi ka:nai burutasi; わが子同様に飼っていた。			
dagi (2)	ダギ	[名]	T
…しよう。文末にきて、意志・勧誘を表す形式名詞。maduN sikama kiNdagidu; 一緒に仕事しようね。(13)			
dagiki	ダギキ	[名]	生
通夜。			
dagina	ダギナ	[名]	生
(魚) 海にいる小さなウナギ。			

daginanaruN やせる。	ダギナナルン	[動] 2A型	生
dagja 竹。tagi 参照。	ダギャ	[名]	8
dagu はう虫（幼虫）の総称。虫（成虫）をムチと言う。	ダグ	[名]	生
dagunN 焼く。hatagi datjaN; 畑を焼いた。dagi; 焼け。	ダグン	[動] 1B型 datjaN	1
dagunN 抱く。	ダグン	[動] 1B型 datjaN	昔178
dagubarai 厄ばらい。	ダグバライ	[名]	4
dagudu 約束。約定。	ダグドゥ	[名]	4
dagudu 役所。asani とも言う。	ダグドゥ	[名]	資
daguniN 役人。dakuniN とも言う。	ダグニン	[名]	昔204
dagusa 島内の役人。	ダグサ	[名]	1 0
dagusamiagami 私生児。	ダグサミアガミ	[名]	こ36
dagusamibiNga: 男やもめ。	ダグサミピンガー	[名]	2
dagusamiminuga 未亡人。	ダグサミニヌガ	[名]	2
daga * ＜古＞地名。所野飛行場の南崖付近。	ダカ°	[名]	歴73
daju （舟の）かい。	ダク°	[名]	生
daju だんご。	ダク°	[名]	T
dahu お灸をすえる人。	ダフ	[名]	T
dahuta 豚肉を味噌で味付けした物。	ダフタ	[名]	生

dai	ダイ	[名]	こ51
代。値段。			
daiba	ダイバ	[名]	生
すりばち。			
daibaN	ダイバン	[名]	3
5 k g位の大きさの鰹。			
daibanubutu	ダイバヌブトゥ	[名]	生
すりこぎ。			
daidai	ダイダイ	[名]	1 4
ままごと。munuNtai とも言う。			
daidibu	ダイディブ	[名]	7
大丈夫。daidubu とも言う。			
daidubu	ダイドゥブ	[名]	こ52
大丈夫。daidibu とも言う。			
daigu	ダイグ	[名]	T
大工。			
daigu	ダイク°	[名]	続55
權。久部良の方言。			
daigurusi	ダイク°ルシ	[名]	T
おろし板。芋をくずす道具。板にたくさんの竹釘を植えこみ、齒にした物。芋の澱粉を作る時に用いる。			
daimjo:dagi	ダイミョーダギ	[名]	生
(植) カンザンチク<イネ科>。やや太く、天井・垣・ヘチマの棚などを作る。			
daimuN *	ダイムン	[名]	植183
(植) カンザンチク<イネ科>。			
daimugu	ダイムグ	[名]	こ50
臓器。内臓。batakuru とも言う。			
dainumunu	ダイヌムヌ	[名]	2
引手物。祝い物。			
daisaN	ダイサン	[名]	こ30
<新>財産。			
daisibi:	ダイシビー	[名]	沖T
(魚) キハダ<サバ科>。			
daiti	ダイティ	[名]	7
棚。小さな台。			
daja	ダヤ	[名]	生

岩の下にあいている大きな穴。洞窟。			
dajanukuci *	ダヤヌクチ	[名]	A 30
田の名。			
dajati *	ダヤティ	[名]	A 61
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
dakaN	ダカン	[名]	T
やかん。			
dakju	ダキュ	[名]	T
(植) ラッキョウ。			
dakkai	ダッカイ	[名]	こ108
厄介。da:hai とも言う。			
dakoki	ダコキ	[名]	沖I
<新>脱穀機。			
daku	ダク	[名]	T
楽。			
dakuniN	ダクニン	[名]	こ20
官吏。役人。dagusa; 少し身分が低い役人。			
dama	ダマ	[名]	生
山。			
dama	ダマ	[名]	1
邪魔。dama kiNna; 邪魔するな。			
dama	ダマ	[名]	3
糸車。			
dama	ダマ	[名]	生
牛にひかせる鋤。			
dama	ダマ	[名]	こ15
ねずみ、鳥等をとるための仕掛け。			
dama	ダマ	[名]	8
為様 (しごま)。sizjama とも言う。			
dama	ダマ	[名]	T
(地) 八重山。石垣島。八重山諸島の文化・行政・経済の中心地。damaNcima とも言う。			
damaN	ダマン	[動] 3A型 damasjaN	2
痛ます。haN damasjaN; 足を痛ました。			
damaN	ダマン	[動] 3A型 damasjaN	2
だます。あやす。aɣami damaN; 子供をあやす。			
damaNgu	ダマング	[名]	8

わんぱく。tippa 参照。

damaNguhibida	ダマングヒビダ	[名]	続228
(動) 山羊のボス。黒色の山羊で、水納島から移入。			
damaNniN	ダマンニン	[名]	T
(植) 山ミカン <ミカン科>。			
damaadagi	ダマアダギ	[名]	8
開墾。山開墾。			
damaadanusu *	ダマアダヌス	[名]	植170
(植) ツルアダン<タコノキ科>。			
damaagi	ダマアギ	[名]	こ17
開墾。山開墾。			
damaamiti	ダマアミティ	[名]	5
山道。			
damabigui *	ダマビク°イ	[名]	植194
(植) シマクワズイモ<サトイモ科>。			
damabuci	ダマブチ	[名]	生
山武士。暴れん坊。			
damacibu	ダマチブ	[名]	8
(動) カナヘビ (金蛇)。山にいて、ヤモリに似ている。			
damacirubi	ダマチルビ	[名]	生
(動) イモリ。			
damacirugi *	ダマチルギ	[名]	植86
(植) コクテング<ニシキギ科>。			
damadabari *	ダマダバリ	[名]	A 30
田の名。			
damadati *	ダマダティ	[名]	A 13
田の名。			
damaduamiti	ダマドゥアミティ	[名]	T
(地) 道の名。比川村落の東側の浜から登って行く道。			
damahata	ダマハタ	[名]	無2
旗の一種。ウガンフトゥティ (豊年祭) に使われる。			
damahirumi	ダマヒルミ	[名]	歴14
(動) 八重山ヒルミ (カニの一種)。八重山の役人達の卑称として使う。			
damaja	ダマヤ	[名]	こ96
無口な人。			
damakaNna	ダマカンナ	[名]	生

(動) ヤマガニの一種。オスはずっと山の土の中に穴を掘っている。メスは旧暦の6月13日、14日頃、卵を洗いに海に来る。			
damakadaNku	ダマカダंक	[名]	こ108
(昆) 蕨蚊。			
damakatagai	ダマカタカ°イ	[名]	昔115
山陰。			
damakatana	ダマカタナ	[名]	T
山刀。			
damakida *	ダマキダ	[名]	植123
(植) ヤワラケガキ<カキノキ科>。山地生の kida (リュウキュウコクタン) の意。			
damakubuci *	ダマクブチ	[名]	植190
(植) オオヒメクグ<カヤツリグサ科>。			
damami	ダマミ	[名]	沖T
(動) ヤマガメ。山にいる亀のこと。			
damamiNcibu *	ダマミンチブ	[名]	続65
(動) カナヘビ (金蛇)。			
damamitati	ダマミタティ	[名]	続67
(鳥) カワセミ。田んぼの近くに住み、稲を食い荒す。山ばとより、少し小さい。			
damamu *	ダマム	[名]	植121
(植) タイミンタチバナ<ヤブコウジ科>。			
damamunu	ダマムヌ	[名]	1
邪魔者。			
damanami	ダマナミ	[名]	こ34
山並み。各々言う事が違うことの比喩として用いることがある。(8)			
damanari	ダマナリ	[名]	6
山彦。kicinari とも言う。			
damanusugu	ダマヌスグ	[名]	昔204
山の底。深山。			
damanutuNdiguti	ダマヌトゥンディグティ	[名]	8
山の出入口。			
damariNkitama *	ダマリンキタマ	[名]	植80
(植) クスノハガシワ<トウダイグサ科>。			
damarubaN *	ダマルバン	[名]	植47
(植) ヒイラギズイナ<ユキノシタ科>。			
damarugi *	ダマルギ	[名]	植191
(植) イヌホタルイ<カヤツリグサ科>。			

damasiNka	ダマシンカ	[名]	T
同一の拝所を拝む集団。			
damasikama	ダマシカマ	[名]	こ120
林業。山仕事。			
damata	ダマタ	[名]	沖I
田の一種。山田。荒地になっている田。			
damatanaga *	ダマタナガ	[名]	A 57
田の名。			
damatu	ダマトゥ	[名]	T
大和。本土。昔は琉球王朝に対して大和朝廷を指した。			
damatubaru	ダマトゥバル	[名]	歴107
(地) ダマトゥバル。北帆安道路から屋手久路へ入る東側の丘。			
damatuhaga	ダマトゥハガ	[名]	T
大和墓。平家の落武者たちの墓と言われている。歴.97 参照。			
damatuhiru	ダマトゥヒル	[名]	沖I
(植) 田草の一種。			
damatuku:	ダマトゥクー	[名]	T
大和香。黒緑色の線香。葬式の時に用いる。			
damatukujumi	ダマトゥクユミ	[名]	8
大和暦。カレンダー。一年、又は一月ごとになっている暦。hasirakuyumi; (日めくりの暦) に対する語。			
damatumizjuN	ダマトゥミジュン	[名]	続70
(魚) キビナゴ。ニシン目の海魚。体長約10センチメートル。イワシ型。単にmizjuNとも言う。			
damatusa	ダマトゥサ	[名]	こ120
大和茶。緑茶。			
damatuuci	ダマトゥウチ	[名]	生
大和臼。回りを竹でめぐらし、中に土、葉などを入れてかためた臼。大型の土製のもので臼の摩擦面には、長さ15センチ、幅10センチほどのカシノキの木片が縦に埋め込まれている。			
damauNti	ダマウンティ	[名]	植209
(植) ダイジョ<ヤマノイモ科>。山芋(こ109)。			
damauNti *	ダマウンティ	[名]	植209
(植) キールンヤマノイモ<ヤマノイモ科>。ダイジョも意味することがある。			
damauNtidagu	ダマウンティダグ	[名]	T
(昆) 山芋虫。青地に白の斑点があり、芋のかずらによくいる。			

dami	ダミ	[名]	1
痛み。病気。c'i:sidaminu damiduburu; 火で焼くような痛み。ara:kudaminiduhiNnagiru; 激痛。			
damiagai	ダミアカ°イ	[名]	こ109
病みあがり。			
daminududu	ダミノドゥドゥ	[句]	8
病気の養生。			
damiruN	ダミルン	[動] 6A型 damjaN	5
やめる。			
damitu	ダミトゥ	[名]	こ81
病人。			
damuN	ダムン	[動] 1D型 damjaN	3
病む。痛む。			
danaci	ダナチ	[名]	こ107
悪い日。厄日。barusaru hiniti とも言う。(9)			
danahanasi	ダナハナシ	[名]	9
悪い話。danasata とも言う。			
danakagi	ダナカギ	[名]	こ39
醜い女。			
danakutu	ダナクトゥ	[名]	昔13
悪い事。darusarukutu とも言う。			
danamunu	ダナムヌ	[名]	昔120
悪者。			
danasaN *	ダナサン	[名]	植73
(植) シマヤマヒハツ<トウダイクサ科>。			
danasata	ダナサタ	[名]	こ39
悪いうわさ。danahanasi とも言う。			
danasimuti	ダナシムティ	[名]	T
意地の悪い人。			
danasimuti	ダナシムティ	[名]	1 2
悪い心。			
danatagumi	ダナタグミ	[名]	昔86
悪巧み。			
danatina	ダナティナ	[副]	T
ゆっくり。durituri 参照。			
danawasiki	ダナワシキ	[名]	4
悪天候。			

daniNgu	ダニング	[名]	T
＜新＞ランニングシャツ。			
daniNkaci	ダニンカチ	[名]	8
大昔。dani は、おもろ語「だに」にあたり「本当に」の意。			
danuNni	ダヌンニ	[句]	1 0
家の棟（むね）。			
danubaN	ダヌバン	[句]	こ121
留守番。家の番。			
danuci	ダヌチ	[名]	こ4
家主。			
danuciN *	ダヌチン	[名]	こ108
屋根。			
danukamaci	ダヌカマチ	[名]	歴22
祝詞。			
danukubi	ダヌクビ	[名]	生
壁。			
danuna	ダヌナ	[名]	生
屋号。			
dapai	ダパイ	[名]	T
喧嘩する前などににらみ合うこと。			
daraN	ダラン	[形]	沖4
柔らかい。			
daraN	ダラン	[動] 3A型 darasjaN	2
遣る。つかわす。kaisi darai; 返事を出しなさい。usagi darasjaN; 帰っていただく。(16)			
umi bu:taru minuŋaja nuta: NmaNki darasjaN; そこにいた女はどうしたのか、どこに行ったのか。(昔120) bagidaraN; 手分けして行かせる。(11)			
darabu	ダラブ	[名]	生
(植) テリハボク＜オトギリソウ科＞。木は建築材料、器具などに用いる。種子から灯油を取った。			
daradara	ダラダラ	[形]	昔77
ダラダラ (液体などが流れる様子)。ci: daradaraki: bu:taba; 血がダラダラ流れているので…。			
daragusa *	ダラグサ	[名]	植169
(植) オニタビラコ＜キク科＞。c'icja とも言う。			
daragaN	ダラカ°ン	[動] 3A型	生
やわらかくする。			
daraguN	ダラク°ン	[動] 1C型	生

やわらかくなる。体が弱くなる。			
daratati	ダラタティ	[名]	3
柔らかい状態。daratatinu icibugu; 柔らかい石。			
dariruN	ダリルン	[動] 6B型 daruN	T
だれる。du: daruNsai; 体がだれたでしょう。			
daru	ダル	[名]	沖T
(魚) ホシサヨリ。体が細く長い。			
darusaN	ダルサン	[形]	生
だるい。			
dasa-kiruN	ダサ キルン	[動] 6A型	7
ひもじがる。da:sakiranuN; ひもじくない。			
dasai	ダサイ	[名]	T
<新>野菜。古くは atakui といっていた。			
dasaihatagi	ダサイハタギ	[名]	1
<新>野菜畑。			
dasakagi-NniruN	ダサカギ ンニルン	[句]	続60
餓死する。da:sakiti NniruN よりもひどい餓死の仕方。			
dasakiruN	ダサキルン	[動] 6A型	7
飢える。dasakiti NniruN; 餓死する。			
dasika	ダシカ	[名]	4
(植) ハリツルマサキ<ニシシギ科>。杖に使う。「植149」には、シマミサオノキ<アカネ科>とする。			
dasiki	ダシキ	[名]	昔76
屋敷。duhu とも言う。			
dasikihatagi	ダシキハタギ	[名]	1
屋敷内の畑。			
datana	ダタナ	[助]	T
…しながら。同時の動作を表す接続助詞。Nmu Nnidatana niNdidu buru; 雲を見ながら寝ている。Ndaja katid atana anuNki kagamiranuN; 君は書きながら私には書かさない。			
dati	ダティ	[名]	生
小屋。小屋の傍にある倉庫など。			
datigu	ダティグ	[名]	歴2
(地) 屋手久。与那国町内の字名。東崎の近くにある。末尾の地図参照。			
datigu *	ダディグ	[名]	植208
(植) ハマオモト<ヒガンバナ科>。			
datigukui *	ダティグクイ	[名]	歴146

<古>毎年旧の八月に行われる祭事。

datiku	ダティク	[名]	3
畑の名称。			
datikucidi	ダティクチディ	[名]	ま5
(地) ダティクチディ。昔、遠見番があった。(T)			
datikukui	ダティククイ	[名]	ま16
ダティク祭りの時に使用する小屋を建てること。			
datimunu	ダティムヌ	[名]	こ64
陶器。			
datitubu	ダティトゥブ	[名]	続228
焼豆腐。			
datiuja	ダティウヤ	[名]	1 0
抱き親。人に頼んで抱いてもらう事により、いい子に成長する事を願う。			
datu-kiruN	ダトゥキルン	[動]	6A型 datukjaN 生
移植する。			
datudagi	ダトゥダギ	[名]	無76
祝いの言葉。新築落成した時に「幸多かれ」と祈るお祝いの言葉。			
datugu	ダトゥグ	[名]	生
床の間。			
di	ディ	[助]	T
…から (経由。起点を表わす格助詞)。kumadi kamaNki bagiN aiguN; ここを通ってあそこまで歩く。hacinukamadi hiri; 橋のむこうを通って行け。Nditi umadi hjuru tuduti; 言ってそこから出て行ったって。(昔63)			
di:	ディー	[名]	生
地。地面。布などの模様のない部分。			
di:	ディー	[名]	1
(植) イ<イネサ科>。畳表にする。熱がある時、この根と dimimi: (ミミズ) を一緒にせんじて飲むと良いと言われている。			
di:	ディー	[名]	生
字。			
di:	ディー	[感]	8
さあ。誘いかける語。di:aNbiNdi:; さあ、遊びに行こう。di:di:di:; 行こう、行こう。			
di:baru	ディーバル	[名]	沖I
水はけの為の溝。大雨等で、苗や稲に大水の負担がかからないように堀ったもの。			
di:budi	ディーブディ	[名]	無29
デー踊り。			

di:ju	ディーユ	[名]	沖I
稲穂のしん。			
di:mami	ディーマミ	[名]	3
(植) ラッカセイ。落花生。			
di:nuaNda	ディーヌアンダ	[名]	5
脳。			
di:tugara	ディートゥガラ	[名]	T
(動) ヘビの一種。20cm位で、サキシマアカマタよりも小さい。			
diN	ディン	[名]	生
銭。お金。			
diN	ディン	[名]	T
お膳。			
diN	ディン	[名]	生
来年。			
diN	ディン	[名]	昔102
礼。お辞儀。usubi diN kiti; (頭を) 下げたお辞儀をして…。			
diNbaN	ディンバン	[名]	16
順番。			
diNbuN	ディンブン	[名]	T
知恵。考え。diNbuN NdaN; 知恵を出す。diNbuNnu aru t'u; 知恵のある人。			
diNbuNtura	ディンブントウラ	[名]	続53
非常識な者。			
diNdagi *	ディンダギ	[名]	N161
<古> (地) ディンダギ。お金の沢山ある森という意。現在はウブディバルと言っている。			
diNdimunu	ディンディムヌ	[名]	T
同じ年の人。			
diNgi	ディンギ	[名]	5
石ナグ (子供の遊び)。石をたくさん取った人が勝ち。duNgi 参照。			
diNgi *	ディンギ	[名]	植70
(植) ゲッキツ<ミカン科>。			
diNgiri	ディンギリ	[名]	生
茶筒。			
diNkani	ディンカニ	[名]	8
銭。お金。diN とも言う。			
diNkuru	ディンクル	[名]	1
財布。銭袋。			

diba	ディバ	[名]	生
かんざし。			
diba	ディバ	[名]	生
三味線歌の糸を調節する棒。			
dibaN	ディバン	[名]	T
<新>じゅばん。下着。			
dibarubarai *	ディバルバライ	[名]	歴146
<古>田原川の治水の祈願祭。田原川を清掃して水の神に祈る。(ま12)			
dibata	ディバタ	[名]	3
地機。			
dibuN	ディブン	[名]	生
時分。			
diciN	ディチン	[名]	昔196
立身。(親が) 子供を一人前にさせる事。diciN kimjaNdu; 結婚させたよ。(12)			
diduriruN	ディドゥリルン	[動] 6B型 diduruN	生
よろめく。diduri turuN; よろめいて倒れた。			
digaN *	ディガン	[動] 3A型* digasjaN	T
でかす。unut'uja digasjaN di suihii; その人は「本当に良かった、でかした。」と連れて行った。 (昔178) maikui digasiwarujuNgara; 米作りに成功なさったのだから…。(昔93)			
digibuci	ディギブチ	[名]	7
秀才。学問的に秀れた人。digibusi とも言う。			
digiruN	ディギルン	[動] 6B型 diguN	T
できる。作る。可能の意味はない。c'uN 参照。			
diguci	ディグチ	[名]	8
<新>理屈。digucina munu; 理屈の多い者。ずるがしこい者。			
digana	ディカナ	[名]	沖I
(植) 田草の一種。和名不明。引き抜こうとすると途中からよく切れる。			
diŋiki	ディキ°キ	[名]	8
(植) オキナワツゲ<ツゲ科>。c'iNgi 参照。			
digui	ディク°イ	[名]	8
(植) デイゴ<マメ科>。			
dihata	ディハタ	[名]	1 2
地織機。			
diiru	ディイル	[名]	こ34
地色。			
dikaN	ディカン	[名]	T

時間。			
dima	ディマ	[副]	S 26
…でも。nai diNdima ataja; 今お金でもあったら…。			
dima	ディマ	[名]	8
土間。			
dimaN	ディマン	[名]	S 66
自慢。			
dimajuti	ディマユティ	[名]	8
(動) サソリ。			
dimama	ディママ	[名]	こ125
自分勝手 (わがまま)。dukatti (N), dugusama 参照。			
dimaminuti	ディマミヌティ	[名]	ま20
お供えする御馳走の中の一品。落花生を抜いて、色をつけたもの。			
dimimi	ディミミ	[名]	生
(動) ミミズ。			
dimiti	ディミティ	[名]	昔153
陸の道。海上の道に対する語。			
dina	ディナ	[名]	8
汚い物。dinanu t'u; 汚い人。			
dinaN	ディナン	[形] 特殊	生
汚ない。			
dinaNda *	ディナンダ	[名]	黒41
脳。脳みそ。di:nuaNda 参照。			
dinaga	ディナガ	[名]	生
地面。			
dinaganu iti	ディナガヌ イティ	[名]	4
かげろう。「地面の息」の意。			
dinaru c'a	ディナル ッツァ	[句]	1 2
雑草。汚い草。			
dinudi	ディヌディ	[名]	昔158
登記。di:nudi; (あの人から) 地を抜き。			
dinukukuti	ディヌククティ	[句]	こ125
わい軀。背の低い人をばかにして使う言葉。(8)			
dippa	ディッパ	[名]	8
<新>立派。			
diraba	ディラバ	[名]	生

歌謡の一種。進水式、棟上げ式の時や、旅に出る時、その良き将来を願って歌う。八重山ではジラバと言う。

diru	ディル	[名]	生
いろいろ。			
ditigudama	ディティク°ダマ	[名]	歴136
ディティグ山。			
ditiguugaN	ディティク°ウカ°ン	[名]	2
ディティクという所の拝所。			
ditu	ディトゥ	[名]	こ40
種痘。			
dja	ジャ	[助]	T
…だよ。終助詞。mati butaga sudu kuNdja; 待っていたが今日来るんだよ。			
dja(:)di	ジャ(一)ディ	[名]	T
大変。大ごと。dja:dido;; 大変だよ。dja:dina kutu; 大変な事。			
du	ドゥ	[助]	沖M
…ぞ。強意の係助詞。ma: umuicidu buru; もうあきらめている。gumatatinu munudu nuguiburudo;; 小さい物しか残っていない			
du	ドゥ	[助]	T
ぞ(強意の終助詞)。aragu daNnai buja, amidu; 大変曇っているが、雨だぞ。niNsagu naidu burudu; 遅くなっているぞ。			
du	ドゥ	[名]	N112
…の中。…じゅう。cimadu; 島中。			
du(:)di	ドゥ(一)ディ	[名]	4
<新>上手。			
du(N)guni	ドゥ(ン)グニ	[名]	1
欲張り。			
du:	ドゥー	[名]	生
4。			
du:	ドゥー	[名]	生
門の前の道。			
du:	ドゥー	[名]	生
牧場の入口。			
du:	ドゥー	[名]	3
湯。			
du:	ドゥー	[名]	T
体。自分。			

du:	ドゥー	[名]	T
おかゆ (粥)。			
du:	ドゥー	[名]	T
用。dudu とも言う。du:du naranuN; 用にならない (役に立たない)。			
du:diN	ドゥーディン	[副]	
どうぞ。どうか。taNdi du:diN; どうかお願いします。			
du:digi	ドゥーディギ	[名]	2
豊作。上出来。			
du:digiruN *	ドゥーディギルン	[動]	6A型 du:diguN 沖I
良く出来る。豊作になる。			
du:ga	ドゥーガ	[名]	生
明明後日。			
du:gaNdu	ドゥーガンドゥ	[名]	昔179
健康。元気。単に gaNdu とも言う。			
du:gaci	ドゥーガチ	[名]	T
1 0 月。			
du:icigaci	ドゥーイチガチ	[名]	T
1 1 月。			
du:itiniti	ドゥーイティニティ	[名]	T
1 1 日。1 2 日以後は此に準ずる。			
du:ja	ドゥーヤ	[名]	こ123
牢屋。			
du:jagu	ドゥーヤグ	[副]	昔123
ようやく。やっと。			
du:minuN	ドゥーミン	[名]	沖I
凶作。「世界報が無い」の意。			
du:mui	ドゥームイ	[名]	昔56
重箱に詰めたご馳走。			
du:nai	ドゥーナイ	[名]	昔198
身動き。			
du:ni	ドゥーニ	[名]	8
一年忌。du nu duni とも言う。			
du:nigaci	ドゥーニガチ	[名]	T
1 2 月。			
du:nisi	ドゥーニシ	[名]	昔223

十二支。ni; 子。uci; 丑。tura; 寅。u; 卯。taci; 辰。mi; 巳。Nma; 午。hici; 未。saru; 申。turi; 酉。iN; 戌。bi; 亥。

du:nui	ドゥーヌイ	[名]	沖I
豊作。世直り。			
du:ri	ドゥーリ	[名]	昔118
由来。ibari とも言う。			
du:uti	ドゥーウティ	[名]	8
近い親戚。身内。			
duN	ドゥン	[名]	T
弓。玉祭の時の神器。			
duN	ドゥン	[名]	昔224
順。maibaraNki suru duN; 前に来た順。			
duN	ドゥン	[名]	昔213
夜。duru とも言う。			
duNbai	ドゥンバイ	[名]	T
寝小便。			
duNbi	ドゥンビ	[名]	昔181
準備。duNbi kiranutu; 準備しないと…。			
duNgi	ドゥンギ	[名]	T
石ナグ（遊技の一種）。diNgi 参照。			
duNgurimiN	ドゥングリミン	[名]	こ13
汚れ水。			
duNgurimunu	ドゥングリムヌ	[名]	こ14
汚れ物。			
duNguru	ドゥングル	[名]	生
（植）カクレミノ＜ウコギ科＞。昔はこの樹皮から灯油を取った。			
duNgi	ドゥンキ°	[名]	沖I
苗と苗の間をはかる竿。			
duNgu	ドゥンク°	[名]	昔181
道具。			
duNguN	ドゥンク°ン	[動] 1B型 duNdjaN	8
ゆすぐ。t'i: duNguN; 口をゆすぐ。duNgi; ゆすぎなさい。			
duNkagadiruN *	ドゥンカガディルン	[動] 6A *	1 2
崩れる。abutaja duNkagadi nati; 母は泣き崩れ…。duNkagadi nati; 一人で泣き崩れ…。			
duNkanigusai *	ドゥンカニグサイ	[名]	年182
ドゥンカニグ祭。クブラ祭り。久部良で行われる海賊退散の祈願祭。			

duNkari	ドゥンカリ	[名]	T
ゆがくこと。			
duNkuN	ドゥンクン	[動] 1A型 duNtjaN	1
湯がく。ゆでる。(暑さで) うだる。			
duNni *	ドゥンニ	[副]	資
十分に。			
duNnupa	ドゥンヌパ	[名]	T
弓矢。玉祭の時の神器。			
duNpani	ドゥンパニ	[名]	生
尾。			
duNsa	ドゥンサ	[名]	T
<新>巡査。			
duNta	ドゥンタ	[名]	生
歌謡の一種。農民の生活や男女関係を歌った内容のものが多。八重山ではユンタという。			
duNtuniḡai	ドゥントゥニカ°イ	[名]	無76
ドント願。新築落成の時の願。家主の兄弟の中の女の年上の方に、お祈りしていただく。			
duaN	ドゥアン	[名]	生
夜網。夜しかける網。午前3、4時頃が満潮になる時に網をしかけておき、明け方の干潮に取る。			
duagamja	ドゥアガミヤ	[名]	沖T
(魚) ミヤコテング。尾の根元に2個の骨板突起をもつ。そのまわりは燈色。			
duagigata	ドゥアギガタ	[名]	生
夜明け方。			
duagihuci	ドゥアギフチ	[名]	生
明けの明星。			
dubada	ドゥバダ	名	9
健康な体。dubara とも言う。			
dubagu	ドゥバグ	[名]	T
重箱。			
dubagunuhana	ドゥバグヌハナ	[名]	T
重箱の周囲の飾り。赤と白の紙を少しずらせて重ね、折目を入れた物。			
dubara	ドゥバラ	[名]	T
健康な体。dubada とも言う。dubara mutiwariju; 健康な体を保ちなさい。			
dubi	ドゥビ	[名]	生
昨夜。			
dubuci	ドゥブチ	[名]	昔39

まげの一種 (ちょんまげ)。			
duburu	ドゥブル	[名]	5
腿。			
duci	ドゥチ	[名]	T
同志。友達。			
duci	ドゥチ	[名]	T
(大根などの) 砂糖づけ。sataduci とも言う。			
ducibagu	ドゥチバグ	[名]	続178
箱枕。朱のうるし塗りの箱枕。引き出しが二つついていて一尺角位の大きさ。良家の娘の嫁入道具の一つ。			
duciji	ドゥチキ°	[名]	1 6
(植) イスノキ<マンサク科>。ki:pagai (木製のくわ) の刃の部分に使う。お産の時囲炉裏に焚く。(歴25)			
ducijuN	ドゥチク°ン	[名]	2
四つ組料理。御飯(hudimai), 汁(udiru), 煮物(nimunu), おかず(sai)の四品目の料理。彼岸にお供えする。			
ducikadu	ドゥチカドゥ	[名]	T
四つ角。			
duciku:	ドゥチクー	[名]	昔32
幸福。duciku:nu kurasi; 豊かな暮らし。			
duciraminudiN	ドゥチラミヌディン	[名]	続104
死に金。			
duda	ドゥダ	[名]	生
枝。			
duda *	ドゥダ	[名]	A 9
田の名。			
dudaN	ドゥダン	[名]	こ111
<新>油断。			
dudaci	ドゥダチ	[名]	1 2
自由。katatisija dudaci kiraninuN; 片手では不自由でどうしようもない。(昔78)dudaci naranuN; 何もできない。(12)			
dudai	ドゥダイ	[名]	5
よだれ。			
dudiruN	ドゥディルン	[動] 6A型 dudjaN	T
ゆでる。(暑さで) うだる。(こ9)アクセントは高平調。			
dudiruN	ドゥディルン	[動] 6A型 dudjaN	生

譲る。aNuNki dudiri; 私に譲れ。			
dudu	ドゥドゥ	名	こ113
用事。du とも言う。			
dudu	ドゥドゥ	[名]	こ114
<新>養生。			
duduN	ドゥドゥン	[名]	続28
(昆) イモムシ。			
dudumuN	ドゥドゥムン	[動] 1D型	こ115
淀む。dudumanuNki; よどますに。しばらくすると。(昔163)			
duga	ドゥガ	[名]	生
床。			
duga	ドゥガ	[名]	T
四日。			
dugaNtara	ドゥガンタラ	[名]	T
床下。			
dugaNtu	ドゥガントゥ	[名]	資
士族。			
dugadagi	ドゥガダギ	[名]	こ51
床竹。			
dugaja:hiti	ドゥガヤーヒティ	[名]	沖T
(魚) ミツバモチノウオ。頭に白線や白点がある。体に4本の褐色の横帯がある。			
dugamiruN	ドゥガミルン	[動] 6A型 dugamjaN	3
休ます。			
dugamuti	ドゥガムティ	[名]	こ75
根太。床板をうけるために床下にわたす横木。			
duganati	ドゥガナティ	[名]	生
一昨昨日。			
duganuhi	ドゥガヌヒ	[名]	生
大漁と航海安全を祈る行事。旧暦の五月四日、久部良でハーリー(舟漕ぎ競争)などを行う。			
dugata	ドゥガタ	[名]	生
脇腹。			
dugataja	ドゥガタヤ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
dugatautuhi	ドゥガタウトゥヒ	[名]	生
大きなふろしき。			
dugati	ドゥガティ	[名]	生

廊下。				
dugi	ドゥギ	[名]		3
ものさし。定規。				
duginaN	ドゥギナン	[動]	3A型 duginasjaN	続34
どける。				
dugu	ドゥグ	[名]		T
横。				
dugu	ドゥグ	[名]		昔155
欲。				
duguN	ドゥゲン	[動]	5B型 dugaN	3
休む。dugui wariyo; お休みなさい。				
duguhjagu	ドゥグヒャグ	[名]		続60
家財道具。da:nudugu とも言う。				
dugui	ドゥグイ	[名]		1
憩い。休み。				
dugukagaruN	ドゥグカガルン	[動]	2A型 dugukagaN	1 3
欲張る。uN kari dugukagai; あれこれに手を出すこと。(16)				
duguru	ドゥグル	[名]		T
所。				
dugusagubu	ドゥグサグブ	[名]		昔30
六尺棒。				
dugusama	ドゥグサマ	[名]		昔189
自分勝手。dimama,dukatti (N) とも言う。				
dugusama *	ドゥグサマ	[名]		N 166
反対。				
dugusati	ドゥグサティ	[名]		続57
かぎざき。斜めに裂く事。				
dugu	ドゥク°	[名]		T
(新) 道具。				
dugbu	ドゥカ°ブ	[名]		こ84
豊作。世界報。				
dugabuami	ドゥカ°ブアミ	[名]		こ35
慈雨。日照り続きの後の雨。				
dugaja	ドゥカ°ヤ	[名]		T
十五夜。旧暦8月15日に、餅を作り月見をする。				
dugamuN	ドゥカ°ムン	[動]	1D型	生

duiki ドゥイキ [名] 3
 寄り木。浜に打ち上げられた流木。

duiki	ドゥイキ	[名]	9
足の指の付け根の裏側。			
duikiraN *	ドゥイキラン	[動] 3A *	昔41
縛り付ける。結び付ける。			
duitubu	ドゥイトゥブ	[名]	T
おぼろ豆腐。にがりを加えてから、桶か椀に汲み取って、そのまま固まらせたもの。			
duituci	ドゥイトゥチ	[名]	こ10
うるう年。			
duja	ドゥヤ	[名]	こ4
硫黄。			
duju	ドゥユ	[名]	9
(植) ユリ<ユリ科>。			
duju:	ドゥユー	[名]	5
たこの糸。			
duka	ドゥカ	[名]	3
(岩の) 筒抜けた所。			
dukananumunu	ドゥカナヌムヌ	[句]	7
体の不自由な人。			
dukatti (N)	ドゥカッティ (ン)	[名]	8
自分勝手。dimama,dugusama 参照。			
dukiduki	ドゥキドゥキ	[副]	S 35
ドキドキ。激しくどうきのするさま。			
duku	ドゥク	[名]	T
毒。			
dukuNgaci	ドゥクンガチ	[名]	T
六月。			
dukudubaN	ドゥクドゥバン	[名]	2
盛り飯を盛る黒い御碗。			
dukuduiti	ドゥクドゥイティ	[名]	続68
6 1 歳。還暦。			
dukuru	ドゥクル	[名]	こ82
封筒。状袋。			
dumaNguri	ドゥマンク°リ	[名]	1
気絶。			
dumamiruN	ドゥマミルン	[動] 6A型 dumamjaN	3
読ます。			

dumi	ドゥミ	[名]		T
嫁。				
dumiNgaN	ドゥミンガン	[動]	3A型	昔30
ドンとさせる。dumiNgasi utti; ドカンと打って…。(昔30)				
dumiaN	ドゥミアン	[動]	3A型 dumiasjaN	3
読み合やす。				
duminuabu	ドゥミヌアブ	[名]		無27
<古>鼠。				
dumisui	ドゥミスイ	[名]		9
求婚。				
dumituN *	ドゥミトゥン	[動]	4A型 dumitusjaN	3
読み通す。				
dumuN (1)	ドゥムン	[動]	1D型 dumjaN	3
読む。				
dumuN (2)	ドゥムン	[動]	1D型 dumjaN	3
数える。				
dumunumunuN	ドゥムヌムヌン	[名]		生
稲むらにネズミヤスズメが寄らないように祈る行事。旧暦の五月に行う。				
dumuti	ドゥムティ	[名]		無76
<古>村の責任者。				
duna	ドゥナ	[名]		T
上納。税金。su: duna usamiruN; 今日税金を納める。				
dunaN	ドゥナン	[名]		T
(地) 与那国。				
dunaNda *	ドゥナンダ	[名]		A27
田の名。				
dunaNdagi	ドゥナンダギ	[名]		A7
(地) 与那国嵩。与那国町内の字名。末尾の地図参照。				
dunaNdaki	ドゥナンダキ	[名]		S 57
(地) ドナン岳。				
dunabi	ドゥナビ	[名]		こ107
夜なべ。夜業。				
dunaga	ドゥナガ	[名]		生
夜中。				
dunagakuNda	ドゥナガクンダ	[名]		生
のろまな人。夜遅くなるまで仕事をし終えないのろまな人。				

dunagamita	ドゥナガミタ	[名]	2
夜中に鳴く鶏。凶事の前兆とされる。			
dunaha *	ドゥナハ	[名]	A 19
田の名。			
dunaidu	ドゥナイドゥ	[名]	ま 16
船の模型。その船を使った踊りのことも言う。			
dunausami	ドゥナウサミ	[名]	6
年貢。上納物をおさめること。現在では税金の事を言う。			
duni	ドゥニ	[名]	生
田などで盛り上がった土。田を耕した跡などに土が盛り上がって、水面から出ている所。			
duniNgui	ドゥニングイ	[名]	沖 I
盛り土を低い場所に寄せること。			
duniNpa	ドゥニンパ	[名]	4
(植) オオハマボウ<アオイ科>。この花が咲く頃になると、夜、魚がよく捕れる。葉を切り紙代用、おにぎりを包んだりした duriNpa, dunuNpa, dunaNpa などとも言っている。			
dunimaci	ドゥニマチ	[名]	沖 I
満田原内の田の名。			
dunimacina:su *	ドゥニマチナース	[名]	稲 268
田の名。祖納の田原川の近くにある。			
dunimui	ドゥニムイ	[名]	芸 280
水田面の高い部分。水田の周囲の道などから土が崩れ落ちた結果、局部的に高くなった部分。田を耕した跡に土が盛り上がって、水面上に出ている所			
dunimuticuca	ドゥニムティツツァ	[名]	沖 I
耕作用農具。土を高い所から低い所に寄せるもの。cucaより頑丈にできている。			
dunimutimagu	ドゥニムティマク°	[名]	稲 271
鍬。			
duninuta *	ドゥニヌタ	[名]	A 33
田の名。			
duniurusi	ドゥニウルシ	[名]	T
盛り土を低い場所に移すこと。duniNgui とも言う。			
dunu	ドゥヌ	[辞]	T
同じ。dunu cimanu t'u; 同郷の人。			
dunuNpa *	ドゥヌンパ	[名]	植
(植) オオハマボウ<アオイ科>。duniNpa とも言う。			
dunudu	ドゥヌドゥ	[句]	S 10

自分自身。du: を強調した表現。sikata minuN dunudusidu isjarujuNgara; 仕方がない。自分自身でしたのだから。(S10)

dunuguniti	ドゥヌグニティ	[名]	T
16日祭。死んだ人の正月。durukuniti とも言う。その項参照。			
dunuiragu	ドゥヌイラグ	[名]	こ15
おもゆ。おかゆ。			
dunuku	ドゥヌク	[名]	生
はったいこ。			
dunukumuti	ドゥヌクムティ	[名]	5
餅の一種。生米を焼き、粉にして、砂糖を入れ蒸したもの。正月に作る。			
dunumunu	ドゥヌムヌ	[形動]	N152
同様。			
dunumuti	ドゥヌムティ	[名]	ま20
お供えする御馳走の中の一品。			
dununigai	ドゥヌニカイ	[名]	ま22
ドゥヌ願ひ。毎月の月立に行う。4月と10月は衣替祈願を始めにすまして、引続き供え物を新しく取り替えて、島の繁栄と一般住民一人一人の健康を特に祈願する。			
dunutaga	ドゥヌタガ	[句]	こ93
身の程。体の高さ。			
dunutumaru	ドゥヌトゥマル	[句]	7
身の廻り。			
dura:N	ドゥラーン	[形]	沖4
ゆるい。			
duraN	ドゥラン	[動] 3A型 durasjaN	3
揺らす。			
duruN	ドゥルン	[動] 5A型 duraN*	生
寄り合う。集まる。madi duraiwaranuN; まだ集まっておられない。			
duraci	ドゥラチ	[名]	生
古い、目のあいているざる。米に混じっているごみやぬかを取ったり、米の質を均一に選び取ったりするのに用いる。			
durai	ドゥライ	[名]	T
寄り合い。集会。			
durai	ドゥライ	[名]	9
由来。言い伝え。			
durakani	ドゥラカニ	[名]	生
どら。青銅製の盆状の打楽器。			

duri	ドゥリ	[名]	T
遊女。			
duri	ドゥリ	[名]	昔118
いわれ。unu duri kara; そのいわれから。			
duri:duri:	ドゥリードゥリー	[副]	5
ゆっくりゆっくり。duri:duri aitiku;; ゆっくり歩いてこい。durituri とも言う。			
duriNpaki	ドゥリンパキ	[名]	こ21
(植) ユウナの木。オオハマボウ<アオイ科>。			
durimunu	ドゥリムヌ	[名]	T
けもの。獣類。durimunu hanun; (祭には) けものは食べない。			
duriruN	ドゥリルン	[動] 6A型 du:djaN	昔113
譲る。dudiruN とも言う。			
duriti	ドゥリティ	[名]	無80
行列。仮装行列。			
duriti tui	ドゥリティ トゥイ	[名]	1 6
仮装行列。この時にドナイドを演じる。			
durituri	ドゥリトゥリ	[副]	T
ゆっくり。duri:duri: とも言う。			
duru	ドゥル	[名]	生
夜。durucuN; 夜も昼も。			
duru	ドゥル	[名]	沖I
泥。			
duru:duru	ドゥルードゥル	[副]	9
(擬) とろとろ。弱火で物を煮込んでいる様子。			
duruN	ドゥルン	[動] 2B型 dwaN (duisuN)	こ115
寄る。umaNki duri; ここに寄れ。			
duruN	ドゥルン	[動] 4A型 durusjaN	生
許す。tuga durusjaN; 罪を許した。			
duruai	ドゥルアイ	[名]	3
泥藍。染料の一種。			
duruamiti	ドゥルアミティ	[名]	5
泥道。			
durudumi	ドゥルドゥミ	[名]	3
泥染め。			
duruhaN	ドゥルハン	[名]	こ65
土足。			

durukuniti	ドゥルクニティ	[名]	生
死んだ人の正月。十六日忌。旧暦の1月16日に、親類が集まって、墓の掃除をした後、御馳走を囲んで楽しむ。dunuguniti とも言う。			
durumiN	ドゥルミン	[名]	こ66
泥水。			
durumiruN	ドゥルミルン	[動] 6A型 durumjaN	5
緩める。			
durunukadi	ドゥルヌカディ	[句]	昔42
毎晩。元来は、夜の数の意。			
dusaNnudai	ドゥサンヌダイ	[名]	生
13歳(数え年)の祝い。			
dusabi	ドゥサビ	[名]	生
夕方。			
dusabiami	ドゥサビアミ	[名]	生
夕立。			
dusai	ドゥサイ	[名]	生
今晚。今夜。			
dusi	ドゥシ	[名]	生
雑炊。			
dusiki	ドゥシキ	[名]	T
(植) ススキ<イネ科>。			
dusikinuhati	ドゥシキヌハチ	[句]	生
ススキの箸。旧暦の12月の一期作の田植えの頃、ススキの箸を作って、御飯を食べる。			
dusiruN	ドゥシルン	[動] 6A型 dusjaN	3
寄せる。			
dusuku	ドゥスク	[名]	T
ロウソク。			
duta	ドゥタ	[名]	4
ユタ。巫女。munuci とも言う。			
dutaburiruN	ドゥタブリルン	[動] 6B型 dutaburuN	T
(水などが揺れ) あふれ出る。			
dutai	ドゥタイ	[名]	こ52
体つき。体格。guttai とも言う。			
dutati	ドゥタティ	[名]	生
しま模様で、えりの部分が黒い与那国独特の着物。			
dutati	ドゥタティ	[名]	資

野良着。			
duti	ドゥティ	[名]	生
小さな斧。			
duti	ドゥティ	[名]	T
雪。			
dutiki	ドゥティキ	[名]	昔121
後ずさり。			
dutinati	ドゥティナティ	[名]	生
一昨昨年。			
dutu	ドゥトゥ	[名]	T
上等。duttuni muN t'jaŋgae; 上手に麦をひいてありますね。aragu dutudu aŋae; とても上等であるネ。若い人達はduttu とも言う。			
dutugumi	ドゥトゥグミ	[名]	生
死者の頭の上に竹 3 本を組合せた物。死者が70歳以上である時にする。			
dutuguru	ドゥトゥグル	[名]	S 58
四方。四か所。			
dutunu *	ドゥトゥヌ	[名]	植48
(植) イスノキ<マンサク科>。			
dutunubai	ドゥトゥヌバイ	[名]	沖1
良い芽。			
dwa:N	ドァーン	[形]	
弱い。			
dwaNcjaNkiri	ドァンチャンキリ	[名]	続18
暗黒。			
dwaNnai	ドァンナイ	[名]	昔184
暗くなること。mi: dwaNnai; 目の前が真暗になり…。			
dwaNnumi	ドァンヌミ	[名]	9
暗闇。			
dwai	ドァイ	[名]	昔4
祝い。若い人達は、多くdai と言う。			
dwaikiruN	ドァイキルン	[動]	6B型 dwaicimasja こ6
祝う。			
dwainukutuba	ドァイヌクトゥバ	[句]	こ38
祝辞。祝いの言葉。			
e	エ	[助]	1 2
…だね。suja とも言う。			

e:hai e:hai	エーハイ エーハイ	[感]	3
牛に田を踏ませる時の言葉。			
ei	エイ	[感]	昔101
はい。目下、同輩に使う。eiNdi Ndi; はいと言いなさい。			
eito(:)	エイト(一)	[感]	1
ヨイシ ヨ (掛け声)。			
ga	ガ	[名]	1
意地。我。ga idikiruN; 我を張る。			
ga:ra	ガーラ	[名]	沖T
(魚) アジ科の魚の総称。体は、ひし形で平たい。鱗は著しく小さい。カイワリ、カスミアジも含む。			
ga:susaN	ガースサン	[形]	生
我(意地)が強い。			
ga:uturi	ガーウトゥリ	[名]	昔17
落胆。			
gaNbagu	ガンバグ	[名]	2
棺箱。			
gaNdu	ガンドゥ	[名]	生
頑丈。元気。			
gaNkataNtu	ガンカタントゥ	[名]	2
棺をかつぐ人。			
gaNku	ガンク	[名]	7
頑固。			
gaNmaruN	ガンマルン	[動] 2A型 gaNmaN	3
まがる。			
gaNmiruN	ガンミルン	[動] 6A型 gaNmjaN	生
曲げる。gamiruN とも言う。			
gaNsu	ガンス	[名]	T
元祖。位牌をひっくりめて言う語。			
gaba	ガバ	[名]	黒
垢。hurucu とも言う。			
gaci	ガチ	[名]	T
飢きん。			
gaciju	ガチユ	[名]	1 2
餓死の世。飢きん。			
gadi	ガディ	[名]	生

小さな入れ物。カヤと竹を編んで作る。

gadi ガディ [名] 民

芋容器。主に米を入れていた。

gadimaru ガディマル [名] 4

(植) ハマイヌビワ<クワ科>。木炭にする。沖縄で言うところのカジュマルには、sagai と言う。

gadimaruNmu ガディマルンム [名] 生

枝が何本もくねって出ている雲。

gadurja ガドゥリャ [名] 生

(植) オオヒルムシロ<ヒルムシロ科>。一番悪性の田草で、稲の成長を妨げ収穫に大きな打撃を与える。これが多い時は、二期作をせずに、土地を掘り返して、夏の水の暑さで殺した。

gai ガイ [名] T

反抗。gai kiruN; 反抗する。

gajamujai ガヤムヤイ [名] T

茅模合。家を作ったりする時に持ち回りで茅を持ちあうこと。

gakku ガック [名] S 63

<新>学校。

gakumuN ガクムン [名] 昔67

<新>学問。

gama ガマ [名] 3

ほら穴。洞窟。

gara ガラ [辞] 生

魚、牛、などを数える単位。t'ugara; 一匹。inuja sa:agami mi:gara sudatibui datana; 犬は自分の子供三匹を育てていたが…。(昔27)

gara ガラ [辞] T

…頃の意味を表す接尾辞。iciNgara tubaruka bagaranuN; いつ頃会うかわからない。

gara ガラ [助] T

…やら。…だか。不確定の意を表わす副助詞。nuNgara sabicaN; 何やら寂しい。nuNgara bagaranuN; 何だかわからない。

gara ガラ [助] T

…から。起点を表わす格助詞。gakku garadu suru; 学校から来た。umagara kamaNki hiruN-suja taja; ここからあそこへ行くのは誰か。

gara ガラ [助] T

…したら。仮定条件を表す接続助詞。uNni itagaraja NsaN; こんなにしたら良い。t'umuti-gara bi:ru numiti bi:garaja naranuN; 朝からビールを飲んで酔ったらいけない。			
gara	ガラ	[名]	こ105
模様。柄。			
garaci	ガラチ	[名]	T
(鳥) カラス。garasa とも言う。			
garasa	ガラサ	[名]	続66
(鳥) カラス。移入語か。garaci 参照。			
garatama	ガラタマ	[名]	歴96
まが玉。			
gari gari	ガリ ガリ	[副]	N172
<擬>ガリガリ。garigari ki: kamitaba; ガリガリ噛んだので。			
garu	ガル	[名]	
(鳥) 鳥の名。和名不明。この鳥が1回クッと大きく鳴くと不吉な事があると言われていて、お祓いをする。この鳥が数回鳴くと雨になると言われている。			
garuNja *	ガルンヤ	[名]	黒41
渦巻状の髪。			
gasami	ガサミ	[名]	生
(動) ガザミ。ワタリガニ。浅い海、川口などの水の底にいる。			
gatai	ガタイ	[助]	N113
…ばかり。それだけに限定する意の副助詞。aNbigatai; 遊んでばかり。(12)niNdigatai; 寝てばかり。(12)			
gataraNkuN	ガタランクン	[動] 1A型	続57
驚く。(危険な目にあって) びっくりする。がくぜんとする。(続5)gataraNkuna; びっくりするな。			
gati	ガティ	[名]	生
米びつ。カマとトウヅルモドキで作ったもの。			
gattiN	ガッティン	[名]	T
合点。了解。gattiN kjana; わかったか。			
gi:	ギー	[名]	1 2
粗悪なもの。織物に使う。t'atibata dina minuN uribatagadu gi; タティバタは汚くないウリバタが粗悪だ。(織物の話)			
gi:ra	ギーラ	[名]	生
(貝) ヒメジャコ。大きいものは体長40cmばかりある。食用にする。			
giNdukusudi	ギンドウクスディ	[名]	T
短くて丸い袖。元禄袖。			

giNtu	ギントゥ	[名]	N 142
本当。念を押す。			
gici	ギチ	[名]	生
大根、ウリなどを泡盛につけた物。satagici; さとう漬け。			
gici	ギチ	[名]	T
使用人。k'ait'u と比べ下品な言葉。「下司」に対応する。			
giharuN	ギハルン	[動] 2A型 gihaN	3
頑張る。gihari; 頑張れ。			
gihwaruN	ギファルン	[動] 2A型 gihwaN	T
<古>頑張る。giharuN とも言う。			
gisakaNna	ギサカンナ	[名]	生
(動) 山ガニの一種。旧暦の6月14、15日頃、卵を洗いに海に来る。			
giti	ギティ	[名]	7
罰すること。			
gja:gisi	ギャーギシ	[名]	N 141
からかうこと。gja:gisiburuN; からかっている。(N155)			
gu:ja	グーヤ	[名]	生
(植) ニガウリ <ウリ科>。			
gu:na: *	グーナー	[名]	黒63
びっこ。suga* とも言う。haNsuga 参照。			
gu:ruNtai	グールンタイ	[名]	昔213
見張ること。mi: gu:ruNtai Nni burutasi; 目を見張って見ていると…。			
guNbu	グンブ	[名]	T
私生児。			
guNbu:	グンブー	[名]	3
(植) ゴボウ<キク科>。			
guNda	グンダ	[名]	T
こなごな。ガラスなどの割れた状態。guNda naN; こなごなになった。			
guNgaci	グンガチ	[名]	T
五月。			
guNgacira	グンガチラ	[名]	8
(植) 赤豆。			
guNgaki	グンガ°キ	[名]	4
(植) リュウキュウガキ<カキノキ科>。			
guNgu:	グンク°ー	[名]	3
五合。			

guNkaNicibugu *	グンカンイチブグ	[名]	A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
guNna	グンナ	[名]	1
(植) ボタンボウフウ<セリ科>。一般は、長命草と言われている。葉の汁を飲んだり、サラダ・サシミ・すいものに入れて食べたりする長寿、肺結核に利く。根は、酒につけてのむ。			
guNti	グンティ	[接]	昔224
口。物を食べる時の口数。t'uguNti si hai; 一口で食べなさい。			
gubaNami	グバンアミ	[名]	T
真四角の縞模様に編むこと。			
gudiNbu	グディンブ	[名]	N 187
かぎやで風節。			
gudigudiki	グディグディキ	[名]	1 2
ぶつぶつ言う事。kurukuruiki とも言う。			
gugidumiN *	グギドゥミン	[動]	N 122
考える。gugidumi; 考えをして。(N122)			
guguci	ググチ	[名]	S 26
愚知。苦情。			
gugukananumunu	ググカナヌムヌ	[句]	7
半人前の人。身障者。(続59)			
gui	グイ	[名]	素
おもしろみ (妙味)。utanu gui aNsuja; 歌のおもしろみ (節まわしがきれい) があるね。			
gui	グイ	[名]	1 6
刃先。			
guiru	グイル	[名]	T
(植) クロトン<トウダイグサ科>。			
gujuhu	グユフ	[名]	1 2
御用布。王府に納める布。			
guma	グマ	[名]	3
(植) ゴマ<ゴマ科>。			
gumaN	グマン	[形]	生
小さい。			
gumaNdaramutasi *	グマングラムタシ	[名]	稲274
農具。塊状になった土をくだき、こねる。長さ1.5 m、20 c mほどの角材に、サンゴ礁など多孔質の小石を15-20個ほどくくりつけた農具			
gumaabuci	グマアブチ	[名]	沖I
小さい畦。			

gumaamiti (ti)	グマアミティ (ティ)	[名]	5
路地。			
gumabata	グマバタ	[名]	続109
小腸。batakuru; 腸。daimugu; 内臓すべて。			
gumahama	グマハマ	[名]	3
小さな浜。			
gumahatagi	グマハタギ	[名]	1
小さな畑。			
gumamuti	グマムティ	[名]	5
小さな餅。			
gumata	グマタ	[名]	生
小さい田。			
gumata:ti	グマターティ	[名]	昔47
小さな。gumata:titinu datiti tuci ataba; 小さな家が一つあったので。			
gumatati	グマタティ	[名] 特殊	生
小量。			
gumaubi	グマウビ	[名]	5
小さい帯。			
gumaujubi	グマウユビ	[名]	T
小指。			
gumuN	グムン	[名]	8
<新>ゴム。			
gumutiNni	グムティンニ	[名]	歴16
御物船。税金を運んだ船。			
guragura	グラグラ	[副]	昔19
スヤスヤ。ぐっすりと寝ている様子。			
guri	グリ	[名]	生
タコの墨。			
guri	グリ	[名]	続46
御辞儀。			
guri	グリ	[名]	こ15
おり (液体の底に沈んだカス)。			
gurugu	グルグ	[名]	昔127
要領よく行うこと。gurugu minuN ; 要領がない。tuNga gurugu ki butunu nutiN muibi; 妻が 要領よく行って夫の命を守り…。(昔127)			
gurukuN	グルクン	[名]	沖T

(魚) タカサゴ科の魚の総称。体は紡錘形で、吻はとがる。尾びれは深く切れこみ、両端は黒褐色。2本の黄色の縦じまをもつ。

gusaN	グサン	[名]	生
杖。			
gusagu	グサグ	[名]	3
五勺。			
gusiN	グシン	[名]	生
神に供える酒。			
gusiku	グシク	[名]	生
石垣。			
gusu	グス	[名]	生
後生。死者の行く所。あの世。			
gusunuhana	グスヌハナ	[名]	続196
(植) ブッソウゲ<アオイ科>。			
gusunuhikati	グスヌヒカティ	[名]	生
二番座 (あるいは三番座) と「ウティ」との出入口。死んだ人はここから出入りをすると言う。			
gusunutatai	グスヌタタイ	[句]	続53
怨霊。祖先の崇り。			
gutai	グタイ	[名]	2
体つき。五体。dutai とも言う。			
ha	ハ	[辞]	生
着物や本を数える単位。			
ha:	ハー	[名]	T
歯。			
ha:	ハー	[名]	T
葉。			
ha:	ハー	[名]	T
刃。			
ha:	ハー	[感]	昔62
ほう。ha: isinai uNniduN ataja; ほう、そうか。そうであつたら…。			
ha:ciri	ハーチリ	[名]	沖I
葉のいもち病。稲穂が出る前にかかる。			
ha:dami	ハーダミ	[名]	こ37
歯痛。			
ha:di	ハーディ	[名]	昔176

造ること。Nniha:di; 船を造って。			
ha:magu	ハーマグ	[名]	こ37
子孫。			
ha:mura *	ハームラ	[名]	昔61
田舎村。			
ha:paNdi	ハーパンディ	[名]	2
歯がはえること。			
haN	ハン	[名]	生
足。			
haN	ハン	[名]	こ105
判。印。			
haN	ハン	[名]	民
牛、馬の耳印。			
haNbari *	ハンバリ	[名]	黒63
足にできるひび、あかぎれ。			
haNbu huri *	ハンプ フリ	[名]	黒66
もうろく。kaNturi, maguri 参照。			
haNda *	ハンダ	[名]	A 29
田の名。			
haNdaN	ハンダン	[動] 3A型 haNdasjaN	2
はずす。kagi haNdai; 鍵をはずせ。munui haNdasi; 言いはずし。p'aNdaN とも言う。			
haNdimiruN	ハンディミルン	[動] 6A型 haNdimjaN	3
脱がさせる。			
haNdiruN	ハンディルン	[動] 6A型 haNdjaN	2
外れる。			
haNdu	ハンドゥ	[名]	昔179
繁盛。kjaku hai handu ki; 客が入り繁盛して…。(昔179)			
haNdukami	ハンドゥカミ	[名]	生
かめの一種。飲料水をためるかめ。高さ約60cm、口径約30cmで、荒焼で赤味をおびている。			
haNgama	ハンガマ	[名]	生
釜。			
haNgi	ハンギ	[名]	4
(植) ハゼノキ<ウルシ科>。薪に用いる。			
haNiNci	ハンインチ	[名]	沖I
苗床の半端なもの。			

haNkiruN	ハンキルン	[動] 6B型 haNkuN	4
はじける。			
haNkitama *	ハンキタマ	[名]	植112
(植) ノボタン<ノボタン科>。			
haNku	ハंक	[名]	沖T
(動) フトユビシャコ<甲殻類>。体長 3 cm ぐらいでエビに似ている。ハサミではじくことからの命名。			
haNku	ハंक	[名]	沖I
田の水が干上がり割れること。			
haNkuN	ハंकン	[動] 1A型	生
はじく。			
haNkuja *	ハंकヤ	[名]	昔38
武器の一種。棒の両端を刺々しく作る。			
haNkuraN	ハंकラン	[動] 3A型	生
はずす。haNkurasi; はずせ。			
haNkurimi	ハंकリミ	[名]	5
二重まぶた。kamimi; 一重まぶた。			
haNnubata	ハンヌバタ	[名]	T
足の裏。			
haNnuca	ハンヌツァ	[名]	生
足首や甲のあたり。			
haNnukuci	ハンヌクチ	[名]	T
足の甲。haNnukucibuni; 足の甲の骨。			
haNnusa	ハンヌサ	[名]	続9
足跡。			
haNnusati	ハンヌサティ	[名]	5
つま先。足の先。			
haNsihiruN	ハンシヒルン	[動] 6A型 haNsijuN	9
はずしていく。			
haNsuga	ハンスガ	[名]	続188
びっこ。			
haNta	ハント	[名]	生
絶壁。			
haNtabata	ハントバタ	[名]	9
足の裏。haNnubata とも言う。			
haNtapiruN	ハントキ°ルン	[動] 6B型 haNtaguN	T

跳ね上げる。

haNtaraN ハンタラン [動] 2A型 T
肥やす。

haNtaruN ハンタルン [動] 2A型 生
肥える。太る。harataruN とも言う。

haNtimata ハンティマタ [名] 4
(植) フヨウ<アオイ科>。

habaguN ハバゲン [動] 1B型 生
精を入れて働く。はかどる。仕事が進む。

habiru ハビル [名] 生
(昆) 蝶。

habudi ハブディ [名] 生
先祖。

haburi ハブリ [名] T
羽織り。

haci ハチ [名] 生
橋。

haci ハチ [名] T
箸。

haci ハチ [名] T
端。幅の広い板や帯などの先の方。

haci ハチ [名] 昔166
(食べ物、ご飯の) お初。

haci: ハチー [名] 民
梯子。

haciNnani ハチンナニ [名] 1
産衣。初衣。

hacibi ハチビ [名] 沖1
初植え。田植えの初日。

hacici ハチチ [名] こ78
菌茎。

haciḡaciciḡaṇ ハチカ°チチカ°ン [名] 2
八月彼岸 (秋期の彼岸)。

hacimaḡu ハチマク° [名] こ79
初孫。

hacituNdi ハチトゥンディ [名] 生

赤ん坊の最初の外出。

hadacanu	ハダツァヌ	[形]	素
わずらわしい。			
hadaga	ハダガ	[名]	1
裸。			
hadagiruN *	ハダギルン	[動]	資265
はずれる。はぐれる。			
hadamusu	ハダムス	[名]	1 2
ござ。いつも使用しているござ。			
hadasagaN	ハダサガン	[形]	7
着る物が少ない。原義は「肌が少ない」。			
hadi	ハディ	[名]	1
恥。hadibagaranumunu; 恥を何とも思わない人。			
hadi	ハディ	[名]	生
家の表側の軒。			
hadi	ハディ	[名]	生
はず。多くは、文末にあって、推量の意味をあらわす。tugamadija birariru hadiŋajo; 1 0 日 までには、植えられるはずだがヨ。aigu hadi; 来るだろう。(昔189)			
hadici	ハディチ	[名]	生
入墨。女子が1 2 歳頃から少しずつしてもらい、結婚する時、模様を完成させる。			
hadigama *	ハディガマ	[名]	N127
報告。			
hadikira	ハディキラ	[名]	こ97
恥知らず。hadiminuN とも言う。			
hadimaruN	ハディマルン	[動] 2A型 hadimaN	3
始まる。			
hadimi	ハディミ	[名]	昔4
初め。			
hadimiruN	ハディミルン	[動] 6A型 hadimjaN	5
始める。			
hadinuhira	ハディヌヒラ	[名]	T
軒を支える柱。			
hadjarukidi	ハダルキディ	[名]	6
擦り傷。			
haduja	ハドゥヤ	[名]	生
(鳥) スズメ。			

haga	ハガ	[名]	4
墓。			
haga	ハガ	[名]	沖I
植え手の幅。田植えの際の植え手一人分の幅のこと。			
haga *	ハガ	[名]	歴97
<古>境界。			
hagaburi	ハガブリ	[名]	民343
墓場。			
hagacju:	ハガチュー	[名]	沖T
(魚) イソماغロ。			
hagai	ハガイ	[名]	こ24
計器。秤 (はかり)。			
hagama	ハガマ	[名]	T
袴。			
hagamairi	ハガマイリ	[名]	昔73
墓参り。abuta: hagamairi ki; 母の墓参りに…。			
hagara	ハガラ	[副]	素
しっかり。hagara iriju; しっかりやりなさいよ。			
hagaruN	ハガルン	[動]	2A型 hagaN 3
測る。計る。			
hagasudi	ハガスディ	[名]	5
墓の掃除。旧の1月16日、盆、清明祭に行く。			
hagu	ハゲ	[名]	7
炭俵。taNdara とも言う。			
haguN	ハゲン	[動]	1B型 T
吐く。			
hagudimi	ハグディミ	[名]	昔162
箱に物を詰める事。ぎっしりと満たし詰める事。diN kaniN hagudimi mugirari; 金を升詰め、箱詰めに (するほど) もうけ…。(昔162)			
hagaN	ハカ°ン	[形]	生
きしむ音が耳に響くさま。			
hagaN	ハカ°ン	[名]	昔19
枕元。			
hagicidi	ハキ°チディ	[名]	3
禿げ山。			
hagiruN	ハキ°ルン	[動]	6B型 haguN T

(皮などが) はげる。むける。miNburu haɣuN; 頭が禿げた。			
haɣu *	ハク°	[名]	資336
かご (駕籠)。人を野せてかついで行く道具。			
haɣuN	ハク°ン	[動] 1C型 hadjaN	生
配る。			
haɣuN	ハク°ン	[動] 1C型 hadjaN	T
(皮などを) 剥ぐ。basu hadi bu hadi; 芭蕉を剥ぎ、糸を紡いで…。(資340)			
hai	ハイ	[名]	生
南。			
hai	ハイ	[名]	T
(昆) ハエ。			
hai	ハイ	[名]	T
針。			
haiNbuta *	ハインブタ	[名]	A 26
田の名。			
haiNdaN	ハインダン	[名]	T
(地) 南帆安。与那国町内の字名。末尾地図参照。			
haibara	ハイバラ	[名]	生
南側。			
haidagi	ハイダギ	[名]	3
伸子。機織り機の付属具の一つ。			
haidama	ハイダマ	[名]	生
いやしい人。くいしんぼう。			
haidatu *	ハイダトゥ	[名]	A 20
田の名。			
haidu	ハイドゥ	[名]	9
方向。haidubappai; 方向違い。			
haidunaN	ハイドゥナン	[名]	歴11
南与那国。与那国の遙か南にあると信じられている楽土。			
haigamati *	ハイガマティ	[名]	A 65
与那国島の近海名。			
haigata	ハイガタ	[名]	1 2
食べ方。			
haiguti	ハイク°ティ	[名]	昔117
入口。			
haijati	ハイヤティ	[名]	T

平焼き。

haiju	ハイユ	[名]	沖T
(魚) ホシサヨリ。体が細く長い。daru とも言う。			
haikadi	ハイカディ	[名]	4
南風。			
haimaci	ハイマチ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
haimaci	ハイマチ	[句]	昔209
食べるだけ。haimaci haiti buNdi minuN; 食べるだけ食べて、御礼もない。(12)			
haimaja *	ハイマヤ	[名]	A 54
田の名。			
haimiti	ハイミティ	[名]	昔183
食べ方。unumununu haimiti NduN bagataja; その物の食べ方がわかったら。(昔183)			
haimunu	ハイムヌ	[名]	T
食べ物。			
haimutu *	ハイムトゥ	[名]	歴93
<古> (地) ハイムトゥ。南帆安の南方、ダマトゥハガのある所。			
haina	ハイナ	[名]	生
はえ縄。			
hainagatagata *	ハイナガタガタ	[名]	A 48
田の名。			
hainagu *	ハイナグ	[名]	歴141
<古> (地) 南帆安道路から前嶽路へ別れる所。			
hainanaci	ハイナナチ	[名]	生
南に七つ並んでいる星。			
hainucadaN	ハイヌツァダン	[名]	5
しみ。c'adaN (毛じらみ) 参照。			
hainuguN	ハイヌグン	[動]	4A * hainugusjaN * 1 2
食べ残す。			
hainuguci	ハイヌグチ	[名]	こ33
食べ残し。残飯。			
hainukici	ハイヌキチ	[名]	歴33
(地) ハイヌキチ。南の丘。崖葬の場所であった。			
hainusuni	ハイヌスニ	[名]	A 65
与那国島の近海名。釣り場である。haigamati とも言う。			
haira	ハイラ	[名]	こ33

山賊。			
hairi	ハイリ	[名]	生
酢。			
hairicati	ハイリツァティ	[名]	生
(植)「植物方言集」によると、カタバミ<カタバミ科>。			
haita *	ハイタ	[名]	歴144
<古>拝板。村番所内に設置してあった一種の方向指示板。			
haiuranu	ハイウラヌ	[名]	A 8
(地) 南浦野。与那国町内の字名。末尾地図参照。			
haiutimunu	ハイウティムヌ	[名]	民
蠅叩き。			
haizaNhi	ハイザンヒ	[名]	1 3
海賊。			
hajaN	ハヤン	[形]	生
早い。速い。			
hajaN	ハヤン	[動] 3A型 hajasjaN	T
入れる。おさめる。			
hajaNsa	ハヤンサ	[名]	こ80
(鳥) ハヤブサ。			
hajaaci	ハヤアチ	[名]	1 2
早足。			
hajagu	ハヤグ	[副]	8
<新>早く。急いで。taigu とも言う。			
hajamamiti	ハヤマミティ	[名]	T
(在来) 豆の一種。昔はこれで豆腐を作った。			
hajari	ハヤリ	[名]	こ12
はやり。疫病。hajaridami*; 流行性の病気。疫病。			
hajari	ハヤリ	[名]	1 2
近道。			
hajaruN *	ハヤルン	[動] 2A型 hajaN	3
流行る。			
hajati	ハヤティ	[名]	1 2
早足。			
hajatirari	ハヤティラリ	[名]	N 166
早死に。ijaja hajatirari kitaba abutaja tuiburu biNgaagamidu arujuNgara; 父は早死なさって、母は一人しかいない男の子だったから…。(昔189)			

hajuN	ハユン	[動]	2A'? haN	2
入る。活用はajuN（戦う）と同じ。				
hakami	ハカミ	[名]		続177
歯、ぎしり。				
hakka	ハッカ	[名]		T
二十日。				
hakkaN	ハッカN	[形]		生
かゆい。体にこまかいとげなどがついたかゆさ。				
hamaanici *	ハマアニチ	[名]		歴15
<古>番所の役職名。布晒し女のことで、役人の昼弁当を取りに行く役も兼ねていた。				
hamabata	ハマバタ	[名]		T
浜辺。				
hamai	ハマイ	[名]		生
食料。hamai minuNdi Nni kai ko;; 食料がないよ、米を買って来い。				
hamaida	ハマイダ	[名]		沖I
田の一種。代かきの後、すぐに植えつけないと植えにくくなる固い土の田。				
hamaidai	ハマイダイ	[名]		こ43
食費。				
hamaidi	ハマイディ	[名]		沖I
固い土。				
hamaisiki	ハマイシキ	[名]		昔67
一生懸命にしている事。umihamai,nutikagiri とも言う。				
hamajati	ハマヤティ	[名]		歴15
<古>浜小屋。				
hamakaNda	ハマカンダ	[名]		植131
(植) ハマヒルガオ<ヒルガオ科>。				
hamakugani *	ハマクガニ	[名]		植122
(植) ハマボス<サクラソウ科>。				
hamamuja	ハمامヤ	[名]		生
(貝) ハマグリ。				
hamaubuni	ハマウブニ	[名]		T
(植) ハマダイコン<アブラナ科>。				
hamauguduri *	ハマウグドゥリ	[名]		植126
(植) クロキ<ハイノキ科>。沖縄で俗にクロキと言っているのは、リュキュウコクタンのこと。				
hamiruN	ハミルン	[動]	6A型 hamjaN	5

はめる。			
hamiruN	ハミルン	[動] 6A型 hamjaN	T
食べさせる。			
hamu:	ハムー	[名]	T
歯のない人。			
hamunu	ハムヌ	[名]	こ127
刃物 (切れ味のすぐれた剣)。			
hamura	ハムラ	[名]	4
田舎。端村。			
hana	ハナ	[名]	T
花。			
hanaN	ハナン	[動] 3A型 hanasjaN	2
離す。放す。			
hanaN	ハナン	[動] 3A型 hanasjaN	3
話す。			
hanaNki	ハナンキ	[名]	昔215
風邪。			
hanaNkikagai	ハナンキカガイ	[名]	続61
風邪をひく事。			
hanabura	ハナブラ	[名]	5
鼻の低い人。			
hanaburu	ハナブル	[名]	生
鼻。			
hanaburunucu:	ハナブルヌツー	[名]	生
鼻くそ。			
hanabuti	ハナブティ	[名]	こ6
いびき。			
hanabutu	ハナブトゥ	[名]	沖T
(魚) アオブダイ、ナンヨウブダイなどの魚。成魚の額は突出する。鱗の縁は濃い青色をしている。			
hanaci	ハナチ	[名]	こ23
くしゃみ。			
hanadai	ハナダイ	[名]	T
はながたれること。			
hanadaki	ハナダキ	[名]	こ2
花酒。hanazaki とも言う。			

hanadasiki	ハナダシキ	[名]	9
花壇。			
hanadubagu	ハナドゥバグ	[名]	生
祭壇用の重箱。台はたがいちがいになっており、低い方に重箱、高い方に餅を置く。(花重箱)。			
hanagumi	ハナグミ	[名]	T
供え物の一つ。餅米を洗って茶碗に入れ、その上に「チビリ」の葉を数枚のせた供え物。			
hanaga *	ハナカ°	[名]	A 26
田の名。			
hanajimunui	ハナキ° ムヌイ	[名]	こ 41
冗談。			
hanagui	ハナク° イ	[名]	1
鼻声。			
hanahija	ハナヒヤ	[名]	3
花粽こう。花織り専用の粽こう。			
hanaiki	ハナイキ	[名]	こ 16
花瓶。			
hanaiti	ハナイティ	[名]	こ 74
鼻息。			
hanakusa *	ハナクサ	[名]	植 199
(植) オオシラタマホシクサ<ツユクサ科>。			
hanamiN	ハナミン	[名]	T
鼻水。			
hanari	ハナリ	[名]	T
(地) 新城島。			
hanariruN	ハナリルン	[動] 6B型 hanaruN	生
離れる。			
hanasi	ハナシ	[名]	T
話。hanasi kiruN; 話をする。			
hanaurisidari	ハナウリシダリ	[名]	1 2
花織り手拭。hanazumisidari とも言う。			
hanazaki	ハナザキ	[名]	3
花酒。hanadaki とも言う。			
hanazumisidari	ハナズミシダリ	[名]	3
花染めの手巾。			
hani	ハニ	[名]	T
羽。			

haniabaiju	ハニアバイユ	[名]	沖T
(魚) ミノカサゴ。猛毒をもつ魚。背びれのトゲに毒をもっている。			
haniati	ハニアティ	[名]	沖T
(魚) バシ ヨウカジキ。体が細く長い。体高よりも高い背びれをもっている。			
haniguN	ハニク [°] ン	[名]	生
翼。			
hanikiraN	ハニキラン	[動] 3A型	昔169
はねかえす。はねとばす。p'apaiNki ataiti ka:ndi natiti p'apai hanikirataba; 鉄に当たってカーンと音がして跳ね返したので…。			
hanizikuro	ハニジクロ	[名]	1 6
米の品種。羽地から来た米でとげがある。			
haraN	ハラン	[動] 3A型	生
揺るがす。			
haraN	ハラン	[動] 3A型 harasjaN	T
(水を) 流す。(船を) 走らす。			
haraga	ハラガ	[名]	続14
脂肉。			
haragu	ハラグ	[名]	3
腹皮。			
harami	ハラミ	[名]	2
妊娠。harami Nma; 身ごもった馬。			
haramiNtu	ハラミントゥ	[名]	2
妊婦。			
haramuN	ハラムン	[動] 1D型	生
妊娠する。			
harataruN	ハラタルン	[動] 2A型	4
太る。haNtaruN,NtikiruN とも言う。haNtaruN はやや新しい語。			
hari	ハリ	[名]	4
晴れ。			
haribaritu	ハリバリトゥ	[副]	1 2
晴々と。kuguru haribaritu; 心晴々と。			
harijaku	ハリヤク	[名]	4
晴れ厄。			
hariruN	ハリルン	[動] 6A型 haruN	昔197
晴れる。			
haru	ハル	[名]	T

畑。原野。小字。			
haruN	ハルン	[動] 2A型 haN	3
張る。			
haruN	ハルン	[動] 5A型 haraN	2
払う。harai; 払え。			
harudati	ハルダティ	[名]	1
田畑に作る小屋。			
haruhakka	ハルハッカ	[名]	T
(植) ハッカ<シソ科>。			
haruhata	ハルハタ	[名]	2
部落を象徴する旗頭。			
haruja	ハルヤ	[名]	稲265
農作小屋。			
harumai	ハルマイ	[名]	資336
畑廻り。田畑の巡視。			
haruna:	ハルナー	[名]	1 4
畑の名。			
hasaN	ハサン	[名]	生
はさみ。			
hasaNti	ハサンティ	[名]	2
(動) サソリ。			
hasama *	ハサマ	[名]	A 48
田の名。			
hasamati *	ハサマティ	[名]	A 45
田の名。			
hasira	ハシラ	[名]	1
帆柱。			
hata	ハタ	[名]	T
(昆) 蜂。			
hata	ハタ	[名]	T
旗。野辺送りをする時「ティカ°ランカカ°ン」の次に持って歩く。			
hata	ハタ	[名]	T
端。畳などのへり。			
hataN	ハタン	[動] 3A型 hatasjaN	T
果たす。iri hatarumunu; し果たしたものを (やれば良かったね)。iri hatai; し果たしなさい。			
hataNgihi:	ハタンギヒー	[名]	4

(植) ハマイヌビワ<クワ科>。祖納の方言。

hatagaruN	ハタガルン	[動]	2A* hatagaN *	T
開く。mi: hatagarutasi uNga t'i hatagaiti; 目を開けると鬼が口を開けて…。(昔25) hatagaiti hu:Ndi; (大きな口を) 開けて食べる。(昔121)				
hatagi	ハタギ	[名]		T
畑。				
hatagida	ハタギダ	[名]		沖I
田の一種。畑田。ももとは田んぼでなく、水の出入りの便利な場所を利用して作った田。雨水を利用して耕す田。				
hatagidanuui *	ハタギダヌウイ	[名]		A 44
田の名。				
hatagidu	ハタギドゥ	[名]		1 2
(植) 畑のり。和名不明。木くらげのようなもので、畑にできる。若芽のように美味。数珠藻。				
hatagikasadama	ハタギカシダマ	[名]		1 6
畑を耕す時に用いるすき。牛に引かせて使う。				
hatagimai	ハタギマイ	[名]		こ118
陸稲。畑に植える稲。				
hatamiNgaN*	ハタミンガン	[動]	3A*	T
パタパタさせる。ドンさせる。hattamiNgasi umuruNni dwaiki; 爆発させたように思う存分お祝いをして。(昔88)				
hatamunu	ハタムヌ	[名]		昔83
機織機。				
hatamunuda	ハタムヌダ	[名]		沖I
満田原内の田の名。				
hatanuNgiti *	ハタヌンギティ	[名]		植135
(植) オオムラサキシキブ<クマツヅラ科>。				
hataragaN	ハタラガン	[動]	3A型 hataragasjaN	T
(頭などを) 働かす。				
hataraguN	ハタラゲン	[動]	1B型 hataratjaN	昔225
働く。				
hatarumunu	ハタルムヌ	[句]	3A型 hatasjaN	昔51
…すればよかったのに。tamiranuNki burja hatarumunu; 教えなければよかったのに…。(昔51) kuNninu kutu kiranuNki burja hatarumunuNdi; こんな馬鹿な事をしないでいればよかったのにと…。(昔222)				
hataui	ハタウイ	[名]		N 140

hati	ハティ	[名]	沖T
(魚) イロブダイ。ブチブダイなど。雄は青味が強く、美しい。雌は茶褐色。			
hatiNgaci	ハティンガチ	[名]	T
八月。			
hatiNgaci marigaN	ハティンガチ マリカ ^ン	[名]	ま14
旧八月中に年の始まりとして家族の健康を祈願する事。			
hatiburu	ハティブル	[名]	1 0
おこった顔つき。hatiburu cira; おにのような怖い顔。			
hatti	ハッティ	[名]	2
へど。			
hatu	ハトゥ	[名]	生
(鳥) 鳥の総称。			
hi-kiruN *	ヒキルン	[名] 6A * hi-kjaN *	黒60
性交する。			
hi:	ヒー	[名]	生
環礁。			
hi:	ヒー	[名]	生
陰門。			
hi:	ヒー	[名]	1
(船の) へさき。＜新＞umuti。			
hi:	ヒー	[名]	T
おなら。へ。			
hi:ja	ヒーヤ	[感]	9
気合いを入れる時に発する語。掛け声。			
hi:nugirai	ヒーヌギライ	[句]	続32
陰核。			
hi:nuiku:	ヒーヌイクー	[名]	1
前乗りの漕ぐかい。			
hiNbai	ヒンバイ	[名]	1 0
なぎなた。棒踊りの時、使用。			
hiNdimami	ヒンディマミ	[名]	1 6
(植) ソラマメ＜マメ科＞か。土地の人はフロウ豆のことと言う。huru:mami 参照。			
hiNga:	ヒンガー	[名]	T
すてかすの人。hiNgimunu とも言う。			
hiNgaN	ヒンガン	[動] 3A型	生

逃す。hiNgataNga kacimjaN; 逃がしたが (あとでまた) つかまえた。				
hiNgimunu	ヒンギムヌ	[名]		T
すてかすの人。ぐうたら。本来は、「家も何もかも捨てて逃げる人」という意味。hiNga:とも言う。				
hiNgiruN	ヒンギルン	[動]	6A * hiNgjaN *	T
持ち上げる。icibugu hiNgiruN; 石を持ち上げる。hiNgi katiruN; 持ち上げて捨てる。(13)				
hiNgiruN	ヒンギルン	[動]	6A * hiNgjaN, hiNguN	3
逃げる。アクセントは低平調。				
hiNgu	ヒング	[名]		T
鍋墨。鍋や釜の底に付いた墨。				
hiNgumami	ヒングマミ	[名]		続127
豆の種類 (黒色)。				
hiNnaruN	ヒンナルン	[動]	2A型	生
減る。				
hiNpa	ヒンパ	[名]		生
(動) サキシマアカマタ (蛇の名)。				
hiNsu	ヒンス	[名]		T
貧乏人。貧乏。				
hiNtakumiruN	ヒンタクミルン	[動]	6A型 hiNtakumjaN	続22
押さえつける。いじめる。				
hiNtakumiruN *	ヒンタクミルン	[動]	6A *	S 9
っこむ。				
hiNtu	ヒントゥ	[名]		T
返答。hiNtu kiruN; 返答する。				
hibida	ヒビダ	[名]		生
(動) 山羊。				
hibidadaja *	ヒビダダヤ	[名]		A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。				
hibidanumi:	ヒビダヌミー	[句]		3
山羊の肉。				
hicaN	ヒツァン	[形]		沖 4
薄い。				
hici	ヒチ	[名]		1 0
瀬。干瀬。				
hici	ヒチ	[名]		T
未 (十二支の一つ)。				

hiciNdidama	ヒチンディダマ	[名]	生
糸繰り車。			
hiciNgu	ヒチング	[名]	5
菓子的一种。落雁。kugaci とも言う。			
hiciNtai	ヒチンタイ	[形]	沖 4
冷たい。hiragiNtai とも言う。			
hicicu(N)ga	ヒチツ(ン)ガ	[名]	1
(植) ホウセンカ<ツリフネソウ科>。根を乾燥させ、せんじて飲む。高血圧に利く。			
haciduraci	ヒチドゥラチ	[名]	T
ザルの一種。目が粗い。			
hicigani	ヒチガニ	[名]	S 57
ヒッチ鐘。どら鐘。			
hicimati	ヒチマティ	[名]	生
(蛇が) とぐろをまくこと。			
hicimiruN	ヒチミルン	[動] 6A型 hicimjaN	生
間を広げる。間隔を開ける。nai tariNdagi minujuNgara hicimiri; 苗が足りそうにないので間を広げなさい。			
hicimusa	ヒチムサ	[名]	T
よくおならをする人。			
hidati	ヒダティ	[名]	T
環礁のすぐそば。			
hidatiruN	ヒダティルン	[動] 6A型 hidatjaN	生
隔てる。			
hidatu *	ヒダトゥ	[名]	A 37
田の名。			
hidi	ヒディ	[名]	8
火のついた薪。			
hidiguru	ヒディグル	[名]	続59
鯉の削り節。			
hidiri	ヒディリ	[名]	生
傷跡。			
higawataburu	ヒガワタブル	[名]	A 7
(地) 比川田原。			
higuN	ヒグン	[名]	T
灰。hiNgu; すす。higuNkanda: kuNkaNda;; ほこりをかぶって汚らしい。			
higaNna	ヒカ ^ン ナ	[名]	生

潮が干いた時、波がえしのサンゴ礁の所にいるカニ。色が黒く、体長5 cm前後ある。				
hija	ヒヤ	[名]		3
綜こう。織物製造の際、緯糸を通す緋。足で踏んで縦糸を交互に上下させる用具。				
hijaasi	ヒヤアシ	[名]		こ122
冷や汗。				
hijahui	ヒヤフイ	[感]		9
気合いを入れる時に発する語。掛け声。				
hijasasa	ヒヤササ	[感]		続40
えい！（掛け声）。				
hika	ヒカ	[名]		昔219
小さい穴。anaNpu; 大きい穴。hika hugiduburu; 小さい穴があいている。				
hikadiiri	ヒカディイリ	[名]		
旧暦の8、9月頃。				
hikariNkai	ヒカリンカイ	[名]		7
光っているさま。（ガラスなどが）透き通っているさま。hikariNkaidu buru; ピカピカ光っている。				
hikariruN *	ヒカリルン	[動]	6A *	1 3
引かれる。魅せられる。tuiagamija minugaNki kuguruhikari; 一人息子は、娘に心引かれ…。（昔77）				
hikaruN	ヒカルン	[動]	2A型 hikaN	3
光る。				
hikiruN	ヒキルン	[動]	6B型 hikuN	生
穴があく。hugiruN とも言う。				
hikuN	ヒクン	[動]	1A型 hitjaN	生
突く。刺す。k'uN とも言う。anu hikuNdo; 私が突くよ。				
hikuN	ヒクン	[動]	4A型 hikusjaN	T
引越す。				
hima	ヒマ	[名]		昔27
<新>暇。duru c'u: niNdu: himaN mi:nu sagu; 夜昼寝る暇もなく…。				
himiki	ヒミキ	[名]		こ49
ぜんそく。himiki mutitu; ぜんそく病み。（続120）				
hinai	ヒナイ	[名]		T
<古>（地）比川の戦前の名。髭川をあてる。これは行政上の名で、比川の老人達は昔から Ndimura と言っていたという。				
hinuburi	ヒヌブリ	[名]		生
環礁の外側。				

hiparuN	ヒパルン	[動] 2A型	T
＜新＞引っぱる。			
hippaiarasi	ヒッパイアラシ	[名]	5
遊びの一種。松の葉を引っ張りあって争う。			
hira	ヒラ	[名]	生
柱。			
hira	ヒラ	[名]	T
へら。草取りや植えつけに使う。			
hiraccaN	ヒラッツァン	[形]	生
乳飲み児などがおとなしい。			
hiragiNtai	ヒラギンタイ	[形]	生
冷たい。hiciNtai とも言う。			
hiragimiN	ヒラギミン	[名]	こ122
冷や水。			
hirai	ヒライ	[名]	昔43
付き合い。			
hiranuhi	ヒラヌヒ	[名]	T
柱の差し込みをうける穴。			
hiranumara	ヒラヌマラ	[名]	T
柱の差し込み。			
hirapagai	ヒラバカ°イ	[名]	民
一般用平鍬。			
hirasika	ヒラシカ	[名]	1 0
怠け者。ふまじめ。よくない事をする人。			
hiri	ヒリ	[名]	生
＜古＞午前10時頃食べる食事。多くは芋であった。今頃は早朝から働かなくてよいので、この習慣がなくなった。hirja 参照。			
hiri	ヒリ	[名]	T
へり。ふち。			
hirja	ヒリャ	[名]	生
＜古＞午前5時頃食べる食事。昔は午前中に2回食事をした。今ごろは仕事になったので、このように早朝に食事する習慣がなくなった。hiri 参照。			
hiru	ヒル	[名]	1
(植) ニンニク。潰して少量の塩と混ぜて塗り、包帯の代りにばしょうの葉で巻くと魚の毒消しになるといわれている。酒に漬けて飲む(hirusaki)と破傷風の予防となる。破傷風は miNma 参照。			

hiruN	ヒルン	[動] 6B'型 hjuN	3
冷える。			
hiruN	ヒルン	[動] 6B'型 hjuN	生
行く。hi minuribaNja: inamunu; (行くなと言ったのに) 行ってしまったんだな。hjaNja;; (本人は行かなかったと言うが) 行ったんだな。			
hiruN (1)	ヒルン	[動] 6A型 hjaN	1
<古>くれる。物をやる。hiraninuna; やれないのか。hiri; くれなさい。NdaNki hirui;; おまえにやろうね。			
hiruN (2)	ヒルン	[補] 6A型 hjaN	1
…てくれる。ある人のために何かをする。tuiwai hiri; 受け取って下さい。hami hiranukaja; 食べさせてくれないかな。(昔21) si hiNna; 来てくれるな。			
hirumi	ヒルミ	[名]	生
(動) 浜辺に穴を作って住んでいるカニ。白色で目が高くつき出ている。甲がかたい。			
hirusaN	ヒルサン	[形]	生
広い。			
hisaN	ヒサン	[形]	生
寒い。			
hisarikaNda *	ヒサリカンダ	[名]	植148
(植) ヘクソカズラ<アカネ科>。			
hisikiruN	ヒシキルン	[動] 6A*型	続22
いじめる。			
hiti	ヒティ	[名]	沖t
(魚) スズメダイ科の魚の総称。体に5、6本のしまをもつ。コガネシマアジも含む。			
hiti	ヒティ	[名]	こ64
幼女。			
hittui	ヒットウイ	[名]	T
1日。			
hitu	ヒトウ	[名]	こ7
(動) イルカ。			
hitumibana *	ヒトゥミバナ	[名]	歴136
<古>ディティグ御嶽の神名。詳しくは、ヒトミバナ、バナダラと言う。			
hitusikumi	ヒトゥシクミ	[名]	3
一仕込み。			
hizinu *	ヒジヌ	[名]	植77
(植) カンコノキ<トウダイグサ科>。			
hja:	ヒャー	[感]	昔213

掛け声。驚きの声。ja: hja: Ndi; さあ、と言って。

hja:kanici ヒャーカニチ [名] 2

百日忌。

hja:ni ヒャーニ [名] 民

杓子 (汁用)。

hja:nu ヒャーヌ [感] 続40

かゆくていやな気持ち。例えば、しらみが腕に上ってくる時のたまらなくいやな気持ち。

hjaN ヒャン [名] T

(昆) 虫の一種。和名不明。小さくて、よく藁にいる。

hjagusu ヒャグス [名] T

百姓。

hju:ci ヒューチ [名] 昔165

拍子。・・・ところに。nigaicaritibu:ru hju:cini butuja harugara kaisi siti; 願っているところに、夫が帰って来て。(昔165)

hju:ri ヒューリ [名]

日の吉凶日取り。

ho:cju ホーチュ [名] 沖T

(魚) アカマンボウ。

ho:ihoi ホーイホーイ [感] 3

牛を歩かせる時の言葉。

hokamanusajati * ホカマヌサヤティ [名] A 62

(地) 海岸名。末尾の地図参照。

hu フ [名] T

穂。

hu: フー [名] 2

幸運。hu: minutaN; 運がなかった。

hu: フー [名] T

帆。

hu:ciri フーチリ [名] 沖I

穂のいもち病。

hu:hu: フーフー [慣] 5

<幼>熱い物をさます時に言う言葉。

hu:munuN フームヌン [名] 続55

害虫を忌む祭。旧四月吉日稲穂の出る時季に行う。munuN; 物忌み祭。

hu:nuiju フーヌイユ [名] 沖T

(魚) シイラ。体が細く長い。頭の形でオス、メスの区別をする。オスは頭部がはり出している。			
hu:tiNki	フーティンキ	[形] 特殊	生
大きい。			
hu:wata	フーワタ	[名]	1
帆の風袋。			
hu:zjo:	フージョー	[名]	1
<移>煙草入れ。漁師用は枕としても使われる。			
huN	フン	[動] 4B型 husjaN	生
閉める。ふす。			
huN	フン	[動] 4B型 husjaN	生
干す。Nnani hui; 着物を干しなさい。			
huN	フン	[動] 5A型 haN	生
食べる。kaci hamiri; お菓子を食べさせなさい。naidu haiti aigu; 今食べて来た。			
huN *	フン	[名]	歴1
<古>組。huNnu sira*; 組の稲倉。			
huNdai	フンダイ	[名]	1
わがまま。あまえる事。huNdai kiruN; あまえる。huNdai kimiruN; あまやかす。			
huNnai	フンナイ	[名]	昔106
準備。sikiri, sitagwi とも言う。			
hubi	フビ	[名]	こ41
ほうび。賞。			
huci	フチ	[名]	生
(植) ヨモギ <キク科>。雑炊に入れて食べる。この汁をつけるとあせもに効き、飲むと内熱に効く。モグサを指す時もある。(続75)			
huci	フチ	[名]	4
星。			
huci	フチ	[名]	1
癖。hucitui; (人の) 癖をとること。(12)			
huci	フチ	[名]	2
遺骨。仏骨。			
huciba	フチバ	[名]	1
(植) ヨモギの葉。			
hucibamuti	フチバムティ	[名]	2
よもぎ餅。三月三日の浜下りのときに、身体内の不浄を清める意味で食す。			
hucibi	フチビ	[名]	1 2

(植) オオタニワタリ<チャセンシダ科>。hucibinubutu; オオタニワタリの一部分。

hucibinumutu * フチビヌムトゥ [名] 植08

(植) シマオオタニワタリ<チャセンシダ科>。hucibi 参照。

hucidati フチダティ [名] 5

お灸。

hucidi * フチディ [名] 資335

対策。uNni dunanu hucidi kibutaru; このように税金の対策をしていた。

hucigami フチガミ [名] 生

骨がめ。遺骨を入れるかめ。

hucigirai フチギライ [名] 生

洗骨。死後3年から7年経て、骨を酒で洗った後、かめに入れて安置する事。洗骨する日は、現在では適当な吉日を選ぶが、昔は1月16日か7月7日と決っていた

hucipuN * フチクン [動] 1C型* hucitjaN* 1 2

防ぐ。対策。munukui kuidu nutinu hucidi; 作物を耕作して命を防ぎ…。(昔192)

hucinuci フチヌチ [名] T

(植) クスノキ <クスノキ科>。

hucinuhamuti フチヌハムティ [名] 1 2

蓬餅。hucibamuti とも言う。

huda:huda: フダーフダー [感] 昔162

フダーフダー。ヒヤッしたり、ホッとした時に発する語。

hudagati フダガティ [名] 続71

危機一髪。

hudi フディ [名] 4

筆。

hudimunu フディムヌ [名] T

(植) ハマシタン。浜に群生する。白い花を咲かせる。

hudimunu フディムヌ [名] T

(植) ミズガンピ<ミツハギ科>。

hudiriami フディリアミ [名] 生

かすり模様に編むこと。

hudui フドゥイ [名] 昔179

成長。

huduruN フドゥルン [動] 6B型 huduN 昔26

成長する。agami huduruN sudu tanusimini bu:rutasi; 我が子の成長を楽しみにしていると…。

huga フガ [名] T

外。よそ。hugagara irai kuna; よそから借りて来るか。huga t'uNdu kamaisiti; 別の妻をもらって来て……。hugaNkidu tuNdi hjuru; よそに出て行った。(資345)			
hugarasa	フガラサ	[感]	4
ありがとう。お礼の言葉。			
hugatuN	フガトゥン	[名]	2
妾。「外の妻」の意。			
hugu	フグ	[名]	T
矛。玉祭の時の神器。			
huguN	フゲン	[名]	生
(植) フクギ <オトギリソウ科>。暴風林として屋敷の周囲に植える。染料を作る。			
huguN	フゲン	[動] 1B型	T
拭く。掃く。minaga hugu hutu; 庭を掃くほうき。			
huguNdumi	フグンドゥミ	[名]	続71
副本染め。huguNdumiiru; 黄色 (副本染めの色)。			
hugaN	フカ°ン	[動] 3A型	生
穴などをあける。hugai; 開けなさい。hugiruN 参照。			
hugiruN	フキ°ルン	[動] 6B* huguN*	生
(穴が) 開く。hugaN 参照。			
huguN	フク°ン	[動] 1C型	生
満足する。c'imu hugN; 心が満足する。			
hui	フイ	[名]	こ82
笛。Nbatu 参照。			
huicaraN	フイツァラン	[動] 3A型	生
放り捨てる。散らかす。huicarasi k'atiruNdu; (早くかたづけないと) 放り捨てるよ。			
huicarai kacarai	フイツァライ カツァライ	[名]	N 115
散らかっている様子。			
huimudu	フイムドゥ	[名]	続31
岩を掘りぬいて造った墓。			
huju	フユ	[名]	T
冬。			
huju	フユ	[名]	N 132
樂すること。なまけること。hujuN kiruN; なまける。			
huju *	フユ	[名]	資
骨惜しみ。なまけること。			
hujuNmaja	フユンマヤ	[名]	1 2
怠ける人。hirasika とも言う。			

hujunNani	フユンナニ	[名]	1
冬の着物。			
hujumusiki	フユムシキ	[名]	T
冬の時期。旧暦の1月から6月までの時期。			
hukaNda	フカンダ	[名]	1
(植) 山カズラ。山から取ってきて乾燥させ、せんじて飲むと熱さましとなる。			
hukka	フッカ	[名]	T
二日。			
humikuN *	フミクン	[動] 1A型*	1 6
ほてる。hada humiti; 肌がほてる。(黒65)			
humiruN	フミルン	[動] 6A型 humjaN	5
誉める。			
humiti	フミティ	[名]	沖I
刈りとった米が湿気をおびて熱をもつこと。			
huna	フナ	[名]	沖I
(魚) フナ。			
hunadama	フナダマ	[名]	昔205
船魂。女性の髪の毛を航海祈願に使った。			
huni	フニ	[名]	T
骨。			
hunibura	フニブラ	[名]	1 1
口達者で全然仕事をしない人。			
hunu	フヌ	[名]	4
たつまき。			
hura	フラ	[名]	生
鞍。			
hura	フラ	[名]	T
空洞。adanuhura; (古くなって) 空洞のあるアダン。			
huraNda *	フランダ	[名]	A 61
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
huraNdamaruN	フランダマルン	[動] 2A型	生
曇る。			
hurahuti	フラフティ	[名]	1 0
ほらふき。			
huriNgai	フリンガイ	[名]	T
震え。madi huriNgai nuranutaba; まだ震えが治らなかったのも…。(昔123)			

huriNgaruN 震えあがる。	フリンガルン	[動] 2A型 huringaN	T
huridamanui 急に狂気になり、暴れ出すこと。	フリダマヌイ	[名]	昔222
hurimai 御馳走。	フリマイ	[名]	昔171
hurimunu 間違い。huritu とも言う。	フリムヌ	[名]	1 0
huriruN 気が狂う。	フリルン	[動] 6B型 huruN	生
hurisi 黒い石。	フリシ	[名]	生
huritu 間違い。hurimunu とも言う。	フリトゥ	[名]	続72
hurja 少年。	フリャ	[名]	生
huru 青年男子。	フル	[名]	生
huru ＜古＞鰹漁の餌。	フル	[名]	歴4
huru(tu) 梅毒（を持っている人）。	フル(トゥ)	[名]	こ78
huru:mami * （植）ジュロクササゲ＜マメ科＞。	フルーマミ	[名]	植64
huruN 振る。	フルン	[動] 2B型 hwaN	生
huruN 掘る。	フルン	[動] 2B型 hwaN	生
huruN 降る。	フルン	[動] 2B型 hwaN	生
huruN * （植）ハマセンダン＜ミカン科＞。	フルン	[名]	植68
huruN * （植）ハリツルマサキ＜ニシキギ科＞。	フルン	[名]	植87
huruN * 放る。	フン	[動] 2B型 * huN*	昔67

huruNbu	フルンブ	[名]	沖T
(貝) ハチジョウダカラ。大型で丸味を帯た貝。背面はべっこう模様をし、腹面は黒色。			
huruNda	フルンダ	[名]	生
(貝) ホシダカラ。			
huruNgi	フルンギ	[名]	続31
陰毛。			
huruNnani	フルンナニ	[名]	1
古着。			
hurubu *	フルブ	[名]	無45
(地)。島仲の近くにある。			
hurubucira *	フルブチラ	[名]	黒44
汚れた顔。			
huruci *	フルチ	[名]	歴50
<古>古い血。			
hurucici	フルチチ	[形] 特殊	生
黒い。			
hurucu	フルツ	[名]	生
垢。			
hurugi	フルギ	[名]	T
(植) リュキュウコクタン<カキノキ科>。kidaki とも言う。			
hurugi	フルキ°	[名]	T
<稀> (植) クロキ<ハイノキ科>。kidaki 参照。			
huruja	フルヤ	[名]	生
豚小屋。便所。以前は豚小屋と便所は同じ建物であった。外から帰ると、家に入る前に便所に入る習慣があった。			
hurukumai	フルクマイ	[名]	続7
青あざ。紫色になった唇。(黒50)			
hurumai	フルマイ	[名]	沖I
古米。			
hurumi	フルミ	[名] 特殊	生
古くなっていること。			
hurumi *	フルミ	[名]	黒46
瞳。			
hurusagi	フルサギ	[名]	3
古酒。			
hurusata	フルサタ	[名]	3

黒砂糖。			
hurusida *	フルシダ	[名]	A 42
田の名。			
hurusisati *	フルシサティ	[名]	A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
hurusitati *	フルシタティ	[名]	A 26
田の名。			
huruti	フルティ	[名]	1 0
かわいい幼い男の子。			
hurutija	フルティヤ	[名]	沖I
(動) 田に生息する食用生物の一種。和名不明。			
husaN	フサン	[形]	生
欲しい。			
husiiju	フシユ	[名]	6
日干しにした魚。			
husu	フス	[名]	生
へそ。			
husuciabu	フスチアブ	[名]	生
産婆。「へそを切るお婆」の意。			
husugu	フスグ	[名]	昔219
不足。husugumunu; 不足者 (不具)。			
husugumunu	フスグムヌ	[名]	昔80
不足者。不具者。ti minu husugumunu; 手のない者。			
huta (1)	フタ	[名]	生
包丁。			
huta (2)	フタ	[名]	こ6
祝いの時に頼む料理人。板前。隣近所の料理の上手な人を頼む。こ16によると「板場」も指すか。			
hutaNgi	フタンギ	[名]	ま15
お餅の粉をやわらかく炊いた物。十五夜に作る。			
hutai	フタイ	[名]	S 65
横木。			
huti	フティ	[名]	生
稲光り。			
huti	フティ	[名]	生
ほうき。			

hutiNkinucimi	フティンキヌチミ	[句]	9
大罪（大きな罪）。niguraru cimi とも言う。			
hutiti	フティティ	[名]	5
仏壇に供える掃木。ススキの穂で作る。お盆の時、ミディヌクと一緒に供えられる。			
hutjaN	フタン	[形]	1
わさわさする。気分が悪い。c'imu hutjagu nai; 心がわさわさして…。anu c'imu hutjaru; 私 は心がおつかない。c'imu hutjaruta kagarai; 気分が悪くなるほど叫び…。			
hutta	フッタ	[名]	1
おしめ。			
hutuNkuN	フトウンクン	[動] 1A型 hutuNtjaN (hutuNtuN)	1 0
ふやける。水にうるおってふくれる。			
hutuNti	フトウンティ	[名]	3
おさ。織機の付属具。経糸の位置を整え緯糸を織り込むに用いる。			
hutugi	フトウギ	[名]	沖T
（貝）ヤキイモ<イモガイ科>。細長い円錐形で、黄褐色の不規則な帯をめぐらす。			
hutugi	フトウギ	[名]	昔81
（神棚にある）仏。			
hutugibuni *	フトウギブニ	[名]	黒53
うなじの骨。			
hutugisubu	フトウギスブ	[名]	生
イモガイを使った遊び。昔、子供はイモガイをコマの代用にして遊んだ。			
hutuguN	フトウグン	[動] 1B型	
ほどく。解く。haNni magaributaru Nna hututiti suiiti; （牛の）足に巻き付いた縄を解いて連 れて…。ugaNhututi; 豊年祭（1年間の願いを解く意）hutubuN とも言う。			
hutuguN	フトウクン	[動] 1B型	生
<稀>ほどく。hutubuN とも言う。			
i(:)gunaga	イ(一)グナガ	[名]	昔64
幾日。			
i:	イー	[名]	5
御飯。i: ujai; 御飯をお上がりなさい。			
i:	イー	[名]	T
胃。			
i:	イー	[名]	T
絵。			
i:	イー	[助]	沖M

…ね。軽く念を押す終助詞。音声としては[e:]とか[ei]と聞こえる。uNnie;; そうですね。
 kimirue;; させようね。maduN aNbiNdi hirue;; 一緒に遊びに行こうね。kami tati buNsuya
 kamadue;; あそこに立っているのはカマドだね。

i:ba:	イーバー	[名]	昔82
良い時。			
i:ci	イーチ	[名]	9
良い日。			
i:duguru	イーDouguru	[名]	昔122
急所。良いところ。uNnu i:duguruNki; 鬼の急所に…。(昔122)			
i:hati	イーハティ	[名]	生
供えもの。お膳に丸いおむすびを盛ったもの。種取祭りの時に供える。シラ（稲むら）をか たどったものと言う。			
i:kamirari	イーカミラリ	[名]	こ5
胃けいれん。			
i:kikazimunu *	イーキカジムヌ	[名]	民62
鱗とり。			
i:kuja:	イークヤー	[名]	T
乞食。			
i:kutu	イークトゥ	[名]	6
めでたい事。良い事。			
i:magai	イーマガイ	[名]	T
飯碗。			
i:magasi	イーマガシ	[名]	こ46
炊事。			
i:nuciN	イーヌチン	[句]	昔73
飯粒。御飯の粒。			
i:sagu	イーサグ	[句]	S 11
適量。いい量。			
i:tati	イータティ	[名]	昔218
出世。			
i:wasiki	イーワシキ	[名]	4
好天。			
iN	イン	[名]	生
(動) イセエビ（甲殻類）。i:N とも言う。(沖4)			
iN	イン	[名]	T
戌（十二支の一つ）。			

iN	イン	[名]	こ12
縁。関係。iN arutu; 縁のある人。			
iN	イン	[名]	6
軒下。			
iNbi	インビ	[名]	5
いぼ。			
iNbi *	インビ	[名]	黒65
皮膚病の一種。			
iNci	インチ	[名]	沖I
苗床の区画を数える単位。t'uiNci（1区画）には1反分の種粳がまかれる。t'aiNci（あるいはt'aNci）；2区画。			
iNda *	インダ	[名]	A37
田の名。			
iNdu	インドゥ	[名]	1
遠慮。			
iNganDaruma	インガンダルマ	[名]	沖T
（魚）カッポレ<アジ科>。体高は高く、色は濃い黒褐色をしている。			
iNgumi	イングミ	[名]	2
縁組。			
iNguti	インク°ティ	[名]	1 2
（田畑の）入口。			
iNmaN	インマン	[名]	昔170
<新>円満。			
iNnumi *	インヌミ	[名]	A55
田の名。			
iNsaN	インサン	[形]	生
重い。			
ibaja	イバヤ	[名]	1
威張り者。			
ibani	イバニ	[名]	1 3
家の東側の庭。			
ibari	イバリ	[名]	昔177
いわれ。由来。du:ri とも言う。			
ibaruN	イバルン	[動] 2A型	3
威張る。			
ibi	イビ	[副]	昔49

少し。ibi hanariti; 少し離れて…。(昔49)			
ibi:iti	イビーイティ	[名]	昔76
一休み。一息。			
ibiNkaN	イビンカン	[副]	昔202
もう少し(時間的にも量的にも)。			
ibidugui	イビドゥグイ	[名]	1 3
息抜き。小休止。			
ibira	イビラ	[名]	生
大きなしゃもじ。大鍋で多人数のおかずや、芋を煮る時に混ぜるために用いる。			
ibisaN	イビサン	[形]	昔57
小さい。ibisaruta; 幼い頃。			
ibita	イビタ	[副]	生
少し。ibitati と使うことが多い。ma ibita; もう少し。			
ibugi	イブギ	[名]	T
どのくらい(大きさ)。ibugi arukaja;; どれだけあるかね。			
ici	イチ	[名]	生
5。			
ici	イチ	[名]	T
いつ(何時)。			
iciN	イチン	[副]	T
いつも。kanu t'uja icciN sagidu numiburu; あの人はいつも酒を飲んでいる。			
iciN *	イチン	[名]	植77
(植) シマシラキ<トウダイグサ科>。			
iciNbinaga	イチンビナガ	[名]	T
(貝) カワニナの種類。			
iciNgu:	イチンクー	[名]	3
<新>一合。			
iciaba	イチアバ	[名]	沖T
(魚) オニオコゼ。猛毒をもつ魚。石のようなかっこうをしているこよから命名。トゲに猛毒をもつ。			
icibagiN	イチバギン	[副]	昔186
いつまでも。ici (いつ) +bagiN (までも)。icibagiN uNni aga k'anaiNdiya; いつまでもこのように私が養うことは…。(昔63)			
icibiN	イチビン	[名]	1 2
酒びん。結婚式の時、酒をいれて持っていく陶器の入れ物のこと。			
icibugu	イチブグ	[名]	生

石。道にころがっている石。

icibugu イチブグ [名] 5

石遊び。keNkeNpa: とも言う。

icibuguhatagi イチブグハタギ [名] 1

石のまじっている畑。

icibugumuruku イチブグムルク [名] 1

畑などの石を積んだ所。icimuruku とも言う。

icibuguti イチブグティ [名] 黒

小石。乳幼児の歯。

iciciNbana イチチンバナ [名] 3

五つ花模様。五つ花。与那国島花織りの模様。

icidaigu イチダイグ [名] こ5

石大工。

icidarai イチダライ [名] 1 2

石だらい。

icidati * イチダティ [名] A 36

田の名。

iciduNgusa イチドゥングサ [名] 沖I

田の一番目の草取り。

icidukasi イチドカシ [名] 沖I

農具で最初に田を耕すこと。

iciguN イチグン [名] 生

砂利。

icii:N イチイーン [名] 沖T

(動) ゾウリエビ。甲は平たく、ゾウリの形をしていることから命名。

iciika イチイカ [名] 昔223

何月何日。某日。

icimi:bai イチミーバイ [名] 沖T

(魚) カモンハタ。サラサハタなど。石垣状の斑紋をもち、尾びれは丸味をもつ。全体に黒い丸斑をちりばめ、浅い岩礁にすむ

icimutasi イチムタシ [名] 沖I

耕作用農具。泥を柔らかくする為、牛に引かせる石。多くは、c'aisi (さんご石) を使用している。

icinagicima: イチナギチマー [名] 昔14

(地) 石垣島。

icinu p'asagu イチヌ ッパサグ [句] 続31

岩の間。

icinuku	イチヌク	[名]	生
(動) 浜辺に穴を作って住んでいるカニ。ハサミの根元と尻が赤味を帯ている。甲がやわらかい。			
icitarai	イチタライ	[名]	T
石で造った水ため。icidarai とも言う。芋洗い用。			
ida	イダ	[名]	1 0
(昆) 南京虫。			
idani *	イダニ	[名]	黒50
どもり。Ngani 参照。			
idi	イディ	[名]	1
意地。idi Ndiriju: 意地だせよ (頑張れよ)。			
idiNdaN	イディンダン	[動] 3A型 idiNdasjaN	3
意地を出す。力む。			
idiburuta	イディブルタ	[名]	こ46
生前。生きている間。			
idimiruN	イディミルン	[動] 6A型 idimjaN	生
いじめる。			
idiru	イディル	[名]	昔189
itu (葛のつる) をさいて作った入れ物。吊り籠 (高さ 5 0 c m くらいで、食料保存に使う) や弁当箱など。			
ie:hai	イエーハイ	[感]	続34
牛馬に対する掛け声。進め!。			
iguN	イグン	[名]	生
一本刃のもり。			
iguN	イグン	[動] 1B型	T
行く。終止形は単独では使わないようである。完了形がでてこない欠陥動詞。keiro:no hinu atadu sugu itja ru tuduti; 敬老の日の翌日すぐ行ったわけ…。(S10) kunuNsaNdi atu uiigja buranu; 「この奴」と後を追って行くと、居ない。(昔122) itatiki: ikiju;; 幸せな暮らしをしていきなさい。(昔218) da:Nki suihititi; 家に帰って行って…。(昔128) suiititi; 連れて行って。(昔120)			
iguci	イグチ	[名]	T
いくつ。			
iguga	イグガ	[名]	昔3
幾日。何日。			
igumuruci	イグムルチ	[名]	こ30

幾度。何回。

igunaga	イグナガ	[副]	N 112
いつでも。igunaga narubaN wariju;; いつでも、いらっしゃいよ。(13)			
igura	イグラ	[名]	沖T
(動) 小さなタコの総称 (軟体動物)。			
igurati	イグラティ	[名]	T
いくら。iguratija; (値段は) いくらですか。			
ihai	イハイ	[名]	T
位牌。			
ihuna	イフナ	[連体]	6
変な。			
ija	イヤ	[名]	生
父。			
ija	イヤ	[感]	S 25
あれ。驚いた時発することば。			
ijai	イヤイ	[名]	昔79
<古>手紙。今は t'igami という。			
ijati	イヤティ	[名]	生
三男以下のおじさん。おじさんが二人の時は、次男のおじさんのこと。			
iju	イユ	[名]	3
魚。ijunu mi; さしみ。魚の身。			
ijukakida	イユカキダ	[名]	民
<移>釣 (漁獵用具)。魚をかけておくかぎ状のもの。			
ijunumara	イユヌマラ	[名]	生
リンパ腺。			
ijunumi	イユヌミ	[名]	5
うおのめ。			
ijupasi	イユパシ	[名]	6
魚釣。			
ijutuNtu	イユトゥントゥ	[名]	昔206
<稀>漁師。isuNtu 参照。			
ika	イカ	[名] 1D型	T
一家。ika mutuN で成長する、大人になるという意に用いられる。naigara ika mutidu kiru; 今から大人になる。ikaN mutasi buibi; 一家も持たしているの。ika mutitaba maihuna naiburu; 成長したのでお利口になっている。			
ikaN	イカン	[副]	昔48

絶対。全く。a:naranuN ikaN tumarukutu naranuN; あ一駄目だ、絶対泊まることはできない。 (昔48) 否定語をとまなう。			
ikadikaNnamu *	イカディカンナム	[名]	植175
(植) タツノツメガヤ<イネ科>。			
ikaikanukutu	イカイカヌクトゥ	[句]	昔144
これこれの事。			
ikaju:	イカユー	[名]	民
イカ釣擬餌針 (漁獵用具)。			
ikana	イカナ	[副]	昔73
どのような。ikanaciN; どのようにになっても。			
ikaraNpu	イカランプ	[名]	民
船用のランプ。			
ike *	イケ	[名]	A 51
田の名。			
ikenobariti *	イケノバリティ	[名]	A 51
田の名。			
iki	イキ	[名]	T
池。			
ikida	イキダ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
ikigusara	イキグサラ	[名]	沖T
(魚) ゴマヒレキントキ<キントキダイ科>。各ひれに淡赤色の斑点をちりばめる。			
ikimai	イキマイ	[名]	T
一期米。一期作。			
ikiru	イキル	[名]	こ77
呪い。ikirukiruN; 呪う。			
ikiruN	イキルン	[動] 6A型 ikjaN	4
(花などを) 生ける。			
iku	イク	[名]	1
舟を漕ぐかい。tumunuiku; 参照。			
ikuN	イクン	[動] 1A型 itjaN	生
煎る。煎じる。ikuNna; 煎るな。			
ikuN	イクン	[動] 1A* ituN	T
生きる。ituru uti; 生きている内。(S32) mabiN ikuN; もっと生きる。			
ikuca-kiruN	イクツァキルン	[動] 6A型 -kjaN	昔132

戦争する。大騒ぎする。dwaikiruNdi uci wa: kurusi c'igunicimaigara ikucakiributaba; お祝い
をしようと牛や豚を殺し、4・5日前から大騒ぎをしていたが…。(昔132) iti buruta; 生
きている間。生前。(6) ikuNtu Nninu Ntu bagaranuN; 生きるのか、死ぬのかわからない。
瀬戸際。(続121)

ikuku *	イクク	[名]	昔8
異国。			
ikurubi	イクルビ	[名]	A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
imasimikutuba	イマシミクトゥバ	[名]	こ19
格言。いましめ言葉。			
imasimiruN	イマシミルン	[動] 6A型	生
いましめる。			
imi	イミ	[名]	1
夢。			
imi	イミ	[名]	こ101
喪。忌み。			
imibarai	イミバライ	[名]	こ6
忌み明け。忌み払い。			
imikaNdi	イミカンディ	[名]	こ103
喪中。忌中。			
imikuguru	イミクグル	[名]	昔107
夢心地。			
imiruN	イミルン	[動] 6A型 imjaN	2
<古>太陽に当て干す。照らす。tidaNki imirihai; 太陽に当てなさい。nai tidaNki imjaru- juNgara karatuN; 今太陽に照らしたから乾いた。			
imudakaN *	イムダカン	[名]	こ62
鉄瓶。			
imuja:	イムヤー	[名]	T
おむすびや煮た芋を盛るザル。			
inaga	イナガ	[名]	N 110
田舎。			
inagamuci	イナガムチ	[名]	続27
いなか者。			
inamunu	イナムヌ	[名]	生
残念。inamunudu aNsuja; 残念だね。			
inigadani	イニガダニ	[名]	無3

タナンドゥリ（種取り祭）に唄われる歌。

inimai	イニマイ	[名]	生
飯米。			
inu	イヌ	[名]	昔132
<新>犬。			
inuNdaki *	イヌンダキ	[名]	植173
（植）ホウライチク<イネ科>。			
inugaN	イヌガン	[名]	歴66
（地）イヌガン。現在はnunugaNといわれている。（13）久部良の燈台の裏にある。（13）			
inuti	イヌティ	[名]	1 6
畑のあぜ。			
inutiagi	イヌティアギ	[名]	1 6
畑にあぜを作ること。			
ira	イラ	[名]	T
色情。情欲。			
iraN	イラン	[名]	T
（動）クラゲの一種。青色で、10cm位の糸状である。比川では、南風の時に多い。人に巻きついたらなかなか離れず、刺されたらミカンの皮の汁をつけるとよい			
iraN	イラン	[動] 5A型 iraN	生
借りる。hugagara irai kuna; よそから借りて来るか。			
iraNda	イランダ	[名]	3
宇良部岳の周囲の山々。			
irabu	イラブ	[名]	生
（動）エラブウミヘビ。			
irabuN	イラブン	[動] 1D型	T
選ぶ。			
irabugama	イラブガマ	[名]	A 62
（地）海岸名。比川の南牧場の近く。（13）末尾の地図参照。蛇の形をしている。（13）			
irabuta	イラブタ	[名]	沖T
（魚）スジブダイ、ツキノワブダイ、ブチススキベラなど。頭に帯状紋がある。背びれとしりびれに黄色の条がある大きいものを hati と言う。			
iragu	イラグ	[名]	1
デンプン。			
iraguti	イラグティ	[名]	1 2
台所の入口。			
irakaNdimunu	イラカンディムヌ	[名]	6

痴漢。助平。			
irakagaimunu	イラカガイムヌ	[名]	T
助平。好色者。			
iramida	イラミダ	[名]	6
貸家。			
iramiiraN	イラミイラン	[名]	1
貸し借り。			
iramiruN	イラミルン	[動]	6A型 iramjaN 2
貸す。iramiri; 貸せ。			
irara	イララ	[名]	生
鎌。			
iraraN	イララン	[名]	6
かもじ。入れ髪。			
iri	イリ	[名]	生
西。			
iriNbuta *	イリンブタ	[名]	A 45
田の名。			
iribara	イリバラ	[名]	生
西側。			
iribatanukaNnuta *	イリバタヌカンヌタ	[名]	A 18
田の名。			
iribi	イリビ	[名]	T
＜古＞（地）比川村発祥の地。現在の久部良のこと。西の方にあったからこういったとのこと。kuburiN ともいった。kuburiN ititikutajo;; 久部良に行ってきます。			
iributi *	イリブティ	[名]	植151
（植）サンゴジュ＜スイカズラ科＞。agaki とも言う。			
irida *	イリダ	[名]	A 19
田の名。			
irigani *	イリガニ	[名]	植191
（植）クグテンツキ＜カヤツリグサ科＞。			
irigasa *	イリカ°サ	[名]	黒66
はしか。agahuki 参照。			
irikadi	イリカディ	[名]	4
西風。			
irimagura	イリマグラ	[名]	2
西枕。西に頭を向けて寝ること。死者には西枕をさせる。			

irimai	イリマイ	[名]	T
(地) 祖納の西村。			
irimugu	イリムグ	[名]	4
入り婿。			
irimutu	イリムトゥ	[名]	T
(地) 西表。			
irinaNtemaci *	イリナンテマチ	[名]	A 45
田の名。			
irinamaci *	イリナマチ	[名]	A 18
田の名。			
irinumaci *	イリヌマチ	[名]	A 37
田の名。			
iriruN	イリルン	[動] 6A型 irjaN	5
入れる。kagi iri; 鍵を入れなさい (差しなさい)。tiduguN iriruN; げんこつを入れる。			
irisati	イリサティ	[名]	A 61
(地) 西崎。海岸名。末尾の地図参照。			
iritagata *	イリタガタ	[名]	A 44
田の名。			
iriti	イリティ	[名]	生
いためもの。豆腐、ニガウリにもやしや、人参や木くらげなどをいれる。			
iru	イル	[辞]	生
深さ。長さを測る単位。尋。t'uiru; 一尋。			
iru	イル	[名]	T
色。			
iruN	イルン	[動] 不4 isjaN	1
為る。kiruN (為る) が複合語を作るのに対し、これは複合語を作らない。iri; (そう) しろ。iruba; したら。iruta; するうち。irja; しなさい isiburuta; しているうちに。isibusaN; したい。isiwaruN; しなさる isicibina; しきれるか。itagadu; したが。(N 184)			
iruN (1)	イルン	[動] 6A型 jaN	生
射る。			
iruN (2)	イルン	[動] 6A型 jaN	T
(蜂などが) 刺す。hataja igasija damundu; 蜂が刺したら痛いよ。irja; 刺したら。			
irubanasi	イルバナシ	[名]	こ125
わい談。色話。			
iruburi	イルブリ	[名]	こ42
情痴。色狂。			

irugi	イルギ	[名]	1 2
色付け。			
irukiNdi	イルキンディ	[名]	こ40
年頃。春情。色気が出ること。			
irukisaN	イルキサン	[形]	生
涼しい。			
isa	イサ	[名]	こ5
医者。			
isanuda:	イサヌダー	[句]	9
病院。医者の家。			
isara*	イサラ	[名]	A 18
田の名。			
isatumai	イサトゥマイ	[名]	生
(昆) カマキリ。			
isi	イシ	[感]	T
そう。a: isinai; ああ、そうネ。(昔111)			
isigaNtu	イシガントゥ	[名]	7
<移> 石敢当。			
isika	イシカ	[名]	沖I
苗束を数える単位。t'utabai の1 5 倍の苗束。			
isiti	イシティ	[接]	S 25
そして。iti とも言う。			
isitidaja	イシティダヤ	[名]	歴104
(地) イシティダヤ。比川から久部良に行く途中にある。(13)			
isjaNdamunu	イシャンダムヌ	[名]	T
憎いやつ。			
isjaranasu*	イシャラナス	[名]	A 27
田の名。			
isu	イス	[名]	6
磯。			
isuNtu	イスントゥ	[名]	T
漁師。			
isubagu	イスバグ	[名]	生
磯箱。漁に用いる針、糸、小刀、重りなどを入れる箱。			
isubibata	イスビバタ	[名]	昔118
海岸。			

isubibata	イスビバタ	[名]	昔152
磯辺。			
isugasaN	イスカ [°] サン	[形]	生
忙しい。isugasadu aru; 忙しい。			
isuguN	イスク [°] ン	[動] 1C型	T
急ぐ。			
isuhibita	イスヒビタ	[名]	続27
(昆) イソヒビタ虫。井戸や海岸にいるゴキブリみたいな虫。			
isukabai	イスカバイ	[名]	ま22
衣替え。旧十月と四月の年二回行われる祭事。isugabai とも言う。(13)			
isukabudu	イスカブドゥ	[名]	6
タバコ入れ。			
isumagura	イスマグラ	[名]	続243
漁師枕。			
isumikagaN	イスミカカ [°] ン	[名]	民
水中眼鏡。			
isumunu	イスムヌ	[名]	生
磯の物。潮干狩り。			
isunuhata	イスヌハタ	[句]	続24
磯辺。			
isusiku	イスシク	[名]	T
(植) モクビャクコウ <キク科>。葉を煎じて飲むと胃病・神経痛にきく。			
ita	イタ	[名]	こ4
(動) イカ。			
ita	イタ	[接]	昔35
では。じゃあ。ita uNnidu ataja; では、そんなことであったら…。(昔35)			
ita *	イタ	[名]	歴68
<古>「いぬがん」の東南方にある大きな偏平の黒石。島建ての伝説「女と犬との同棲物語」の中で、犬の死骸を埋めた場所という言伝えがある。(歴68)			
itaNda	イタンダ	[名]	こ97
無償。ただ。itadira とも言う。			
itaNda *	イタンダ	[名]	植19
(植) イヌビワ<クワ科>。			
itaNguci	イタンク [°] チ	[名]	生
屋根の棟。			
itaNni	イタンニ	[名]	T

板舟。板で作った簡単な舟。

itabaN イタバ [名] 1 3

<新>板番。料理人。

itabu イタブ [名] 民

押板。

itadiN イタディン [名] T

板銭。神仏に供える紙銭の一種。aNdikabi は白紙に銭の型を付けるのに対し、これは型を付けない。普通100枚位重ねて供える。

itadira イタディラ [名] 6

無償。ただ。itaNda とも言う。

itahanasidari イタハナシダリ [名] 3

板花織の手巾。

itamuN イタムン [動] 1D型 3

<新>いたむ。道路などにひびがはいること。

itani イタニ [名] こ5

板の間。多くは台所の間。

itaruti イタルティ [名] T

先月。「行った月」の意。

itatiruN イタティルン [動] 6A型 itatjaN 2

こぼす。miN itatjaN; 水をこぼした。(T)

itaturu イタトゥル [名] T

四角状のランプ。角ランプ。「板燈籠」の意。

iti イティ [名] T

息。

iti イティ [接] S 10

そして。isiti の融合した形。

itiN イティン [名] S 72

一番。最も。

itibaNda イティバンダ [名] こ22

一番座。客間。与那国では、普通、家に向かって一番左の部屋。

itibaNnumita イティバンヌミタ [名] 3

一番鶏。

itidaku イティダク [名] 生

生きている喜び。nu:N naNgi minuNdja itidakuNdja; 何の苦労もなく、生き楽だ。

itidui イティドゥイ [名] 歴77

生け捕り。

itigu	イティグ	[名]	T
いとこ。			
itigumaci	イティグマチ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
itigurisaN	イティグリサン	[形]	生
息苦しい。			
itikai	イティカイ	[名]	1 0
生きがい。			
itimuN	イティムン	[名]	T
一門。			
itimuci	イティムチ	[名]	昔223
生き物。動物。			
itimudui	イティムドゥイ	[名]	こ112
行き戻り。行き来。			
itirihanaNki	イティリハナンキ	[名]	昔53
流行性感冒。			
ititaki	イティタキ	[名]	昔124
生きたまま。ititaki:nu niNgiNtaru kunuNsani kuNnikiraritaNsuja; 生きたままの人間をこいつにこんな目に合わされたのだね。(昔124)			
itu	イトウ	[名]	生
うろこ。			
itu	イトウ	[名]	こ22
絹。			
itu	イトウ	[名]	続59
(植) トウヅルモドキ<トウヅルモドキ科>。また、その蔓をさいてつくった縄。薪を束ねたりするのに使う。糸には nuimi と言う。			
ituNmu	イトウンム	[名]	生
うろこ曇。			
itumagui	イトウマク°イ	[名]	6
暇乞い。			
itunubudi *	イトウヌブディ	[名]	無52
唄。昔の賄女制度を赤裸々な物語りに描写した唄。			
itunubudi ?	イトウヌブディ	[名]	N175
イトウヌ節。とてもきれいな、上等な着物というような意味。			
itununu	イトウヌヌ	[名]	こ26
絹布。			

ja	ヤ	[助]	沖M
…ね。疑問を表す終助詞。isikaja; そうかね。kuna karina nu:ja; これか、あれか、何か。 Ndaga kagu dija nu:Ndi Ndu dija; 君の書く字は何という字か。			
ja	ヤ	[助]	沖M
…は。他と区別する係助詞。suguNdija iraninuN; すぐには出来ません。zju:niNbagaija buru hadie;; 十人くらいは、いるだろう。anuja kaganuN; 私は書かない。uNki sabaini tadaja dara-nuNdo;; それに触って見ろ。ただではすまさんぞ。			
ja:haN	ヤーハン	[名]	生
屋判。山羊の耳を切り持ち主がわかるようにした印。			
ja:ko:na:ko:	ヤーコーナーコー	[慣]	5
目で叱ること。			
jaN	ヤン	接	昔95
…ても。NdijaN uituranu juNgara; 言っても売ってもくれないから。			
jai	ヤイ	[助]	昔56
…て。疑問を表す助詞。nu:jai; どうして。			
jaitu	ヤイトゥ	[感]	1
ヨイシヨ (掛け声)。			
jakara	ヤカラ	[名]	昔146
やり手。上手。移入語か。			
jamatubaru *	ヤマトゥバル	[名]	A 20
田の名。			
janagi	ヤナギ	[名]	4
<植>ソウシジュ <マメ科>。			
japa	ヤパ	[副]	S 28
やっぱり。			
jasimahaga	ヤシマハガ	[名]	探173
屋島墓。damatuhaga (大和墓) とも言う。平家の落武者の墓と言われている。			
ju:	ユー	[助]	9
ねー。さー。間投助詞。unuju; あのねー。			
ju:	ユー	[助]	昔224
…よ。相手に呼びかけるようにして注意を促す終助詞。hanasidu aiburuju;; 話があるよ。強意の終助詞。			
ju:tui	ユートゥイ	[名]	1
<移>湯取り。船垢を汲み出す道具。			
juN	ユン	[名]	T
故。ほとんど慣用的に、juNgara (故から)、juNsi (故で) の形で用いられる。dusabija			

buru ku juNgara NdaN kuju; 夕方皆んな来るから君も来いよ。nunu juNsi uNnitaru kiwa-taNgā; どうしてこのような悪企みをされたか。(昔88)			
juakami (ju:mi)	ユアカミ (ユーミ)	[名]	1
<移>へさきの穴。			
juda	ユダ	[名]	昔76
枝。duda 参照。			
jui	ユイ	[感]	1 3
ハイ。目下の者に向かっての返事。u: は目上の人に向かっての返事。			
jui hijai	ユイ ヒヤイ	[感]	S 58
ヨイショ。力を入れる時のかけ声。jujihijai hijaiNdi marasi; ヨイショ、ヨイショと転がして…。(S58)			
jui jui	ユイ ユイ	[感]	1 3
それぞれ。応援の掛け声。jui jui katiburudu; ハイハイ、勝っているヨ。			
juku	ユク	[副]	1 3
よく (何度も)。juku kuN; よく来る。			
jukubu:	ユクブー	[名]	3
<新>家畜小屋の横木。			
junuka	ユヌカ	[名]	生
浮きの一種。捕った魚を糸に通して浮べておく物。			
jusaNdihana	ユサンディハナ	[名]	植
(植) オシロイバナ<オシロイバナ科>か。jusaNdi (夕方) という語からして移入語らしい。			
juta	ユタ	[名]	歴31
ユタ (巫女)。			
k'a	ッカ	[辞]	沖I
稲束を数える助数詞。両手いっぱい稲束を三つ合わせた量。t'uka は t'utabai の3倍の量。			
k'a:	ッカー	[名]	生
神女。司。終身職で、死んだ時は、その長女が継承する。			
k'a:	ッカー	[名]	T
(刃物などの) 柄。			
k'a:N	ッカーン	[形]	沖 4
深い。			
k'a:da	ッカード	[名]	沖I
深田。			
k'a:mi	ッカーミ	[名]	ゾ沖I
つかむこと。田植の場合、苗を一度に七・八本つかまえること。			
k'aN	ッカン	[助]	昔54

…よりも。niNgiNkaN maisaN; 人間よりも大きい。(昔54)

k'aN	ッカン	[動]	3A型	生
ふかす。沸騰させる。				
k'aN-kiruN	ッカンキルン	[動]	6A型 k'aNkjaN	こ32
支える。				
k'aNmaja: *	ッカンマヤ	[名]		黒41
ちぢれ毛。				
k'aNmiruN	ッカンミルン	[動]	6A型 k'amjaN	資
曲げる。				
k'aabu	ッカアブ	[名]		T
司を呼ぶ時のことば。直訳すると「司おばあさん」。				
k'agaja	ッカガヤ	[名]		沖T
(貝) チョウセンハマグリ。三角形に近く、表面には斑紋が少ない。				
k'aiha	ッカイハ	[名]		昔221
経費。sugati kaiha; 正月を迎えるための経費。				
k'aimiN	ッカイミン	[名]		こ114
使い水。用水。				
k'aimunu	ッカイムヌ	[名]		2
御祝儀。				
k'airi *	ッカイリ	[名]	k'aisjaN	7
招待。				
k'airu *	ッカイル	[感]		昔3
お入り下さい (目上の人に対して)。wa:rja: nakaNki kairu kairu; いらっしゃい。中にお入り下さい。(昔3)				
k'airuN	ッカイルン	[動]	2A,3 k'aisjaN	1 3
迎える。招く。k'airariwari; 招かれてください。Nda k'airuna; 君を招待するか。k'aisi ku; 招待して来い。				
k'aitu	ッカイトウ	[名]		T
使用人。gici と比べ上品な言葉。				
k'amiruN	ッカミルン	[動]	6A型	昔83
使わす。k'ami turasiwari; 使わせて下さい。k'ami turai; 使わせてくれ。				
k'amuN	ッカムン	[動]	1D型	T
つかむ。				
k'anai	ッカナイ	[名]		2
(動物を) 飼うこと。				
k'anaigami	ッカナイアガミ	[名]		こ114

養子。			
k'anaimunu	ッカナイムヌ	[名]	7
養われている人。			
k'anun	ッカヌン	[動] 5A型	生
飼う。養う。			
k'asi	ッカシ	[名]	4
嘘。			
k'asi *	ッカシ	[名]	沖I
農具を使用して耕すこと。			
k'asidami	ッカシダミ	[名]	続83
仮病。tubjadami とも言う。			
k'asimunu	ッカシムヌ	[名]	1
迷信。偽もの。			
k'atiruN	ッカティルン	[動] 6A型 k'atjaN	4
捨てる。Nninu munu k'atiri; こんな物すてろ。			
k'i:hajuN	ッキーハユン	[動] 2A * k'i:haN	昔17
引込む。dinagaNki k'i:haihi irutasi; 地下に引っ込んでいます。(昔17)			
k'imunu	ッキムヌ	[名]	T
漬物。			
k'iruN	ッキルン	[動] 6A型 k'jaN	3
浸ける。			
k'iruN	ッキルン	[動] 6A型 k'jaN	7
付ける。			
k'u	ック	[名]	生
肺。			
k'uN	ックン	[辞]	生
包んだ物を数える単位。			
k'uN	ックン	[名]	生
ほこり。			
k'uN	ックン	[動] 1A型	生
吹く。			
k'uN	ックン	[動] 1A型	生
敷く。			
k'uN	ックン	[動] 1A型	生
突く。hikuN とも言う。			
k'uN	ックン	[動] 1A型	生

引く。

k'uN ックン [動] 1A型 t'jaN 生

聞く。hanasi k'amiruN; 話を聞かせる。t'iwaiti; 聞かれて。(昔168)

k'uN ックン [動] 1A型 t'jaN T

息せく。息切れする。unu ataija iti k'anuN; この位では息切れしない。iti t'idu buru; 息切れしている。

k'uN ックン [動] 1A型 t'jaN 資341

(芭蕉の繊維などを) すく。dusaija aNga basu t'i hiri; 今晩は私の芭蕉をすいてくれ。

k'uN ックン [動] 1A*

効く。eiju: t'i sutaba; 栄養が効いて来たので…。(S22)

k'uN ックン [動] 5A型 k'aN (T) 4

使う。

k'uda ックダ [名] 沖1

深田。

k'uimunu ックイムヌ [名] こ71

作り物。偽物。

k'uimunu ックイムヌ [名] ま20

お供えする御馳走の中の一品。

k'uimunui ックイムヌイ [名] 1 3

嘘つき。tubjamunui とも言う。

k'uinusi ックイヌシ [名] こ16

作り直し。改築。

k'uju ックユ [名] 生

月。

k'ujudu ックユドゥ [名] T

月夜。

k'ujunuagai ックユヌアガイ [句] こ25

月あかり。t'inuagai とも言う。

k'ukarukaNna ックカルカンナ [名] T

(動) 蟹の一種。和名不明。小さくて、赤い蟹。

k'umaN ックマン [動] 3A型 生

含ませる。

k'umja ックミヤ [名] 生

子守用のひも。与那国独特のもの。おんぶしたまま前に廻してお乳を与えたり、おしっこをさせることも出来る。

k'umuN ックムン [動] 1D型 生

含む。				
k'ura	ックラ	[名]		沖T
(魚) ボラ。体が細く長い。				
k'ura	ックラ	[辞]		T
丸くふくらしている事。c'inikura; ふくらはぎ。batakura; 腹の大きい人。kamatikura; 頬の丸い人。				
k'uraN	ックラン	[動]	3A型	生
ふくらす。				
k'uri	ックリ	[名]		こ96
むくみ。打たれて腫れること。				
k'uriruN	ックリルン	[動]	6B型 k'uruN	T
ふくれる。hu:tiNki k'uriruN; 大きくふくれる。				
k'uru	ックル	[名]		T
袋。				
k'uruN	ックルン	[動]	2B型 k'waN	生
作る。				
k'uruN	ックルン	[動]	2B型 k'waN	こ47
すくう。taigu k'urjahai; 早くすくいなさい。k'ui turuN; すくい取る。				
k'uruN	ックルン	[動]	5B型	T
繕う。修繕する。Nnani k'urui; 着物をつくろいなさい。				
k'urunaga	ックルナガ	[名]		続197
懐 (ふところ)。				
k'uta	ックタ	[名]		T
おむつ。				
k'utaNnu	ックタンヌ	[名]		1
裕。つづれ。				
k'ututi	ックトゥティ	[名]		沖I
稲こきの時出るごみ。				
k'waNgiruN	ックァンギルン	[動]	6A型 k'waNgjaN	1
(物を) すくう。k'aji k'atirihai; すくって捨てなさい。?				
k'warudu	ックァルドゥ	[名]		続59
固い粥。				
ka	カ	[辞]		生
日を数える単位。				
ka:	カー	[名]		生
井戸。				

ka:	カー	[名]	T
皮。			
ka:cimata	カーチマタ	[名]	5
しわ。			
ka:gucu	カーグツ	[名]	T
<新>革靴。			
ka:kainasi	カーカイナシ	[名]	2
蛇が脱皮すること。皮の交換。			
ka:mudi	カームディ	[名]	6
皮をむくこと。			
ka:sa	カーサ	[名]	1
葉の広いもの（ばしょうの葉など）。上に塩を載せて炭火の中で焼き、それを喉に巻いたり、 またはその焼いた塩をなめると、喉の痛みに利く。			
ka:tati *	カータティ	[名]	A 13
田の名。			
kaN	カン	[名]	1
感。勘。			
kaN	カン	[名]	こ42
上。上座。			
kaN	カン	[名]	T
神。			
kaN	カン	[名]	T
棺。焼かないで死体を入れたまま墓に納める。			
kaN	カン	[名]	T
ユウナの芯。			
kaN	カン	[動]	3A型 kasjaN 1
(田を)すく。耕す。			
kaNbagati	カンバガティ	[名]	T
新月から満月に至る月。			
kaNbakari	カンバカリ	[名]	o.
神別れ。ンダン祭りの小屋から村へ帰る途中のハイナゴで、宇良部岳に向かって拝礼する			
kaNbana *	カンバナ	[名]	A 60
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
kaNbana: *	カンバンナー	[名]	植17
(植) カジノキ<クワ科>。			
kaNbi	カンビ	[名]	生

麦の粉に砂糖を入れ丸く油で揚げた物。			
kaNbi	カンビ	[名]	1 2
看病。			
kaNburi	カンブリ	[名]	4
神がかり。			
kaNcanunasu *	カンツァヌナス	[名]	A 36
田の名。			
kaNcja	カンチャ	[名]	沖T
(動) ホシマンジュウガニ。甲らは丸味を帯て赤色。ハサミは大きく先が黒い。			
kaNcja	カンチャ	[名]	こ21
鍛冶屋。kaNdaja とも言う。			
kaNcjanudai	カンチャヌダイ	[名]	続61
鍛冶屋の祝い。ふいご祭。旧暦の11月7日に、ウンティムティ(芋餅)をつくって祝う。			
kacjanudai とも言う。			
kaNda	カンダ	[名]	T
(植) カズラ。つる草の類。			
kaNdai	カンダイ	[名]	こ24
くん製。baikaN,kagasi とも言う。			
kaNdaiiju	カンダイイユ	[名]	6
くん製にした魚。kaNdaikjaruiju,kagasiiju とも言う。			
kaNdaja	カンダヤ	[名]	こ21
鍛冶屋。kaNcja とも言う。			
kaNdakasaN	カンダカサン	[形]	生
神高い。霊力が高い。			
kaNdana	カンダナ	[名]	続69
神棚。			
kaNdana	カンダナ	[名]	無75
差桁式の家モデル。神が家の作り方を教えるために天から落とした。大屋家では毎年秋になると祭礼がある。(b.75)			
kaNdananudai	カンダナヌダイ	[句]	続69
神棚の祭。大屋家に伝わる神棚の祭。			
kaNdani	カンダニ	[名]	2
神の種。神の子。			
kaNdati	カンダティ	[名]	1
(植) ツルムラサキ<ツルムラサキ科>。葉をもみつぶして塗るとカサブタがとれる。紫の実がなる。			

kaNdatunasu	カンドトゥナス	[名]	稲268
苗代名。比川の北部にある。			
kaNdi	カンディ	[名]	生
神女の冠。イリオモテシャミセンヅルを輪に結んで作る。			
kaNdiN	カンディン	[名]	生
床に祭ってあるturanuhaと香炉。turanuha参照。			
kaNduN	カンドゥン	[動] 1D型 kaNdjaN	T
かぶる。			
kaNduNabira	カンドゥンアビラ	[名]	続14
(動) カントウアヒル (広東アヒル)。このアヒルは水に入らない。kaNduabira とも言う。			
kaNduna	カンドゥナ	[連体]	1
肝要な。肝心な。kaNduna munu; 肝要な物。			
kaNgai	カンガイ	[名]	1
考え。			
kaNgaicigai	カンガイチガイ	[名]	こ27
考え違い。思い違い。			
kaNgaruN	カンガルン	[動] 2A型 kaNgaN	T
考える。kaNgairuN とも言う。kaNgaijurisanu; 考えるににくい。kaNgaruba; 考えると。kaNgai Nni turasi wariju; 考えてみて下さい。			
kaNgi	カンギ	[名]	9
魚のひれ。			
kaNgiruN	カンギルン	[動] 6A型 kaNgjaN	昔168
背負う。ututumitudaja agami kaNgiti; 弟夫婦は赤ん坊を背負って…。(昔168)			
kaNgusugu *	カングスグ	[名]	続81
刑務所。			
kaNhutugi	カンフトゥギ	[名]	生
神仏。万物を支配しているもの。			
kaNkairutu	カンカイルトゥ	[名]	7
霊を招く人。霊媒師。kaNkaisitu とも言う。(続64)ユタヤムヌチの事。			
kaNkaraja	カンカラヤ	[名]	続61
<新>ブリキ屋。飾り職。			
kaNkjadatibaru *	カンキャダティバル	[名]	A 57
田の名。			
kaNmuci	カンムチ	[名]	2
死者の上に被せる白い布。			
kaNmutinuiju *	カンムティヌイユ	[名]	ま26

神に捧げる魚。			
kaNna	カンナ	[名]	生
腕。			
kaNna	カンナ	[名]	T
(動) カニ。			
kaNnadi	カンナディ	[名]	生
雷。kaNnari とも言う。			
kaNnari	カンナリ	[名]	4
雷。kaNnadi とも言う。			
kaNni	カンニ	[名]	T
あのように。			
kaNnuta *	カンヌタ	[名]	A 36
田の名。			
kaNnuti *	カンヌティ	[名]	年182
神月。			
kaNnutuki *	カンヌトゥキ	[句]	G
神の刻。朝9時～10時頃。			
kaNpa	カンパ	[名]	T
小さなはげ。傷跡。			
kaNpaki:	カンパキー	[名]	生
(植)「植物方言集」によれば、アカハダグス <クスノキ科>。昔は火種に用いた。ヨナグニ蛾が好んでこの木に巣を作る。			
kaNsiruN	カンシルン	[動] 6A型 kaNsjaN	2
被せる。bo:si kaNsimiruN; (子供に) 帽子を被させる。			
kaNta	カンタ	[名]	T
あれなど。			
kaNta	カンタ	[名]	1 3
彼達。彼等。kaNtati; 彼等 (卑称)。(昔73)			
kaNtabarubari *	カンタバルバリ	[名]	A 55
田の名。			
kaNti	カンティ	[辞]	昔39
…しかねること。…できかねること。matikaNti; 待ちかねること。			
kaNtiN	カンティン	[名]	T
寒天。水ようかん。			
kaNturi	カントゥリ	[名]	こ102
もうろく。ボサッとして何を考えているのかわからない事。			

kaNuri	カンウリ	[名]	1 6
神降り。神がのりうつること。			
kaba	カバ	[名]	沖I
きね (杵)。大きな木槌。			
kabaimuN	カバイムン	[名]	6
変り者。			
kabaruN	カバルン	[動] 2A型 kabaN	3
変わる。			
kabatati *	カバタティ	[名]	A 19
田の名。			
kabi	カビ	[名]	生
紙。			
kabica:	カビツァー	[名]	沖T
(魚) タテジマキンチャクダイ。シテンヤッコ、ツノダシ、ハタタテダイも同じ呼び方を する。体は長楕円形で尾は短い。えらぶたに大きなトゲがある。			
kabidatimunu	カビダティムヌ	[名]	2
霊前にて紙銭を焚いて供養すること。紙銭(kabidiN)、又は打紙(utidiN)、を器の中で焚き ながら、さしみ・イリチャ・酒を少量ずつくべておこなう。			
kabigi *	カビギ	[名]	植25
(植) オオイワガネ<イラクサ科>。			
kabisana	カビサナ	[名]	続65
からかさ (唐傘)。紙をはった傘。			
kabiutimunu	カビウティムヌ	[名]	2
紙銭の型を押して付ける器具。			
kabu	カブ	[名]	生
(鳥) シラサギ。			
kabu *	カブ	[名]	昔7
果報。幸運。			
kabuN	カブン	[動] 1D型 kabjaru	T
臭ぐ。kaguN とも言う。aga c'u: maruba Nda kabi; 俺がくそをすれば、おまえが臭げ。(昔226)			
kabuci	カブチ	[名]	生
鍋敷き。釜や鍋を平な所に置く時にそれらを安定さすために下に敷く輪。ワラやアダンのひ げで作る。			
kabudaguN	カブダゲン	[動] 1B型	昔33
抱き合う。unuduru kabudatiti taituja niNdi; その夜、抱き合って二人で寝て…。			
kabusa	カブサ	[名]	生

貯め池。牧場の牛が水を飲むように作った池。			
kabusaN	カブサン	[形]	1
芳しい。			
kaci	カチ	[名]	5
お菓子。kacci とも言う。			
kacidai	カチダイ	[名]	3
酒粕。			
kacigi	カチキ°	[名]	続61
櫨の木。			
kacimasaN	カチマサン	[形]	生
うるさい。			
kacimiruN	カチミルン	[動] 6A型 kacimjaN	5
捕まえる。			
kacinati	カチナティ	[名]	昔140
鋭い、いやな鳴き声。鳴き騒いでいる様子。majunu nagugadu unu natigatanudu ara:gu kabaiti kacinatiduki taba; 猫が鳴く声がするが、その鳴き方が、とても変わったいやな鳴き声で鳴き騒いでいるので…。			
kacira *	カチラ	[名]	植37
(植) ハスノハカズラ<ツヅラフジ科>。			
kacjanudai	カチャヌダイ	[名]	生
旧暦の11月に鍛冶屋の人がする祭り。kaNcjanudai とも言う。			
kacubuci	カツブチ	[名]	3
鰹ぶし。			
kacunuiju	カツヌイユ	[名]	3
<魚>カツオ(鰹)。単に kacu とも言う。			
kada	カダ	[名]	N190
匂い。香り。			
kadaNku	カダンク	[名]	生
(昆) 蚊。			
kadaNkuuitu	カダンクウイトゥ	[句]	続25
蚊をおっばらう人。夜遊びの見習いとして先輩について歩く者。t'unuNbiuimunu とも言う。			
kadamaruN	カダマルン	[動] 2A型	生
固まる。			
kadarabugu	カダラブグ	[名]	歴75
(地) カダラブグ。比川のトゥニがある。			
kadaruN	カダルン	[動] 2A型 kadaN	3

飾る。

kadi カディ [名] 4

風。

kadi カディ [副] 昔226

…の度。kumani kurukadi ma:rumunu haitihiruna;; ここに来る度おいしいもの食べていくね。

(13) tucinu kadi; 毎年に。毎年。(16)

kadi カディ [名] N 164

数。kadikadi; 数々。

kadiNmajanudai カディンマヤヌダイ [句] 6

9 7 才の祝 (風車の祝)。kadimajadai とも言う。

kadigumu カディグム [名] 4

風雲。

kadimaja カディマヤ [名] 生

台湾坊主。三月頃、台湾北方の東シナ海に発生する低気圧のために風向きが急に変る風。測候所がない時は、この風で多くの船が沈んだ。

kadimaja カディマヤ [名] 生

風車。

kadimajadai カディマヤダイ [名] 2

9 7 才の祝い。kadiNmajanudai とも言う。

kadiniḡai * カディニカ°イ [名] ま5

船旅の風願い。

kadinuwara カディヌワラ [句] 続60

かざかみ (風上)。

kaditi カディティ [名] 生

台風。

kadu カドゥ [名] 生

条理。家を建てたりする時、日取りなどが良いかどうかを巫女 (ユタ) に占ってもらう。良い時には「カドゥが当たる」と言う。

kadu カドゥ [名] T

角。

kaduati カドゥアティ [名] 歴34

施主を定めること。洗骨などをする時に、誰がそれを行うのかを占い師が占って決める。(歴34)

kadumunuN カドゥムヌン [名] 生

虫害や水害がないように祈る行事。旧暦の三月初旬の吉日に、kadu（条理）に当たった人が虫を取って来る。虫をクワズイモの葉で包み竹の先に結んで、橋のたもとに置く。ウガン山とムヌンシ浜で祈り「安堵の島に越えて行け」と言って海に流す。

kadurija *	カドゥリヤ	[名]	植171
(植) オオヒルムシロ<ヒルムシロ科>。			
kagaN	カガン	[名]	T
鏡。			
kagaN	カガン	[名]	続89
腰衣。女性が腰から下に着る着物。			
kagaN	カガン	[動] 3A型	T
火にあぶって焼く。火にあてる。かつお節を作るのも kagasi と言う。c'iNki kagasi; 火にあて…。			
kagaN *	カガン	[動] 3A型	1 3
乾かす。ひからびさす。dugu kagaruNdi aiti agamiNta kagasi*; 欲から子供達を飢え死にさせ…。(昔176)			
kagaNnuhu	カガンヌフ	[名]	生
幅が約10cmで、模様がほどこしてある帯。			
kagadiruN	カガディルン	[動] 6A型	生
(爪などで) 掻く。引っ掻く。(鍋のこげなどを) 掻き起こすようにして掻く。nabiNta kagati katiri; (鍋の) こげを掻いて捨てる。			
kagaimuN	カカガイムン	[名]	7
懸かりもの。悪霊。kagaimunu とも言う。			
kagaimunu	カガイムヌ	[名]	続6
懸かりもの。悪霊。kagaimuN も言う。			
kagaruN	カガルン	[動] 2A型 kagaN	3
触る。			
kagaruN	カガルン	[動] 2A型 kagaN	3
掛かる。			
kagasiiju	カガシユ	[名]	6
くん製にした魚。kaNdaiju,kaNdaikjaruiju とも言う。			
kagatai	カガタイ	[名]	昔199
声高い。aruNni sikaraNdasi kagatai datana; ある限りの大声を、力いっぱい張り上げながら…。(昔199)			
kagataruN	カガタルン	[動] 2A型	生

叫ぶ。大声で話す。怒鳴る。buduNcai sjanaki kagatai; 跳び跳ねて喜んで叫び…。(昔10)
tjaNgiruN 参照。ataraginu namanutitaru k'atiruNdi ja naranuNdi kagatarutasi; 「尊い命を、
捨ててはいけない。」と、大声でどなると。(昔119)

kagi	カギ	[名]	5
賭。約束。指切り。kagi kiruna; 約束するね。			
kagida:	カギダー	[名]	1 3
<移>下げばり。自在ばり。			
kagidaN	カギダン	[名]	歴143
三又のもり (天底屋の所有する神器)。神が持っていたと言われているもの。戦で使われた といわれている。			
kagimunu	カギムヌ	[名]	こ20
掛け軸。			
kagiraN	カギラン	[名]	T
棒状の金の両端を曲げたもの。ランプや籠をつるすのに用いる。			
kagiruN	カギルン	[動] 6A型 kagjaN	4
賭ける。			
kagiruN	カギルン	[動] 6A型 kagjaN	生
(秤などに) 掛ける。			
kagiruN	カギルン	[動] 6B型 kaguN	生
欠ける。ha: kagiruNdo;; 刃が欠けるよ。jumisiku kiranuNtu hata kagiruNdu; 気を付けてし ないと (碗の) 端が欠けるよ。			
kagu	カグ	[名]	生
屋敷内の畑。			
kaguN	カグン	[動] 1B型 katjaN	2
掻く。kjabi katjaN; かゆいので掻いた。			
kaguN	カグン	[名] 1B型 katjaN	生
書く。			
kaguN	カグン	[動] 4A型 kagusjaN*	T
隠す。kagui; 隠せ。			
kagudi	カグディ	[名]	生
あごの両端のとがった所。			
kaguriruN	カグリルン	[動] 6B型 kaguruN	1
隠れる。kaguri; 隠れよ。			
kaguzja:	カグジャー	[名]	9
<移>顎骨のはった者。			
kajaN	カカ°ン	[名]	2

(鶏の) とさか。mittanukapaN とも言う。			
kaṇaṇda *	カカ°ンダ	[名]	A 28
田の名。			
kaṇamuti	カカ°ムティ	[名]	5
鏡餅。karunamuti とも言う。			
kaṇataburunamaci *	カカ°ダブルナマチ	[名]	A 54
田の名。			
kaṇi	カキ°	[名]	6
影。			
kaṇibusi	カキ°ブシ	[名]	3
陰干し。			
kaṇuN	カク°ン	[動] 1C型	2
(匂いを) かぐ。kadi Nni; かいでみなさい。kabuN とも言う。			
kai	カイ	[名]	生
赤ん坊の頭にできる白いかさ。			
kai	カイ	[名]	昔129
木製のつづら。			
kaida *	カイダ	[名]	A 19
田の名。			
kaidacidi *	カイダチディ	[名]	A 20
田の名。			
kaidadi	カイダディ	[名]	歴44
数量を指示した文字。			
kaidazu	カイダズ	[名]	図
与那国に伝わる象形文字。kaidadi とも言う。			
kaigu	カイク°	[名]	生
卵。			
kaigunuhaijati	カイク°ヌハイヤティ	[名]	5
卵焼き。haijati は平焼きの意。			
kaihu	カイク	[名]	1 3
養子。kaibu とも言う。			
kaiku	カイク	[名]	3
(昆) かいこ。			
kaikuk'anai	カイクカナイ	[名]	こ114
養蚕。			
kaimunu	カイクムヌ	[名]	1 3

<新>買物。

kainaN	カイン	[動]	3A型 kainasjaN	4
換える。変える。kainai; 換えなさい。				
kainudu	カインドゥ	[名]		生
薄いかゆ。お盆に仏壇に供える。				
kaisi	カイシ	[名]		T
返事。返し。kaisi darai; 返事を出しなさい。				
kaisikadi	カイシカディ	[名]		続56
返し風。台風の時よくある。				
kaitu	カイトゥ	[名]		昔221
買人。kaitu adati; 買人を訪ねて…。(昔221)				
kaja	カヤ	[名]		T
(植) 萱。屋根をふいている草。				
kaja	カヤ	[助]		7
…かね。軽い疑問を表す終助詞。				
kjabuni	カヤブニ	[名]		5
肩硬骨。単に kaja とも言う。kjabuni susaN; 肩が強い。担ぐ力がつよい。(資103)				
kajada	カヤダ	[名]		続65
かやぶき家。				
kajakubai	カヤクバイ	[名]		1 3
症状の重い性病。				
kajuda	カユダ	[名]		沖I
田の一種。野原にある水もちのよい田。				
kajudaagi	カユダアギ	[名]		沖I
荒地を開けること。				
kajuti	カユティ	[名]		T
小皿。				
kakumai	カクマイ	[名]		昔138
世話 (牛や馬などの)。kakumai-kiruN; 保存する、保護する。				
kakumai	カクマイ	[名]		昔202
保存。kwaruki:Nki taki kakumaikidu; 固い木を選び、それにつけて保存しておき…。				
kama	カマ	[名]		T
あそこ。kamaNki hiruN; あそこに行く。kamaNkihiri kumaNkihiri; あっちに行き こっちに行き。				
kamabugu	カマブグ	[名]		5
かまぼこ。本土のかまぼこのように板についていない。				

kamacinasu *	カマチナス	[名]	A 42
田の名。			
kamadikuru	カマディクル	[名]	7
かます袋。			
kamadu (ti)	カマドゥ (ティ)	[名]	3
かまど。			
kamaikai	カマイカイ	[名]	1 0
男の人の再婚。			
kamairuN	カマイルン	[動] 5A * kamaN *	昔57
(妻を) めとる。tuNkamaisiti kurasibuNgadu; 妻を迎えて暮らしていたが…。 kamaruN と もいう。			
kamanukata	カマヌカタ	[句]	昔84
向側。			
kamaruN	カマルン	[動] 2A型	生
(妻を) めとる。tuNkamaruN; 妻をめとる。			
kamasa	カマサ	[名]	沖T
(魚) ヘコアユ。体が細く長い。口を下に向け、逆立ちして泳ぐ。			
kamasa	カマサ	[名]	沖T
(魚) カマス類の魚。体が細く長い。体には8本の横じまをもち、円筒形に近い。			
kamasu	カマス	[名]	沖I
乾燥した米を入れる袋。藁でつくられている。			
kamasuta *	カマスタ	[名]	歴33
<古> (地) カマスタ。昔の崖葬の場所。			
kamata	カマタ	[名]	生
門柱。			
kamati	カマティ	[名]	生
頬。頬骨。			
kamatikura	カマティクラ	[名]	T
頬が丸い人。			
kamatinu taraiti	カマティヌ タライティ	[句]	続39
えくぼ。単に taraiti とも言う。			
kami	カミ	[名]	沖T
(動) カメ。普通は海にいる亀を指す。			
kami	カミ	[名]	3
かめ (瓶)。			
kami	カミ	[名]	T

あそこに。あそこで。kami aNsai; あそこにあるさ。

kamiabuci	カミアブチ	[名]	沖I
畦のないところ。山裾の田んぼに多く見られ、人が通ることができない。			
kamibata *	カミバタ	[名]	A 41
田の名。			
kamimi	カミミ	[名]	続189
一重まぶた。haNkurimi (二重まぶた) に対する語。			
kaminuNbi	カミヌンビ	[句]	続55
瓶の底。kaminu Nbi bagiN t'uci; 瓶の底に入る時まで一緒。偕老の契り。			
kaminuku	カミヌク	[句]	こ 27
亀の甲羅。			
kaminuta:	カミヌター	[句]	2
瓶の蓋。骨壺の蓋。			
kamirari	カミラリ	[名]	1 3
胃けいれん。			
kamiruN	カミルン	[動] 2C型 kamjaN	N 190
覆う。taruN nakaNki iri tabusi kamjaru c'idi; 朽の中に入れて蓋をして覆ったわけさ。(N190)			
kamiruN	カミルン	[動] 6A型 kamjaN	生
頭にのせる。			
kamiruN	カミルン	[動] 6A型 kamjaN	素
洗面する。洗う。umuti kamiruN; 顔を洗う。			
kamiti	カミティ	[名]	沖T
(動) 小さいカニの総称。			
kamizaki *	カミザキ	[名]	A 61
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
kana	カナ	[名]	生
かなな (大工道具)。			
kanaN	カナン	[名]	生
髪。karaN とも言う。			
kanaNguru	カナングル	[名]	T
髪の切れはし。			
kanabuca	カナブツァ	[名]	生
機敏。			
kanadi	カナディ	[副]	1 3
必ず。kana:di Ndurja; 必ず言うから。			
kanai	カナイ	[名]	続175

みそがめのふたに巻く荒布。納税（人頭税）の時、納める布。その他にイリムヌ・グユフなどがある。昔、賃金の代わりにあげた。(13)

kanaimunu	カナイムヌ	[名]	7
大物。将来見込みのありそうな人。			
kanaimunu	カナイムヌ	[名]	T
年貢。			
kanasa	カナサ	[名]	1 3
可愛がること。(恋人を)愛でること。attaraN とも言う。kanuci;可愛い。kanasa-kiruN; 可愛がる。			
kanasaN	カナサン	[形]	生
可愛い。			
kaniN	カニン	[名]	こ17
鐘。			
kaniNdakaN	カニンダカン	[名]	6
鉄瓶。			
kaniNkasa *	カニンカサ	[名]	N 161
鉄笠。			
kanigu	カニグ	[名]	3
砂地。			
kanigudi	カニグディ	[名]	1 3
(地) 兼久地 (砂地)。			
kanimacidaja *	カニマチダヤ	[名]	A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
kanimata *	カニマタ	[名]	A 26
田の名。			
kanimatanasu *	カニマタナス	[名]	A 30
田の名。			
kaninutu	カニヌトゥ	[名]	8
錆 (さび)。			
kanipagai	カニバカ°イ	[名]	民
鉄製の田打ち鋤。(馬にひかせるもの)。			
kaniruN	カニルン	[動]	6A型 kanjaN 生
囲む。1 か所に集める。uci kaniNdi hiruN; 牛を集めに行く。Nmakani; 馬を囲って飼うこと。			
kaniuci	カニウチ	[名]	沖I
耕作用の牛。数頭で耕している時の一番外側にいる牛。行動範囲が広いので、敏感で力があり足の速い牛が良い。			

kanu	カヌ	[名]	1 3
あの。			
kanuN	カヌン	[動] 5A型 kanaN	生
叶う。anuNki kanunai; 私にかなうネ。(昔15)			
kanujama	カヌヤマ	[名]	無18
比川、島仲部落での念仏踊り。			
kanuti	カヌティ	[副]	昔223
かねて (以前)。			
kanuti	カヌティ	[名]	こ5
井桁 (いげた)。井戸の上部のふちを木で四角に組んだもの。			
kara	カラ	[名]	生
川。小川。			
karaN	カラン	[形]	生
軽い。			
karaN	カラン	[形]	沖 4
辛い。唐がらしなどの辛さ。			
karaN	カラン	[名]	昔107
髪。kanaN とも言う。			
karaN	カラン	[動] 3A型 karasjaN	T
枯らす。			
karaNdui	カランドゥイ	[名]	6
髪を結うこと。			
karaNduju	カランドゥユ	[名]	こ104
元結い (髪をたばねる糸のこと)。			
karaNgi	カラング	[名]	2
たてがみ。			
karaNhaja	カランハヤ	[名]	続64
(昆) カミキリ虫。			
karaNsukatana	カランスカタナ	[名]	続64
剃刀 (カミソリ)。			
karadagi	カラダギ	[名]	生
(植) マダケ <イネ科>。太い竹で、カツオを釣る竹竿を作る。			
karagaN	カラガン	[動] 3A型 karagasjaN	T
乾かす。			
karaguN	カラグン	[名]	歴77
(地) カラグン。東崎の南側海岸にある。(歴77)			

karaguN	カラグン	[動]	1B' karatuN	素
乾く。				
karagui	カラグイ	[名]		1 3
自分でやるべき事。karugui ともいう。naNtoka karagui isjaNdo; なんとかやりとげたよ。				
karahaN	カラハン	[名]		T
はだし (裸足)。				
karahai	カラハイ	[名]		生
羅針盤。				
karakaN	カラカン	[名]		こ50
石油缶。sikitaNbagu とも言う。				
karamuN	カラムン	[動]	1D型	1 3
からむ。				
karamuNbai	カラムンバイ	[名]		昔122
格闘。uNki tuikagai karamuNbai kirutasi; 鬼に取り掛って格闘をしたので…。(昔122)				
karamujai	カラムヤイ	[名]		T
瓦模合。家を作ったりする時に持ち回りで瓦を持ち合うこと。				
karanabi	カラナビ	[名]		沖I
水もちの悪い土。表土の下が赤土と黒土の混合したような土で、かさかさしてる。				
karananja *	カラナニャ	[名]		A55
田の名。				
karanati	カラナティ	[名]		1
空泣き。				
karasu	カラス	[名]		T
塩から。カツオ、イカの腸や小魚などを塩づけにした物。				
karatagiduna	カラタギドゥナ	[名]		1 6
人頭税。				
karati	カラティ	[名]		こ19
小川。				
kari	カリ	[名]		生
あれ。彼。				
kari	カリ	[名]		1 3
嘉例。めでたいこと。縁起のよいこと。				
kariNni	カリニン	[名]		昔187
飢え死に。kariは飢えること。				
karihuciruN	カリフチルン	[動]	6B型* arihucuN ?	7
枯れ果てる。huciruN * は朽ちるの意か？				

karijusi	カリユシ	[名]	6
嘉例吉。船が順調に航海をすること。 karijusidu nigai cariru; 安全を祈る。			
karimata *	カリマタ	[名]	A 52
田の名。			
karini	カリニ	[名]	T
あんなに。 karini ma:siku; あんなに沢山。			
kariruN	カリルン	[動] 6B型 karuN	T
枯れる。 c'a kariruNdo; 草が枯れるよ。 c'a kariminuN; 草が枯れてしまった。 Nnuu tidaNni			
karidu buru; 昨日の太陽で枯れている。			
kariruN	カリルン	[動] 6B型*	T
飢える。お腹がすく。 karidu buru; 飢えている。 bata kari naranuN; お腹がすいてしょうがない。			
karuN	カルン	[動] 2A型 kaN	3
刈る。 t'uNki karamiruN; 人に刈らす。			
karui-kiruN	カルイキルン	[動] 6A型	T
あやかる。 karuiki turasiwari; あやからさせて下さい。(続16)			
karutati	カルタティ	[名]	3
(とても) 軽い状態。			
kasa	カサ	[名]	生
天然痘。			
kasa	カサ	[名]	1 3
<文>笠。			
kasa *	カサ	[名]	植73
(植) アミガサギリ<トウダイクサ科>。			
kasaNta	カサンタ	[名]	生
(昆) バッタ。			
kasaNta *	カサンタ	[名]	黒65
かさぶた。			
kasabaruN	カサバルン	[動] 2A型 kasabaN	3
かさばる。			
kasabiruN	カサビルン	[動] 6A型 kasabjaN	生
重ねる。			
kasaji	カサキ°	[名]	T
(植) アカメガシワ<トウダイクサ科>。			
kasahaNdi *	カサハンディ	[名]	A 49
田の名。			

kasaja (ti)	カサヤ (ティ)	[名]	2
(鳥) コウモリ的一种。kubuja よりも小さなコウモリ。			
kasamudi	カサムディ	[名]	生
(植) ハスイモ<サトイモ科>。クワズイモに似ているが、これは茎が白い。煮つけ、酢のあえものにする。			
kasi	カシ	[名]	生
織物の経糸。たて糸。			
kasi	カシ	[名]	T
加勢。手伝い。aga kasi kiruN; 私がお手伝いをする。			
kasiNgi *	カシンギ	[名]	植16
(植) オキナワウラジロガシ<ブナ科>。			
kasiNki	カシンキ	[名]	5
小豆入り御飯。餅米で作る。			
kasikagi	カシカギ	[名]	3
整経。経糸を巻きつけること。			
kasikakidama	カシカキダマ	[名]	民
糸を巻き付けるもの。H型になっているもの。			
kasiki	カシキ	[名]	2
盛り飯。			
kasinuri	カシヌリ	[名]	3
経糸につける糊。			
kasisaba	カシサバ	[名]	沖T
(魚) シュモクザメ。			
kata	カタ	[名]	生
蚊帳。蚊屋。			
kata	カタ	[名]	T
あたり。辺。			
kata	カタ	[名]	A 7
(地) 嘉田。与那国町内の字名。比川にある。末尾の地図参照。			
kata-kiruN	カタキルン	[動] 6A型	続40
えこひいきする。			
kataN	カタン	[形]	生
固い。(液体などが) 濃い。親しい。kataru duci; 親しい友人。仲良い友。kataru mituda; 仲の良い夫婦。			
kataN	カタン	[名]	7
片方。			

kataN	カタン	[動]	3A型	生
こねる。かき混ぜる。katasi mamiriju; かき混ぜなさいよ。沖縄方言のカチャースン。				
kataNgaca	カタンガツァ	[名]		昔43
髪型的一种。カタカシラ。				
kataNkaN	カタンカン	[動]	3A型 kataNkasjaN	T
傾かす。Nda kataNkai; お前、傾かせなさい。				
kataNkiruN	カタンキルン	[動]	6B型 kataNkuN *	T
傾ける。				
kataNkuN	カタンクン	[動]	1A型 kataNkjaN *	生
傾く。kataNkidu buru; 傾いている。				
kataNtidinaga	カタンティディナガ	[名]		6
傾いた地面。傾斜地。				
katabara	カタバラ	[名]		生
かたわら。傍。				
katabarati *	カタバラティ	[名]		A 37
田の名。				
katabarubama	カタバルバマ	[名]		歴149
(地) カタバル浜。比川にある。				
kataburu	カタブル	[名]		1 0
(地) 比川の南側の湾。				
kataburuci	カタブルチ	[名]		生
肩。kataburuciNki nusiruN; 肩にのせる。(続59)				
kataca	カタツァ	[名]		続58
魚の片身。				
kataca *	カタツァ	[名]		黒66
片頭。琉球風の男性の結髪。				
katacaiju	カタツァイユ	[名]		6
(魚) ヒラメ。				
kataci	カタチ	[名]		T
形。姿。				
kataci	カタチ	[名]		こ60
(植) ヤブツバキ<ツバキ科>。俗にいう椿。				
kataga	カタガ	[名]		こ80
さえぎるもの。陰。kataga: kiriju;; 日陰にしないよ。				
katagaja:	カタガヤー	[名]		沖T
(貝) マツバガイ。殻は大きく茶色の放射斑がはっきりしている。				

kataguci	カタグチ	[名]	続115
すき櫛。しらみを取る櫛。			
kataguti	カタグティ	[名]	S 69
かたっぱし。みんな。katagutigara; かたっぱしから。			
katagaci	カタカ [°] チ	[名]	沖T
(魚) ヒメジ科の魚の名。ヨメヒメジ、ミナミヒメジ、モンツキアカヒメジ、キスジヒメジなどの総称。			
katagata	カタカ [°] タ	[名]	1 3
幕。kata とも言う。(こ87)			
katagiruN	カタキ [°] ルン	[動] 6A型 katanjaN	T
掛ける。吊す。			
katahaN	カタハン	[名]	昔122
片足。			
katahamagu	カタハマク [°]	[名]	稲274
農具。耕起具。magu (牛、馬などに引かせる農具) と同様の機能を持つ。			
katahui	カタフイ	[名]	生
片降り。スコール。空の一方では晴れており、他方では降っている大雨。			
katakaNna	カタカンナ	[名]	昔16
片腕。			
katakuri	カタクリ	[名]	1
<新> 片栗。uNti (芋) を擦り水につけ、さらして作る。それを湯で溶かして、そうめんにして食べたりする。			
katakuriuNti	カタクリウンティ	[名]	T
(植) イモの一種。これからデンプンを取った。デンプンを取ったかすは味噌の材料にした。			
katamaruN	カタマルン	[動] 2A型 katamaN	3
固まる。kadaruN とも言う。			
katami	カタミ	[名]	5
片目。			
katamiruN	カタミルン	[動] 6A型 katamjaN	生
固める。			
katamjukka	カタミュッカ	[名]	黒
片目くら。			
katamuN	カタムン	[動] 1D *型 katanjaN *	生
(荷などを) かつぐ。kuniduN katamatri garaja anuja minu; こいつにでも担がれたら、私は見る影もない。katamariruN; 担がれる。katamaninuN; 担がれない。katamiruN か? kata-guNか?			

katana	カタナ	[名]	T
刀。玉祭の時の神器。			
katanusajaagaja	カタヌサヤアガヤ	[名]	沖T
(貝) スエヒロガイ。細長く内部は真珠光彩をしている。殻の中央に肋が走る。			
katanusi	カタヌシ	[名]	生
肩車。			
katarai	カタライ	[名]	昔73
<新>申し上げること。語ること。maisuru abuta: Nki nati: kataraikiti;; 亡き母に泣いて申し上げて。			
katasi	カタシ	[名]	生
歌舞の一種。自由乱舞。沖縄のカチャーシーにあたる。急テンポな三味線の曲に合わせ手を上に上げ手首をひねりながら踊る。			
katasuba	カtasバ	[名]	T
片隅。			
katasudi	カtasディ	[名]	1
片袖。			
katati	カタティ	[名]	昔39
炊いた芋を叩きつぶすこと。			
katati	カタティ	[名]	7
片手。katakaNna とも言う。			
katati	カタティ	[名]	1 3
かたき。			
katazinaN	カタジナン	[名]	沖T
(魚) テンジクガレイ (ヒラメ)。平たい形の魚。			
kati	カティ	[名]	T
垣。			
katigai	カティガイ	[名]	N109
(土などを) かきわけること。katigai nui; かきわけて登る。miNburuni aru durudu katigai katigai; 頭にある土をかきわけかきわけ。(N109)			
katigasa	カティカ°サ	[名]	続54
かいせん (疥癬)。かいせん虫の寄生から生じる伝染性皮肤病。			
katihuN	カティフン	[動] 5A型	1 3
がつがつ食べる。kati hai; さっさと食べろ。			
katikamuN	カティカムン	[動] 1D型	素
ひっかく。			
katikapa	カティカパ	[名]	生

米のひげをたたき落すもの。katikaba とも言う。			
katimunu	カティムヌ	[名]	生
おかず。katimunu niruN; おかずを煮る。			
katinaN	カティナン	[動] 3A型	生
かき分ける。掻く。katinasi k'atjaN; 掻いて捨てる。			
kattiN	カッティン	[名]	昔125
勝手。dukattiN; 自分勝手。			
katuN	カトゥン	[動] 1D型	生
勝つ。			
kerikeN	ケリケン	[名]	5
蹴り野球 (遊びの一種)。ベースにボールを置き、それを蹴る。			
ki(:)buNtai	キ(一)ブンタイ	[名]	5
鳥肌。鳥肌が立つこと。ki:tatti, kisarasarai とも言う。			
ki(:)dari	キ(一)ダリ	[名]	昔104
行事。			
ki:	キー	[名]	1
気。			
ki:	キー	[名]	T
毛。			
ki:	キー	[名]	T
木。			
ki:damahatagi	キーダマハタギ	[名]	1
山畑。			
ki:dati	キーダティ	[名]	こ122
霊気。妖気。不吉な気分。気合いが入って毛が立つ場合も言う。(13)			
ki:di	キーディ	[名]	沖I
乾燥中の米をかき回すこと。kiNgi とも言う。			
ki:kai	キーカイ	[名]	1
気使い。ki:kai susanu; 気を使いすぎる。			
ki:katana	キーカタナ	[名]	1 3
木刀。			
ki:kuN *	キークン	[動] 1A*型	昔24
気付く。ki:kanutaN; 気付かなかった。hitui hukaja ki:kanuNkidubutaga; 一日二日は、気付かないでいたが…。(昔24)			
ki:nunai	キーヌナイ	[名]	3
木の実。			

ki:ruNmaburu	キールンマブル	[名]	沖T
(魚) タカサゴヒメジ。			
ki:tatti	キータッティ	[名]	6
身の毛がよだつ。ki:buNtai,kisarasarai とも言う。			
kiN	キン	[名]	7
斤 (重さの単位)。			
kiNbai	キンバイ	[名]	こ45
針灸。			
kiNdaguni	キンググニ	[名]	生
(植) ニンジン。			
kiNdai	キンダイ	[名]	8
酒を飲んで暴れる事。			
kiNdigusiku	キンディグシク	[名]	T
きれいに削ってある石垣。			
kiNduN	キンドゥン	[動]	1D型 kiNdjaN
削る。髪をすく。			
kiNgai	キンガイ	[名]	続75
気嫌。			
kiNgui	キングイ	[名]	生
狂言。			
kiNgi	キンキ°	[名]	沖I
乾燥中の米をかき回すこと。ki:di とも言う。			
kiNmaja	キンマヤ	[名]	1
裏返し。kimaja とも言う。			
kiNmi	キンミ	[名]	沖T
(魚) ウルメイワシ<ニシン科>。体が細く長い。			
kiNtaku	キンタク	[名]	3
(植) ホウセンカ。染料の一種。黄茶の薄い色に染まる。			
kibaNsaN	キバンサン	[形]	1
貧しい。			
kibana	キバナ	[名]	生
牛の鼻縄。牛の鼻に穴をあけて通した縄。			
kibiN	キビン	[名]	生
とっくり。祭の時に用いる口の細長いとっくり。			
kibisa	キビサ	[名]	N117
立派。豪華。kibisaru Nnani; 立派な着物。			

kibuN	キブン	[句]	S 55
している。kiruN (する) という語の連用形に buN (居る) という語が付いた形。daiguN kibuN; 大工もしている。			
kibuNcaN	キブンツァン	[形]	T
煙たい。kibuNca kimiri; 煙たくさせなさい。			
kibuNci	キブンチ	[名]	生
煙。			
kibuNcibamai	キブンチバマイ	[名]	続77
火がくすぶっている状態。			
kibuNcihumui	キブンチフムイ	[名]	7
火が今にも燃えそうな瞬間。			
kica	キツァ	[名]	T
さっき。さきほど。kisa とも言う。kica waidu sutana; さっき来られたのですか。			
kici	キチ	[名]	生
崖。絶壁。			
kicinari	キチナリ	[名]	こ109
山彦。			
kidaNgidama	キダンキ° ダマ	[名]	歴136
キダンギ山。t'uNgudaの東側にある。			
kidabai	キダバイ	[名]	1 0
気障り。邪魔。			
kidaki	キダキ	[名]	4
(植) リュウキュウコクタン<カキノキ科>。三味線の材にする。この木の芯は固いので火種に用いた。			
kidati *	キダティ	[名]	A 54
田の名。			
kidi	キディ	[名]	昔169
傷。kidi k'iruN; 傷付ける。			
kidiNcaraN	キディンツァラン	[動] 3A型 kidiNcarasjaN	生
散らかす。ちりぢりにする。掻き回す。kiriNcaraN とも言う。			
kidiNgusa *	キディングサ	[名]	続119
(植) セイロンベンケイソウ<ベンケイソウ科>。			
kidikuN	キディクン	[動] 1A型 kidityaN*	T
気付く。icibagiN kidikanuN; いつまでも気付かない。			
kidimunu	キディムヌ	[名]	生

邪神の一種。海の上を歩き、魚をとるのが上手。取った魚は目だけを食べ残りは仲良くなった人にくれる。人をだまして、山とか海の上とかあちこち連れて回る。

kidugiraN	キドゥキ°ラン	[動]	3A型 kidugirasjaN	T
蹴る。				
kigai	キガイ	[名]		7
機械。ki:ga とも言う。				
kiguN *	キグン	[動]	1D*型	N179
騒ぐ。si: kigja: kiguN gadu; 来ては騒ぎ、騒ぐが…。				
kiguN	キク°ン	[動]	1C型	生
こきまぜる。回す。				
kikaNda *	キカンダ	[名]		植147
(植) コンロンカ<アカネ科>。				
kikucaN	キクツァン	[形]		4
蒸し暑い。kikucadaru; 蒸し暑い。Nbusi; とも言う。				
kimaja	キマヤ	[名]		生
(着物の) 裏返し。				
kimiruN	キミルン	[動]	6A型 kimjaN	1 3
決める。tucituciniNniNja kimiti; その年々を決めて。				
kimuja	キムヤ	[名]		T
新芽。bai 参照。				
kimujaami	キムヤアミ	[名]		生
霧雨。1月から3月頃によく降る。草木を成長させる雨といわれている。				
kimusudi	キムスディ	[名]		T
釣糸。				
kinai	キナイ	[名]		生
家庭。				
kinaiduri	キナイドゥリ	[名]		昔215
家族全員が(病気などで)倒れること。				
kinairanumunu	キナイラヌムヌ	[句]		6
怠け者。				
kinuburi	キヌブリ	[名]		昔190
木切れ。木の折れ端。				
kinukataga	キヌカタガ	[名]		こ120
木陰。				
kinuna:	キヌナー	[名]		4
木の精。				

kipa	キパ	[名]	生
常にごそごそする人。腕白者。			
kipapai	キパカ [°] イ	[名]	沖I
木製の鋏。鉄製の鋏がない時に使用した。			
kiraN	キラン	[動] 3A型	生
ひっくりかえす。			
kiriNcaraN	キリンツァラン	[動] 3A型	kiriNcarasjaN T
ちりちりにする。散らかす。kidiNcaraN とも言う。hatagi kiriNcaraNdu; 畑を荒すよ。			
kiriNmu	キリンム	[名]	生
薄い雲。かすみのような雲。			
kiridai	キリダイ	[名]	3
まな板。切り台。カツオの頭を切り落す幅30cm程の長い板。			
kirikumi	キリクミ	[名]	3
切り込み。			
kirimunu	キリムヌ	[名]	こ25
仕事の手際が良い人。傑物。			
kiriruN *	キリルン	[動] 6A*型	昔213
切れる。nuti kiridu kiNdagi:ai; 息もたえだえ死にそうになり。			
kirisa	キリサ	[形]	生
清潔。奇麗。kirisadu aru; 清潔である。			
kiruN	キルン	[動] 6A型	kjaN 生
為る。iruN (為る) が複合語を作らないのに対し多くの複合語を作る。sikamadu kiburu; 仕事をしている。			
kirumaN *	キルマン	[形]	生
下手である。			
kisa	キサ	[副]	7
<移>さっき。kica とも言う。			
kisarasarai	キサラサライ	[名]	6
身の毛がよだつ。ki:buNtai, ki:tatti とも言う。			
kisati	キサティ	[名]	昔110
警察。			
kisi	キシ	[名]	沖 I
田を耕すこと。			
kisiki	キシキ	[名]	生
鞍あて。			
kisuniNnani	キスニンナニ	[名]	T

ネルの着物。			
kita	キタ	[名]	T
たる木。			
kitaaN	キタアン	[名]	生
まっすぐのびた網。			
kitahaNdi	キタハンディ	[名]	こ121
例外。けたはずれ。kitakabai とも言う。(13)			
kitamira	キタミラ	[名]	1
説教。			
kiti	キティ	[名]	生
小さな垂木。			
kittu	キットウ	[名]	こ102
<外>毛布。			
kiuci	キウチ	[名]	1
気持ち。i: kiucidu ataru; いい気持ちであった。			
kiui	キウイ	[名]	22
きゅうり。			
kizigusa *	キジグサ	[名]	植46
<移> (植) セイロンベンケイ<モウセンゴケ科>。kidiNgusa 参照。			
kja:gi	キャーギ	[名]	芸278
(植) イヌマキ<マキ科>。木製のくわの柄の部分に使われている材料。柱の材料にも使う。 材質は固く淡黄色で、最上の用材である			
kja:tunai	キャートゥナイ	[句]	T
近い隣。			
kjaN	キャン	[形]	生
かゆい。蚊に刺されたり、もみがらが付いたり、サンゴの汁が付いたりした時のかゆさ。 sajani magi hada kjadu aru; サンゴに負けかゆい。bjugaN 参照。			
kjaN	キャン	[動] 3A型 kjasjaN	2
消す。agai kjasjaN; 明りを消した。			
kjaNgi	キャンギ	[名]	生
(植) イヌマキ。			
kjagiruN	キャキ°ルン	[動] 6A型 kjanjaN	生
蹴り上げる。			
kjaku	キャク	[名]	T
客。			
kjama	キャマ	[名]	3

畑にするために伐採した所。			
kjamaagi	キャマアギ	[名]	こ17
開拓。開墾。			
koko	ココ	[名]	5
<幼>鶏。			
ku	ク	[名]	T
これ。u; に比べ近い所の物を指す。			
ku:	クー	[名]	T
香。長方形で六つの波があり、黒色である。			
ku:	クー	[名]	昔218
孝行。ujanu ku: ki; 親孝行をし…。			
ku:	クー	[感]	
怒った気持ちを表す終助詞。na: kunu miNburubutaja ku;; もう、このバカは! t'a: mununa ku;; つぎからつぎにしゃべるな!			
ku: *	クー	[名]	歴15
<古>番所に徴用されていた小使い。			
ku:bu	クーブ	[名]	1
(昆) 小さなくも。黒糖と一緒に潰して塗るとカサブタに利く。			
ku:di	クーディ	[名]	3
こうじ。			
ku:i	クーイ	[名]	1
好意。			
ku:ju:	クーユー	[名]	昔124
供養。			
ku:kamiti *	クーカミティ	[名]	A 21
田の名。			
ku:na	クーナ	[名]	T
(植) ハルノノゲシ<キク科>。			
ku:saN	クーサン	[形]	昔201
貧しい。kiba(N)saN とも言う。			
kuN	クン	[名]	T
(植) カビ。kuNmui; (服などに) カビがつくこと。			
kuN	クン	[名]	T
粉。			
kuN	クン	[動] 5A型 kaN	生
買う。kamiruN; 買わす。			

kuN	クン	[動] 不2型 suN	生
来る。ku; 来い。si:NniNni; 来てごらん。kurja:du; 来たら…。Nni itikuku mutisutaja i:hana-si t'amiwaruNdi; 米1石持って来たら良い話を教えて下さんと…。(昔154) hanasi t'iNdidu surjaNdi c'aritaba; 話を聞きに来たので(よろしく)と申しあげたら…。(昔154)			
kuNbaru	クンバル	[名]	A 8
(地) 貢原。与那国町内の字名。祖内にある。末尾の地図参照。			
kuNcimi:	クンチミー	[名]	昔163
協力。同志を固めること。			
kuNda	クンダ	[名]	こ1
(昆) ゴキブリ。			
kuNdi	クンディ	[名]	2
婚礼式。nibiti、nibitidwai とも言う。			
kuNdiNnani	クンディンナニ	[名]	2
花嫁衣装。butumutiNnani とも言う。			
kuNdu	クンドゥ	[名]	1
怒り。はらだち。「根性」の転意。kuNdu NdiruNdu; 怒るよ。uNniNdu isigasija kuNduN Ndidukiru; そんなにしたら怒るよ。			
kuNduNdiruN	クンドゥンディルン	[動] 5A型 kuNduNditaN	昔85
怒る。kunduguriruN とも言う。(13)			
kuNdugura	クンドゥグラ	[名]	生
短気な人。kuNdubura とも言う。			
kuNduguraN	クンドゥグラン	[動] 3A*型	続45
怒らす。			
kuNduguriruN	クンドゥグリルン	[動] 6B型 kuNduguruN	続45
怒る。			
kuNdumi	クンドゥミ	[名]	T
紺染め。			
kuNgaci	クンガチ	[名]	T
九月。			
kuNgatana	クンガタナ	[名]	1 4
小刀。			
kuNgumi	クングミ	[名]	9
(甘い) もろみ。			
kuNki:diru	クンキーディル	[名]	民
腰籠。葛の蔓をさいて作った。			
kuNkuNsi	クンクンシ	[名]	昔205

<新>民謡の工工四 (楽譜)。

kuNma *	クンマ	[名]	A 8
(地) 貢馬。与那国町内の字名。末尾の地図参照。			
kuNni	クンニ	[名]	T
こんなに。このような。kuNninu munutiNta; このような者達。			
kuNta	クンタ	[名]	T
のどぶえ。声。kuNtaga maisaNsuja;; 声が大きいねえ。			
kuNta	クンタ	[名]	T
これなど。			
kuNti burari	クンティ ブラリ	[名]	S 31
根気疲れ。			
kuNtinumunu	クンティヌムヌ	[句]	続74
強精剤。			
kuba	クバ	[名]	生
(植) ビロウ <ヤシ科>。この若葉で扇や釣瓶を作る。			
kubaN	クバン	[名]	ま12
供え物の並べ方の一種。御馳走を皿に横にして盛ったもの。			
kubaNgu	クバング	[名]	昔73
おにぎり。mainu i: niti kubaNgu k'ui; 米の御飯を炊いて、おにぎりを作り…。(昔73)			
kubaNtani	クバンタニ	[名]	続78
くばの実。			
kubadisa	クバディサ	[名]	生
(植) モモタマナ<フトモモ科>。一般にコバデিশと言われている木。			
kubagasa	クバガサ	[名]	民
くばで作った笠。竹ひごを密に巻き、頂上が平なのが特徴。			
kubuhatu	クブハトゥ	[名]	T
山鳩。			
kubama	クバマ	[名]	T
(地) 小浜。			
kubamai *	クバマイ	[名]	黒65
筋違い。			
kubanuhauburu	クバヌハウブル	[名]	無6
雨ごい祭りの時、水を入れる物。クバの葉で出来ている。(13)			
kubanhwamuti	クバヌファムティ	[名]	5
クバの葉餅。特に豊年祭の時に作る。			
kubari	クバリ	[名]	7

仲が悪くなること。

kubaruN	クバルン	[動]	2A型	生
配る。				
kubata	クバタ	[名]		歴100
(地) クバタ。タバル川流域、クバタ及びマンタバル地域等の水田を初めて開拓したのは、大屋の七兄弟であったと伝えられている。				
kubatati *	クバタティ	[名]		A 21
田の名。				
kubauN	クバウン	[名]		民
クバの扇。				
kubi	クビ	[名]		昔61
壁。danu kubi とも言う。				
kubiN	クビン	[名]		T
瓶。				
kubita	クビタ	[名]		7
壁板。				
kubu	クブ	[名]		3
昆布。kubunuhani とも言う。				
kubuci	クブチ	[名]		T
(植) ハマスゲ<カヤツリグサ科>。鶏が元気がない時、これをつぶして匂わすと、良い。				
kubuja	クブヤ	[名]		生
(動) コウモリの一種。kasaja (ti) よりも大きなコウモリ。				
kubunuhani	クブヌハニ	[名]		5
昆布。kubu とも言う。				
kubura	クブラ	[名]		A 7
(地) 久部良。与那国町内の字名。末尾の地図参照。				
kuburabari	クブラバリ	[名]		T
(地) 久部良バリ。				
kuburadagi	クブラダギ	[名]		歴3
(地) 久部良岳。				
kuburagi	クブラギ	[名]		こ98
しゃっくり。				
kuburahurisi	クブラフリシ	[名]		3
(地) 久部良フリシ。奇岩名勝の地。				
kuburamaciri	クブラマチリ	[名]		生
久部良部落の祭り。庚申の日に久部良のトゥニで外敵防御の祈願をする。				

kuburamitu	クブラミトゥ	[名]	3
久部良にある池。			
kuburaugaN	クブラウカ°ン	[名]	2
久部良という拝所。			
kuburi	クブリ	[名]	沖I
(稲などが) 枯れていくこと。			
kuburi	クブリ	[名]	T
<古> (地) 久部良。字名。iribi とも言った。			
kuburimai	クブリマイ	[名]	沖I
水腐れした稲。			
kubusimi	クブシミ	[名]	沖T
(動) イカの一種。コウイカ。背中に舟型の甲をもっている。			
kuca	クツァ	[名]	生
フィラリア病。			
kuca *	クツァ	[名]	こ38
癩 (しゃく)。			
kucabi	クツァビ	[名]	沖T
(魚) ヤマブキベラ<ベラ科>。頭に鱗がなく 5 本の青条をもつ。胸びれの縁に褐色の幅広い条がある。			
kuci	クチ	[名]	6
腰。			
kuci	クチ	[名]	こ23
櫛。			
kucibani	クチバニ	[名]	生
背びれ。			
kucibuni	クチブニ	[名]	T
背骨。背中。kucibuni nubai; 背中を伸せ。			
kucidugui	クチドゥグイ	[名]	沖I
骨休め。田植などが終ってする骨休めの酒宴。「腰休め」の意。			
kucigumu	クチグム	[名]	黒57
せむし。猫背。kucikumu とも言う。(こ75)			
kucigagi	クチカ°ギ	[名]	7
後立て。後押し。			
kucisaN	クチサン	[形]	生

苦しい。きつい。病気などをして、起きもできないような時に言う。abutaba ki:ka:i kucisa-ba; お母さんに、気遣いや苦労を…。(昔190)

kudaki	クダキ	[名]	9
下痢。			
kudamaci *	クダマチ	[名]	A 42
田の名。			
kudasi	クダシ	[名]	こ 25
下痢。kudaki とも言う。			
kudasicuri	クダシツゥリ	[名]	5
下し薬。			
kudi	クディ	[名]	生
釘。			
kudi	クディ	[名]	こ 54
マメ・タコなどの皮膚病の総称。手、足にできる。			
kudi	クディ	[名]	続209
澱粉。untinukudi; 芋の澱粉。			
kudikai	クディカイ	[名]	こ 28
小使い（使用人）。			
kudira *	クディラ	[名]	昔212
（動）クジラ。			
kudu	クドゥ	[名]	
去年。			
kuduriami	クドゥリアミ	[名]	生
4, 5月頃降る小雨。田植えをする時、足についた泥を落す雨といわれている。			
kuduru	クドゥル	[名]	T
汚い水たまりにある泥。			
kugaci	クガチ	[名]	T
粉菓子。			
kuganimicihuci	クガニミチフチ	[名]	生
天の中心に三角形をなしている星。			
kugasi	クガシ	[名]	5
落雁。粉菓子。hiciNgu とも言う。			
kugunu	クグヌ	[名]	生
9。			
kugunuka	クグヌカ	[名]	T
九日。			

kuguru	クグル	[名]	1
心。kuguruga hurigai; 胸騒ぎしている様。ujanu kuguru; 親の心。kuguru ucita; 心が落ちつ いた。			
kuḡani	クカ°ニ	[名]	こ12
黄金。			
kuḡuN	クク°ン	[動] 1C型 kudjaN	生
漕ぐ。			
kui	クイ	[名]	T
声。			
kui	クイ	[名]	続46
納戸。kui; 押し入れ。(こ70)			
kuimugu	クイムグ	[名]	1 3
乞い婿。女の方から結婚の話をもちかけ結婚した婿。			
kuiruN	クイルン	[動] 2A型? kuN	T
越える。dama kuihiruN; 山を越えて行く。kui hjaN; 越えて行った。ma naija kuN; (きっと) もう今は越えた。			
kuiti *	クイティ	[名]	A 42
田の名。			
kuitu	クイトゥ	[名]	2
嫁を乞いに行く人。			
kuitutatasi	クイトゥタタシ	[名]	生
嫁を貰う挨拶に行ってもらふこと。			
kujaN	クヤン	[動] 3A型 kujasjaN	生
運ぶ。引っ越す。			
kujaNku *	クヤンク	[名]	黒53
咳。suti 参照。			
kujama	クヤマ	[名]	続159
鳥籠。			
kuju	クユ	[名]	昔220
苦勞。ahari kujuN ki buruNdi; 苦勞しているんだって。(昔220)			
kuku	クク	[名]	昔152
米を計る単位。itikuku; 一石。			
kukuNbanari	ククンバナリ	[名]	A 60
(地) 海岸名。飛行場の東側にある。末尾の地図参照。			
kukukaNdaN	ククカンダン	[動] 3A型 kaNdasjaN	昔184
髪を振り乱す。karaN tira kukukaNditi; 髪を振り乱して…。			

kukuti	ククティ	[名]	8
出始めの竹の子。			
kuma	クマ	[名]	生
ここ。			
kuma	クマ	[名]	続91
こま (独楽)。			
kumaN	クマン	[形]	沖 4
細かい。			
kumaNdati *	クマ نداティ	[名]	A 13
田の名。			
kumaidugiruN	クマイドゥギルン	[動] 6A *型	9
困惑する。			
kumaku	クマク	[名]	S 9
<新>鼓膜。			
kumamada *	クマ マダ	[名]	A 13
田の名。			
kumami	ク マミ	[名]	3
小豆。小さい豆の意。			
kumaruN	クマルン	[動] 2A型 kumaN	3
困る。			
kumaruN	クマルン	[動] 2A型 kumaN	T
籠もる。haikaguri kumati; 入り隠れ籠もって。			
kumatati	クマ タティ	[名]	生
細かい様子。			
kumi	ク ミ	[名]	T
ここに。ここで。			
kumibudui	クミ ブドゥイ	[名]	生
組踊り。			
kumigura	クミ グラ	[名]	昔95
米倉。mumigura; 米倉。Nnigura とも言う。			
kumihikasiuci *	クミ ヒカシウチ	[名]	民
すり臼。			
kumiruN	クミルン	[動] 6A型 kumjaN	3
込める。kumiutugiju;; 込めておきなさいよ。(13) Nnini kumiriju;; 胸にこめなさいよ。(13)			
kumisukuciN	クミ スクチン	[名]	1
(植) クミスクチン<シソ科>。葉をきざんでお茶として飲むと高血圧に利く。			

kumuN *	クムン	[動]	1D型 kumjaN*	3
混む。込む。				
kumuda	クムダ	[名]		沖I
満田原内の田の名。				
kumui *	クムイ	[名]		7
岩の間の水たまり。池。				
kumuti	クムティ	[名]		2
貢物。御供え物。				
kunaN	クナン	[動]	3A型 kunasjaN	3
こなす。踏みつけて細かくする。				
kuniruN	クニルン	[動]	6A型 kunjaN	生
こねる。				
kunitidai	クニティダイ	[名]		生
三歳以下の子供の拝所参り。旧暦の9月9日に行う。				
kunitinigai	クニティニカ°イ	[名]		ま20
クニティ願ひ。健康と繁盛を祈願する祭事。旧暦の9月9日に行う。				
kunuNsa	クヌンサ	[句]		昔41
こいつめ。kunuNsata; こいつらめ。(昔110)				
kunuhadi	クヌハディ	[名]		1 3
最近。				
kunuma	クヌマ	[名]		こ81
日頃。				
kunuti	クヌティ	[名]		
今月。				
kuraN	クラン	[動]	3A型 kurasjaN*	T
暮す。budiNi kurasiwari; 無事にお暮し下さい。				
kuraN	クラン	[動]	3A型 kurasjaN	T
崩す。dama kuraN; 山を崩す。				
kurabiruN	クラビルン	[動]	6A型 kurabjaN	T
比べる。				
kurabu	クラブ	[名]		沖I
土を堀りおこす道具。今から九十年前に出て現在でも残っている。				
kurai *	クライ	[名]		昔145
位。役名。				
kuraiagai	クライアカ°イ	[名]		1 6
位上がり。出世。				

kurasi	クラシ	[名]	昔83
＜新＞暮し。生活。			
kurasigata	クラシガタ	[名]	昔221
暮しぶり。			
kuri	クリ	[名]	生
これ。			
kuributu *	クリブトゥ	[名]	続69
かんでん。			
kurima	クリマ	[名]	生
車。			
kuriruN	クリルン	[動]	6A型 kurjaN 5
(お金を) くずす。kudiNki kuriri; 小銭にくずしてくれ。			
kuru	クル	[名]	4
香炉。			
kuru	クル	[名]	T
黒。			
kuru	クル	[名]	こ74
殻。Ndikuru; 抜け殻。			
kuruN	クルン	[動]	4A型 kurusjaN 3
殺す。			
kurubaN	クルバン	[動]	3A型 生
転ばす。			
kurubaci	クルバチ	[名]	生
枕。kurubaci kiruN; 枕をする。			
kurubasa	クルバサ	[名]	生
田の碎土に用いる道具 (牛馬に引かす木の車)。			
kurubasisjo:bu	クルバシショウブ	[名]	5
遊びの一種。転ばし勝負。勝ち抜き戦で、勝ち残った人に二、三人で、かかる。			
kurubi	クルビ	[名]	沖T
(魚) カワハギ科の魚の総称。尾の根元に20個くらいのトゲが3列に並んでいる。頭の上で角を出し入れする。			
kurubuN	クルブン	[動]	1D型 kurubjaN 生
転ぶ。			
kurugirasa	クルギラサ	[名]	沖t
(魚) カンムリベラ。ウロコは褐色に縁どられている。			
kurukaNda	クルカンダ	[名]	7

(植) オキナワサルトリイバラ<ユリ科>。黒の染料とする。kurukaNda:Nki kataNgai*; オキナワサルトリイバラに引っかかり…。(昔117)			
kurukuruiki	クルクルイキ	[名]	1 1
苦情を言うこと。gudigudiki* とも言う。			
kurumabasja	クルマバシャ	[名]	沖I
耕作用農具。田の碎土用で牛に引かせて転がす。木製もあるが、現在は鉄製を使用。			
kurumairi *	クルマイリ	[名]	民
車鋤。			
kurumi	クルミ	[名]	N 122
計画。企み。baNtakurumi tuNkitaminaju; 私達の計画は、誰にも教えるなよ。(13) tagurabi とも言う。			
kurutati	クルタティ	[名]	歴49
願事(平時には旧八月頃行われる)。祈禱によって病気を治し、厄払いをすることができる。(歴49)			
kusaNdagi	クサンダギ	[名]	こ51
(植) ケイチク(桂竹)。釣竿に使われる竹。			
kusaba	クサバ	[名]	続136
たむし。			
kusadi k'ai	クサディ ッカイ	[名]	続87
こき使うこと。			
kusai	クサイ	[名]	9
交際。			
kusati	クサティ	[名]	婚
香炉の一種。			
kusi	クシ	[名]	1
(植) コエンドロ<セリ科>。ゲンナに似て、それより小さい。2, 3月に多い。塩でもんで食べる。kusiti とも言う。			
kusiNki	クシンキ	[名]	民
こしき(米などを蒸すのに用いる器)。			
kusiNkinuta	クシンキヌタ	[名]	3
こしきの蓋。			
kusu	クス	[名]	生
(植) トウガラシ<ナス科>。			
kusugajahada	クスガヤハダ	[名]	5
鮫肌。			
kusugu	クスグ	[名]	沖T

(魚) モンツキハギ、ニセカンランハギ。胸びれの上にオレンジ色の斑紋がある。両眼の間に黄帯がある。

kusugudahaicari クスグダハイツァリ [名] 続13

あばた。天然痘のあと。

kusugudahaicariuNti クスグダハイツァリウン [名] 続28
ティ

イモムシに食われ、あばたの様な模様のある芋。

kusukaNda クスカンダ [名] T

(植) アマチャヅル<ウリ科>。

kutaNdi クタンディ [名] 1

疲れ。くたびれ。tabikutaNdi; 旅疲れ。

kutaju クタユ [慣] 昔181

来るからね。attaN kutaju; 明日も来るからね。ititikutaju; 行ってくるね。いってまいります。

kutinagi クティナギ [名] 沖T

(魚) クロダイ。フエフキダイ。

kutja クチャ [名] 7

(鳥) カモ。鴨。昔は苗床に植えた時など、いっぱい来て荒らしたりした。

kuttja クッチャ [名] 生

壮年のおす牛。

kutu クトゥ [名] 生

事。文末にあって、命令の意味をあらわすこともある。Ndaga kagu kutu; お前が書くべきことだ。

kutuN クトゥン [名] 3

(植) クロトン<トウダイグサ科>。染料に用いる。

kutuba クトゥバ [名] T

言葉。

kutubanhuci クトゥバヌフチ [句] こ69

言葉のくせ。なまり。

kutuci クトゥチ [名] 1 4

今年。

kutuki クトゥキ [名] 生

三味線歌の一種。口説き。7、5音の句を連ねた、軽快な調子の歌。

kutuwada クトゥワダ [名] 1 0

諺。

kuza クザ [名] A8

(地) 久座。与那国町内の字名。祖納に行く途中(嘉田の東側)にある。末尾の地図参照。

kwa:numuci	クァーヌムチ	[名]	T
(昆) 桑の虫。和名不明。桑の木の中に入っている虫で、知恵熱に効く。			
kwaN	クァン	[形]	生
低い。			
kwaN	クァン	[形]	沖 4
固い。			
kwaNziN *	クァンジン	[名]	婚
香炉の一種。13歳になった時長女に持たせたりする。kaNdiN とも言う。(13)			
kwaci	クァチ	[名]	昔24
お菓子。kaci, kacci とも言う。			
kwai	クァイ	[名]	1
肥料。			
kwaimurikui	クァイムリクイ	[名]	1
肥だめ。			
kwaruN	クァルン	[動] 2A型 kwaN	3
凍る。凍える。kwaidu buru; 凍っている。			
kwatati	クァタティ	[名]	3
低い状態。kwatatinu dama; 低い山。			
kwatikati *	クァティカティ	[名]	こ97
無雑作。			
ma:	マー	[副]	T
もう。ma hittui matiwarijo; もう1日待って下さいよ。ma NsaN; もう良い。			
ma:Nbinaga	マーンビナガ	[名]	沖I
(貝) カワニナの種類。尻が長い。			
ma:Nnani	マーンナニ	[名]	1
晴れ着。			
ma:agami	マーアガミ	[名]	昔90
実子。			
ma:biN	マービン	[副]	昔111
もう少し。もっと。ma: (もう) + ibi (少し) の熟合形。mabitati hamiri; もう少し食べなさい。ma:bi hamiri; もっと食べなさい。ma:biN k'a:gu huri; もっと深く掘れ。(昔58)			
ma:cira	マーチラ	[名]	1 0
相対。二人が向い合うこと。			
ma:cuma	マーツマ	[名]	T
正午。真昼間。			
ma:daina *	マーダイナ	[名]	無76

家主。新築落成にざるなどをかつぐ人が、「マーダイナ」といいながら一番座からまわる。(13)

ma:di	マーディ	[名]	沖I
土の一種。粘りと、栄養があり、一番良質の土。稲を植えるのに良いが、干ばつには弱い。			
ma:dunumunu	マードゥヌムヌ	[名]	T
おやつ。ma:dunumunu kai haiburu; おやつを買って食べている。			
ma:duti	マードゥティ	[名]	
3年後。			
ma:hu	マーフ	[名]	こ114
手品。妖術。			
ma:ja *	マーヤ	[名]	A41
田の名。			
ma:kaNda *	マーカンダ	[名]	植26
(植) リュウキュウマノスズクサ<ウマノスズクサ科>。			
ma:katagaja:	マーカタガヤー	[名]	沖T
(貝) アミガサガイ。			
ma:maNka	マーマンカ	[副]	N110
<新>まっすぐ。ma:maNka hiri; まっすぐ行け。			
ma:miguhaN	マーミグハン	[名]	3
あずきご飯。			
ma:muni	マームニ	[名]	昔213
本当の事。ma:munui とも言う。			
ma:munui	マームヌイ	[名]	昔61
本当。ma:muni とも言う。			
ma:nugimunu	マーヌギムヌ	[名]	T
石敢当。道の突き当りに置いた魔よけの石。			
ma:nui	マーヌイ	[名]	1 4
狂乱。ma:nuruN 参照。			
ma:nui:	マーヌイー	[名]	生
間食 (間の飯)。			
ma:nuruN	マーヌルン	[動]	1 4
怒り狂う。tuNga ma:nutaba…; 妻が怒り狂うと…。(昔85)			
ma:ri	マーリ	[名]	昔219
発酵。			
ma:rigaN	マーリガン	[名]	2
出産願い。			
ma:rja:bjaruminuga	マーリヤービャルミヌカ°	[名]	6

非常に美しい女性（最上級の形容）。abjaruminuNga; 美しい女性。			
ma:siku	マーシク	[副]	生
たくさん。			
ma:tara	マータラ	[名]	こ87
真下。			
ma:ti	マーティ	[副]	昔100
とても。よく。ma:ti marikataci abjaru agami;とても美しく生まれついた子。			
maN	マン	[形]	生
おいしい。ma:ru sagi; おいしい酒。maminu; おいしくない。			
maNdiruN	マンディルン	[動] 6A型 maNdjaN	2
混ぜる。			
maNduigi	マンドゥイギ	[名]	4
(植) パパイア<パパイア科>。生の実を潰けものにしたたり、根を削って炊いて食べたりした。maNrui とも言う。(植.105)			
maNgu	マング	[名]	T
<新> (植) マンゴー。高さ約10cm位で、おいしい果実ができる。			
maNguru	マングル	[名]	T
頃。			
maNgu	マング°	[名]	7
(牛、馬に曳かし) 田を平らにする木の車。kurubasa とも言う。			
maNka	マンカ	[名]	5
まっすぐ。強調する時は ma:maNka という。			
maNki	マンキ	[名]	6
(髪などを) たばねる事。ni:tui とも言う。			
maNmaN	マンマン	[名]	5
<幼>ご飯。			
maNna	マンナ	[名]	沖T
(貝) イボアナゴウ<ミミガイ科>。アワビに似て長楕円形。殻表にイボ、又は、コブ状の列が出来、孔の数が多い。			
maNnabu	マンナブ	[名]	生
6尺棒を使ってする棒踊りの一種。			
maNnaga	マンナガ	[名]	T
(平面的なものの) 真中。			
maNnagi	マンナギ	[名]	T
真中に。maNnagi NtuibuN; 真中に坐っている。			
maNnibi *	マンニビ	[名]	A37

田の名。

maNnituci マンニトゥーチ [名] こ90

万分之一。

maNpani マンパニ [名] 続24

抄めもの。大根やパパイヤ、ニンジンなどをおろし、いためた物。お祝い、焼香の時に食べる。

maNta マンタ [名] 続85

(植) モロコシソウ<イソマツ科>。葉を乾燥させて、着物などの香料として使う。

maNtabaru * マンタバル [名] a.7

満田原。

maNti マンティ [名] T

再来年。

mabui マブイ [名] 昔86

(生きている人の) 魂。驚いた時、離れた魂を呼び戻す事。

maburuN マブルン [動] 2A型 mabaN T

(種などを) まく。tani mabui; 種をまきなさい。

maci マチ [名] 1

まし。良いこと。anuNki maci araNna; 私にいいんじゃない (好み)。

maci マチ [名] T

(田などの) 区画。

maci マチ [名] 4

(植) リュウキュウマツ<マツ科>。

maci:ta * マチータ [副] N154

取ってすぐ、そのままの意。

macidama マチダマ [名] 3

松林。

macinuaNda マチヌアンダ [名] こ87

松脂。

maciri マチリ [名] 昔4

祭。

maciruN マチルン [動] 6A型 macjaN T

祭る。進上する。

macirumunu マチルムヌ [名] こ24

供え物。祭る物。

macjaN マチャン [形] 昔189

より良い。良い。ましである。sa:ŋa maccjaruNnibagaidu kiti; 自分の良いようにばかりして…。(昔189) maci (良い) +aN (合う) の融合形。da:mija macjaguja naranu; 病気は軽くなり…。				
madagiruN (1)	マダギルン	[動]	6A型	昔30
放り投げる。buNkaN とも言う。				
madagiruN (2)	マダギルン	[動]	6A型 madagiaN	T
(思いきって) する。やる。tui madagiruN; 取ってしまう。取ってすてる。hi madagiruN; 行ってしまう (けんかした時などの語)。isi madagiruN; 思いきってする。				
madamauri	マダマウリ	[名]		無33
祖納の東部落の船の名。ドナイド (歌劇) の中に出てくる船名。sudamauri とも言う。				
madi	マディ	[副]		1 4
まだ。madi huriŋgai nu:ranutaba;; まだまだ震えも止まらずにいるので。(m.123) madi kunuN; まだ来ない。madimadi; まだまだ。madina; まだか。				
madimuNnukaNda	マディムヌカンダ	[名]		T
(植) オキナワスズメウリ<ウリ科>。				
madimunu	マディムヌ	[名]		生
幽霊の一種。これに見られると、病気で死ぬ。(マジムヌが死んだ時と同じ病気)。				
madimunuci	マディムヌチ	[名]		無27
鬼火。マディムヌの火。不幸の予兆。				
madu	マドゥ	[名]		昔225
間。aNga Nnananu maduni; 私が見ない間に…。				
maduN	マドゥン	[名]		4
一緒。hiruNsutu maduN; 行くと同時に。				
maduN	マドゥン	[動]	5B型 madwaN	T
迷う。<稀>maduruN とも言う。				
madui	マドゥイ	[名]		T
迷い。c'ada madui kiruN; 迷う。				
madunaga	マドゥナガ	[名]		N 149
真夜中。dunaga; 夜中。				
magaN	マガン	[動]	3A型	生
負かす。				
magaN	マガン	[動]	3A型 magasjaN	生
炊く。i: magari; 御飯を炊きなさい。				
magaN	マガン	[動]	3A型 magasjaN	3
任す。				
magaNda	マガンダ	[名]		a .7

(地) 真嘉謝。

magaNdija	マガンディヤ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
magai	マガイ	[名]	生
お碗。お碗を数える単位としても使う。			
magamunu	マガムヌ	[名]	昔166
炊いたもの。炊いたご飯。			
magamuta	マガムタ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
magiri	マギリ	[名]	N 117
限り。全部。t'unu magiri; 人の限り。			
magiruN	マギルン	[動]	6A,6 magjaN (4), maguN 4 (T)
負ける。			
magita	マギタ	[名]	沖I
大きい田。			
maguN	マグン	[動]	1B型 生
巻く。			
maguN	マグン	[動]	1B型 こ86
蒔く。maburuN とも言う。			
magumasi	マグマシ	[名]	生
野辺送りの反物。野辺送りする時、棺の両側で持って歩く芭蕉の反物。			
magura	マグラ	[名]	S 59
<新>枕。kurubaci とも言う。(10)			
maguri	マグリ	[名]	6
もうろく。			
maḡai	マカ°イ	[名]	こ87
曲り。maḡai kadu; 曲り角。(10)			
maḡaiamiti	マカ°イアミティ	[名]	5
まがり道。			
maḡanai	マカ°ナイ	[名]	歴131
世話をする事。maḡanai t'u; 世話をする人。			
maḡaruN	マカ°ルン	[動]	2A型 maḡaḡN 3
曲がる。			
maḡiruN	マキ°ルン	[動]	6A型 maḡjaḡN 生
曲げる。			
maḡu	マク°	[名]	T

砕土に用いる道具。馬にひかせ畑の砕土に用いる道具。			
magu	マク°	[名]	T
孫。			
mahenumara *	マヘヌマラ	[名]	植1
(植) ケイノコヅチ<ヒユ科>。			
mai	マイ	[名]	生
前。			
mai	マイ	[名]	沖I
稲。米。苗を田に植えると、nai からmai に変わる。			
maiNdimagu	マインディマク°	[名]	稲286
千歯こき。穂から粃を取る農具 (昔の脱穀機)。大正六年頃から普及。			
maiNguidama	マイングイダマ	[名]	沖I
新式の脱穀用農具。			
maiNsu	マインス	[名]	生
米で作った味噌。			
maibara	マイバラ	[名]	T
前側。			
maibi	マイビ	[名]	沖I
田植え。稲を植えること。			
maibiziki	マイビジキ	[名]	沖I
田植えの時期。			
maicja:	マイチャー	[名]	婚
<移>腰布。1 0 0 年ぐらい昔の女性の下着。maita 参照。			
maidana	マイダナ	[名]	3
糸枠。紡いだ糸を巻いておく枠。			
maidatu	マイダトゥ	[名]	A 61
(地) 海岸名。馬鼻崎の西にある。			
maidui	マイドゥイ	[名]	9
稲を束ねること。			
maidusi	マイドゥシ	[名]	1 4
前寄せ。dusiruN; 寄せる。maibaraNki dusiruN; 前に寄せる。			
maihaN	マイハン	[名]	2
前足。			
maihuna	マイフナ	[名]	生
お利巧。「ご苦労さん」という意味で、年下の人に向かって使う。maihuna agami; いい子、いい子。			

maihunamariruN	マイフナマリルン	[動] 6B型 maihunamaruN	1 0
いい人に成長する。立派に成長する。			
maijusi	マイユシ	[名]	1 0
近づき。前寄せ。			
maikai	マイカイ	[名]	沖I
稲刈り。			
maikaiNnani *	マイカインナニ	[名]	資341
稲刈り用の着物。			
maikaiirara	マイカイイララ	[名]	沖I
稲刈り鎌。			
maikaniti	マイカニティ	[副]	1 0
予め。前もって。			
maiku	マイク	[名]	N 144
稲作。米作。			
mainubuci	マイヌブチ	[名]	沖I
稲の節。			
mainudu	マイヌドゥ	[名]	生
米のおかゆ。			
mainuhana	マイヌハナ	[名]	沖I
稲の花。			
mainuhi	マイヌヒ	[名]	沖I
(植) 和名不明。粟の一種らしい。小さいときは、稲とよく似ているが、根の方が白っぽく、葉の裏は毛がある。これが田に繁茂すると、収穫量が落ちる。			
mainuhu	マイヌフ	[名]	沖I
稲の穂。			
mainui:	マイヌイー	[名]	T
米の御飯。			
mainukuru	マイヌクル	[名]	こ104
粳穀。			
mairuN	マイルン	[動] 特殊 maisuN	生
死ぬの敬語。maisi minuruNdja; おなくなりになったんですよ。(資354)			
maisaN (1)	マイサン	[形]	生
大きい。			
maisaN (2)	マイサン	[形]	生
<稀>多い。ma:siku aN の方をもっぱら用いる。tisija masanu; 手が多い。(よけいなことに手を出したがる)			

maisirasi	マイシラシ	[名]	こ87
前兆。前触れ。			
maisugati	マイスカ [°] ティ	[名]	生
前すがき。門前から、家の中を見られるのを防ぐための垣。			
maita	マイタ	[名]	生
女性用ふんどし。			
maitaruci	マイタルチ	[名]	こ100
命日（亡くなった日）。Nnitaruci とも言う。			
maiuNki	マイウンキ	[名]	N152
米作り。maiku とも言う。			
maja	マヤ	[名]	沖I
曲った田。			
majagwa: *	マヤグァー	[名]	昔140
<文>歌の名。猫小節。			
maju	マユ	[名]	生
（動）ネコ。			
maka	マカ	[名]	A8
（地）真嘉。比川にある畑の名。			
makikuNbu	マキクンブ	[名]	5
まき昆布。			
makutu	マクトゥ	[名]	T
誠。真実。			
mama	ママ	[名]	T
まま。そのとおりに任せること。unumama utuguN; そのまま置いておく。（昔220）uci Nma- ja nu:ni tiNdimama; 牛馬は野原に繋ぎっぱなしで…。（昔135）			
mamaabuta	ママアブタ	[名]	こ6
継母。			
mamaagami	ママアガミ	[名]	昔90
継子。			
mamaruN	ママルン	[動] 2A型 mamaN	T
まみれる。たちこめる。c'i mamaruN; 血がまみれる。kibuNci mamaruN; 煙がたちこめる。			
mami	マミ	[名]	生
腎臓。			
mami	マミ	[名]	N154
豆。			
mamiNgi *	マミング	[名]	植136

(植) オオムラサキシキブ<クマツヅラ科>。

mamikaNda マミカンダ [名] 生

(植) ヒナアズキ<マメ科>。『植物方言集』からすると、タイワンクズ<マメ科>なども指すか？

mamina マミナ [名] 生

もやし。豆菜の意味。

maminuka マミノカ [名] 7

いっちょうら。maminukati; 薄着、なにもないという意味。(T)

maminumiti マミノミティ [名] 4

(植) ハマイヌビワ<クワ科>。島内でも村落によって相違があり、これは久部良の方言である。gadimaru 参照。

mamui マムイ [名] 昔142

守り。

mamuni マムニ [名] 生

真実。本当。

manaci マナチ [名] こ48

真夏。

mani マニ [名] 1

真似。

maniaN マニアン [動] 3A型 maniasjaN* 4

間に合う。

manika マニカ [名] 続48

おしゃれ。manika agami; おしゃれっ子。

manuguN マヌグン [動] 1B? T

招く。招待する。manuganutaN; 招かなかった。manuiju; 招きなさい。(?)

manuti マヌティ [名] 昔21

招き。

mara マラ [名] 生

陰茎。

maraN マラン [形] 沖4

短い。

maraN マラン [動] 3A型 marasjaN 昔27

転がす。ma:rasi utusi; 突き落とす。転がして落とす。

maraNni マランニ [名] 生

山原船。帆船。

marati マラティ [形] 10

かわいい。			
mari	マリ	[名]	こ114
容貌。人相。			
mariNjabu *	マリンカ°ブ	[名]	資355
生まれ果報。子供が生まれること。安産。mariNgbu kibi sjana kidu buru; 生まれたので喜んで			
でいる。			
mariabjaN	マリアビャン	[名]	1 4
生まれた時からきれいな人。			
maribiki	マリビキ	[名]	生
直系の血統。			
maridima	マリディマ	[名]	4
郷里。			
maridu *	マリドゥ	[名]	続39
運命。maridu abjaN; 兄弟の中で抜き出て優れている者。(10)			
marikabai	マリカバイ	[名]	こ31
生れ変り。昔、性格が悪かった人が、良い性格になったりすること。			
marikai	マリカイ	[名]	1 0
生れ変り。先祖の人に似ていること。			
marimama	マリママ	[名]	昔80
生まれつき。			
marimi *	マリミ	[名]	昔242
女性性器。生まれ道の意。			
maririnigai	マリリニカ°イ	[名]	4
生まれ年の日の御願ひ。madidinigai とも言う。			
mariruN	マリルン	[動] 6B型 maruN	T
生れる。marita kaci minuN; 生れた価値がない。maritaNtiN du:du naranuN; 生れても用事にな			
らない。kaigugara mariruN; 卵からかえる。ma:ruru agami; 生まれた子供。(昔9)			
mariruN	マリルン	[動] 6B型 maruN	B 122
回る。転び回る。ma:ri utiruN; 転り落ちる。			
marisi	マリシ	[名]	1 0
人相。mari とも言う。			
maru	マル	[辞]	生
回る数を数える単位。tumaru; 一廻り。			
maruN	マルン	[動] 2A型 maN	昔226
まる。糞をする。aga maruba; 私が糞をすれば…。(昔226)			
maruNgi	マルンキ°	[名]	沖1

(植) 田草の一種。和名不明。misubadi に似ているが、これは茎が丸い。

maruNka	マルンカ	[名]	生
丸い状態。			
marubai	マルバイ	[名]	5
無着衣。はだか。			
marubuN	マルブン	[名]	T
丸いおぼん。			
marucinuada *	マルチヌアダ	[名]	黒65
蒙古斑。			
maruguN	マルゲン	[動] 1B*	T
おしゃべりする。ahjamaruti; おしゃべりして…。			
marukaNdi	マルカンディ	[名]	1 0
他人の借金や罪をかぶること。丸損 (こ90)。			
marukimunukui	マルキムヌクイ	[名]	こ120
輪作。同じ畑に、異なる作物を周期的に交替させて作ること。			
marumiruN	マルミルン	[動] 6A*marumjaN*	T
丸める。まとめる。baNta siNka marumiriju; 私達の仲間をまとめなさい。			
marumunu	マルムヌ	[名]	昔56
御馳走。			
marunumi	マルヌミ	[名]	7
丸飲み。			
maruti	マルティ	[辞]	生
束ねた物を数える単位。isika の2倍の苗束。(沖I)			
maruudugi	マルウドゥギ	[名]	こ90
(全てを) 失うこと。丸損。			
masagaruN	マサガルン	[動] 2A型	生
勝る。			
masaini	マサイニ	[副]	昔165
よりいっそう。…以上に。t'u masaini; 人以上に。naikaN masaini; 今より以上に。(昔165)			
masaini tatidu kirariru; よりよい暮しができる。(昔166)			
masaruN *	マサルン	[動] 2A*	1 4
勝る。aga sikaraja karikaja masaidu kiru; 私の力は彼より勝っている。masagaruN とも言う。			
asisiujakwa *	マシシウヤクァ	[名]	歴34
<古>近い親類。ujaha; 親子。			
masu	マス	[名]	生
塩。			

masuki	マスキ	[名]	生
塩づけ。			
masuusai	マスウサイ	[名]	生
小皿に塩を盛り上げた供え物。			
mata	マタ	[名]	生
でき上がった反物を巻く物。			
mata	マタ	[辞]	こ6
歩数を数える単位。t'umata; 1 歩。(こ16)			
mata	マタ	[副]	T
また。mata ata aNbuN; また明日遊ぶ。			
matabusu	マタ布斯	[名]	昔213
股の間。			
matabutumuti	マタブトゥムティ	[名]	こ30
女の人の再婚。mutikai とも言う。			
matajasa	マタカ°サ	[名]	生
外股の人。			
matajiruN	マタキ°ルン	[動] 6A型 matajjaN	こ86
またげる。股の間にはさむ。			
matajuN	マタク°ン	[動] 1A型	こ88
またぐ。			
matamaju	マタマク°	[名]	こ50
曾孫。			
matamati	マタマティ	[名]	1
芽の出ない所に種をまくこと。一回蒔いて、それが発芽しない時もう一度蒔くこと。			
matara	マタラ	[名]	生
(鳥) ツバメ。			
mati	マティ	[名]	生
牧場。			
mati	マティ	[名]	こ5
市場。			
mati *	マティ	[名]	黒44
つむじ。mudati 参照。			
matigutagi	マティグタギ	[名]	生
(植) リョクチク<イネ科>。非常に太くて長い竹。			
matija	マティヤ	[名]	生
<古>店。最近はmisijaを使う。			

matikagaN 腰巻。	マティカガン	[名]	生
matimuduN * 巻き戻す。	マティムドゥン	[動] 4A型 matimudusj	3
matiniNdu 牧人衆。牧場の組合員。	マティニンドゥ	[名]	3
matu:saN 正直な。	マトゥーサン	[形]	生
matuN 待つ。	マトウン	[動] 1D型	生
matumaruN * まとまる。su:daN matumaiti; 相談がまとまって…。	マトゥマルン	[動] 2A *	昔161
matumiruN まとめる。	マトゥミルン	[動] 6A型 matumjaN	5
matumu まとも。正面。	マトウム	[名]	こ88
maumiti * (地) 海岸名。末尾の地図参照。	マウミティ	[名]	A 61
mazimunukusu * (植) メジロホウズキ・ハダカホウズキ<ナス科>。	マジムヌクス	[名]	植142
mi 身。	ミ	[名]	昔86
mi: 3。	ミー	[名]	生
mi: 雌。	ミー	[名]	生
mi: 巳 (十二支の一つ)。	ミー	[名]	T
mi: 目。	ミー	[名]	T
mi: 中。間。留守。ba:mi: hagai; 私達の留守を見計らい。	ミー	[名]	昔74
mi: (1) 実。中身。tigurisa mi: Ndasi; 手早く精米し。nai (実) 参照。	ミー	[名]	昔73
mi: (2) 肉。	ミー	[名]	3

mi:Nmuhai	ミーナムハイ	[名]	1 0
白内障。目に雲のようなものが、広がる目の病気。			
mi:Nna	ミーナ	[名]	2
雌網。綱引きの時の一方の綱。bigiNnaに対する。			
mi:Nna	ミーナ	[名]	1
帆網。			
mi:agaNtai	ミーアガンタイ	[名]	1 0
目の赤い状態。結膜炎(続82)。			
mi:bai	ミーバイ	[名]	沖T
(魚) ハタ類。チョウチョウダイ等の魚。体は茶褐色で大きい。青い斑点をちりばめる。			
体に大きい石垣状の斑紋をちりばめる。			
mi:buci	ミーブチ	[名]	3
雌ぶし。腹わた側の鰹ぶし。			
mi:diNtu *	ミーディントウ	[名]	A 63
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
mi:dumi	ミードゥミ	[名]	2
新嫁。			
mi:haNkasaN	ミーハンカサン	[形]	昔111
まばゆい。			
mi:haga:	ミーハガー	[名]	T
眼病で目のふちのただれた人。			
mi:kubai *	ミークバイ	[名]	黒47
目がさえて寝つかれない状態。			
mi:mai	ミーマイ	[名]	沖I
新米。			
mi:migui	ミーミク°イ	[名]	5
目まい。			
mi:mugu	ミームグ	[名]	2
新婿。			
mi:munu	ミームヌ	[名]	昔197
見物。見事なもの。			
mi:nami (kani)	ミーナミ(カニ)	[名]	1
へさきの滑車。			
mi:nici *	ミーニチ	[名]	続6
北風。秋に吹きはじめる北風。nicikadi; 北風。			
mi:piramai	ミーピラマイ	[名]	沖I

実が小さい稲。

mi:tabusi * ミータブシ [名] 黒47

目隠し。

mi:ti ミーティ [名] 沖I

田で食べ物を用意する人。普段はしないが、寒い時期などは田で温かいものを作る。

mi:tusaN ミートゥサン [形] 生

<移>疎遠である。

mi:twaN ミートァン [形] 生

疎遠である。久しく会っていない。

miN ミン [名] 3

水。

miNami ミンアミ [名] 昔114

水浴び。

miNbata ミンバタ [名] 1 6

布の横の両端。

miNburu ミンブル [名] 生

頭。

miNburubuta ミンブルブタ [名] T

頭の悪い人。

miNburudami ミンブルダミ [名] こ48

頭痛。

miNcibu ミンチブ [名] T

耳のある壺。

miNdacaami ミンダツァアミ [名] 生

小さな格子じまの模様。

miNdai ミンダイ [名] 続226

ものもらい。

miNdaramuti ミンダラムティ [名] ま26

頭からかぶり両耳まで届く餅。migaimuti とも言う。祭りの時に作る。

miNgamasaN ミンガマサン [形] 1 0

やかましい。耳障り。

miNgasa ミンガサ [名] 5

耳にできたはれもの。中耳炎のような病気。

miNguramuci ミングラムチ [名] ア

1 5 糶位の細長く平たい餅。

miNguru ミングル [名] T

(植) キクラゲ<キクラゲ科>。人の耳の形に似ている。干して食用にする。

miNgusa	ミングサ	[名]	沖I
水草。浮き草のこと。			
miNgajadu	ミンカ°ヤドゥ	[名]	図
裏座。(二番座の後ろ)。miṅaidu; 嫁の間。urada; 裏座。			
miNka	ミンカ	[名]	T
つんば。老人によるとこれは沖縄の言葉。			
miNkuburi	ミンクブリ	[名]	2
破水。			
miNkuku	ミンクク	[名]	生
(鳥) フクロウ。			
miNkumja	ミンクミヤ	[名]	続214
水ぶくれ。miNpamai; 水ぶくれの症状。			
miNma:si	ミンマーシ	[名]	沖I
田に水を入れること。			
miNmi	ミンミ	[名]	1 0
水汲み。			
miNnuhaci	ミンヌハチ	[句]	こ125
若水。正月や祭りの時に初めて汲む水。			
miNnukaN	ミンヌカン	[句]	続114
水源。			
miNpamai	ミンパマイ	[名]	1 0
水っぱい。水腐れの状態。			
miNpamai	ミンパマイ	[名]	こ37
湿地。			
miNta	ミンタ	[名]	沖I
水の豊富な田。一期作、二期作が自由に作れる田。河、沼などから水を引いて耕作する田。			
miNtabu	ミンタブ	[名]	生
耳。耳たぶ(こ94)。miNtahu とも言う。祖納の人が多く miNtahu を使うと言われている。			
miNtahunucu	ミンタフヌツ	[句]	こ94
耳垢。			
miNtahunuhika	ミンタフヌヒカ	[句]	5
耳の穴。			
miNtama	ミンタマ	[名]	
目の大きな人。mibuta とも言う。			
miNtama	ミンタマ	[名]	T

目玉。			
miNtira	ミンティラ	[名]	5
目にできた傷跡。			
miNtura	ミントウラ	[名]	生
つんぽ。miNtuka; とも言う。			
miNugi	ミンウギ	[名]	1 0
水桶。			
miati	ミアティ	[名]	昔29
目当て。目標。			
mibagu	ミバグ	[名]	1
迷惑。			
mibai	ミバイ	[名]	こ93
見栄え。			
mibatami	ミバタミ	[名]	こ92
身仕度。市場や祭などにいく時の仕度。			
mibucinu tama *	ミブチヌ タマ	[名]	昔100
玉の一種。美しい玉。			
miburi	ミブリ	[名]	こ126
わき見。miburi kiNnaju; (子供から) 目をはなすなよ。			
mibuta	ミブタ	[名]	T
目の大きい人。miNtama とも言う。			
micaja:	ミツァヤー	[名]	沖T
(貝) アッキガイの総称。殻は厚く突起が角状に長くのびる。			
micajakudi *	ミツァーヤクディ	[名]	生
(貝) オキニシ。			
micirubi	ミチルビ	[名]	沖t
(魚) センカエルウオ<ハゼ科>。体は細長く、吻も素直で左右にひらく。			
micubata	ミツバタ	[名]	T
三刃になった鋏。micumatapagai とも言う。			
micumatapagai	ミツマタバカ°イ	[名]	民
三本歯の鋏。micubata とも言う。			
midacisjunu *	ミダチシュヌ	[名]	昔206
<古>目差主 (時の役名)。			
midaganaN	ミダガナン	[動] 3A型	生
平坦にする。			
midama	ミダマ	[名]	生

ビーダマ遊び。			
midasika *	ミダシカ	[名]	植147
(植) オオバルリミノキ<アカネ科>。			
midati	ミダティ	[名]	5
つむじ。			
midu-kiruN	ミディキルン	[動]	6A型 midu-kjaN 1
見比べる。			
miduNgasa	ミディンガサ	[名]	生
水ぼうそう。			
miduNtu	ミディントゥ	[名]	歴145
(地) サンニヌダイの北側にある。水の霊所。			
miduabuci	ミディアブチ	[名]	沖I
苗畑に土を盛って区切ること。種の先まき後まきを区別する為のもの。			
midigani *	ミディガニ	[名]	植93
(植) テリハノブドウ<ブドウ科>。			
midigasa *	ミディカ ^o サ	[名]	黒66
水ぼうそう。miduNgasa 参照。			
midikura	ミディクラ	[名]	こ47
水槽 (貯水するためのカメ)。			
midinuku	ミディヌク	[名]	生
お盆の供え物。ナスビの葉と、キビのわかごと、米の粉と、粟の穂と、水を碗に入れた物。			
祖納で調査した時は、カボチャやヘチマのわかごも入れるとのことであった。			
midiruiru	ミディルイル	[名]	こ120
緑色。			
midu	ミドゥ	[名]	生
少女。			
midu	ミドゥ	[名]	沖 I
溝。苗床と苗床の間など。			
miduNgutitumi	ミドゥングティトゥミ	[名]	沖I
水口を止めること。傍にある泥等を畦の高さ程に積んで、水の流れを止める。			
midubari	ミドゥバリ	[名]	T
溝を通すこと。			
miduda *	ミドゥダ	[名]	A 13
田の名。			
midududama	ミドゥドゥダマ	[名]	歴97

(地) 小高い丘の名。ミドゥドゥ山。与那国島の北側にあり、祭りの時にはそこで拝む。

miduŋuti ミドゥク°ティ [名] T

(田の) 水口。miduNguti とも言う。(沖I)

midukaN ミドゥカン [名] 3

川上。

midumacci ミドゥマッチ [名] ア

部落祭りの一つで、祖納で行われる。本家の地祭りしている田んぼの水を抜いて行う祭り。

miduru ミドゥル [名] 生

新芽。新緑。miduru: miduru buNsujā; 青々しているね。

midutara ミドゥタラ [名] 3

川下。

miduti ミドゥティ [名] 1 0

幼くて、かわいい女の子。

migaNsi ミガンシ [名] 2

湯灌。死体を棺に納める前に、もく浴させること。

miguti * ミグティ [名] A 27

田の名。

migutiNbu * ミグティンブ [名] A 42

田の名。

migutita: * ミグティター [名] A 23

田の名。

migai-kiruN ミカ°イキルン [動] 6A型 migai-kiruN* S 73

自慢する。みせびらかす。

miġaidu ミカ°イドゥ [名] 生

1番座の裏の部屋。

miguraN ミク°ラン [動] 4A型 T

巡らす。

migurasiNnuN ミク°ラシンヌン [動] 1D型 migurasiNnjaN 3

見回す。

migurisaN ミク°リサン [形] 1

<新>見苦しい。

miguruN ミク°ルン [動] 2B型 migwaN 生

巡る。kama miguiti ku; あそこを巡って来い。ti: miguraninu; 手がまわらなくて…。(資)

mihaNkasaN ミハンカサン [形] 生

まぶしい。

mihukuragi ミフクラギ [名] 植129

(植) オキナワキョウチクトウ<キョウチクトウ科>。別名 ミフクラギ。mikuragi とも言う。

(T)

mihura	ミフラ	[名]	昔91
憎いこと。mihura kiti; 憎くて。			
mijarabi	ミヤラビ	[名]	続
愛人。普通、「美童」と宛てられている。			
mijarabja	ミヤラビヤ	[名]	歴
娘。美人。			
mika	ミカ	[名]	T
三日。			
mikaanahuki	ミカアカ ^o フキ	[名]	5
三日はしか。ねぎの根とかつおぶしを混ぜてたき、塩をおとしたものを食べるとなると言われている。			
mikajan	ミカカ ^o ン	[名]	生
水中眼鏡。			
mikaka	ミカカ	[名]	1 0
おっちょこちょい。			
mikazuki	ミカツキ	[名]	4
<新>三日月。			
mikiruN	ミキルン	[動] 6A型 mikjaN	T
見つける。さがす。			
mikka	ミッカ	[名]	こ37
盲 (卑小語)。mi:munu Nnaninut'u; 物の見えない人が一般的に使われる。(10)			
mikusu	ミクス	[名]	1 0
<新>目脂 (めやに)。minucu とも言う。			
mimani	ミマニ	[名]	1 6
姪。			
mimaniti	ミマニティ	[名]	1 0
<文>恋人 (女)。			
mimata	ミマタ	[名]	T
三つ股。			
mimata	ミマタ	[名]	歴135
十山御嶽の神名。川の神様。詳しくは、チマガニン、ソウダルミ、ミマタ、ヌチと称している。			
mimatadama	ミマタダマ	[名]	3
(地) 与那国島内にある山の名。どの道から登っても道が三又に分れている。			

mimi	ミミ	[名]	昔93
真似。mani とも言う。			
mimiNku	ミミンク	[名]	歴135
浦野御嶽の神名。詳しくは、ウゴウラ、クウラ、ミミンク、タマンク・ヌチと称している。			
mimida	ミミダ	[形]	昔44
細かい。mimida aminumi; 細かい穴の目。hai numimida; 針の目。			
mimidiruN	ミミディルン	[動]	6A型 mimidjaN T
(人)を押える。(指先で)もむ。muNtakuN 参照。			
mimiti mimiti	ミミティ ミミティ	[名]	1 6
津々浦々。			
mimiziN *	ミミジン	[名]	植150
(植)アカミミス<アカネ科>。			
mimizja:	ミミジャー	[名]	沖T
(魚)ヒメフエフキ。頭部は直線状で吻はとがり、体は濃赤色。			
mimunu	ミムヌ	[名]	昔197
見もの。(踊り、相撲、競場など)興味を引くもの。buduihani mimunu; 面白い踊り。(昔197)			
mimuti	ミムティ	[名]	昔63
独立。mi:mutija narurja; 一人でもなんとかやっているので…。(昔63)			
minaNkabagasi	ミナカバガシ	[名]	歴31
新七日の判定。死後三日目から三週間以内に霊前にユタを向かえて行う。ユタが霊界の人からの伝言をその家族の人に伝える神事。			
minabi	ミナビ	[名]	民
下げ鍋。tinabi とも言う。			
minaga	ミナガ	[名]	生
庭。			
minagada	ミナガダ	[名]	歴73
<古>集会場。与那国の北(祖納)にあり、祭りなどを行う。			
minamina	ミナミナ	[感]	3
<幼>山羊を呼ぶ時の言葉。			
minaruuta	ミナルウタ	[名]	続146
歌の一種。ミナル唄。通夜の時に歌う。			
minuN (1)	ミヌン	[形] 特殊	T
無い。minuNki nasjaN; なくしてしまった。kadi minuN; 風がない。Nnutasija minuNki; 見ているうちに、消えてしまい…。(昔175)			
minuN (2)	ミヌン	[補]	昔201

…してしまう。すっかり…する。動詞の連用形に接続する。 abuta kutuja baci minuNki
ninubuiki; 母の事は、忘れてしまっ居眠りし…。

minuNbi	ミヌンビ	[名]	5
目尻。			
minucu	ミヌツ	[名]	こ101
目やに。 mikusu とも言う。			
minuga	ミヌカ°	[名]	T
女。			
minuga nu uja	ミヌカ°ヌ ウヤ	[句]	T
母親。			
minugaagami	ミヌカ°アガミ	[名]	T
女の子。			
minugakinai	ミヌカ°キナイ	[名]	続53
女世帯。			
minugasugai	ミヌカ°スガイ	[名]	こ43
女装。			
minuka	ミヌカ	[名]	5
まぶた。			
minumaNgi	ミヌマンギ	[名]	生
まつげ。			
minumai	ミヌマイ	[名]	7
身の廻り。 dunutumaru とも言う。			
minumaibara	ミヌマイバラ	[句]	こ103
目前。			
minumaju	ミヌマユ	[名]	生
まゆげ。			
minutama	ミヌタマ	[名]	5
瞳。目の玉。			
miriN	ミリン	[名]	3
<新>みりん。			
miruN	ミルン	[助動] 6A型 mjaN	T
…させる。使役の助動詞。 k'amiruN; 聞かす。 aigamiranuN; 歩かせない。			
miruku	ミルク	[名]	無44

弥勒菩薩。部落の行事のときに、ミロクの面をかぶる。1611年、与那国島検地に随行した慶田城という人が、島仲部落と比川部落を配下にしようと思ひ娘二人を嫁がせた。そのとき家の格式を上げるためにミロクの面を嫁入り道具としてもたせた。田島家と前竹家に面がある。

misaN	ミサン	[形]	生
味がまずい。misaru sagi; おいしくない酒。misarubaN ujasiwari; まずいですがお上り下さい。			
misajiruN *	ミサキ°ルン	[動] 6A *	こ31
さげすむ。見下す。			
misija	ミシヤ	[名]	T
<新>店。			
misu	ミス	[名]	歴49
40日間肉食を断つこと。祭りの行われる40日前から四本足の動物の肉食を断つ。			
misubadi	ミスバディ	[名]	T
(植) 田草の一種。和名不明。イグサに似ているが、茎が三角になっている。			
misucibuukikui *	ミスチブウキクイ	[名]	図
味噌壺置き小屋 (三番座の裏)。			
misugadi	ミスガディ	[名]	沖I
(植) 田草の一種。和名不明。			
misuginujuda	ミスギヌユダ	[名]	4
(植) クサトペラ<クサトペラ科>。芯がスポンジみたい。suginujuda; (モンパノキ) の雌の意。			
misumaci	ミスマチ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
mita	ミタ	[名]	生
鶏。			
mitaajami	ミタアヤミ	[名]	2
闘鶏。			
mitanaga *	ミタナガ	[名]	黒44
眉間。			
mitanumi	ミタヌミ	[名]	3
鶏肉。			
mitanusaganati	ミタヌサガナティ	[名]	2
夜更けて鶏の鳴くこと。鶏の鳴く時分でないのに鳴くこと。凶事の前兆とされる。			
mitatuN	ミタトゥン	[動] 1D型 mitatjaN *	T
目立つ。mitatidu buru; 目立っている。			
miti	ミティ	[名]	生

御神酒。米のすり粉を発酵させ、砂糖を入れ甘くした酒。昔は米を16～18歳の女性にかまして粉にしたが、現在は臼で粉にしている。

mitijusa ミティユサ [名] 続214

(昆) アメンボ。水上を歩く大型の蚊のようなもの。

mitinaga ミティナガ [名] 昔175

途中。

mitiuja ミティウヤ [名] 続215

道親 (昔のならわし)。小児が親と性が合わないとのことで小児を抱いて道に出て一番始めに会う人に抱いて貰う“抱き親”即ち道親になって貰う。以後その方を父と呼ぶ。

mitiuta ミティウタ [名] 2

歌の一種。ミティ唄。祝い (豊年祭など) の時、道を歩きながら歌う歌。

mitu ミトゥ [名] 生

沼。池。

mituda ミトゥダ [名] T

夫婦。

mituhu ミトゥフ [名] T

(植) イボタクサギ<クマツヅラ科>。白い花が咲く。毒なので山羊、馬などに食べさせるといけない。

mitumiruN ミトゥミルン [動] 6A型 mitumjaN 1 0

認める。

mitunuhata ミトゥヌハタ [句] 続60

池の端。

mituta * ミトゥタ [名] A 33

田の名。

mitutihatagi * ミトゥティハタギ [名] A 18

田の名。

miuguruN ミウグルン [動] 2B型 miugwaN 生

見送る。

miuti ミウティ [名] 続211

まばたき。

mizau ミザウ [名] 1

舟を進める竹竿。根元は金具がついていて、海面を叩くの用に用いる。単に so: とも言う。

mizikaNna * ミジカンナ [名] 植121

(植) ルリハコベ<サクラソウ科>。

mizjuN ミジュン [名] 続70

(魚) キビナゴ。

mja:ci:mja:ci:	ミヤーチーミヤーチー	[副]	無180
易々と。ujagi ki:bi mja:ci:mja:ci ma:rumunuNta…; 金持ちになり、福々と、美味しいものなどを…。			
mja:nu	ミヤース	[名]	T
(魚) アイゴ。サンゴ礁地帯に住む。こげ茶色と白色との縞模様があり、食用にする。			
mja:ru	ミヤール	[形]	昔100
遠い。(比較して、…より遠い)。mja:ru naga; ずっと中。twaN とも言う。			
mjaN	ミヤン	[名]	5
<幼>猫。			
mjaNgi	ミヤンギ	[名]	5
土産。			
mjagu	ミヤグ	[名]	T
(地) 宮古(沖縄諸島の一つ)。			
mjagu	ミヤグ	[名]	T
脈。			
mjagi	ミヤキ°	[名]	7
庭木。			
mjakuN	ミヤクン	[名]	生
ちり。			
mjaraN	ミヤラン	[名]	5
まり。			
mjarubi	ミヤルビ	[名]	歴152
美童。娘。mijarabja とも言う。			
mju:ga	ミューガ	[名]	生
目の細い人。			
mju:gui	ミューグイ	[名]	2
野辺送り。			
mju:sa	ミューサ	[名]	3
機草(機織り機の付属具)。			
mu:	ムー	[名]	生
6。			
mu:mai	ムーマイ	[名]	5
穂米。			
mu:ru	ムール	[名]	N114
全部。bu:ru とも言う。			
muN	ムン	[名]	生

(植) 麦。			
muN *	ムン	[名]	植17
(植) クワノハエノキ<ニレ科>。			
muNbaN	ムンバン	[名]	こ105
門番。			
muNbaruN	ムンバルン	[動] 2A型	生
もつれる。			
muNbuN	ムンブン	[動] 1D型 muNbjaN	T
結ぶ。			
muNbuci	ムンブチ	[名]	こ70
縄目。			
muNcuN	ムンツン	[動] 1D型 muNcaN	T
つねる。摘む。muNcidu kitaru; つねった。c'a muNcuN; 草をねじって取る。			
muNdaguN	ムンダゲン	[動] 1B型 muNdatjaN	T
ぐしゃぐしゃにする。もみくちやにする。muNdaguna; ぐしゃぐしゃにするな。aḡamitiḡa			
muNdaguNdidu isiburu juNgara hajagu turi; 子供がもみくちやにしそうだから、早く取れ。			
muNdai	ムンダイ	[名]	昔78
問題。			
muNdani	ムンダニ	[名]	生
釣りの餌。			
muNdani	ムンダニ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
muNdu	ムンドゥ	[名]	T
けんか。			
muNku	ムンク	[名]	こ105
文句。			
muNkuji *	ムンクキ°	[名]	こ70
難癖。			
muNnaNguti *	ムンナングティ	[名]	昔140
わめくこと。			
muNnuku	ムンヌク	[名]	3
はったい粉。小麦粉。			
muNnuku *	ムンヌク	[名]	植14
(植) ヤマモモ<ヤマモモ科>。			
muNnukuru	ムンヌクル	[句]	こ96
麦藁 (むぎわら)。麦の袋の意か。			

muNtabaru	ムンタバル	[名]	A 7
(地) 久部良にいく途中の右手にある田んぼの名。			
muNtakudiruN	ムンタクディルン	[動] 6A型 muNtakudjaN	T
揉む。mimidiruN に比べ、やや大きいものを揉むといった感じがある。			
mubici	ムビチ	[名]	1 4
縁談の前もっての話しあい。婚約。			
mucaN	ムツァン	[形]	生
ねばっこい。			
mucarasuN	ムツァラスン	[動] 3A型 mucarasjaN	1 1
焦がす。火にあたためて焦がすこと。			
muci	ムチ	[名]	T
成虫。			
muci:maca	ムチーマツァ	[名]	昔53
話し合い。			
muciN	ムチン	[副]	1 0
もし。muciNduri とも言う。			
muciNduri	ムチンドゥリ	[副]	昔116
もしも。muciN とも言う。muciNduri kariga unu hanasiNduN t'jarubaja; もしも彼がこの話でも聞いていたら・・・。			
muciba	ムチバ	[名]	5
虫歯。			
mucibi	ムチビ	[名]	こ56
結び。誓い。人が集まって話し合い、決った事をしっかりと約束する事。			
muciha	ムチハ	[名]	1 0
虫歯。			
mucikagai	ムチカガイ	[名]	1
野菜に虫がつくこと。			
mucikasaN	ムチカサン	[形]	生
難しい。			
mucikigara	ムチキガラ	[名]	2
虫の害。			
mucimacaN	ムチマツァン	[形]	昔53
睦じい。mucimaca kiburutasi; 睦まじくしていると…。(昔53)			
muda	ムダ	[名]	昔165
(植) サトイモ<サトイモ科>。mu:danukatimunu; 里芋の料理。(昔165)			
mudada *	ムダダ	[名]	A 44

田の名。			
mudadaNbi *	ムダダンビ	[名]	A 44
田の名。			
mudiruN	ムディルン	[動] 6A型 mudjaN	1
ねじる。ひねる。			
mudu	ムドゥ	[名]	9
(門中墓のように) 大きな墓。huimudu; 岩を掘りぬいて造った墓。koNkurimudu; コンクリート墓。haga とも言う。			
muduN	ムドゥン	[動] 4A型	生
戻す。			
muduci	ムドゥチ	[辞]	生
くりかえしの数を数える単位。			
muduikadi	ムドゥイカディ	[名]	生
戻り風。北風が東風になった後、また北風に戻るような風。この風が吹くと天気の悪い日が続く。			
muduru	ムドゥル	[名]	T
(地) 海岸の急に深くなっている所。例えば、南牧場の絶壁など。kici; 陸上の絶壁。例えば、tiNdabana である			
muduruN	ムドゥルン	[動] 2B*型 muduN ?	生
戻る。			
mugi	ムギ	[名]	こ102
儲け。			
mugiruN	ムギルン	[動] 6A型 mugjaN	1
もうける。			
mugu	ムグ	[名]	T
婿。			
muguN	ムゲン	[動] 1B型 mutjaN	生
(皮などを) むく。ka muguN; (果物の) 皮をむく。			
muguNda	ムグンダ	[名]	生
嫁の家で生計をたてている婿。			
muguci	ムグチ	[名]	8
無口。			
muguriruN *	ムグリルン	[動]	資330
むける。剥げる。tinu kaga muguriruN: 手の皮が剥げる。nuriḡa muguri minu; 塗(ぬり)が剥げてしまった。			
mugura	ムク°ラ	[名]	T

<新> (動) ジャコウネズミ。

muhuN	ムフン	[名]	こ98
悪企み。			
muiciruN	ムイチルン	[動] 6B型*	T
燃え付く。燃えあがる。c'a: muicidu buru; 草が燃えている。kubuaragi ki muiciNdagidu aru; 胸焼けして燃えるようである。i: muicidu buru; ご飯が焦げている。			
muigara	ムイガラ	[名]	こ102
燃え殻。			
muikaNdi	ムイカンディ	[名]	1 6
繁茂。草などがたくさん生えている状態。			
muimuti	ムイムティ	[名]	5
盛り餅。餅をだんご状に作り、それをピラミッド型に盛る。			
muinugui	ムイヌグイ	[名]	1 0
燃え残り。			
muinukuci *	ムイヌクチ	[名]	A 62
(地) 海岸名。末尾の地図参照。			
muiruN	ムイルン	[動]	昔76
もぐ。mui haibutaba; もいで食べていたので…。			
muiruN	ムイルン	[動] 2B' mwaN, muN	生
燃える。c'i muiburu; 火が燃えている。c'i bu:ru muisimaN; 火がすべて燃えてしまった。			
muiruN	ムイルン	[動] 6B型 muN	生
萌える。芽が出る。生える。kiN t'ugaradu muru; 木も人から生えた。(昔185)			
muisimiruN	ムイシミルン	[動] 6A型*	昔178
貰わさせる。			
muisiruN	ムイシルン	[動]	昔197
授けられる。			
muturuN	ムイトゥルン	[動] 2B型 mutwaN	1 4
もぎ取る。			
mujaN	ムヤン	[動] 3A型 mujasjaN	T
助ける。nuti mujasi hugarasa; 命を助けてくれて、ありがとう。(昔135)			
mujaN	ムヤン	[動] 3A型 mujasjaN	3
燃やす。			
mujai	ムヤイ	[名]	4

模合。mujai nu uja; 模合を起す人。mujai nu siNka; 模合を起す人以外の会員。mujai nu diN;
落札した人が、持っていくべきお金。wuwai mujai; 模合が完結すること。

mujanuhira	ムヤヌヒラ	[名]	T
屋内の柱。			
muju	ムユ	[名]	6
模様。			
mukudati	ムクダティ	[名]	昔14
計画。			
mukui	ムクイ	[名]	6
報い。			
mukuikaisi	ムクイカイシ	[名]	6
恨みをはらすこと。			
mukukaNda *	ムクカンダ	[名]	植36
(植) ヤンバルセンニンソウ<キンポウゲ科>。			
mumi	ムミ	[名]	沖I
粳。刈り取って脱穀すると、mai からmumi になる。			
mumiN	ムミン	[名]	3
木綿。			
mumigara	ムミガラ	[名]	こ104
粳穀。mainu k'uru とも言う。			
mumigura	ムミグラ	[名]	沖I
米倉。			
mumihagu	ムミハゲ	[名]	沖I
米を貯蔵する箱。この箱を各家庭で持っていた。			
mumikatasimunu *	ムミカタシムヌ	[名]	民
粳均し。			
mumitubasigaNgaN	ムミトゥバシガンガン	[名]	沖I
米をよりわけける農具。tubasidama のない時銚を利用して米をより分けた。缶に干した米を入れて持ち上げ、風を利用してより分ける。			
mumu	ムム	[名]	T
腿。			
mumuN	ムムン	[動] 1D型 mumjaN	T
もむ。			
mumudakabi *	ムムダカビ	[名]	こ127
<新>和紙。			
mumukura *	ムムクラ	[名]	黒63

腿のうらの筋肉の部分。

munaci:N ムナチーン [名]

不思議。怪し。

munu ムヌ [名] 生

物。

munu ムヌ [助] T

…のに。逆接を表す接続助詞。ijagaNtuN kaganinumunu aja kuganinuN; 親でさえ漕げないのに私が漕げない。

munu ムヌ [名] 昔36

者。

munuN ムヌン [名] 生

物忌み祭。虫、ネズミなどがつかず豊作であることを願う祭りで、全部で4回行う。

munuN ムヌン [動] 5B*型munaN T

話す。munamiri; 話させなさい。

munuNtai ムヌンタイ [名] こ35

いたずら。児戯。tiramai とも言う。

munuNtari aNtari ムヌンタリ アンタリ [句] T

いざこざ。

munubaci ムヌバチ [名] こ104

物忘れ。

munubarai ムヌバライ [名] 1

物笑い。

munuci ムヌチ [名] 沖I

穂が熟れて垂れること。

munuci ムヌチ [名] 4

物知り。占いをする人。

munudumari ムヌドゥマリ [名] T

あちこちでおしゃべりをする人。munudumi とも言う。

munudumja ムヌドゥミヤ [名] 生

おしゃべりの人。

munudumuN ムヌドゥムン [動] 1D型 munudumjaN* T

おしゃべりをする。

munuimitati ムヌイミタティ [名] 昔170

諺。言い伝え。mununutati: とも言う。

munuiti ムヌイティ [名] S 17

ささやき。

munukui	ムヌクイ	[名]	こ76
農業。作物をつくること。農作物。			
munukuja	ムヌクヤ	[名]	こ28
乞食。i:kuja ともいう。			
munumagaN *	ムヌマガン	[動] 3A型*	こ87
賄う。食事の用意をする。munumagai; ご飯を作りなさい。			
mununarai	ムヌナライ	[名]	昔148
習うこと。教えてもらうこと。munu (物) + narai (習い) の熟合した形。			
mununubagi	ムヌヌバギ	[句]	こ4
意義。物のわけ。bagi とも言う。			
munununaNgui	ムヌヌナングイ	[名]	昔116
動物の物音。			
mununutati	ムヌヌタティ	[名]	昔124
諺。物のたとえ。			
munuubi	ムヌウビ	[名]	こ2
物覚え。暗記。munuubui とも言う。			
munuubui	ムヌウブイ	[名]	こ2
物覚え。暗記。物覚えがいい、とか言う時に使われる。			
munuumui	ムヌウムイ	[名]	T
物思い。			
munuutu	ムヌウトゥ	[名]	昔169
物音。			
muraN	ムラン	[動] 3A型 murasjaN	2
漏らす。ibitati murai; 少し洩らしなさい。			
muraanici	ムラアニチ	[名]	歴15
<古>番所の役職名。御用布を仕上げる男。			
muradu:	ムラドゥー	[名]	昔87
村中。muradu:nu ujaNta; 村中の皆様。			
muraduri	ムラドゥリ	[名]	昔53
村倒れ。村全体に病気が流行って人々が寝込んだ状態。			
murahadiri	ムラハディリ	[名]	B 125
村外れ。			
muramuti	ムラムティ	[名]	こ36
施政。政。			
muranukuci	ムラヌクチ	[名]	A 60
(地) 海岸名。東崎の辺り。末尾の地図参照。			

muranuti	ムラヌティ	[名]	A 60
(地) 海岸名。東崎の近く。末尾の地図参照。			
muraugusi	ムラウグシ	[名]	T
村興し。			
murauti	ムラウティ	[名]	昔219
村内。murautilnu da:nu tumaru; 村内の家の廻り、周辺。			
muri	ムリ	[名]	昔168
森。			
muriruN	ムリルン	[動] 6B型 muruN	生
洩れる。			
muriutiruN *	ムリウティルン	[動] 6B型 muriutuN*	昔171
洩れ落ちる。muriuturu c'i; 洩れ落ちる血。			
murun	ムルン	[名]	生
甘酒。もろみ。			
murun	ムルン	[動] 2B型 mwaN	生
盛る。usai muriju; 御馳走を盛りなさいよ。			
murunKami	ムルンカミ	[名]	3
諸味用大瓶。			
muruda *	ムルダ	[名]	A 30
田の名。			
murumaci *	ムルマチ	[名]	A 46
田の名。			
musai	ムサイ	[名]	T
うねり。ゆるやかで大きい波。na:musai; 長い大きいうねり。(T) musaiti; さざなみ。(こ32)			
musiN	ムシン	[名]	T
毛布。毛織。kittu とも言う。			
musigusa *	ムシグサ	[名]	植158
(植) ヒナギキョウ<キキョウ科>。			
musiruN	ムシルン	[動] 6A型 musjaN	生
貰う。			
musu	ムス	[名]	こ28
ごぞ。むしろ。			
musudati *	ムスダティ	[名]	A 23
田の名。			
musuuidama	ムスウイダマ	[名]	民
むしろ編み機。			

mutaN	ムタン	[動]	3A型 mutasjaN	N 152
持たす。mutamiraninuN; 持たせられない。				
mutakariruN	ムタカリルン	[動]	6A型 mutakarjaN	1 1
叱られる。				
mutakuN	ムタクン	[動]	5A型 mutakaN	T
叱る。説教する。				
muti	ムティ	[名]		沖T
(魚) ハナフエフキ。体は濃褐色で黄色の斑点をもつ。				
muti	ムティ	[名]		T
餅。				
muti	ムティ	[名]		昔79
旨。unumuti; その旨。				
mutigata	ムティガタ	[名]		昔127
資産。				
mutimai	ムティマイ	[名]		生
もち米。				
mutinaN	ムティナスン	[動]	3A型 mutinasjaN	1 0
もてなす。				
mutinasi	ムティナシ	[名]		こ52
もてなし。				
mutiniN	ムティニン	[名]		1 0
奉仕活動。戦前15～50才の男性が、道路や学校などを造る作業をした。女性は長期になる場合のみ、手伝った。				
mutiniN	ムティニン	[名]		T
一人前の大人。成人。結婚適齢期。思春期。				
mutiuguN	ムティウグン	[動]	4A型 mutiugusjaN	3
持ち直す。				
muttai	ムッターイ	[名]		7
むくみ。顔が大きく腫れたりなどしていること。				
muttaraNti	ムッターランティ	[名]		1 0
むちゃむちゃしている手の状態。				
mutu	ムトゥ	[接]		昔96
箸、木などの長いものを数える単位。本。t'umutu; (稲などの) 1株。(沖4.I)				
mutu	ムトゥ	[名]		昔186
もと。元来。原因。mutumutu; もともと。				
mutuN	ムトゥン	[副]		昔221

全然。mutuN ha:ninu; 全然食べられない。			
mutuN	ムトゥン	[動] 1D型 mutjaN	1
持つ。			
mutubaru *	ムトゥバル	[名]	A 57
田の名。			
mutubirai	ムトゥビライ	[名]	8
初恋。			
mutudaisaN	ムトゥダイサン	[名]	続22
遺産。			
mutuhaga	ムトゥハガ	[名]	2
本家の墓。			
mutukahamai *	ムトゥカハマイ	[名]	歴33
大司の墓。mutuhaga; 先祖の墓。			
mutumaci	ムトゥマチ	[名]	沖1
満田原内の田の名。			
na	ナ	[辞]	3
…ずつ。gumatatina NdamuN; 小さく刻む。			
na:	ナー	[名]	T
菜。na:nu ha; 菜の葉。			
na:	ナー	[名]	昔225
各々。na:danutu; 各々の家の人。na:na: とも言う。			
na:	ナ	[名]	4
名前。			
na:da *	ナーダ	[名]	A 58
田の名。			
na:gaNsi *	ナーガンシ	[名]	昔13
流れ島。与那国の東北にある。海が静かな時にも白波が立っている。			
na:gaNsi:	ナーガンシー	[名]	N 159
(地) 西崎。ウブドゥマイ浜の近くの浅瀬。			
na:hanaNna	ナーハナンナ	[名]	昔182
手綱。na:hanaNna kacimiti; 手綱をつかまえて…。(昔182)			
na:na:	ナーナー	[副]	T
各々。na:na: dusi muti ku;; 各々自分で持って来い。			
na:nusi	ナーヌシ	[名]	こ100
名簿。			
na:nusu	ナーヌス	[名]	9

人数。名の数。			
na:ri	ナーリ	[名]	無173
慣れ。習慣。			
na:ti	ナーティ	[名]	こ120
臨月。ti:tarai とも言う。			
naN	ナン	[名]	生
波。su:ja naN minuN; 今日は波がない。			
naN	ナン	[名]	生
(植) ナスビ<ナス科>。			
naN	ナン	[形]	T
長い。na:saN とも言う。			
naN	ナン	[動] 3A型 nasjaN	生
成す。…にする。dabira nasjaN; ペシャンコにした。susagu naN; 強める。			
naN	ナン	[動] 3A型 nasjaN	2
生む。nasiti; 生んで。(昔57)			
naNbabusa	ナンバブサ	[名]	T
(植) キバナダンドク<ダンドク科>。			
naNbata	ナンバタ	[名]	3
波打ち際。			
naNburihi	ナンブリヒ	[名]	生
波の打っている所。環礁の波が強くぶつかっている所。			
naNciNta	ナンチンタ	[名]	1 4
小さい状態。naNciNtanu basu; 小さい頃。			
naNciki	ナンチキ	[名]	生
(植) クワ<クワ科>。hanuti、naNcinuki とも言う。			
naNcinuki	ナンチヌキ	[名]	続80
桑の木。hanuti-naNciki とも言う。naNciNta; 桑の実。			
naNcinunai	ナンチヌナイ	[名]	3
桑の実。			
naNda	ナンダ	[名]	続75
<文>銀。狂言にでてくる。			
naNdaguci	ナンダグチ	[名]	こ5
物を掛けたりする長い棒。衣桁、物干し竿など。			
naNdu	ナンドゥ	[副]	S 10
あまり。naNdu t'unu Ndu munu k'aninubiti; あまり人の言う事がきこえなくて…。(S10)			
naNgi	ナンギ	[名]	T

＜新＞難儀。

naNhi	ナンヒ	[名]	4
(植) クチナシ＜アカネ科＞。実をたたいて、汁を米に入れて黄色に染めたりする。			
naNka (1)	ナンカ	[名]	昔24
7 日。1 週間。			
naNka (2)	ナンカ	[名]	2
初七日忌。t'anaNka; 十四日忌。mi:naNka; 二十一日忌。du:naNka; 二十八日忌。icinaNka; 三十五日忌。			
naNku	ナンク	[名]	生
(植) カボチャ＜ウリ科＞。			
naNkuN	ナンクン	[動] 1A型 naNtjaN*	生
なびく。			
naNnuhana	ナンヌハナ	[名]	こ79
波濤。波しぶき。ubunaN とも言う。			
naNnuki *	ナンヌキ	[名]	植146
(植) クチナシ＜アカネ科＞。naNhi 参照。			
naNtaguci	ナンタグチ	[名]	素
さお。物干しざお。naNdaguci とも言う。			
naNtahama	ナンタハマ	[名]	3
(地) ナンタ浜。船付場がある。			
naNti	ナンティ	[名]	3
小波。小さな波。			
naNti	ナンティ	[名]	沖I
糠（ぬか）を取る道具。			
naNtimaci *	ナンティマチ	[名]	A 38
田の名。			
naNtu	ナントゥ	[名]	T
薄くて平たい餅。			
naNtuti	ナントゥティ	[名]	T
何時。nai naNtutibagai naiburukaja; 今何時頃になるかな。			
naba	ナバ	[名]	T
(植) キノコ。			
nabi	ナビ	[名]	T
鍋。			
nabiNdiruN	ナビンディルン	[動] 6A型 nabiNdjaN	生
なめる。			

nabiNta	ナビンタ	[名]	T
焦げ。鍋などに焦げついている食べ物。			
nabiNtagusa	ナビンタク ^ク サ	[名]	沖I
(植) 田草の一種。平たくて、とげがあり、土に這うようにして生えていて、土を固くする。			
nabikabuci	ナビカブチ	[名]	民
鍋敷。			
nabinuhiNgu	ナビヌヒング	[句]	こ69
鍋の墨。			
nabira	ナビラ	[名]	生
(植) ヘチマ。			
nabiraN	ナビラン	[形]	T
すべっこい。nabiraru duguruja Ngurirun; すべっこい所では滑りこける。			
nabiutimunu	ナビウティムヌ	[名]	T
熱い鍋を取る物。鍋つかみ。ワラヤアダンのひげで作る。			
nabuga *	ナブガ	[名]	ま27
長若家。ウラ祭りをする家の1つ。			
nabugudaja	ナブグダヤ	[名]	歴104
(地) 洞窟の名。サンニヌ台の近くにある。nabugunasadajati とも言う。			
nabugusudajati *	ナブグスダヤティ	[名]	A41
田の名。			
naburuN	ナブルン	[動] 2B型	素
からかう。ひやかす。			
nabusa *	ナブサ	[名]	A37
田の名。			
naci	ナチ	[名]	T
夏。			
naciNnani	ナツンナニ	[名]	1
夏用の着物。			
nacikasaN	ナチカサン	[形]	生
悲しい。涙ぐましい。			
nacimagi	ナチマギ	[名]	こ69
夏負け。			
nacimusiki	ナチムシキ	[名]	T
旧暦の7月から12月までの時期。			
nacinumakura	ナチヌマクラ	[句]	10
盛夏。			

nacira	ナチラ	[名]	生
(植) マクリ<フジマツモ科>。海人草。虫下しの薬や飼料にする。			
nada	ナダ	[名]	沖I
(魚) うなぎ。			
nadaniju	ナダニユ	[名]	T
ナタネ油。			
nadatarutu	ナダタルトゥ	[名]	こ99
有名な人。名士。			
nadikiruN *	ナディキルン	[動] 6A*型	歴
<古>なずける。他人の手柄を自分のものにする。			
nadiruN	ナディルン	[動] 6A型 nadjaN	こ69
撫でる。			
naga	ナガ	[名]	昔28
伸。			
naga	ナガ	[名]	T
中。da: nagaNki haiwari; (家の中に居て、外から来た人に) どうぞ中にお入り下さい。			
nagaN	ナガン	[動] 3A型 nagasjaN*	生
泣かす。			
nagaNdija	ナガンディヤ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
nagaNkai	ナガンカイ	[名]	ま26
祭りを途中で出迎える事。単に人を迎える時にも使う。			
nagaNsaN	ナガンサン	[名]	こ126
睦まじい。仲が良い。			
nagabja	ナガビヤ	[名]	生
二番目の兄。女の言葉。			
nagabjati	ナガビヤティ	[名]	生
三番目の兄。女の言葉。			
nagabuni	ナガブニ	[名]	2
動物の背中。			
nagabuta	ナガブタ	[名]	生
二番目のおばさん。			
nagacidi *	ナガチディ	[名]	A 27
田の名。			
nagada *	ナガダ	[名]	A 55
田の名。			

nagada *	ナガダ	[名]	歴72
(地) 田の名。haiNdaN (南帆安) にある。イソバが開いた田と言われている。			
nagadai	ナガダイ	[名]	A 60
(地) 祖納にある海岸の名。末尾の地図参照。			
nagadara	ナガダラ	[名]	T
中くらいの大きさの皿。			
nagadati	ナガダティ	[名]	生
仲人。			
nagaduamiti	ナガドゥアミティ	[名]	歴102
(地) 道路名。与那国小中学校の裏から集落までの間の道。単に nagadu とも言う。			
nagadugui	ナガドゥグイ	[名]	沖I
中休み。			
nagapatikabusa *	ナガカ ^o ティカブサ	[名]	歴101
<古> (地) 溜め池の名。			
nagahaNda *	ナガハンダ	[名]	A 42
田の名。			
nagahiNci	ナガヒンチ	[名]	こ38
敷地と敷地の間などの境界。			
nagahira	ナガヒラ	[名]	T
家の中心に一本ある太い柱。			
nagaija	ナガイヤ	[名]	生
二番目のおじさん。			
nagaiju	ナガイユ	[名]	沖T
(魚) ヤマトミズン<ニシン科>。体が細く長い。			
nagairi	ナガイリ	[名]	T
<新> 仲入り。結婚の仲立ちをする人。nagadati 参照。			
nagakura	ナガクラ	[名]	昔90
中身。魚、人間の中心あたり。腰のあたり。			
nagamaci *	ナガマチ	[名]	A 27
田の名。			
nagamacibari *	ナガマチバリ	[名]	A 48
田の名。			
nagamasuni	ナガマスニ	[名]	歴65
(地) 旧島仲部落の東南にある丘陵地帯。			
nagami	ナガミ	[名]	生
一合榊。			

nagamiduraci	ナガミドゥラチ	[名]	T
ザルの一種。目が中くらい。			
nagamiti	ナガミティ	[名]	1 6
長い道。			
nagamui *	ナガムイ	[名]	A 18
田の名。			
nagamuta: *	ナガムター	[名]	A 42
田の名。			
naganaN	ナガナン	[名]	歴14
<古>目差の結所。subanaN 参照。			
naganada *	ナガナダ	[名]	A 14
田の名。			
nagani	ナガニ	[名]	生
二番目の姉。			
naganiduraci	ナガニドゥラチ	[名]	民
ふるい（農具）。			
naganiti	ナガニティ	[名]	生
三番目の姉。			
naganui	ナガヌイ	[名]	こ125
和解。			
naganumaci *	ナガヌマチ	[名]	A 18
田の名。			
naganuta	ナガヌタ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
nagaribuci	ナガリブチ	[名]	4
流れ星。nagarihuci とも言う。			
nagarihuci	ナガリフチ	[名]	こ118
流れ星。nagaribuci とも言う。			
nagarimiN	ナガリミン	[名]	5
流れ水。山水など。			
nagatubaru *	ナガトゥバル	[名]	A 33
田の名。			
nagaujubi	ナガウユビ	[名]	T
中指。			
nagi	ナギ	[名]	T

中。車のような立体的なものの中。nagiN buN; 中に居る。			
nagohwa:aka	ナゴファーアカ	[名]	1 6
<新>米の品種。名護から来た米でとげがある。			
nagu: *	ナグー	[名]	A 26
田の名。			
naguN	ナグン	[動] 1B型	T
泣く。natidu buru; 泣いている。			
naguda	ナグダ	[名]	生
二番目の兄。男の言葉。			
nagudati	ナグダティ	[名]	生
三番目の兄。男の言葉。			
nagunagu	ナグナグ	[副]	昔81
泣く泣く。anu nagunagu da:gara tuNdi; 私は、泣く泣く家から出て…。			
nagunubata *	ナグヌバタ	[名]	A 58
田の名。			
nagunukuci *	ナグヌクチ	[名]	A 57
田の名。			
nagurisaN	ナグリサン	[形]	生
名残り措しい。悲しい。			
nagusami	ナグサミ	[名]	こ3
慰め。慰安。			
naguti *	ナグティ	[名]	A 26
田の名。			
najaN	ナカ°ン	[動] 3A型 najasjaN	3
流す。			
najaNtui	ナカ°ントゥイ	[名]	こ68
長居。niuri とも言う。			
najadami *	ナカ°ダミ	[名]	こ68
長患い。			
najamiti	ナカ°ミティ	[名]	5
(地) 道路名。祖納部落の役場から東側の道。			
naji	ナキ°	[名]	生
縦。			
naji	ナキ°	[名]	1 3
長さ。kanaga; この長さ。anaga; あの長さ。			
najiruN	ナキ°ル	[動] 6A型 najjaN	3

投げる。

najita ナキ°タ [名] T

垂木。屋根の棟から軒にわたす材。

najuN ナク°ン [動] 1C型* T

音がする。多くは nagui-kiruN の形で使う。

najuN ナク°ン [動] 1C型 生

風ぐ。波風が止む。

najuN * ナク°ン [動] 1C型* nadiutusjaN 昔76

斬り落とす。なぎ落とす。nadiutuba; 斬り落とすが…。(昔76) nadiutusjaN; なぎ落とした。
(14)

nagui ナク°イ [名] T

音。反響。nagui kiranutaba; 反響もなくで…。(昔202)

naguni * ナク°ニ [名] 歴73

<古> (地) 古村の名。

naguniugaN ナク°ニウガ°ン [名] 2

ナウンニという拝所。

nagurimuN * ナク°リムン [名] 資238

おちぶれた者。Nmadi suru nagurimunuja; どこから来た放浪者か。

naguriruN * ナク°リルン [動] 資238

おちぶれる。naguri aiguN; おちぶれている。

nai ナイ [名] T

今。naibagiN; 今まで。

nai ナイ [名] 生

植物の実。

nai ナイ [名] 沖I

苗。

nai ナイ [名] T

地震。

nai ナイ [助] 6

…か。疑問の終助詞。hamibuiaranunai; 食べさせてもらっているのではないかと uNninai;
ああ、そういう事か。

naiNki ナインキ [名] 沖I

苗が水に埋まること。大水のため苗が水に埋まってしまうこと。

naibagasa ナイバガサ [名] 9

青春。baiNdi とも言う。

naibagi ナイバギ [名] 沖I

苗を分けること。			
naidui	ナイドゥイ	[名]	9
地震。単に nai とも言う。			
naigaranusati	ナイガラヌサティ	[句]	こ95
未来。			
naigati	ナイガティ	[副]	7
今さっき。			
naihahurutati	ナイハフルタティ	[名]	沖I
苗から新芽が出てくること。			
naikujasi	ナイクヤシ	[名]	沖I
苗を苗代から運ぶこと。			
naimunu	ナイムヌ	[名]	昔155
果物。			
nainuba	ナイヌバ	[句]	昔183
今の場合。			
nainuciruN	ナイヌチルン	[名]	沖I
苗のひげ。			
nainuhaNsi	ナイヌハンシ	[句]	続26
一時逃れ。			
naisikiti	ナイシキ	[名]	6
現在。ずっと前から今まで。naisikitiN c'u: kabuNdi; 現在も大便をかく。(昔226) naisikitiN uNnidu isibu ruju; 今でもこのようにしているよ。(昔47) naisikiti Ndakutu baciranuNdu; 今でも君の事忘れないよ。			
naitagui	ナイタク°イ	[名]	沖I
苗取り。naitui とも言う。			
naiurusi	ナイウルシ	[名]	T
苗おろし。			
naiususihira	ナイウスシヒラ	[名]	昔283
木製のヘラ。まいた粃を軽く押さえるのに使う。ナデイビラ(石垣島)も同じ用途をもつ。			
15～20センチの苗を軽く抑えるのに使う。nasunarasihira、ki:hira; とも言う。			
naiuti	ナイウティ	[名]	沖I
苗を適当な所に投げること。			
naka	ナカ	[名]	1
<移>舟の中間。			
nakaNsaN	ナカンサン	[形]	7
仲の良い。kattaN とも言う。			

nakakagidaN	ナカカギダン	[名]	N 142
物などを下げるもの。			
nakanuiku	ナカヌイク	[名]	1
中乗りの漕ぐ櫓。			
naki:nuduai	ナキヌドゥアイ	[句]	2
命名式。duai は dwai、dai とも言う。			
nakutja	ナクテャ	[名]	生
(動) 若い雄牛。			
nama	ナマ	[名]	歴35
(地) ナマハマのこと。久部良にある砂浜。			
namaNguja	ナマングヤ	[名]	A 62
(地) 祖納の東側にある海岸の名。kataNguja とも言う。末尾の地図参照。			
namaNmi	ナマンミ	[名]	こ70
生爪。			
namaNtarimunu	ナマンタリムヌ	[名]	資243
怠け者。			
namaNtariruN	ナマンタリルン	[動] 6A型*	生
だれる。namaNtaridu buru; だるい。			
namabura	ナマブラ	[名]	生
暴れん坊。生意気。			
namaci	ナマチ	[名]	5
酢のあえもの。なます。			
namaci	ナマチ	[名]	沖I
狭く長い田。			
namaci*	ナマチ	[名]	A 42
田の名。			
namahama	ナマハマ	[名]	A 61
(地) 久部良にある砂浜。nama とも言う。			
namakadai	ナマカダイ	[形]	こ67
生臭い。			
namamai	ナママイ	[名]	沖I
十分実らない稲。			
namamiNta	ナマミンタ	[名]	沖I
二期作の出来ない田。一期作は必ずできるが、時期の雨が降らないと二期作が出来ない。			
namidai	ナミダイ	[名]	3
7・8kg位の鰹。			

namidaujubi 薬指。	ナミダウユビ	[名]	生
namihaga 苗の横幅。	ナミハガ	[名]	沖I
namja 成長した雌牛。	ナミヤ	[名]	生
namja:a:ti 雌の小牛。	ナミヤーアーティ	[名]	N 128
nana 7 (数詞)。	ナナ	[名]	生
nanacigani 七つ鐘。鐘の鳴らし方の一つ。太鼓やどらのナナチガニで座開きを行う。	ナナチガニ	[名]	無43
nanaju 七世。後生では7回生まれ変わり、それで後生は終り本当の神様になると言われている。	ナナユ	[名]	T
nanakuta: 箱入り娘。七つ奥の部屋に閉じ込める程、娘を大事にすること。	ナナクター	[名]	1 4
nanami 斜め。	ナナミ	[名]	T
nandurusaN 滑っこい。	ナンドゥルサン	[形]	T
nani ロース (豚肉)。棒肉。	ナニ	[名]	5
nara 水がない谷間。	ナラ	[名]	3
naraN ならす。平たくする。	ナラン	[動] 3A型	生
naraN 習わす。narasi turasiwari; 教えて下さい。	ナラン	[動] 3A型 narasjaN	3
narabataruN うつぶせになる。	ナラバタルン	[動] 2A型	生
narabiruN 並べる。	ナラビルン	[動] 6A型 narabjaN	5
narabuN 並ぶ。	ナラブン	[動] 1D型	生
narasi 説教。	ナラシ	[名]	1

nari	ナリ	[名]	1 4
風習。c'imanu nari; 島の風習。			
nariNgata	ナリングタ	[名]	T
なぎなた。玉祭の時の神器。			
nariki	ナリキ	[名]	3
流木。			
nariku*	ナリク	[名]	歴16
<古>順風願い。			
nariruN	ナリルン	[動] 6B型 naruN	T
慣れる。なれ親しむ。naridu buru; 慣れている。naigara nariruN; 今から慣れる。ma naruN; もう慣れた。			
nariruN	ナリルン	[動]	T
流れる。uNni isigaraja nariruNdu; そんなにすると流れるよ。			
narun	ナルン	[動] 2A型 naN	3
(実が) なる。nai naranuN; 実がならない。			
narun	ナルン	[動] 5A型 naraN	T
習う。			
narun (1)	ナルン	[動] 2A型 naN	T
成る。suN naruN; 損になる。kurasiN kucisagu naruN; 暮しも苦しくなる。			
narun (2)	ナルン	[動] 2A型 naN	T
出来る。dasanu naranubi; お腹がすいてしょうがなくって…。bata kari naranuNga; お腹が ひもじくてしょうがないが。(昔21) biNdi naranuN; 飽きてどうしようもない。			
narun*	ナルン	[動] 2A型 naN	3
鳴る。nati; 鳴り響く。(昔169)			
narubaN	ナルバン	[接]	T
それなら。では。narubaN ita kumaNki suiku; では、ここへ連れて来なさい。(昔66)			
nasagi	ナサギ	[名]	1
情。人情。nasagi minuN; 情がない。			
nasi*	ナシ	[名]	植143
(植) ナス<ナス科>。			
nasiabuta	ナシアブタ	[名]	こ37
実母。産みの母。			
nasidici	ナシディチ	[名]	昔178
産み月。臨月。			
nasiija	ナシイヤ	[名]	こ37
実父。			

nasimai	ナシマイ	[名]	2
分娩。			
nasu	ナス	[名]	こ67
苗代。			
nasu*	ナス	[名]	A 13
田の名。			
nasubari*	ナスバリ	[名]	A 52
田の名。			
natasugu	ナタスグ	[名]	歴105
(地) 祖納、与那国小中学校の近く。			
natibiN	ナティビン	[名]	生
(葬式の時の) 泣き人。			
natikui	ナティクイ	[名]	1
泣き声。			
natimi	ナティミ	[名]	生
泣き虫。			
natimunui	ナティムヌイ	[名]	こ68
泣き言。			
naturi*	ナトゥリ	[名]	植128
(植) ナタオレ<モクセイ科>。「なたが折れる」の意。			
ni	ニ	[助]	T
…だけ。turariruni turi; 取られるだけ取れ。Ndaga c'uruni tamiri; あんたが知っているだけ 教えなさい。			
ni	ニ	[助]	T
…で。場所を表わす格助詞。			
ni	ニ	[助]	1 4
…に。時を表す格助詞。iciikanija kumaNki duraidua:reja; 何月何日には、ここに集合しなさい。 (昔223)			
ni:	ニー	[名]	生
傍。			
ni:	ニー	[名]	T
子 (十二支の一つ)。			
ni:	ニー	[名]	T
荷。			
ni:	ニー	[名]	1 4
根もと。重箱や折詰の最下段に置いた物にもいう。			

ni:bai*	ニーバイ	[名]	昔76
＜新＞花壇。			
ni:damuci	ニーダムチ	[名]	昔19
寝ぼう。			
ni:diri	ニーディリ	[名]	9
我慢。ni:diriju; 我慢しなさいよ。			
ni:huNnai	ニーフンナイ	[名]	9
荷作り。ni:huNnai kiruN; 荷作りする。			
ni:ki*	ニーキ	[名]	昔213
覗くこと。			
ni:ra kasiki	ニーラ カシキ	[名]	芸
地下堀り起こし。ni:ra ukusi とも言う。			
ni:tui	ニートゥイ	[名]	6
髪をたばねること。maNki とも言う。			
ni:tui	ニートゥイ	[名]	T
音頭とり。NnuNnu ni:tui; 太鼓の音頭とり。			
niN	ニン	[連語]	T
…でも。ni（場所を表す格助詞）＋N（係助詞）が融合形。tumajaniN dwai ki; 泊屋でも祝 いをし…。(昔4)			
niNbara	ニンバラ	[名]	生
北側。niNbata とも言う。			
niNbata	ニンバタ	[名]	1 4
北側。niNbara とも言う。			
niNbuci	ニンブチ	[名]	こ75
念仏。			
niNbuciudui	ニンブチウドゥイ	[名]	無17
念仏踊り。			
niNdi	ニンディ	[名]	1
眠り。			
niNdu	ニンドゥ	[名]	T
2 0（数詞）。			
niNdu	ニンドゥ	[名]	T
人数。ubuniNdu; 大人数。			
niNduN	ニンドゥン	[動] 1D型 niNdjaN	生
眠る。niNdaritana; 眠られたか。			
niNgaci	ニンガチ	[名]	T

2 月。			
niNgacigigaN	ニンガチチガン	[名]	2
二月彼岸（春期の彼岸）。			
niNgacikadimaja	ニンガチカディマヤ	[名]	T
台湾坊主。旧暦の 2 月頃の風向きが急に変わる風。台湾北方の東シナ海に発生する低気圧のために生ずる。単に kadimaja とも言う。			
niNgi niNgi	ニンギニンギ	[慣]	5
握り、握り。幼児に手を握ったり開いたりさせる時にいう。			
niNgiN	ニンギン	[名]	昔114
人間。niNgiNja tuci tutiN…; 人間は年老いても…。			
niNguru	ニンゲル	[名]	9
恋愛。			
niNku	ニンク	[副]	昔102
…と同時に。…するやいなや。nikidu niNku; 着いてすぐに。			
niNsaN	ニンサン	[形]	生
遅い。niNsabitiN kudibagiNsija kaisi kuN; おそくても 9 時までには帰ります。（沖48）nisaN とも言う。（9）			
niNsiruN	ニンシルン	[動]	6A型 niNsjaN 1
寝かす。niNsimiruN; 寝かせる。			
niNtanu	ニントヌ	[名]	こ75
眠け。ninubuiki とも言う。			
niNtu	ニントゥ	[名]	こ21
賀詞（年頭の挨拶）。			
niNusi	ニンウシ	[名]	昔56
念を押すこと。niNkagi utuguN; 念を押す。			
nibaNmita	ニバンミタ	[名]	2
二番鶏。			
nibai	ニバイ	[名]	生
屋敷の神。各屋敷の東の隅にある。			
nibari	ニバリ	[名]	生
根。			
nibati	ニバティ	[名]	素255
むかつくこと。はきけをもようすこと。nibati kiruN; むかつく。nuba haiti nibati kibuga; 何を食べるむかついているのか。			
nibi	ニビ	[助]	T
<古>…で。場所を表わす格助詞。minaganibi aNbidu buru; 庭で遊んでいる。			

nibidu	ニビドゥ	[副]	1 4
たいてい。おおかた。			
nibiti	ニビティ	[名]	続83
結婚。			
nibitidai	ニビティダイ	[名]	生
結婚式。米1升、塩1升、酒1升、餅、御馳走を入れた重箱を持って嫁を迎えに行く。嫁の家では、花重箱と塩と酒を飾って待っておく。			
nibu	ニブ	[名]	生
ひしゃく。			
nibutu	ニブトゥ	[名]	生
おでき。agaciNka とも言う。			
nici	ニチ	[名]	生
北。			
niciNdaN	ニチンダン	[名]	A 9
(地) 北帆安。			
nicikaNda *	ニチカンダ	[名]	A 36
田の名。			
nicikadi	ニチカディ	[名]	4
北風。			
nicimimiti *	ニチミミティ	[名]	A 19
田の名。			
nicinada *	ニチナダ	[名]	A 18
田の名。			
nicinanaci	ニチナナチ	[名]	生
北斗七星。			
nicinusuni	ニチヌスニ	[名]	A 65
与那国島の近海名。漁場の一つで、その海底はもり上がっている。sun; 陸棚。			
nicitagata *	ニチタガタ	[名]	A 21
田の名。			
niciuranu	ニチウラヌ	[名]	A 8
(地) 北浦野。与那国町内の字名。			
nida	ニダ	[名]	T
寝床。unu nida c'idimitigara iranuna; この寝床をかたづけてからしないか。			
nidairabuta	ニダイラブタ	[名]	沖T
(魚) アカグチブダイ。			
nidama	ニダマ	[名]	9

寝ている様子。

nidamutinas	ニダムティナシ	[名]	生
嫁入りの祝い。昔は、現在のような結婚式はせず、二人が仲良くなると男は女の家へ通い、仕事の手伝いなどする。その内妊娠すると、両家の正式の話し合いを持ち、嫁が婿の家に行く。その時、親類が家に集まり、嫁入りの祝いをした。			
nidi	ニディ	[名]	生
右。			
nidiNtu	ニディントゥ	[名]	続15
甘いもろみ。niriNtu; 甘酒。			
nidiruN	ニディルン	[動]	6A型 nidjaN 1
つねる。			
nidiruN	ニディルン	[動]	6A型 nidjaN 生
忍ぶ。			
niduNgusa	ニドゥングサ	[名]	沖I
田の2回めの草取り。現在は、殆ど一度しか草取りしない。			
nidukasi	ニドカシ	[名]	沖I
2度めの耕作。			
niduki	ニドゥキ	[名]	沖I
田の2度めの耕作。			
niduri	ニドゥリ	[名]	1
寝ばけ。			
nigu*	ニグ	[名]	黒65
にきび。			
niguraN	ニグラン	[形]	生
恐ろしい。niguraruta; 恐ろしいほど。(昔179) niguraru kutu; 大変なこと。niguraruru cimi; 大罪。(こ52) niguraruru buNdi; 大恩。			
niguranigura	ニグラニグラ	[副]	昔76
恐る恐る。niguraN; 恐ろしい。			
nigai	ニカ°イ	[名]	こ6
願い。大願。			
nigaidati	ニカ°イダティ	[名]	
願い立て。niḡaidati ki: c'arirutasi; 願い立てをして祈っていると…。			
nigaigutu	ニカ°イク°トゥ	[名]	1
願い事。			
niguN	ニク°ン	[動]	5A型 nigaN* 生
<稀>願う。多くは nigai kiruN と言う。			

niki	ニキ	[連語]	T
…のようにして。…ふりで。ni (さま) +ki (して)。bagaruniki NduNna; わかったふりで言うな。duNsaniki t'uNki taduNna; 巡査のように、人に尋ねるな。			
nikimai	ニキマイ	[名]	生
2期作。			
nikiruN (1)	ニキルン	[動] 6A ? nikisuN	T
着く。近付ける。nikiruta muNduki; (家に) 着くとすぐけんかして…。ma ibitati nikiri; もう少し近付けなさい。nikisuga dani t'u buranuN; 着いたが家に人が居ない。c'i: muiburu basuni sugu nikisutaN; 火が燃えている時にすぐ到着した。			
nikiruN (2)	ニキルン	[動] 6A ?	1 4
着く。nikirja; 行ったら。(資) niki; 着く。(昔102) niki tuNdisuN; やっと出て来た。(N.110)			
niku	ニク	[名]	5
<新>肉。ucinu niku; 牛肉。maniku; 赤肉。wa:nu niku; 豚肉。			
nikumuN	ニクムン	[動] 1D *	1 4
憎む。			
nimunui	ニムヌイ	[名]	こ75
寝言。			
nimuti	ニムティ	[名]	生
妊娠していること。			
nimuti	ニムティ	[名]	T
荷物。			
nimutu	ニムトゥ	[名]	9
根元。			
ninubugu	ニヌブグ	[名]	沖I
藁製の敷きもの。米、もろみなどを干す時に下に敷く。戦後しばらくからしなくなった。			
ninubui	ニヌブイ	[名]	生
いねむり。			
ninuguriruN	ニヌグリルン	[動] 6A *	1 4
つまずいて転ぶ。ninuguriti wataba;; 転んでいたので。			
ninuha	ニヌハ	[名]	T
北の方。子(ね)の方向。			
ninuhaNnuN	ニヌハンヌン	[名]	T
(家の) 北の隅。			
ninuhagaN	ニヌハガン	[名]	歴48
ニヌハ神。病気の時、祈願する。ninuhagaN tati; 病気の祈願をして。			
ninuhahuci	ニヌハフチ	[名]	生

北極星。この星を星の王、生命を生んだ星と言い、病気や心配事のある時に祈る。			
ninumai	ニヌマイ	[名]	生
寝てあがくこと。			
ninumusa	ニヌムサ	[名]	沖T
(魚) シマハギ。体に5本くらいの横しまがあり、尾の根元に小さなトゲがある。			
ninutinuci*	ニヌティヌチ	[名]	歴135
<古>口港御嶽の神名。			
nira	ニラ	[名]	生
ニライ。海のかなたの神のいる所。安堵の島とも表現する。			
niramaci*	ニラマチ	[名]	芸
ニライの祭り。ニライの神が鎮座まします毎年3月3日、5月4日に行われる祭り。			
niriNtu	ニリントゥ	[名]	生
味りん。餅米で作った酒。調味料。薬となる。			
nirimunu*	ニリムヌ	[名]	こ37
漆器。			
niruN	ニルン	[動] 6A* njaN(5), njuN(T)	5
煮る。			
nisa	ニサ	[助]	T
…ですね。軽い疑問を表す終助詞。waruNnisa; お帰りなさい。「お帰りになったんですね」の意。(資352)			
nisai	ニサイ	[名]	歴
若者。男前の人。			
nisiNna	ニシンナ	[名]	3
荷縄。牛や馬に荷物を運ばせる時に使う縄。			
nisimaka	ニシマカ	[名]	A7
(地) 西百嘉。与那国町の字名。比川と祖納の間にある池間牧場の一部。			
nisumaci	ニスマチ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
nitakita*	ニタキタ	[名]	こ53
類(たぐい)。似たもの。			
nitamuN*	ニタムン	[動] 1D*	こ75
妬む。			
niti	ニティ	[名]	S67
日数を数える助数詞。itiniti; 1日。			
niuri	ニウリ	[名]	続26
長居(いつまでも坐る)。根をおろすの意。nagaNtuiとも言う。			

niurusidai	ニウルシダイ	[名]	A 61
(地) 馬鼻の少し西にある海岸の名。末尾の地図参照。			
nu	ヌ	[助]	昔148
…の。ujagiNtu nu agami:tu; 金持ちの子供と…。durunumi; 夜の日。(b.192)			
nu (N) di	ヌ(ン)ディ	[副]	1
何故。			
nu:	ヌー	[名]	生
野原。牧場。			
nu:	ヌー	[名]	T
何。何の。nu: unani; 何の着物。nu:ka; 何よりも。nu:ja; 何か。			
nu:biru	ヌービル	[名]	職202
(植) ノビル<ユリ科>。			
nu:hatagi	ヌーハタギ	[名]	1
作物を作らずにいる畑。			
nu:mai	ヌーマイ	[名]	生
玄米。			
nu:niN ku:niN	ヌーニンクーニン	[副]	昔85
何もかも。すべて。nu:niN ku:niN aNgadu barasaru; 何もかも私が悪かった。			
nu:nu ku:nu	ヌーヌクーヌ	[名]	昔55
あれこれ。なんとかかんとか。			
nu:nuta*	ヌーヌタ	[名]	A 45
田の名。			
nu:ri	ヌーリ	[名]	昔120
呪い。			
nu:ta	ヌータ	[名]	沖I
荒地になっている田。			
nuN	ヌン	[名]	T
(昆) ノミ。			
nuN	ヌン	[名]	こ54
龍巻。			
nuN	ヌン	[副]	T
何も。nu:N kiranuN; 何もしない。nuN hariru munu minuNkaja; 何も食べられるものはないかな。			
nuN	ヌン	[助動]	昔225
…しない (打消をあらわす)。NnanuN; 見ない。			
nuN	ヌン	[動] 4A型 nusjaN	S 27

治す。ikaiju nusiNdidu uNnani itija mudui muduiti; 胃カイヨウ治しに沖縄に行っては戻り、
行っては戻りして…。(S27)

nuN	ヌン	[動]	4B型 nusjaN	3
直す。				
nuN	ヌン	[動]	5B型 nwaN	生
縫う。				
nuNbaru	ヌンバル	[名]		歴33
崖葬の場所。ていんだばな一帯の部落跡にある拝所。				
nuNkuN	ヌンクン	[副]		資24
何もかも。				
nuNni	ヌンニ	[名]		T
どんなに。				
nuba	ヌバ	[名]		T
(植) コケ。				
nubaN	ヌバン	[動]	3A型 nubasjaN	3
伸ばす。kucibuni nubai; 背中を伸ばせ。(T)				
nubi	ヌビ	[名]		生
坂。				
nubi	ヌビ	[名]		生
首。				
nubiamiti	ヌビアミティ	[名]		5
坂道。				
nubicidi	ヌビチディ	[名]		5
首筋。首の後部の筋。				
nubisagai	ヌビサガイ	[名]		続80
首つり。				
nubitiNka	ヌビティンカ	[名]		続28
首が短い人。				
nubudasa*	ヌブダサ	[名]		植94
(植) ホルトノキ<ホルトノキ科>。				
nubusiagai	ヌブシアカ°イ	[名]		こ77
逆上がること。				
nucaN	ヌツァン	[形]		生
温かい。				
nuci (1)	ヌチ	[名]		昔179
主。arudi とも言う。				

nuci*	ヌチ	[名]	歴135
十山御嶽の神名。c'imaganiN so:darumi mimata nuci			
nuci(2)	ヌチ	[名]	歴136
神。haimiubudagi・ubuihuci・nuci; 比川の神名。ijuNirimisati・tuNdabani・nuci; 久部良御嶽の神名。(歴136)			
nucibakari*	ヌチバカリ	[名]	o.
主別れ。祭りの終わりに宇良部岳を礼拝し、神と別れること。			
nucimuN	ヌチムン	[動] 1D型 nucimjaN	3
盗む。			
nuda	ヌダ	[名]	生
涙。minuda とも言う。			
nudati	ヌダティ	[名]	1 5
(植) 雑草の一種で、節がある。とても強い草。田んぼにはえている。			
nudati	ヌダティ	[名]	T
(植) ハイキビ<イネ科>。			
nudiNdimunu	ヌディンディムヌ	[名]	昔18
抜き出た者。傑出した者。			
nudiNnuN	ヌディンヌン	[動] 1D型	1 5
のぞきみる。			
nudidama	ヌディダマ	[名]	T
曲玉。玉祭の時の神器。			
nudimuN	ヌディムン	[動] 1D型 nudimjaN	3
望む。			
nodu	ヌドゥ	[名]	T
咽喉 (のど)。			
nudunuhikka	ヌドゥヌヒッカ	[句]	続110
食道。咽の穴。			
nugaN	ヌガン	[名]	沖1
米ぬか。			
nugaNsiduraci	ヌガンシドゥラチ	[名]	T
ザルの一種。目が細かく、米ぬかなどを取る時に使う。			
nugiruN	ヌギルン	[動] 6B型 nuguN	こ55
抜ける。nugiri; 抜けなさい。			
nuguN	ヌゲン	[動] 1D型 nutjaN	1
ぬく。(糸などを) 穴に通す。			
nuguN	ヌゲン	[動] 4A型 nugasjaN	3

残す。				
nugudi	ヌグディ	[名]		生
のこぎり。				
nugumuN	ヌグムン	[動]	1D型 nugumjaN	3
ぬくもる。				
nuguruN	ヌグルン	[動]	2B型 nuguN	T
残る。				
nugusi	ヌグシ	[副]		T
どう。どのように。nugusi + iti (して) が融合して nugusiti となる。nugusi sudati rarir-ukuja; どうしたら育てられるかな。(昔27) tubuja nugusiti k'uruNga; 豆腐は、どうして作るのかね。nu:gusi arubaN; どうあっても。何とかして。(昔91)				
nugusi	ヌグシ	[副]		昔75
何とかして。nu:gusi arubaNki: ujasidu: ki:rariruNdi: umuiti; 何とかして供養してあげたいと思います。				
nugusinu	ヌグシヌ	[句]		S 56
どのような。				
nugaN	ヌカ°ン	[動]	3A型 nugasjaN	3
抜かす。				
nugariruN	ヌカ°リルン	[動]	6A*型	こ88
<稀>逃れる。免れる。nugaiNdagi aN; 逃れそうである。				
nuguN	ヌク°ン	[動]	1C型 nudjaN	2
脱ぐ。				
nui*	ヌイ	[名]		資256
余分。物の寸法や量などを多く見積ること。usaija ibi nui Ndasi k'uriju; 料理は少し余分に(見積って) 作りなさい sakiNki miN iriti nui Ndai; 酒に水を入れて量をふやしなさい。				
nuimi	ヌイミ	[名]		生
糸。				
nukadiasi	ヌカディアシ	[名]		3
与那国ミンサーの模様の1つ。「互い違いに一步一步行こう、ずっと連れそいましょう」と言う意味がある。				
nukiNku*	ヌキンク	[名]		植78
(植) ヒラミカンコノキ<トウダイグサ科>。				
nukoitamuinuci*	ヌコイタムイヌチ	[名]		歴136
帆安御嶽の神名。元の島仲の拝所。				
nukunuki	ヌクヌキ	[名]		歴145
遙拝所。ティンダバナの東側にある水の霊所。				

numinatinutati*	ヌミナティヌタティ	[名]	A 23
田の名。			
numuN	ヌムン	[動] 1D型 numjaN	生
飲む。			
nunacira*	ヌナチラ	[名]	植1
(植) ミズスギ<ヒカゲノカズラ科>。			
nunu	ヌヌ	[名]	T
布。			
nunukutu	ヌヌクトゥ	[句]	昔176
何の事。			
nunumatidama	ヌヌマティダマ	[名]	3
経巻台。			
nunuuitu	ヌヌウイトゥ	[名]	続52
布を織る人。織り子。			
nuri	ヌリ	[名]	沖I
(田などに) 浮いている泥。田の代かきをした後、沈澱せず浮いている土。nuri NtuN; 土が沈んだ。			
nuri	ヌリ	[名]	T
海苔。			
nuri	ヌリ	[名]	続175
糊。			
nuriNmu	ヌリンム	[名]	生
白い雲の上をゆっくりと動く雲。			
nuridai	ヌリダイ	[名]	A 60
(地) 久部良にある海岸の名。末尾の地図参照。			
nuriruN	ヌリルン	[動] 6B型 nuruN	生
濁る。			
nuruN	ヌルン	[動] 2B型 nwaN	3
乗る。			
nuruN	ヌルン	[動] 2B型 nuN	生
(天気や病気が) 治る。			
nuruN	ヌルン	[動] 2B*型	T
(となえごとを) 宣べる。			
nuruNtai	ヌルンタイ	[形] 特殊	生
ぬるい。nuruNtai du buru; ぬるい。			
nurudami	ヌルダミ	[名]	続17

なんとなく体の調子が悪いこと。			
nurugaN	ヌルガン	[名]	A 61
(地) 海岸の名。比川と久部良の間にある。末尾の地図参照。			
nurugaN	ヌルカ ^ン	[名]	3
(地) ヌルガン。北風が吹く時は、ここに船を入れる。			
nusikata	ヌシカタ	[名]	8
治し方。daminududu とも言う。			
nusiruN	ヌシルン	[動] 6A型 nusjaN	5
乗せる。載せる。			
nusitu	ヌシトゥ	[名]	T
泥棒。			
nusudaci *	ヌスダチ	[名]	A 29
田の名。			
nusuku	ヌスク	[名]	A 8
(地) 野底。与那国町の字名。nukka とも言う。			
nuta:	ヌタ	[句]	1 5
どうした。nuta: aganiNta:ja; どうした、子供達は。nu (何) + ita (した) の複合形。			
nuti	ヌティ	[名]	T
命。			
nuti	ヌティ	[名]	1 4
土台。siranu nuti; いなむらの土台。(昔95)			
nutidama	ヌティダマ	[名]	生
貫き玉。曲玉。			
nutidu	ヌティドゥ	[名]	続25
命中。一生。			
nutigabu	ヌティガブ	[名]	こ40
寿命。「命」を美称的に表現した語。			
nutikagiri	ヌティカギリ	[名]	6
命の限り。懸命に。hanaisiki、umihamai とも言う。			
nutikasi	ヌティカシ	[名]	3
緯糸。織物の横糸。単に nuti とも言う。			
nutimuN	ヌティムン	[名]	昔155
命拾い。nutimuisuN; 生きかえる。			
o:	オー	[感]	S 56
はい(目上の人に対する返事)。u: とも言う。			
obu	オブ	[名]	5

＜幼＞水。bu とも言う。

p'a ツノバ [名] 生

鍵。sasinu p'a とも言う。

p'aN ッパン [動] 3A型 p'asjaN 生

(魚に餌を) 食わす。

p'aNdaN パンダン [動] 3A型 paNdasjaN 2

外す。はなす。もつれたものなどを外す。haNdaN とも言う。

p'aNdiruN パンディルン [動] 6B型 p'aNduN 生

外れる。

p'aNminai ッパンミカ°イ [副] S 35

急に。どんどん。パンと音をさせる。p'aNminai anaiti; どんどんあがって。

p'aNpara ッパンパラ [名] こ13

御転婆（おてんば）。

p'anai ッパカ°イ [名] T

鉄。刃ぐわ。

p'akui ? ッパクイ [名] T

腐卵。卵が孵化せずに腐りかけていること。kunu kaiguja p'akuidu buibi haninu; この卵は腐っ
ていて食べられない。

p'anaN* ッパナン [名] 歴99

＜古＞焼物の名。アンナンのことを、p'anaN と言う。*

p'apa ッノパノパ [名] 4

(植) ツワブキ<キク科>。

p'apa' ッパ°パ° [名] 植105

(植) コウトウシュウカイドウ<シュウカイドウ科>。

p'apa* ッノパパ [名] 植164

(植) ツワブキ<ツワブキ科>。

p'asabi-kiruN ッパサビキルン [動] 6A型 生

甘える。

p'asagu ッパサグ [名] 歴72

狭い所。狭い空間。

p'asaguti ッパサグティ [名] S 59

狭い間 (すきま)。

p'asi ッパシ [名] 沖I

稲こきをする事。

p'atai-kiruN	ッパタイキルン	[動]	6A' 型	S 27
＜新＞死ぬ。p'atai は戦後フィリピン人から入ってきた語。				
p'eppe	ッペッペ	[名]		5
＜幼＞汚いこと。				
p'idisi	ッピディシ	[名]		こ5
礎。				
p'ikutaNti*	ッピクタンティ	[名]		植41
(植) ハマビワ＜クスノキ科＞。				
p'imiNtai	ッピミンタイ	[名]		続104
湿気のある状態。				
p'imiNtaruN	ッピミンタルン	[動]	2A型	T
しめる。p'imiNtaidu buru; しめっている。				
p'iraN	ッピラン	[動]	3A型 p'irasjaN*	T
ぺしゃんこにする。				
p'iraNkaN	ッピランカン	[動]	3A型	生
ぺしゃんこにする。p'iraN とも言う。				
p'iriruN	ッピリルン	[動]	6B型 p'iruN	T
へこむ。くぼむ。				
p'isiNko	ッピシンコ	[名]		民
菓子的一种。				
p'isiNkoita	ッピシンコイタ	[名]		民
ピシンコの型を取る板。				
p'iuci	ッピウチ	[名]		生
火臼。マッチが使用される以前、木を回転させて火をつけていたが、その器具のこと。				
p'o:	ッポー	[名]		5
＜幼＞おなら。				
p'o:p'o:	ッポーッポー	[名]		T
食べ物の一種。メリケン粉を水でこねた物を平たく焼いた物。				
p'oNpoN	ッポンポン	[名]		5
＜幼＞腹。				
p'uN (1)	ッブン	[動]	5B*型 p'waN	生
吸う。しゃぶる。c'i: p'uN; (赤ん坊が) 乳を吸う。p'uiturN; 吸い取る。c'i: p'uramiri; 乳を吸わせなさい。(何故 p'amiri でないのか?)				
p'uN (2)	ッブン	[動]	5B*型 p'waN	生
(魚が餌を) 食う。naigara p'u hadidu; 今から食うはずだヨ。				
p'uicuN	ッブイツン	[動]	1D型 p'uicjaN	1 0

かみつく。くいつく。p'uicariruN; かみつかれる。			
p'uka	ッブカ	[名]	生
ほおずき。ほおずきの実をからにして、口に含んで鳴らすようにしたもの。			
p'umiruN	ッブミルン	[動] 1D*型 p'umjaN	T
(口に) くわえる。ふくむ。inuja nikudu p'umiti aitarasi kaiti; 犬は肉をくわえて走って帰って…。(昔54) a:nu ciN p'umi ki:nu hikaNtaNki tami ututi; 粟の粒をくわえ、木の穴などに貯めておき…。(昔219)			
p'umuN	ッブムン	[動] 1D型 p'umjaN	昔54
くわえる。inuja nikudu p'umiti; 犬は肉をくわえて…。(昔54)			
p'upunudi	ッブプヌディ	[名]	続74
吸血療法。コップに4 5度の酒を入れて火をつけ真空にして肌につけて汚血を吸いとる。打ばくや血圧の高い人によくきく			
p'uruN	ッブルン	[動] 2B型 p'waN	2
しゃぶる。ujubi p'uruna; 指をしゃぶるな。			
p'waN	ップァン	[形]	生
渋い。バナナのまだ熟していない渋さ。			
pa:duja	パードゥヤ	[名]	昔222
(鳥) パアー鳥。和名不明。pa:pa:Ndi pa:dujanai agamidumicuki; パアーパアーと(言って)、パー鳥になり、子供を見つけ…。			
pasagu*	パサグ	[名]	A 28
田の名。			
pasagutati*	パサグタティ	[名]	A 26
田の名。			
pasaguti*	パサグティ	[名]	A 36
田の名。			
pi:ri	ピーリ	[形動]	無176
ぺちゃんこ。batapi:ri naruN; お腹がぺちゃんこになる。			
pjakkiN	ピャッキン	[名]	昔145
親雲上。			
purugiruN	ブルキ°ルン	[動] 6A型 purugirjaN	昔86
抜け落ちる。kaNgibu:ru agamiŋa puruji sutaba; 背中の子供が抜け落ちたので。			
ri		[辞]	6
距離を測る単位。里。itiri; 一里。			
riruN	リルン	[助動] 特殊	4
…できる。可能の助動詞。k'ariruN; 聞くことができる。ku:nu t'uNtuN ujaninuNki butaNsuja; *線香の一本すら上げられなかったんだね。(昔73)			

risuku	リスク	[名]	こ118
＜新＞利息。			
sa	サ	[助]	1 5
よ。でしょう。			
sa:	サー	[名]	生
お茶。			
sa:	サー	[名]	7
自分。sa: t'uisija mutuN ha:ninu; 自分一人では全然食べられない。(昔221)			
sa:dai	サーダイ	[名]	4
お茶代。集まりの時の茶菓子代。			
sa:di	サーディ	[名]	無33
看板員。ドナイドの中で演じられる役名。			
sa:gai	サーガイ	[名]	2
死んだ人の御使い。			
sa:ma*	サーマ	[名]	黒46
寄り目。			
sa:ra:	サーラー	[名]	沖T
(魚) マサワラ。カマスサワラなどの魚。体が細く長い。			
saN	サン	[名]	生
(植) サンゴジュ＜スイカズラ科＞。葉は猛毒である。			
saN	サン	[動] 3A型	生
差す。注ぐ。ujabisi saN; 指で差す。miN saN; 水を注ぐ。			
saNbaru	サンバル	[名]	A 7
(地) さん原。桃原部落の近く。			
saNbarukuru	サンバルクル	[名]	無6
(地) サンバル香炉。ムスン祭後の祈願であるドムヌムスン祭の行われるところ。			
saNbaruma:ti	サンバルマーティ	[名]	歴72
(地) サンバル牧場。			
saNbiruN	サンビルン	[動] 6A型 saNbjaN	芸
くべる。			
saNbjaki	サンビャキ	[名]	生
ライ病。			
saNcira	サンチラ	[名]	T
(植) サンキライ＜ユリ科＞。			
saNdaN	サンダン	[名]	資
三反。			

saNdai	サンダイ	[名]	T
神仏に供えた御馳走のおさがり。			
saNdakubu:	サンダクブー	[名]	生
3尺棒を使ってする棒踊り。1人、2人組、3人組の各種がある。3尺棒と鎌との組み合わせもある。			
saNdiNsu	サンディンス	[名]	こ11
易者。ユタ。			
saNdu	サンドゥ	[名]	T
30。			
saNduki	サンドゥキ	[名]	沖1
田の三度めの耕作。			
saNgaci	サンガチ	[名]	T
3月。			
saNgacisanici	サンガチサニチ	[名]	生
女の子の節句。旧暦の3月3日、女の人は浜におり、潮で足を清める。			
saNgwana	サングァナ	[名]	続31
色きちがい。好色女。			
saNkuN	サンクン	[動] 1A型	昔44
引き連れる。引っ張って歩く。biNgaja bu: santimama tuNditi; 男は麻糸を引いたまま出て…。 (昔44) Nma saNkuNni saNti aiganutu t'u naranuN; 馬を引っ張るように引っ張って歩かない と、(一人前の)人間にならない。			
saNmiN	サンミン	[名]	T
計算。			
saNni	サンニ	[名]	4
(植) ゲットウ<ショウガ科>。			
saNnici	サンニチ	[名]	2
死後三日目の供養。			
saNninudai	サンニヌダイ	[名]	T
(地) 奇岩怪石の名勝地。			
saNnuha	サンヌハ	[名]	T
南西の方角。申(さる)の方向。			
saNnuhaNnuN	サンヌハンヌン	[名]	T
(家の) 南西の隅。			
saNnuhakadi	サンヌハカディ	[名]	4
南西の風。			
saNsa	サンサ	[名]	生

(昆) セミ。			
saNsatui	サンサトゥイ	[名]	5
セミ取り。昔はbiginuha (くわず芋の葉) で作った。			
saNsu	サンス	[名]	続100
(植) サンショウ<ミカン科>。			
saNti	サンティ	[名]	生
三味線。			
saNtinu Nma	サンティヌンマ	[句]	続101
三味線の駒。			
saNtinu diba	サンティヌディバ	[句]	続101
三味線のねじ。			
saNtinu midiru	サンティヌミディル	[句]	続101
三味線の雌弦。			
saNtinu nagadiru	サンティヌ ナガディル	[句]	続101
三味線の中弦。			
saNtinu su	サンティヌス	[句]	続101
三味線の竿。			
saNtinu u:diru	サンティヌウーディル	[句]	続101
三味線の雄弦。			
saNurusi	サンウルシ	[名]	4
山おろしの風。saNurusikadi とも言う。			
saNzai *	サンザイ	[名]	N 150
散財。saNzai ki; ごちそう、酒を出して、にぎやかに宴会し…。			
saba	サバ	[名]	生
草履。			
saba	サバ	[名]	T
(魚) フカ。			
sabaN	サバン	[名]	T
湯呑み。			
sabaN	サバン	[形]	生
味が大変まずい。			
sabaNusubasimunu	サバンウスバシムヌ	[名]	民
茶わん籠。			
sabacidai	サバチダイ	[名]	A 62
(地) 比川にある海岸名。末尾の地図参照。			
sabaguN (1)	サバゲン	[動] 1B型 sabatjaN	昔57

探す。sabatitana; 探したか。miNnu naganudu k'aritaba sabagutasi; 水の流れる音が聞かれたので、探すといい。(昔81)

sabaguN (2) サバグン [動] 1B型 sabatjaN 昔178

訪ねる。unuda sabati si;; その家を訪ね…。kica sabataN; さっき訪ねた。

sabaho:cja: サバホーチャー [名] 1

<移>サメ用の包丁。柄の部分が滑らないようにギザギザのついた包丁。沖縄方言の流入した語。

sabai サバイ [名] T

障り。障害。

sabani サバニ [名] 生

くり船。

sabaruN サバルン [動] 2A型 sabataN 無167

触る。

sabicaN サビツァン [形] 生

寂しい。

sabidiru サビディル [名] 続10

味も中味も足りない汁。

sabisabi サビサビ [名] T

(味などが) 油っこくない。(性格などが) あっさりしたさま。さっぱりして、気持ちがいいさま (お風呂の後など)。

sabuN サブン [名] T

茶盆。おぼん。

sabuN サブン [名] T

<新>石鹼。シャボン。

saburagi サブラギ [名] 生

しゃっくり。

saci サチ [名] T

<新>札。紙のお金。

sadi サディ [名] 続180

はち巻き。踊り用のもの。

sagaN サガン [形] 生

少ない。

sagaN サガン [動] 3A型 T

咲かす。hana sagasjarja; 花を咲かせたので…。(昔19)

sagadumai サガドゥマイ [名] A 60

(地) 海岸名。末尾の地図参照。

sagai	サガイ	[名]	歴32
祭事。幽明境を異にするの境の意。			
sagama	サガマ	[名]	昔184
逆さ。karaN sagama Ntatiti…; 髪を逆さに振り乱して…。			
sagamutu	サガムトゥ	[名]	沖 I
満田原内の田の名。			
sagamututi *	サガムトゥティ	[名]	A 28
田の名。			
saganaja *	サガナヤ	[名]	こ119
＜新＞料亭。			
sagaruN	サガルン	[動] 2A型 sagaN	4
さかえる。			
sagasama	サガサマ	[名]	T
さかさま。sagasamaNkidu sajjaru; さかさまに下げてある。			
sagasiki	サガシキ	[名]	T
盃。			
sagi	サギ	[名]	3
酒。sagi k'uru t'u; 酒を造る人。			
sagi	サギ	[名]	T
裂けた布。			
sagida	サギダ	[名]	歴73
酒造場。			
sagidiru	サギディル	[名]	民
(柄付) 吊り籠。食料保存用。			
sagihuci	サギフチ	[名]	こ40
酒癖。			
sagija	サギヤ	[名]	3
酒を造る家。酒造所。			
sagikutaNdi	サギクタンディ	[名]	こ39
二日酔い。			
saginuki	サギヌキ	[句]	こ39
酒気。酒の気。			
saginumja:	サギヌミャー	[名]	3
酒飲み。			
sagiruN	サギルン	[動] 6B型 saguN	生
裂ける。			

sagisuga	サギスガ	[名]	5
かんびん。			
sagitari	サギタリ	[名]	3
酒を蒸溜すること。			
sagu	サグ	[名]	こ27
農業。			
sagu	サグ	[名]	1 6
程度。 unusagu; この程度。(昔123)			
saguN	サグン	[動] 1B型 satjaN	3
裂く。			
saguN	サグン	[動] 1B型	T
咲く。			
sagubadiruN	サグバディルン	[動] 6B型 sagubaguN<稀>	生
しゃくにさわる。立腹する。			
sagubarasi	サグバラシ	[名]	T
しゃくに障ること。 sagudabi、 agubadarasi とも言う。			
saguda	サグダ	[名]	沖1
満田原内の田の名。			
saguja	サグヤ	[名]	9
夜ばい男。			
sagumai	サグマイ	[名]	生
うるち米。			
sajaida*	サカ°イダ	[名]	A 20
田の名。			
sajaidati*	サカ°イダティ	[名]	A 51
田の名。			
sajaiki	サカ°イキ	[名]	こ21
(植) ガジュマル<クワ科>。与那国で gadimaru と言うと、ハマイヌビワを意味する。			
sajanaba	サカ°ナバ	[名]	T
(植) カサキノコ。			
sajarasiui	サカ°ラシウイ	[名]	続57
掛売り。			
sajaruN	サカ°ルン	[動] 2A型 sagaN	生
下がる。			
sajaruN	サカ°ルン	[動] 2A型	こ52
退がる。			

sagiruN	サキ°ルン	[動]	6A型 sagjaN	昔171
吊す。さげる。saNjiruN とも言う。nagakagidaNki saNgiututiti; (豚肉を) 中カギダンに吊しておいて…。(昔171)				
saguruN	サク°ルン	[動]	2B*型 sagaN	昔190
探る。				
sai	サイ	[名]		生
ひしゃく。				
sai	サイ	[名]		生
おかず。汁のそばにそえる少量のおかず。				
sai	サイ	[助]		S 26
…さね。軽く同意を求める終助詞。kjaNsai; したよね。itaNsaija; したさね。umi amitinu hatani aNsai; そこに、道の端にあるでしょう。(昔109)				
saja	サヤ	[名]		生
サングの一種。黄色味をおびており、これに触れるとかゆくなる。				
saja	サヤ	[名]		沖1
豆や藁の外皮。				
sakahi	サカヒ	[名]		4
(植) サクラ<バラ科>。ハンマーの柄や馬のくつわに使った。				
saki	サキ	[名]		昔3
茶菓子。				
sakuci	サクチ	[名]		T
長男。嫡子。				
sakui	サクイ	[名]		昔44
籠(かご)。				
samaN	サマン	[動]	3A型 samasjaN	2
さます。c'i: samasjaN; 火を消した。(T)				
samaNtui	サマントウイ	[名]		続8
あぐら。				
samami	サマミ	[名]		T
(植) ギンネム<マメ科>。あるいは、ハブソウ<マメ科>か。				
samaruN	サマルン	[動]	2A型 samaN	生
さめる。消える。c'i: samaN; 火が消えた。dagi samaN; 熱がさめた。bi: samaN; 酔いがさめた。				
samurai	サムライ	[名]		こ36
侍。首里から来た士族。				
sana	サナ	[名]		生

傘。			
sanaN	サナン	[名]	生
男性用ふんどし。			
sani	サニ	[名]	T
血筋。血統。			
saniti	サニティ	[名]	続100
旧の三月三日。女の節句、汐干狩をする。saNgacisanici とも言う。			
sanitidaja	サニティダヤ	[名]	A 60
(地) 海岸名。祖納にあり、岩がつきでている。末尾の地図参照。			
sanitimuti	サニティムティ	[名]	続54
鬼餅。よもぎを入れた菱形のもち。			
sara	サラ	[辞]	T
すっかりの意を表わす接頭辞。saraagarasi; すっかり夜を明かすこと。徹夜。			
saraN	サラン	[動] 3A型 sarasjaN	T
(畑の土などを) 柔らかくする。aga hatagi ki sarasjaN; 私が畑を耕して柔らかくした。			
sarabu	サラブ	[名]	7
茶うけ。			
saraimutakai*	サライムタカイ	[名]	昔135
野原につないでいる牛馬の世話。			
saramagi	サラマギ	[名]	2
つわり。			
saramata	サラマタ	[名]	T
<新>さるまた。パンツ。			
sari	サリ	[名]	昔192
干ばつ。			
sari-kiruN	サリキルン	[動] 6A型	生
かんばつになる。			
sariruN	サリルン	[動] 6B型 saruN	生
(畑が堀り起されたりして) 柔らかくなる。			
saru	サル	[名]	T
申 (十二支の一つ)。			
saruN	サルン	[動] 2A型 saN	素
切る。切り放す。なたや、斧で振り下ろして切る場合。			
sarugaci*	サルガチ	[名]	植207
(植) ハマサルトリイバラ<ユリ科>。			
saruta:*	サルター	[名]	昔57

頃。ibisa:saruta;; 幼い頃。				
sasagaruN ?	ササガルン	[動]	4A型	1 0
授かる。				
sasagaruN	ササカ°ルン	[動]	2A型 sasagaN	3
ぶらさがる。				
sasamatai	ササマタイ	[名]		続9
足手まとい。子供が親にまとわりつき、仕事の邪魔をすること。				
sasi	サシ	[名]		T
錠。鍵の止め具。				
sasibagi	サシバギ	[名]		昔32
ひいき。差別。				
sasibira	サシビラ	[名]		生
しゃもじ。				
sasija	サシヤ	[名]		T
(動) 羽蟻。家の柱の中にいて、人を刺す動物。				
sasimi	サシミ	[名]		T
<新>さしみ。魚、野菜などの生のままの料理。				
sasinaN	サシナン	[名]		歴111
<古>神女的一种。佐事阿母。				
sata	サタ	[名]		生
砂糖。				
sata	サタ	[名]		昔180
沙汰。うわさ。				
sataNbuidama	サタンブイダマ	[名]		続99
さとうきびをしぼる機械。				
satatiNpura	サタティンブラ	[名]		続101
砂糖てんぷら。				
sataugai	サタウガイ	[名]		昔186
評判。sataugaidu burujuNgara…; 評判になっていたから…。				
sati	サティ	[名]		生
岬。				
sati	サティ	[名]		T
先。細長い物(包丁や箸など)の先。				
satibi	サティビ	[名]		沖I
先植え。				
satimu	サティム	[感]		T

さても。深く感動した時に発する。sati とも言う。satimu satimu kunuNsa ku; もうこいつは！ satimu ina mugu; ああ、残念だ。(昔202)

satinai	サティナイ	[名]	沖I
先に植える苗。			
satituN	サティトゥン	[名]	こ49
先妻。			
satomaija ?	サトマイヤ	[名]	歴
あなた。サトマイヤ。女が男に呼びかける言葉。			
si	シ	[助]	T
…で。方法。材料などを表わす格助詞。ibitatisi NsaN; 少しでよい。haguja ki:sidu k'uru; 箱は木で作る。nugudisidu c'i; のこぎりで切りなさい。dusi iri; 自分でしなさい。			
si:*	シー	[名]	こ49
精。itiburuta とも言う。			
si:buN	シーブン	[名]	続50
おまけ。値引したり、品物を添えること。			
si:ki	シーキ	[名]	3
酒を造るのに悪い時期。8、9月頃。暑いためにこうじが早くふき、時期を逃したりする。			
si:ki	シーキ	[名]	沖I
水口から遠い田。			
si:maha	シーマハ	[名]	昔32
子孫。			
si:mi	シーミ	[副]	昔65
たくさん。数多い。			
si:mi:	シーミー	[名]	生
清明祭。仏壇に位牌の数だけ食事を供え、家族の願いごとをする。			
si:si:	シーシー	[名]	5
<幼>小便。			
si:ti	シーティ	[副]	T
たって。強いて。			
siN	シン	[名]	続74
招待客。あんたは siN いくら呼びかけたか、と言う使い方をする。			
siNbikaci	シンビカチ	[名]	3
せんべい。c'iNbikaci とも言う。			
siNburi	シンブリ	[名]	1
(植) センブリ<リンドウ科>。葉や根を乾燥させてから飲むと、腹痛や胃痛に利く。			
siNdicuri	シンディツリ	[名]	5

せんじ葉。			
siNdu	シンドウ	[名]	続253
船頭。			
siNka	シンカ	[名]	T
仲間。dunu siNka; 自分の仲間。			
siNnuki*	シンヌキ	[名]	植121
(植) シマイズセンリョウ<ヤブコウジ科>。			
siNsi	シンシ	[名]	T
<新>先生。			
siNzuni	シンズニ	[名]	A 65
与那国島近海の漁礁の名。新しい漁礁。			
siba	シバ	[名]	1
心配。siba kiNna; 心配するな。sibadu aru; 心配だ。			
sibaN	シバン	[形]	生
心配だ。siba + aN の音変化した形。anu sibaN; 私は心配だ。			
sibaN	シバン	[形]	T
狭い。			
sibaja	シバヤ	[名]	T
芝居。			
sibajasi	シバヤシ	[名]	こ78
芸人。芝居師。			
sibana*	シバナ	[名]	続55
海岸の磯辺にあるとげとげしい岩石。			
sibi	シビ	[名]	沖T
(魚) ビンナガ<サバ科>。大きいものには daisibi という。			
sibugu	シブグ	[名]	1 0
粃穀。			
sibugumai	シブグマイ	[名]	沖I
実の入っていないガラばかりの稲。			
sibuta	シブタ	[名]	沖T
(魚) マス<サバ科>。			
sidaN	シダン	[動]	3A*型 sidasjaN 生
(手入れ、化粧などをして) きれいにする。飾る。hatagitu minugaja sidasinu munu; 畑と女は手入れの物。畑と女は大事に手入れをすることが大切だということ。			
sidari	シダリ	[名]	3
手ぬぐい。sidadi とも言う。			

sidatiruN*	シダティルン	[動]	6A型 sidatjaN*	昔179
仕立てる。misija sidati; 店を改造して。				
sigata	シガタ	[名]		1 0
姿。mari とも言う。				
sigata	シガタ	[名]		昔221
仕方。sigata minuN; 仕方ない。				
sigu	シグ	[名]		こ13
桶。ugi とも言う。				
siguN	シグン	[名]		昔125
仕打ち。計画的に行う。				
sigagiruN	シカ°ギルン	[動]	6A型 sigagjaN*	昔150
(けんかを) しかける。sigakiruN とも言う。(15)				
sigu	シク°	[副]		1 1
すぐ。				
sijama	シヤマ	[名]		続103
しざま (為様)。sibada とも言う。				
sikabumunu	シカブムヌ	[名]		生
臆病者。				
sikaŋata	シカカ°タ	[名]		T
もめごと。いざこざ。sikaŋatanu mutu; もめごとのもと。いざこざを起こした最初の人。				
sikama	シカマ	[名]		生
仕事。				
sikamahuci	シカマフチ	[名]		生
宵の明星 (仕事星)。この星が東の方に出る時が粟の植え付けに良いと言う。この星が出てから仕事を止め、帰宅する人は金持ちになると言う。				
sikarabata	シカラバタ	[名]		1 1
力業。				
sikaruN	シカルン	[動]	2A*	昔107
澄む。miNja sikariti buru…; 水は澄んでいて…。				
sikattu	シカットゥ	[副]		昔81
しっかりと。良く。sikattu Nnja imijaaranu;しっかりと見ると夢ではなく。sikattu Nnja; 良く見ると。				
sikatu	シカトゥ	[副]		1
しかと。じっくりと。ほんとうに。sikatu mutakai; 激怒して…。				
siki	シキ	[名]		5

野球の一種（子供の遊び）。与那国式野球。蘇鉄の実の綿に糸を巻いてボールを作る。ボールは手で打ち、塁に進む。走者にボールを当てて、アウトにすることができる。

siki	シキ	[名]	T
世間。siki minu t'u; 私生児。			
siki	シキ	[名]	こ35
敷居。			
sikianaN	シキアナン	[名]	生
津波。			
sikibari	シキバリ	[名]	T
溝を通すこと。midubari とも言う。			
sikigata	シキガタ	[名]	生
母方の血統。8代までが親戚で、それ以上は他人となる。			
sikihanari*	シキハナリ	[名]	図
（地）小島。			
sikihi*	シキヒ	[名]	昔9
<新>石碑。			
sikiniN	シキニン	[名]	昔86
責任。			
sikitaNaNda	シキタンアンダ	[名]	7
石油。sikitaNju とも言う。			
sikitaNbagu	シキタンバグ	[名]	こ50
石油缶。karakaN とも言う。			
sikitaNju	シキタンユ	[名]	こ50
石油。sikitaNaNda とも言う。			
sikja	シキャ	[名]	生
（植）ハイビャクシン<ヒノキ科>。幹は地に臥して広がり、葉はスギに似ている。海辺に自生する。			
sikuN	シクミ	[名]	こ36
仕込み。			
sikuN	シクン	[動] 1A型	生
たたく。			
sikuN-kiruN*	シクンキルン	[動] 6A型	昔95
準備する。sira nu nauti surasi sikuNki ututi; 稲叢の台を強くし、準備しておいて。			
sikuri	シクリ	[名]	昔176
準備。huNnai、sitagu とも言う。			
sikurikata	シクリカタ	[名]	昔3

準備の段取り。

sikwa* シクァ [名] 植153

(植) スイカ<ウリ科>。

simaN シマン [動] 5A型 simaN T

しまう。…し終る。uci aisimaN; 牛が闘い終った。c'i bu:ru muisimaN; 火がすべて燃えてしまった。

simaruN シマルン [動] 2A型 simaN 7

終る。bi:simaruN; 植え終る。

simauci シマウチ [名] 3

在来種の牛。

simiNdaigu シミンダイグ [名] こ30

<新>左官。セメント大工。uru biki(ru) t'u とも言う。

simiNna シミンナ [名] T

注縄。

simiruN シミルン [動] 6A型 simjaN 5

責める。

simiruN シミルン [動] 6A型 simjaN 5

攻める。

simiruN シミルン [動] 6A* simjaN* 生

せびる。simituruN; せびり取る。

simunu シムヌ [名] こ47

吸物。

simuti シムティ [名] 昔78

精神。心使い。niNgiNja simutidu; 人間は精神 (が大切) だ。(昔78)

sinaN シナン [名] 素

羨み。妬み。

sipai シパイ [副] T

いっぱい。sipai nuidu butaba; いっぱい乗っていたので…。(昔153) kagu sipai; かごいっぱい。

sira シラ [名] 沖I

いなむら。刈った稲を干した後、保存のため積み重ねたもの。取りだしに便利のように下から順序よく積みあげる。頂に風雨を防ぐため茅等をかぶせる。(歴15)

siraruN* シラルン [形動] 昔17

駄目だ (やられた)。ma: siraruN; もう、駄目だ。

sirasaN シラサン [形] 生

涼しい。

siricika:isi	シリチカーイシ	[名]	1
追いこみ漁に使う石。			
sirisiri	シリシリ	[副]	こ97
<擬>しくしく泣く様子。sirisiri natiti iti cimai; 咽び泣いて息がつまり…。			
siru	シル	[名]	生
産後の忌み。出産後、10日間産室に忌みこもること。昔はその間、いろりの火を燃やした。			
siruNna	シルンナ	[名]	生
しめなわの一種。出産した時、その家の門にするしめなわ。出産児が男か女かによって、編み方を変える。			
siruNtu	シルントゥ	[名]	こ33
産婦。			
siruja	シルヤ	[名]	続45
お産のあった家。			
sirutaNgasa	シルタンガサ	[名]	4
(植) ナンキンハゼ<タカトウダイ科>。葉脈の色で区別する。			
sisi	シシ	[名]	4
(植) シソ<シソ科>。c'isu とも言う。			
sisiruN	シシルン	[動] 6A型 sisjaN	8
せせる。(子供や魚やゴキブリなどが) あちこちかじる。(虫が) あちこち小さく刺す。			
sisunuha*	シスヌハ	[名]	植140
(植) シソ<シソ科>。			
sitaburu	シタブル	[名]	昔16
(地) 与那国島の東部の地名。			
sitaburu*	シタブル	[名]	無161
田の名。米どころである。			
sitagu	シタグ	[名]	昔39
支度。			
sitai	シタイ	[感]	5
したり。よくやった。			
sitakui*	シタクイ	[名]	7
準備。huNnai,sikuri とも言う。			
sitata	シタタ	[感]	S 32
早く。sitata; (感情が入った言い方)。			
siti	シティ	[名]	T

季節。			
sitiNgaci	シティンガチ	[名]	T
七月。			
sitibudui	シティブドゥイ	[名]	無17
シティ踊り。			
sitibui	シティブイ	[名]	続102
前正月の時季。大晦日のあたり。			
sitibuikidari	シティブイキダリ	[句]	N
季節の行事。			
sitiḡaN	シティカ°ン	[名]	続82
結願。			
sitimaciri	シティマチリ	[名]	ま18
シティ祭。節祭。siti; 獅子舞をして悪魔払いをする意。十月頃行われる年中行事。			
sitiri	シティリ	[名]	N
季節。			
sititaNaNda	シティタンアンダ	[名]	生
石油。sikitaN とも言う。			
sittai	シッタイ	[感]	T
上手だとほめる語。人の踊りを見て、sittai, sittai! と誉めはやす。あかん坊を立たしたり、歩かしたりして sittai, sittai, sittai とあやす。			
situ	シトゥ	[名]	続51
御土産。			
situmi	シトゥミ	[名]	昔203
勤め。			
sjaNdarai:	シャンドライー	[感]	昔161
なるほど、やはりと納得した時に発する語。			
sjana-kiruN	シャナキルン	[動]	6A型 sjanakjaN 7
喜ぶ。sjanakidu buru; 喜んでいる。			
sjanaN	シャナン	[形]	生
嬉しい。			
sjanisjani	シャニシャニ	[副]	続24
いそいそと。うれしそうに。			
sjatta	シャッタ	[副]	S 66
すぐ。			
sjuruku	シュルク	[名]	3

鰹ぶしの化粧。鰹を蒸した後に、鰹のくずをまぶしながら形を整えること。

su	ス	[辞]	こ6
<新>船を数える単位。隻。issu; 一隻。(こ6)			
su	ス	[助]	T
…の。準体助詞。活用語について、体言の資格を与える。kaguNsuja nuja; 書くのは何か。 kaguNsuja kagan uNkidu macci; 書くより書かないのがよい。			
su	ス	[名]	続142
帳簿。			
su	ス	[名]	こ42
消息。			
su	ス	[名]	ま15
野菜の味噌あえ。祭りの時に食べるあえもので、村祭りにかかせない。			
su	ス	[名]	資357
相。顔つきに表れたその人の特質。c'imamuti su kunimuti su maridu buruNdi; 島を背負う相、 国を背負う相に生まれていると…。			
su:	スー	[名]	生
今日。			
su:	スー	[名]	4
潮。			
su:	スー	[名]	生
三味線の棒の部分。			
su:	スー	[名]	沖I
竿。苗を運ぶ際に使う棒、天秤棒など。			
su:	スー	[名]	昔123
正気・魂・素。su: canuN; 頭の中に何にもない状態。su: minuN; そそっかしい。su: kiri; と ても慌てること。su: bakaranuN; 意識がない。su: minuNki buru nataba; 無意識に全部食べた ので。(昔164)			
su:ci	スーチ	[名]	生
潮が引くこと。			
su:darumi	スーダルミ	[名]	歴135
神名。とやま拝所の神。与那国を総括した神。			
su:du	スードゥ	[副]	1 2
ちょうど。			
su:gaN	スーガン	[名]	4
逆波。			
su:gi	スーギ	[名]	生

底の浅いざる。竹製で、直径80cm位。これを上下に振って、もみを飛ばす。

su:kara スーカラ [名] 7

先天性の知恵おくれの人。

su:katagaja: スーカタガヤー [名] 沖T

(貝) ヨメカガサ<ツタノハ科>。

su:maN スーマン [名] 沖I

小満 (24節気の一つ)。この時期の風に当たると、実は成るけど皮の色が黒くなる。

su:minaju スーミナク° [名] 5

目の白い部分。

su:nusi スーヌシ [名] こ57

帖付け。記帳。

su:saru スーサル [形] N

強い。susaN の連体形。miNburu su:sa:; 頭が良い者。

su:suduami スースドゥアミ [名] 4.

長雨。

su:susaN スースサン [形] 生

塩辛い。塩が濃い。NdaN とも言う。

su:tagamari スータガマリ [名] 生

霊力の高い生れ。

suN-kiruN スンキルン [動] 6A型 suNkjaN 5

損する。

suNgaru スンガル [名] 生

(植) ケタデ<タデ科>。

suNgi スンギ [名] 5

お手玉 (子供の遊び)。

suNguinai スンク°イナイ [名] 沖I

根のひげが長い苗。どんな田に植えても育成しやすい。苗取りの際には泥が根に付き過ぎておとしにくい。

suNkamagai スンカマガイ [名] 7

どんぶり。

suNkani スンカニ [名] 生

三味線歌謡の一種。ションカネ。8・8・8・6音の琉歌形式で、叙情的内容の歌。

suNku スンク [名] 歴143

鐘 (大俣屋の所有する神器)。

suNkuN スンクン [動] 1A型 suNtjaN 1

ひきずる。suNti Ndasi; 引きずりだし…。(昔163)			
suNkumja	スンクミヤ	[名]	生
魚の浮き袋。			
suNkumja:	スンクミヤー	[名]	生
(植) フクロノリ。			
suNkuti	スンクティ	[名]	生
鉦鼓。			
suNni*	スンニ	[連語]	昔27
…の限り。su (準体助詞)+Nni (さま)。naruNsuNni: sudatibuga; できる限り子供を育てていたが…。			
suNti	スンティ	[名]	生
満潮。潮が満ちること。			
suNtiNdaN*	スンティンダン	[動] 3A型*	1 5
暴き出す。arukutu mi:nu kutu suNti:Ndasi; ある事ない事暴き出し。(昔73)			
suNticaruN	スンティツァルン	[動] 3A型*	1 5
引っ張る。unumama agami suNticarasi; そのまま子供を引っ張って。(昔74)			
suNtugu	スントッグ	[名]	続117
<新>損得。			
suati	スアティ	[名]	3
潮を合わせること。潮時。			
suba	スバ	[名]	T
傍。側。			
subaca	スバツァ	[副]	昔189
あっちこっち。(自分が中心になる)。			
subai	スバイ	[名]	昔179
商売。			
subaka	スバカ	[名]	T
測司。upuka (大司) に対する語。各専属の御嶽を持っている。			
subaka	スバカ	[名]	ま11
側司。1 2 の拝所の 1 2 の司のうち、本司 (司の頭) を motuka というが、それ以外の司を示す			
subanaN	スバナン	[名]	歴14
<古>筆者の結所。1 9 世紀後半の村番所で、当時の役人の結所 (官舎) の敷地内で、東側をスグ・ナン (与人の結所)、中央をナガ・ナン (目差の結所)、西側をスバ・ナン (筆者の結所) と言った。			
subatumaru	スバトゥマル	[名]	昔94

周辺。tumaru; 周辺。			
subi	スビ	[名]	T
首尾。終わり。			
subi-kiruN	スビキルン	[動] 6A型	沖I
首尾良く終る。			
subi-kiruN	スビキルン	[動] 6A型	続20
言いふらす。subiN-kiruN とも言う。			
subinudai	スビヌダイ	[句]	続241
終わりの祝い。			
suda	スダ	[名]	昔47
年上。年長。兄。			
sudaN	スダン	[名]	昔19
相談。			
sudai	スダイ	[名]	昔43
装い。姿形。surai とも言う。			
sudaku	スダク	[名]	昔163
承諾。			
sudamaci *	スダマチ	[名]	A 13
田の名。			
sudamauri	スダマウリ	[名]	歴152
祖納の東部落の船。ドナイドの船。冬至の日の祭事で役人が礼拝するしきたりがある。			
madamauri とも言う。			
sudatiruN	スダティルン	[動] 6A型 sudatjaN	昔178
育てる。			
sudi	スディ	[名]	1
袖。			
sudi	スディ	[名]	昔124
掃除。			
sudi	スディ	[名]	歴149
払い清め（ムヌン祭のときの昼寝）。稲作の際4回の物忌みがあり、その内のひとつである。			
ムヌン祭の時には、ナンタ浜で昼寝をする。			
sudiN	スディン	[名]	B 14
信念。			
sudicihuti:	スディチフティー	[名]	民
ほうき。			
sudiki	スディキ	[名]	T

正直。				
sudikiruN*	スディキルン	[動]	6A型 sudikjaN	昔87
慌てる。sudiki uduruti; 慌て驚き。				
sudimaŋi	スディマキ°	[名]		1
袖まくり。				
sudimuta	スディムタ	[名]		資341
着物の一種。袖無し。sudimutati; 赤ん坊用の袖なし。				
sudu	スドゥ	[副]		昔185
ちょうど。sudu unubasuja niNgacidu ataruNdi; ちょうどその時は、二月であったと…。				
suga	スガ	[名]		生
きゅうす。suka とも言う。(8)				
suga*	スガ	[名]		黒63
びっこ。gu:na:*とも言う。haNsuga 参照。				
suganuta	スガヌタ	[名]		歴31
(植) 木の名。和名不明。デイゴに似た木。昔、これでガンを作った。				
sugimaci*	スギマチ	[名]		A 19
田の名。				
sugina*	スギナ	[名]		植30
(植) フダンソウ<アカザ科>。				
suginujuda	スギヌユダ	[名]		T
(植) 和名不明。塩気のある所ではえる、防潮林にする。				
suginujuda*	スギヌユダ	[名]		植135
(植) モンパノキ<ムラサキ科>。misuginujuda 参照。				
sugiti	スギティ	[名]		1 5
籠。				
sugu	スグ	[名]		T
底。				
sugu	スグ	[名]		昔187
奥。				
suguaN	スグアン	[名]		生
袋網。底網。				
sugudai	スグダイ	[名]		T
食台。机。				
suguiju	スグイユ	[名]		沖T
(魚) アイゴ。体は長楕円形で、白点や白斑をちりばめる。				
sugukidamasa*	スグキダマサ	[名]		A 51

田の名。			
sugumuta	スグムタ	[名]	生
(昆) キリギリス。			
sugunaN	スグナン	[名]	歴14
<古> 与人の詰所。subanaN 参照。			
sugunuta*	スグヌタ	[名]	A 20
田の名。			
sugusurubja:gu*	スグスルビャーグ	[名]	A 48
田の名。			
suguti*	スグティ	[名]	A 18
田の名。			
supa	スカ°	[名]	5
しょうが。			
supati	スカ°ティ	[名]	生
正月。1 番座に花重箱と塩と花酒を飾る。			
supaticibu	スカ°ティチブ	[名]	続47
御歳暮。正月の贈物。			
supatidici	スカ°ティディチ	[名]	生
一月。			
supatimuti	スカ°ティムティ	[名]	5
床に飾る大きな鏡餅。karuinamuti とも言う。			
supatiniNtu	スカ°ティニントゥ	[名]	続61
お正月の挨拶。			
supatinigai	スカ°ティニカ°イ	[名]	無2
お正月の願い。			
sui	スイ	[名]	N 132
あぜみち。			
suica	スイツァ	[名]	続89
白木綿製の胴衣。kapaN と一緒に着る。昔の女性のよそゆき。			
suicakapaN	スイツァカカ°ン	[名]	続9
腰衣の上下。女性のよそゆき。白木綿で、ひだがいっぱい入っている。			
suihiruN	スイヒルン	[動]	6B' suihjuN 昔85
連れて行く。			
suikwa:	スイクァー	[名]	3
(植) ヒラミレモン。			
suisui	スイスイ	[感]	9

(走る時にかける) 掛け声。			
suja (1)	スヤ	[助]	昔48
…するのは。準体助詞 su に、係助詞 ja の付いた形。文末にあって感動を表す事も多い。			
suja (2)	スヤ	[連語]	沖M
…だね。文末にあって詠嘆、感動を表す。su (準体助詞) + ja (係助詞)。urabutagidu aNsuja; 宇良部岳だね。joku munu NduNsuja; よくしゃべるね。c'irumanumunu uNni NduNsu-ja; 不思議なもんだなあ、あんな事を言うなんて…。			
suju	スユ	[名]	3
醤油。			
suka	スカ	[助]	T
…するよりは。準体助詞 su に、比較を表す格助詞 ka の付いた形。aiguNsuka nuidumacika-ja*; 歩くよりは、乗る方がましかなあ。(昔153)			
suku	スク	[名]	T
焼香。香を供える事。suku kiNdi darasjaru; 焼香させに遣った。(線香を持って行かす事)。			
suku	スク	[名]	こ41
証拠。sukubuci; 証拠物件。			
sukumaci	スクマチ	[名]	昔72
焼香祭。法事。			
sukumunu	スクムヌ	[名]	続87
香典。			
sumaNnici	スマンニチ	[名]	歴144
小満の頃の北風。潮が小潮の時、吹く風。			
sumaruN	スマルン	[動] 2A型 sumaN	こ71
染まる。			
sumiN	スミン	[名]	3
そうめん。			
sumicja:	スミチャー	[名]	沖T
(魚) クギベラ。口がソーメンみたいに細長い。			
sumidi	スミディ	[名]	T
(着物の) 黒色の地。			
sumihatu	スミハトゥ	[名]	T
(鳥) キジバト。			
sumiku	スミク	[名]	こ43
食紅。agasumiku とも言う。			
sumuca	スムツァ	[名]	1

(植) ミカンの一種。実をわって中に黒糖を入れ、ヤカンの上で温め、溶けた汁を飲むとセキに利く。葉はタニシの汁に入れて食べる

sumukadai スムカダイ [名] 1 6

くさい臭い。

sumuti スムティ [名] 昔101

本。書物。

sunai スナイ [名] 続74

行列。

sunaituni スナイトゥニ [名] ま26

(地) 祖納にある拝所。

sunati スナティ [名] 生語,
S.67

すぐ上の兄。兄の内が一番年したの人。一般に年上の人をこのように呼ぶこともある。男の言葉。

sunī スニ [名] 生

陸棚。海中の魚の集まる瀬。

sunī スニ [名] 5

いは。iNbi とも言う。

sunuNgaN スヌンガン [動] 3A型 sunuNgasjaN T

急がす。

sura スラ [名] こ28

梢。木の頂。suraNpa とも言う。

suraN スラン [動] 3A型 T

反らす。haN surai; 足を反らせ。

suraNpa スランパ [名] 生

梢。単に sura とも言う。

surai スライ [名] こ41

装束。姿。sudai とも言う。

surasaN スラサン [形] 生

美しい。清潔である。

suri スリ [名] 生

皿。sudi とも言う。

surimaci スリマチ [名] 沖I

満田原内の田の名。

suriruN スリルン [動] 6B型 suruN T

(目が) さめる。mi suru dibaN; 目がさめたね。

suriruN	スリルン	[動]	6B型 suruN	T
揃う。寄り集まる。siNka suridu buru; 仲間が揃っている。naigara suriruN; 今から揃う。(昔87) da:ni du buru suruN; 家に全員揃った。(昔87)				
suriruN*	スリルン	[動]	6A型 surjaN*	1 5
反る。				
suru	スル	[名]		生
お盆。旧暦7月13日から15日に行う。				
suruN	スルン	[動]	2B型 swaN	生
連れる。suihiri: 連れて行きなさい。(昔87)				
suruN ?	スルン	[動]	2B型 swaN	3
釣る。				
suruNti*	スルンティ	[名]		植19
(植) ムクイヌビワ<クワ科>。				
surubudui	スルブドゥイ	[名]		こ86
盆踊り。エイサー。surubudi とも言う。				
suruburi	スルプリ	[名]		1 1
盆踊り。旧盆に、念仏を唱えながら踊る。				
suruhaci*	スルハチ	[名]		植59
(植) メドハギ<マメ科>。「精霊箸」の意。				
suruna*	スルナ	[名]		植168
(植) ハルノノゲシ<キク科>。				
surunuhaci	スルヌハチ	[名]		生
お盆の時、ミディヌクの側にそえる箸。小枝を折って作る。				
surununai	スルヌナイ	[名]		生
お盆の時、仏壇に供える木の実。山に自生するものでなければならぬ。				
susaN (1)	スサン	[形]		生
強い。厳しい。義理あるいは、欲が強い、塩味が強いと言う場合も用いる。kadi susaN; 風が強い。				
susaN (2)	スサン	[形]		昔26
(病気などが) 重い。damija susagu naiti; 病気は重くなって。				
susaN (3)	スサン	[補]		7
…しすぎる。名詞や動詞連用形に接続する。bikai susaN; (色や粉が) 付きすぎる。				
susanu*	スサヌ	[名]		植90
(植) ヤンバルアワブキ<アワブキ科>。				
susiki	スシキ	[名]		T
葬式。				

susiparuN*	スシパルン	[動]	2A型 susipaN*	3
突っ張る。				
susu*	スス	[名]		黒51
陰口。susu kiruN; 陰口をする。				
susubi	ススビ	[名]		8
裾辺。山の裾。				
susui	ススイ	[名]		生
ぞうきん。				
susuraN	ススラン	[動]	3A型	生
(風に) さらす。吹きさらす。susurariruN; さらされる。macinukinu suraNki tiNdisajiti haikadini susurasi nicikadini susuraNdu; 松の木の頂上に吊し下げて、南風にさらし北風にさ らすぞ。(昔41)				
сута	スタ	[名]		1 6
石垣から来た役人。				
suti	ステイ	[名]		T
咳 (せき)。				
sutu	ストゥ	[名]		T
小じゅうと。夫の兄弟のこと。				
sutuabuta	ストゥアブタ	[名]		こ38
姑。夫あるいは妻の母。				
sutuija	ストゥイヤ	[名]		続57
夫あるいは妻の父。				
sutuuja	ストゥウヤ	[名]		T
夫あるいは妻の父母。				
swaN	スァン	[形]		T
にがい。				
tu'NnaruN	ットウンナルン	[動]	2A型 tuNnaN	T
よける。				
t'a	ッタ	[名]		生
2。				
t'a	ッタ	[名]		生
舌。				
t'a	ッタ	[名]		T
(鍋などの) ふた。				
t'a (1)	ッタ	[名]		T

…ほど。程度を表す形式名詞。c'i Ndiru t'a damasidu aru; 血が出るほど痛めた。t'iga agaru t'a hataratidu buru; 月が上がるまでも働いている。tariru t'a niruN; 柔らかくなるまで、煮る。			
t'a (2)	ッタ	[名]	S 55
…の時。…の間。bagaru t'a; 若い時。(資) aga gumaru t'a; 私が小さい時。(N14) Nnanu t'a; 見ない間。(昔225)			
t'a: (1)	ッター	[副]	S 65
すぐ。t'a: tumaNsai; すぐ、止まったよ。			
t'a: (2)	ッター	[副]	8
どんどん。t'a: haihjuN; どんどん食べる。t'a: hjuNsai; ずっと (向こうに) いったさ。			
t'a:cinuti	ッターチヌティ	[句]	昔86
両手 (二つの手)。			
t'aN	ッタン	[形]	沖 I
近い。			
t'aNkuramai	ッタンクラマイ	[名]	沖I
(植) 稲の一種。一つの田に、実っているものと生のものがある稲。			
t'aNmai	ッタンマイ	[名]	素204
2人が1つの食器で食事すること。1つの容器でかわるがわる食べたり飲んだりすること。			
t'aNtiN	ッタンティン	[句]	沖M
…たとしても。…でも。過去の助動詞 t'a に接続助詞 NtiN の付いた形。uNninu kutu k'anutaNtiN NsaN; こんなことを聞かなくてもよい。nuNni dumitaNtiN bagaranuN; どんなに読んでもわからない。(T) uNni NtaNtin NsaN; こんなに言っても良い。(T)			
t'abami	ッタバミ	[名]	T
(地) タバミ村落名。比川村は最初、イリビ (発祥の地) からここに移動した。			
t'abuN	ッタブン	[動] 1D型	生
覆う。			
t'abusu	ッタブス	[名]	こ73
(道などの) ぬかるみ。			
t'acimata:	ッタチマター	[名]	民
<古> 齒鋏 (二本歯)。			
t'adi	ッタディ	[名]	生
下の方。			
t'agata*	ッタガタ	[名]	A 13
田の名。			
t'agi	ッタギ	[名]	6
滝。			
t'agijamana:su*	ッタギヤマナース	[名]	A 44

田の名。			
t'aga	ツタカ°	[名]	昔178
双子。t'agu とも言う。			
t'agu	ツタク°	[名]	こ50
双子。t'aga とも言う。			
t'ai	ツタイ	[名]	5
額。t'aitai; 母親が子供の額に、自分の額をつける時にいう。			
t'ai	ツタイ	[名]	6
二人。			
t'ai	ツタイ	[名]	T
竹を燃やすたいまつ。			
t'akusiNki:	ツタクシンキー	[名]	3
酒造用こし器。			
t'amami*	ツタマミ	[名]	A 30
田の名。			
t'amata	ツタマタ	[名]	6
ふたまたにわかれていること。。			
t'amiruN	ツタミルン	[動]	6A型 t'amjaN 2
教える。			
t'anaNka	ツタナンカ	[名]	8
十四日忌。			
t'anaga	ツタナガ	[名]	昔78
…中。…のあいだ。tabini bu:ru ta:nagaja; 旅行している間。			
t'ani ?	ツタニ	[名]	6
こう丸。			
t'ara	ツタラ	[名]	生
下。			
t'aruamiti	ツタルアミティ	[名]	5
近道。			
t'ataisabai	ツタタイサバイ	[名]	昔28
あたりさわり。			
t'atibata	ツタティバタ	[名]	1 5
織り始めの部分で「織りつけ」のこと。			
t'atihita*	ツタティヒタ	[名]	A 54
田の名。			
t'atuNti	ツタトゥンティ	[名]	生

来月。			
t'i	ッテイ	[名]	生
月。			
t'i	ッテイ	[名]	沖I
耕作用農具。土を堀おこす道具。今から百年ないし百二十年前の道具と言われている。			
t'i	ッテイ	[名]	T
舟の出入口。			
t'i	ッテイ	[名]	8
間引き。			
t'i	ッテイ	[辞]	1 0
小さいもの、可愛いものの意を表す接尾辞。			
t'i	ッテイ	[名]	N 141
口。t'ibuni とも言う。			
t'i:kanai	ッティーカナイ	[名]	8
口達者なこと。t'iganaimunu; (言葉で) はむかう者。おしゃべりな人。			
t'i:kubai	ッティークバイ	[名]	昔121
口がこわばること。寒かったり、ビックリしたりして、何も言えないこと。			
t'i:muNdu	ッティームンドゥ	[名]	8
口げんか。			
t'iN	ッティン	[助]	沖M
…ても。逆接を表わす接続助詞。k'attiN utuganinu; 捨ててもおけない。udugitiN ugitatiti NsimiruN; 失敗しても起き上がってみせる。nukuN ataNtiN aga isi c'ariruN; 何があっても私がしてあげる。(T) t'aNtiN, at aNtiN 参照。			
t'ibaja	ッティバヤ	[名]	沖I
根がそろっていない苗束。			
t'ibaruN	ッティバルン	[動] 5A型 t'ibaraN	T
吹き払う。miNtimunu t'ibara; 目に入ったごみを吹き払いなさい。			
t'ibukura	ッティブクラ	[名]	1
すぐ膨れっ面になる人。			
t'ibuni	ッティブニ	[名]	生
口。t'i: とも言う。			
t'ibuta	ッティブタ	[名]	生
口の大きな人。			
t'iganaci	ッティガナチ	[名]	生
月の尊称。			
t'igurisa*	ッティグリサ	[副]	昔130

早速。t'igurisa sikuN ki; 早速その準備をし…。

t'ikiruN	ッティキルン	[動]	6A型 t'ikjaN	生
取り除く。引っ込める。				
t'inuagai	ッティヌアガイ	[句]		こ25
月明り。				
t'inuhirai	ッティヌヒライ	[句]		こ13
御世辞。口だけの交際。				
t'inukadai	ッティヌカダイ	[句]		8
口臭。口の臭い。				
t'inumunu	ッティヌムヌ	[句]		1 0
月の物。月経。t'inumunu simaN; 月経が終った。				
t'irugai	ッティルカ°イ	[名]		1 6
御馳走を保管しておく籠。				
t'itiNganaciugami	ッティティンガナチウカ°	[名]		生
ミ				
旧暦8月15日の月見。				
t'itukaN ?	ッティトゥカン	[名]		S 31
ひとつかみ。c'uridu mainici titukaNna numamairusai; 薬を毎日手いっぱいづつ飲まさせるサネ。(S31) 有気か。無気か。				
t'iugaN	ッティウカ°ン	[名]		2
ッティ（口港）という所の拝所。				
t'iuruN	ッティウルン	[動]	4A型	T
細かく刻む。uruN とも言う。				
t'jajiruN	ッチャキ°ルン	[動]	6A型 t'jajjaN	T
<古>叫ぶ。				
t'u	ットゥ	[助]		沖M
…と。並列・共同等を表わす格助詞。kusiNkitu ucitu irai ku;; 蒸籠と臼とを借りて来い。kanu t'utu tuba taN; あの人と会った。(T)				
t'u	ットゥ	[助]		沖M
…すると。仮定を表わす接続助詞。uNni aranutu mutija niraninuN; そうでないと餅は煮られない。Ndatu an utu ma:duN hiranutu naranu; 君と私と一緒にいかないといけない。(T) kaganutu naranuN; 書かないといけない。(T)				
t'u	ットゥ	[名]		T
人。				
t'u	ットゥ	[名]		T
1。t'uci; 一つ。				

t'u:N	ットゥーン	[副]	T
全然。まったく。huganu t'uNki t'u:N NdiburanuN; 他のひとには全然言っていない。			
t'u:masai	ットゥーマサイ	[名]	こ39
出色。他より優れている事。			
t'u:tagu	ットゥータグ	[名]	5
人風。			
t'u:ti	ットゥーティ	[名]	沖I
苗束の数え方 (1)。片手にいっばいつかめる程の苗束。			
t'uN t'uN	ットゥンットゥン	[副]	1
＜擬＞ズキンズキン。トントン。t'uN t'uN ki dami; ズキンズキンし痛い。			
t'uNcaimunu	ットゥンツァイムヌ	[名]	続18
あわてん坊。			
t'uNɟuda	ットゥンク°ダ	[名]	T
田の名。人升田、1 升田と宛てる。人口制限のため、この田に入れなかった者は殺したという伝説がある。			
t'uNnadati	ットゥンナダティ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
t'uNnuda*	ットゥンヌダ	[名]	A 29
田の名。			
t'ubagaci	ットゥバガチ	[名]	8
一升 (酒の場合)。			
t'uci	ットゥチ	[名]	昔50
一緒。biNgatu uNkaraja tucinaiti burutasi; 男とそれから一緒になっていると。			
t'uda*	ットゥダ	[名]	A 23
田の名。			
t'udama	ットゥダマ	[名]	生
人だま。青白く尾を引いて飛ぶ火。これが出た家からは近いうちに死人が出ると言われている。			
t'udiNmaja	ットゥディンマヤ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
t'udimaja*	ットゥディマヤ	[名]	A 29
田の名。			
t'ugara	ットゥガラ	[名]	T
人柄。			
t'ugui	ットゥグイ	[名]	T
一声。少しの言葉。t'uguiNtuN minutaba; 一声もなかったので…。(昔2)			

t'uguruti	ットウグルティ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
t'uhaNnani	ットウハンナニ	[名]	1
単衣の着物。			
t'uhaNsiicibugu	ットウハンシイチブグ	[名]	生
石敢当。人をはずす石の意。足をはずす石、真物をのける物とも表現する。道路の突き当りは魔物が来やすいので、これを置いておく。			
t'uhagaidagu	ットウハガイダグ	[名]	T
(昆) 虫の一種。シャクトリムシのようにして歩く虫。			
t'uhaiti	ットウハイティ	[名]	1 0
さざなみ。musaiti とも言う。			
t'ui	ットウイ	[名]	こ5
1 人。t'aiNtu; 2 人。mi:taiNtu; 3 人。du:taiNtu; 4 人。guniN; 5 人。dukuniN; 6 人。hitiniN; 7 人。hatiniN; 8 人。kuniN; 9 人。duniN; 1 0 人。			
t'uimunu	ットウイムヌ	[名]	T
一人者。年を取っているのに、まだ結婚していない人。あるいは、一人っ子など。			
t'uiti	ットウイティ	[名]	昔82
一息。t'uiti kitigara; 一息ついてから。			
t'ujuru	ットウユル	[名]	こ6
一晚。			
t'ujurugumi	ットウユルグミ	[名]	2
一夜籠り。家族、親戚などが、死者の回りで一晚を明すこと。			
t'ukabaimunu	ットウカバイムヌ	[名]	続26
一風変わった者。			
t'ukata	ットウカタ	[名]	こ6
一方。			
t'umacinasi	ットウマチナシ	[名]	沖I
一つの田にすること。二つ以上の小さな田の畦を取り去って一つの田にすること。			
t'umaru	ットウマル	[名]	昔124
廻り。周囲。kamadutinu t'umaru; かまどのまわり。			
t'umiti	ットウミティ	[名]	1 6
ひとすじ。			
t'umuduci	ットウムドゥチ	[名]	昔172
一度。t'umuruci とも言う。			
t'umuruci	ットウムルチ	[名]	1 5
一度。t'umuduci とも言う。			

t'umuti	ットウムティ	[名]	T
朝。			
t'umutuici	ットウムトウイチ	[名]	A 61
(地) 海岸名。祖納と久部良の間にある海岸。末尾の地図参照。			
t'umutumaci	ットウムトゥマチ	[名]	続26
一本松。			
t'unami	ットウナミ	[名]	昔79
人並み。			
t'unja	ットウニヤ	[名]	こ115
よその家。t'unu(人の)+ja(家)の熟合した形。			
t'unuNbiuimunu	ットウヌンビウイムヌ	[句]	7
いつも友の後を追うて歩く者。夜遊び(夜ばい等)の見習いとして先輩について歩く者。 kadaNku uitu とも言う。			
t'unukata	ットウヌカタ	[句]	続169
人形。			
t'unumagiri	ットウヌマガリ	[句]	昔180
全ての人。人々。			
t'ununa	ットウヌナ	[句]	T
人の名。姓名。単に na とも言う。			
t'usati	ットウサティ	[名]	T
人の先。t'usati munanukutu; 人より先に物言わぬこと。(昔13) t'usatini ku: kutu; 人より先に 来ること。(昔223)			
t'usatini	ットウサティニ	[副]	昔13
人先に。人より先に。t'usatini tuNdina; 人より先に飛び出るな。			
t'usatiujubi	ットウサティウユビ	[名]	T
人さし指。			
t'uta:*	ットウター	[名]	黒65
頭にできる皮膚病。			
t'utu	ットウトウ	[名]	生
(魚) ハリセンボン。フグの一種で、からだじゅうに針がある。			
t'uuci	ットウウチ	[名]	生
牛の一種。数頭の牛を並べて耕す時、回転する側につなぐ牛。			
ta-kiruN	タキルン	[動] 6A型	生
田を耕す。			
ta:	ター	[名]	T
誰。uja ta:gaN naruN; これは誰でも出来る。			

ta:	ター	[名]	N 145
田。			
ta:N	ターン	[連語]	T
誰も。ta: (誰) + N (も)。ta:N kunuN; 誰も来ない。			
ta:Nmi	ターンミ	[名]	沖I
田踏み。牛の首を数珠つなぎにし、一番内側の牛に手綱をかけ、数頭の牛に踏ませる。終戦の翌年まで行われた『稲作文化－照葉樹林文化の展開』(上山春平・渡部忠世編) 参照。			
ta:amarasi	ターアマラシ	[名]	沖I
何度も田を耕すこと。何度も耕すことによって、より良い収穫を得ることができる。			
ta:bi	タービ	[名]	生
田植え。			
ta:bihadimai	タービハディマイ	[名]	沖I
田植えの始まり。			
ta:dunu*	タードゥヌ	[名]	植98
(植) ノジアオイ<アオギリ科>。			
ta:gunaruN*	ターグナルン	[動] 2A*	1 5
親密になる。inuN tagaini aruditu ta:gunai; 犬も互いに主人と慣れ親しんでいる中に。(昔28)			
ta:hju:ri	ターヒューリ	[名]	T
十千。			
ta:kasi	ターカシ	[名]	沖I
(牛でクラブをひっぱったりして) 田を耕すこと。			
ta:kasidama	ターカシダマ	[名]	民
すき (農具)。馬に引かせる鋤。			
ta:kisi	ターキシ	[名]	沖I
人力で田を耕すこと。			
ta:kudi	タークディ	[名]	沖I
新しく田を開墾すること。			
ta:ma*	ターマ	[名]	植127
(植) エゴノキ<エゴノキ科>。			
ta:mi	ターミ	[副]	1 5
たくさん。kabiNta: ta:mi dusi sitiija; 紙切れも拾い集めて。(昔67) batacanuNki ta:mi haiti; たらふく食べて。(昔149)			
ta:mu	ターム	[名]	沖I
(植) 田草の一種。			
ta:muda	タームダ	[名]	T

(植) イモの一種。和名不明。タイモあるいはミズイモのことであろう。田に生え、除草するのに苦勞する。

ta:musa タームサ [名] 続214

(虫) ミズスマシの一種。田の上で円を描きながら動く。蠅ぐらいの大きさで黒い。

ta:nanigaci ターナニガチ [名] S 15

誰がし。だれそれ。

ta:riruN* ターリルン [動] 6A*型 ta:rjaN* 昔27

すっかり…する。niNdi ta:ri gara; 寝静まってから。

taN タン [名] T

注意。taN kiri; 注意しなさい。

taN タン [名] こ48

炭。

taNci タンチ [名] 続138

たんす。

taNdara タンダラ [名] こ48

炭俵。

taNdati タンダティ [名] 5

炭焼き。

taNdi タンディ [名] S 27

お願いすること。taNdi dudiN; どうかお願いします。

taNgasa* タンガサ [名] 植80

(植) ヒマ<トウダイグサ科>。taNgasa 参照。

taNgirigiri タンギリギリ [名] 2

<擬>猫のいびきの様子。猫のゴロゴロと喉を鳴らす様子を言う。

taNgasa タンカ°サ [名] 4

(植) ナンキンハゼ<タカトウダイ科>。飛行機の燃料につかった。taNgasa 参照。

taNka (1) タンカ [名] T

真向い。拝むべき方向に向うことをタンカをとるという。

taNka (2) タンカ [名] 生

誕生日。誕生日の祝い。

taNkadi タンカディ [名] T

(昆) ヤゴ。トンボの幼虫。大きなトンボになる幼虫は田に居り、かむことがある。

taNki タンキ [名] 生

嫉妬。喧嘩。

taN-kiruN* タンキルン [動] 6A*型 1 5

なだめる。

taN-kiruN*	タンキルン	[動]	資204
用心する。ara:gu taNki susanu; あまりに用心し過ぎる。			
taNna	タンナ	[名]	T
(昆) ダニ。牛によく居る。			
taNna	タンナ	[名]	生
(貝) マルタニシ。			
taNtaNburu	タントンプル	[名]	無45
<文> (地) 比川のこと。石垣の民謡「タカナ節」のに出てくる語。比川の人が、「サンサブルーに…」を「タントンプルブルーに…」と替え歌したと言う人もいる。			
tabai	タバイ	[辞]	沖I
刈った草・稲を数える助数詞。t'utabai は t'u:ti の 2 倍にあたる。両手でつかめる程度の量。			
tabakubuN	タバクブン	[名]	民
たばこ盆。灰皿。			
tabarariruN	タバラリルン	[動] 6A*型	T
いただく。「飲む」・「食べる」の謙譲語。anu tabarariruN; 私、いただきます。(食事をする時の丁寧な言葉)。			
tabaruN	タバールン	[動] 2A型	生
賜る。下さる。tabaiwaru juNgara; 下さるのだから…。(昔113) tabarariru; 頂きましょう。			
tabigui	タビグイ	[名]	こ49
別。旅に行く人にあげる酒。			
tabikuba	タビクバ	[名]	昔141
(暴風などの) 旅の災い。			
tabinutu	タビヌトゥ	[名]	T
移住者。旅の人。			
tabiragusa*	タビラグサ	[名]	植191
(植) ヒデリコ<カヤツリグサ科>。			
tabisitagu	タビシタグ	[名]	こ120
旅仕度。			
tabubugusa*	タブブグサ	[名]	植167
(植) ツクシメナモミ<キク科>。			
tabugu	タブグ	[名]	T
煙草。			
tabuguN	タブグン	[動] 1B型 tabutjaN	1
たたむ。tabugi;; たため。			
tabuguiju	タブグイユ	[名]	沖T
(魚) ヒレナガハギ。タバコのような味がすることから命名。			

taburu	タブル	[名]	A 8
(地) 田原西保。			
taburugaN	タブルカ [°] ン	[名]	7
田原川の上流にある水の神を祭る御願所。			
taburuka	タブルカ	[名]	こ 19
田原川。			
tabusa	タブサ	[名]	1 2
百姓。hjagusu とも言う。			
tabusiruN*	タブシルン	[動] 6A型 tabusjaN	昔59
蓋をする。tabusi; 蓋をして。			
taci	タチ	[名]	T
辰 (十二支の一つ)。			
taciNnani	タチンナニ	[名]	1
外出着。			
tacitaci	タチタチ	[慣]	5
<幼>立つ。立つ。幼児を立たす時の言葉。			
tadaN	タダン	[動] 3A型 tadasjaN	8
ただす。imi tadai; 意味をただしなさい。(S62)			
tadagutu	タダグトゥ	[名]	昔16
只ごと。tadagutu aranuN; 只ごとではない。			
tadai	タダイ	[名]	T
たたり。			
tadama	タダマ	[名]	昔95
急。只今。tadamasi; みるみるうちに…。			
tadamada:mi	タダマダーミ	[名]	昔177
急病。butu ja tadamada:miti Nniminutaba;; 夫が急病になり、死んでしまったって。			
tadamani	タダマニ	[副]	昔18
たちまち。tadamani rju narariru juNgara; いますぐに龍になれるから…。(昔101)			
taduruN	タドゥルン	[動] 2B型 tadwaN	T
たどる。たずねる。			
taga	タガ	[名]	こ 53
(動) 鷹。			
taga:	タガー	[名]	こ 53
丈 (たけ)。			
tagaN	タガン	[形]	生

高い。utuni tagaru hana; 名花。音に名高い花。(こ99) ututagaN; 評判高い。(16)			
tagaNtubja	タガントゥビャ	[名]	続132
凧。tagu とも言う。			
tagaciN	タガチン	[名]	生
(植) ナミモロコシ<イネ科>。			
tagahata	タガハタ	[名]	3
高機。			
taganaduju	タガナドゥク°	[名]	生
がん。棺を納め墓まで運ぶ道具。死者の近い親戚の者8人でかつぐ。			
tagara	タガラ	[名]	こ31
<新>宝。財宝。			
tagaraNdinaga	タガランディナガ	[名]	T
色々の土が混じった土。tagarudi とも言う。			
tagarudi	タガルディ	[名]	生
各種の土が混ざった土。田植えはしにくい、手入れをすれば、水の減るのが遅くなり、良い田となる。			
tagasaN	タガサン	[名]	生
竹馬。2本の竹竿に足がかりを作り乗って遊ぶもの。			
tagi	タギ	[名]	4
拝所。嶽。			
tagi	タギ	[名]	T
(植) タケ<イネ科>。			
tagi	タギ	[名]	昔16
丘。			
tagi	タギ	[名]	無164
岳。			
tagiNma	タギンマ	[名]	生
竹馬。竹を股にはさみ、ひもをつけて遊ぶ物。			
tagidama	タギダマ	[名]	3
竹藪。「竹山」の意。			
tagiduN	タギドゥン	[名]	T
(地) 竹富。			
tagigiti*	タギキ°ティ	[名]	植104
(植) タイワンコスミレ<スミレ科>。			
taginuNpa	タギヌンパ	[名]	生
(植) タケノコ<イネ科>。			

tagisimuduN	タギシムドゥン	[名]	7
竹の涼み台。夏木や石垣を利用して大名竹で編んで、つくった床。			
tagu	タグ	[名]	沖T
(動) マダコ。一般に見られるタコで、昼行動する。			
tagu	タグ	[名]	7
珙。tagaNtubja とも言う。			
tagu	タグ	[名]	昔209
蛸。			
taguraN*	タグラン	3A型*	資196
皮膚をただらす。ti: duNti tagurasi minuN; 手をやけどして皮膚がただれてしまった。c'urisi tagurasjaru; 薬でただらした。			
tagurabi	タグラビ	[名]	昔120
企み。kurumi とも言う。			
taguriruN	タグリルン	[動] 6A型 tagurjaN*	素196
皮膚がただれる。やけどなどで皮膚がくずれる。taigu tiati kiranutu taguriruNdu; はやく手当をしないとただれるぞ。			
tagaN	タカ°ン	[動] 3A型	T
たがわす。han tagasidu buru; 足をたがわしている。			
tagasi	タカ°シ	[名]	こ76
捻挫 (ねんざ)。			
tagatamani*	タカ°タマニ	[名]	A28
田の名。			
tagati*	タカ°ティ	[名]	A21
田の名。			
taguruN	タク°ルン	[動] 2B型 tagwaN	生
たぐる。			
tahugani*	タフガニ	[名]	植74
(植) グミモドキ<トウダイクサ科>。			
taida:*	タイダー	[名]	植60
(植) コメツブウマゴシ<マメ科>。			
taigu	タイグ	[副]	昔172
早く。急いで。hajagu とも言う。			
taikukuziN*	タイククジン	[名]	昔8
大国人。			
tainaNpu:	タイナンプー	[名]	T
<移> (植) パイナップル。			

taiwandaki*	タイワンダキ	[名]	植174
(植) ダイサンチク<イネ科>。比川の方言。			
taja	タヤ	[名]	生
力。cigara とも言う。			
taja	タヤ	[連語]	昔16
…たら。過去の助動詞 ta に接続助詞 ja が付いた形。udugumitaja; 埋めたら。Ndaga katitaja anuja kaganuN; 君が書いたら、私は書かない。			
taja	タヤ	[名]	こ85
蚩。			
tajaN	タヤン	[動] 3A型	T
絶やす。			
tajuruN	タユルン	[動] 2B型 tajuN*	1 5
頼る。			
takaNna*	タカンナ	[名]	植178
(植) チゴザサ<イネ科>。			
takadiN	タカディン	[名]	T
高膳。			
takasi	タカシ	[名]	9
案山子。			
taki*	タキ	[副]	昔46
…まま。ititaki; 生きたまま。			
takiNda	タキンダ	[名]	昔285
<古>脱穀具。			
takiraN*	タキラン	[動] 6A型* takirasjaN*	T
あおる。けしかける。t'u takirasi naranu; 人をけしかけて困る。(素194) ara:gu t'u takiraNna; あまり人をせきたてるな。(素194)			
takiruN	タキルン	[動] 6A型 takjaN	昔202
(火を) つける。たきつける。kwaru kiNki ta:ki kakumaikidu; 固い木に、たきつけて保存して…。(昔202) c'i: takjaN; 火をつけた。kamadunu c'i takirun; かまどの火をたきつける。(資194) (参) 今帰仁方言 te:sikiruN。			
takisipagai	タキシパカ°イ	[名]	沖I
鉄製の鋏。			
takubu*	タクブ	[名]	植171
(植) マルミスブタ<トチカガミ科>。			
takui	タクイ	[名]	こ53
類 (たぐい)。			

takuruN*	タクルン	[動] 2B型*	素194
…したくる。動詞の連用形について荒々しく動作する意を表す。huNtakuruN; 踏みつける。			
tama	タマ	[名]	生
共同でとった魚の分け前。			
tamaNkunuci	タマンクヌチ	[名]	歴135
浦野御嶽の神名。			
tamaci	タマチ	[名]	4
魂。知恵。tamaci aḡae; 知恵があるね。			
tamaci	タマチ	[名]	昔164
試し。			
tamacinuNgi	タマチヌンギ	[名]	続74
虚脱。			
tamacisagabi	タマチサガビ	[名]	生
知恵のない人。			
tamahati	タマハティ	[名]	T
玉祭の時の神々の舞。踊りの時に使う櫛に付いた玉にも言う。			
tamai*	タマイ	[名]	こ88
まっすぐ。tamai hanasi kirijo; (横にそれず) まっすぐ話さない。			
tamaicibugu	タマイチブグ	[名]	3
硬い石。			
tamamaciri	タママチリ	[名]	T
玉祭。祖納祭と同じ日に神器が伝わっている家の主婦が、それを祖納部落の大俣屋に持ち寄り、司と共に踊る。			
tamana	タマナ	[名]	T
(植) キャベツ。			
tamanadi	タマナディ	[名]	3
風。古謡の中にある表現。現在は全く使われていない。			
tamaruN	タマルン	[動] 2A型 tamaN*	3
溜まる。			
tamaugi	タマウギ	[名]	民
箱眼鏡。魚を捕る時に使う道具。箱の底がガラスになっているもの。			
tami	タミ	[名]	1 5
…のため。nunu tamini iruḡa; 何のためにやるのか。			
tamicimai	タミチマイ	[名]	昔183
緊張。心用意。			
tamiruN	タミルン	[動] 6A型 tamjaN	5

溜める。

tamiruN	タミルン	[動] 6A型 tamjaN	昔129
ねらう。dunu tuNki tamiti dumiNgasi haratasi; 自分の妻に狙って一発放つと…。			
tanaNturi	タナントゥリ	[名]	昔264
種取り祭。旧十月始め頃、各家で行なう。稲作の苗代に苗の成育を祈る祭事。			
tanaci	タナチ	[名]	T
司が着る白衣。麻製で副木の皮の染料でうすい黄色に染めている。			
tanadi	タナディ	[名]	3
平坦な土地。			
tanaga	タナガ	[名]	T
(離れているものの) 間。			
tanaita	タナイタ	[名]	1
ふなべりに付ける板。波が入らないために付ける。			
tanani	タナニ	[名]	生
竹で編んだ食器棚。			
tanati	タナティ	[名]	5
遊戯の一種。「小さな棚」の意。手ばしご。2人で手を組みはしごをつくり、その上に人を乗せる。tanati koikoi hikoikoi と言って競争する。			
tanati	タナティ	[名]	生
すずみ台。			
tani	タニ	[名]	T
種。砂糖キビの頂上の芯にも言う。			
tani	タニ	[名]	T
嫡子。			
tani	タニ	[名]	続79
るいれき。首のリンパ腺にできる慢性のはれもの。ぐりぐり。			
tani:	タニ	[名]	昔184
血族。tani:nu utuda; 血のつながった兄弟。腹違いの兄弟のことも言う。			
tanigata	タニガタ	[名]	生
父方の血統。6代までが親戚で、それ以上は他人となる。			
tanikumi	タニクミ	[名]	沖I
種粃を包むこと。昭和20年頃まではクバの葉に包み、現在の麻袋の役割をした。			
tanimai	タニマイ	[名]	沖I
種粃。			
taniurusi	タニウルシ	[名]	T
種おろし。			

tanuca	タヌツァ	[名]	沖I
(植) 田草。			
tanumuN	タヌムン	[動] 1D型 tanumjaN	3
<新>頼む。tarumuN とも言う。			
tanusui	タヌスイ	[句]	沖I
畦。田んぼのそばの意。			
tara	タラ	[名]	T
俵。			
taraduna	タラドゥナ	[名]	昔141
俵で納める税。米の税。			
taraguti	タラク°ティ	[名]	生
3斗2升入りの俵。			
taraiti	タライティ	[名]	7
えくぼ。			
tarama	タラマ	[名]	T
(地) 多良間。			
taramahana	タラマハナ	[名]	3
(植) ベニバナ<キク科>。赤い染料をとる。tarumahana とも言う。			
taramujai	タラムヤイ	[名]	T
俵模合。家を作ったりする時に持ち回りで米を何俵か持って来るもの。			
tariNgu	タリング	[名]	生
(植) ソテツの実。			
tarimunu	タリムヌ	[名]	8
家畜の餌。芋の皮、豆腐のかすなどでつくったもの。			
tariruN (1)	タリルン	[動] 6B型 taruN	生
垂れる。amadaigara ami taridu buru; 軒先から雨が垂れている。			
tariruN (2)	タリルン	[動] 6A型*	T
すっかり…する。…しつぶれる。bi:tariruta dwai kiti; 酔いつぶれるまで、祝いして…。			
(昔126) dunai kiranuNki niNdi taritaba; 身動きできないほど、寝込んだので…。(昔127)			
taru	タル	[助]	昔202
強意の係助詞。kuNnitaru nataNsuja; こんな事になるなんて。			
taruN	タルン	[動] 2A型 taN*	4
足る。			
tarugaN	タルガン	[名]	沖T
(動) 田んぼのエビ。taruga (続40)。			
tarumahana	タルマハナ	[名]	1 5

(植) ベニバナ<キク科>。赤ん坊の入浴剤に用いる。taramahana とも言う。

tarumai タルマイ [名] 3

(地) 樽舞。与那国町内の字名。比川村が2度めに、t'abami から、移動したところ。

tarumi タルミ [名] 沖T

(魚) フェフキダイ科の魚の総称。体は楕円形で平たく、褐色の斑紋がある。

tarumuN タルムン [動] 1D型 生

頼む。tanumuN とも言う。

tasi タシ [名] 続95

裁断すること。Nnanidu tasi buru*; 着物を裁断している。(続95)

tasi タシ [連語] 昔156

…したら。ta (過去の助動詞) + si (接続助詞)。nuNdikaja:Ndi matutasi; なぜかなーと待っていると…。

tasikamiruN タシカミルン [動] 1D型 T

<新>確かめる。

tasikaruN タシカルン [動] 2A型 tasikaN 1

助かる。

tasikiruN タシキルン [動] 6A型 tasikjaN 生

助ける。

tasuN* タスン [動] 1D* 資198

裁つ。断つ。裁断する。ija Nnani hajagu tai; お父さんの着物を早く裁ちなさい。wanu niku mici duciNkitasi utugi; 豚の肉を3つ4つに切っておけ。

tataciruN タタチルン [動] 6A型 tatacjaN 生

なぐる。たたく。musu tataciri; むしろを叩きなさい。ma: tatacjaN; もう、叩いた。

tatagaN タタガン [名] 歴121

(地) 立神。与那国町内の字名。

tatakuN タタクン [動] 6A* tatatjaN 昔30

叩く。sikuN, tataciruN 参照。

tatakumiruN タタクミルン [動] 6A型 tatakumjaN N 109

突っ込む。haN tatakumiti; 足を突っ込んで。

tatakumuN* タタクムン [動] 1D型 tatakumjaN 3

ぶちこむ (おしこむ)。

tatakuruN* タタクルン [動] 2B* tatakuraN* 昔219

叩く。叩き殺す。Ndi tatakurutaba;; …と叩いたので…。

tatami タタミ [名] T

畳。

tatami* タタミ [名] 昔196

出世。magiranuNki tatamidu kirariruNdi; 負けずに出世できるように。				
tataruN*	タタルン	[動]	2A*	昔12
崇る。				
tati	タティ	[名]		T
縦。				
tati	タティ	[名]		生
肝臓。那覇方言で taki:ma:mi という。				
tati	タティ	[名]		昔166
生活。暮らし。i: tati ki igiju; 幸せな暮らしをなさ。 (昔218) barasaru tati kiNnaju; 悪い暮らしをするなよ。Nsaru tati kibuN; 良い暮らしをしている。(T)				
tati*	タティ	[名]		1 5
成功。tatitaN; 成功した。				
tati:ha:	タティーハー	[名]		昔91
暮しぶり。				
tatidai	タティダイ	[名]		生
盃を置く台。				
tatigami*	タティガミ	[名]		歴2
<古>立神岩。頓岩。				
tatiŋaN	タティカ°ン	[名]		3
立神岩。				
tatiŋari	タティカ°リ	[名]		続66
立ち枯れ (枯れ木)。				
tatikai	タティカイ	[名]		昔168
やり直すこと。				
tatikasi	タティカシ	[名]		3
経糸。				
tatiruN	タティルン	[動]	6A型 tatjaN	4
立てる。tatiri; 立てなさい。				
tatiusai	タティウサイ	[名]		生
祭の時、神に捧げる御馳走。かまぼこ、粉菓子、焼肉等を一定の長方形に切り、皿に立てて盛り上げた物。中央はハイビヤクシンを立てて飾る。				
tatuN	タトゥン	[動]	1D型	生
立つ。				
teNkuteNku	テンクテンク	[慣]		5
<幼>太鼓の音。幼児に踊らせる (手をクルクル回させる) 時にいう言葉。				
teramaci*	テラマチ	[名]		A 57

田の名。

ti	ティ	[助]	T
…て。…して。単なる接続を表す接続助詞。tuiti kuN; 取って来る。muti ku;; 持って来い。			
ti:	ティー	[名]	T
手。tiNda とも言う。			
ti:*	ティー	[副]	昔218
急いで。ti: si;; 大急ぎで来て。			
ti:anadiru	ティーアナディル	[名]	3
くつわ。藁で編んだもの。t'iaNdiri; 馬の口にはめて、馬が稲などを食べないようにするもの。			
ti:ma:*	ティーマー	[名]	N 127
手間。			
ti:nai	ティーナイ	[名]	沖I
苗の一種。植えやすいようにt'utabai (一束) の苗をt'utiに分けた残りの苗。t'uti 参照。			
ti:narai	ティーナライ	[名]	こ39
修業。習い事。tisimi; 学問の修業。			
ti:sagu	ティーサグ	[名]	8
手尺。手で寸法を計ること。約5寸。			
ti:tarai	ティータライ	[名]	9
臨月。月が足ると言う意。na:ti とも言う。			
ti:tati	ティータティ	[名]	生
月の第一日。ついたち。			
ti:uburu	ティーウブル	[名]	民
(水汲み用) 柄杓。			
ti:usasi	ティーウサシ	[名]	T
手を合せる事。合掌。			
ti:uti	ティーウティ	[名]	沖I
苗を少なく植えること。苗は4・5本植えるのが適当だが、この場合1・2本植えたものを言う。			
tiN	ティン	[名]	T
空。			
tiN	ティン	[副]	昔80
すぐ。ただちに。nainu tiN tuNdiri; 今すぐ出ていってくれ。			
tiNcida	ティンチダ	[名]	沖I
天水田。どこからも水が引けず、田に溜った雨水だけを利用して作る田。「稲266」参照。			
tiNda	ティンダ	[名]	T
手のひら。tinubata とも言う。			

tiNdabana	ティンダバナ	[名]	T
<古> (地) 陰座鼻。天蛇鼻。tiNdahanata, tiNzjabana とも言う。			
tiNdagi	ティンダギ	[名]	生
夕焼け。			
tiNdahanata	ティンダハナタ	[名]	歴2
<古> (地) 天蛇鼻。与那国の名所の1つ。tiNdabana, tiNzjabana とも言う。			
tiNdai tiNdai	ティンダイ ティンダイ	[名]	1 6
ゆらりゆらり。su:ja tiNdararitidu suru; 今日揺られて来た。車にゆられている状態。			
tiNdanubata*	ティンダヌバタ	[名]	黒61
手のひら。tinubata とも言う。			
tiNdisajiruN*	ティンディサキ°ルン	[動] 6A型 tiNdisanjaN	1 6
つり下げる。			
tiNdu	ティンドゥ	[名]	T
天井。			
tiNguN	ティンク°ン	[動] 1D型	生
繋ぐ。くくる。tiNguN とも言う。tiNdi sagi utuiti; しばって下げておいて。(N140) uci Nmaja nu:ni tiNdimama; 牛馬は野原に繋いだまま…。(昔135)			
tiNma	ティンマ	[名]	生
労働の報酬。仕事を手伝ってくれた人に、お金をあげる。あるいは、別な時に手伝ってくれたのと同じ期間手伝ってあげる。tima とも言う。			
tiNna:	ティンナー	[名]	1
帆の骨に付いた手縄。アダンのひげを使う。			
tiNnuburihuci	ティンスブリフチ	[句]	続15
天の川。ubuka とも言う。			
tiNpa	ティンパ	[名]	T
(昆) 虫の一種。ミミズの大きいような形をしており、土のやわらかい所に居る。黒色で、大きなものは長さ40cm、太さ直径4cm位ある。			
tiNsagu	ティンサグ	[名]	T
(植) ホウセンカ<ツリフネソウ科>。			
tiNtaikiagami	ティンタイキアガミ	[名]	続24
いたずらっこ。			
tibara	ティバラ	[名]	沖I
苗を束ねるわら。			
tibaru	ティバル	[名]	歴33
(地) ティバル。			
tidaN	ティダン	[名]	生

太陽。

tidaNami ティダンアミ [名] 生

天気雨。太陽が見えているのに降る小雨。

tidaNduguru* ティダンドゥグル [名] 歴62

(地)太陽所。祖納部落の中道付近の338番地がその場所に当たると言われ拝所になっている。

tidaNganaci ティダンガナチ [名] 生

太陽の尊称。

tidaNmagi ティダンマギ [名] こ72

日射病。

tidai ティダイ [名] こ45

進上。お祝いの時などにあげるお金など。

tidibi ティディビ [名] 生

拝所の世話役。祭の執行者でもある。部落の草分けの家の長男から長男に継承して行く。

tidimi ティディミ [名] 1 0

片づけ。

tiduguN ティドゥグン [名] 生

こぶし。げんこつ。tiduguN ku; なぐるよ。

tigagi ティガギ [名] 4

地鎮祭。

tiganai ティガナイ [名] 生

手伝い。

tigurisaN* ティグリサン [形] 1 6

手早い。tigurisa mi: Ndas; 手早く実を出し…。(昔73) tigurisa sikuN ki; 手早く支度して…。
(昔130)

tigusui ティグスイ [名] 1

釣糸。

tiguti ティグティ [名] 3

(植) シャリンバイ<バラ科>。染料の一種。材質硬く、木、槌の材とした。燃やすと火力が強い。

tigutiti ティグティティ [名] 沖1

満田原内の田の名。

tigara ティカ°ラ [名] 8

てこ (物を動かす時の棒)。

tigaraNkapaN ティカ°ランカカ°ン [名] 生

堤灯を上部につけた長い竿。野辺送りの時、先頭の者がこれを持って歩く。

tihuN ティフン [名] 昔113

手本。			
tija	ティヤ	[名]	生
(動)ナマコ。			
tijainaranuN	ティヤイナラヌン	[句]	昔53
手に負えない。inuga ti:du muraarasi muradunu tuNtaja tijainaranuNki; 犬が毎日村を荒すので、村中の人々は手に負えないで…。			
tikara kakarai	ティカラ カカライ	[副]	1 6
ぐずぐず。決めかねる。			
tikiNdaN	ティキンダン	[動] 3A型 tikiNdasjaN	昔73
引っぱり出す。maitaba tikiNdasiti; 稲束を引っぱり出して。(昔73)			
tikubai	ティクバイ	[名]	9
手がかじかむこと。			
tima	ティマ	[名]	こ58
賃金。tiNma とも言う。			
timunu	ティムヌ	[名]	生
薪。たきぎ。			
timuti	ティムティ	[名]	昔121
持ち物。			
tiniNsa	ティニンサ	[名]	沖I
植えるのが遅いこと。			
tinuaja*	ティヌアヤ	[名]	黒61
指紋。			
tinubata	ティヌバタ	[名]	生
手のひら。tiNda とも言う。			
tinucu	ティヌツ	[句]	1 6
手の垢。「続5」では愛用の道具となっている。			
tinugai	ティヌカ°イ	[名]	生
竹製のザルの一種。ふたが丸く、食物などを入れる。			
tinukubi	ティヌクビ	[句]	こ28
手くび。			
tinuuN*	ティヌウン	[名]	黒61
手首。			
tipa	ティパ	[名]	7
木槌。			
tipa	ティパ	[名]	こ129
腕白。damaNgu とも言う。			

tipu:iguN	ティプーイグン	[名]	1
＜新＞ゴム紐付きもり。			
tipu:sudi	ティプースディ	[名]	T
鉄砲袖。長くて、丸い袖。			
tiraN	ティラン	[動] 3A型 tirasjaN*	T
照らす。tidaNki tiraN; 太陽にてらす（あてる）。			
tirakuku	ティラクク	[副]	昔184
めちゃくちゃ。karaN tirakuku kaNdi; 髪を振り乱して。			
tiramai	ティラマイ	[名]	生
いたずら。			
tiriguNti	ティリグンティ	[名]	5
殴り勝負。子供の遊びの一種。手にタオルを巻き、殴り合う。tidiguN 参照。			
tiruN	ティルン	[動] 2A*	T
照る。Nnu tidan titaga suja tiranuN; 昨日、日が照ったが、今日は照らない。			
tisazi	ティサジ	[名]	1 2
＜移＞手ぬぐい。			
tisu	ティス	[名]	こ33
座持ち。座を盛り上げる人。			
tisu	ティス	[名]	こ36
手相。			
tiusuN	ティウスン	[動] 1D型 tiusjaN	T
手を合わす。拝む。			
tjukuNda ?	テュクンダ	[名]	ア
（地）チュクンダ。			
tu (1)	トゥ	[名]	続205
盆地。			
tu (2)	トゥ	[名]	稲280
（田などの局部的に）低くなった部分。			
tu:	トゥー	[名]	生
1 0。			
tu:	トゥー	[名]	生
＜古＞海洋。			
tu:	トゥー	[名]	8
唐。tu:nu kuni; 知らない国。			
tu:	トゥー	[感]	昔134

さあ。それ。気合いを入れる声。tu: ugaratisa*; さて、これだけか。(昔224)

tu:ba	トゥーバ	[名]	沖T
(魚) ヒラソウダくサバ科>。体がやや平たい。体色は黄色で黒い縦じまがある。			
tu:basu	トゥーバス	[名]	T
唐芭蕉。実を食べるために植える芭蕉。			
tu:ga	トゥーガ	[名]	T
十日。			
tu:ma:	トゥーマー	[名]	昔56
遠廻し。minugaga tugutunataba biNgaja tu:ma;; 女は落ち着きを取り戻した様子なので、男は遠廻しに…。			
tu:ni	トゥーニ	[名]	民
洗い鉢。木製の芋洗い用。			
tu:rika	トゥーリカ	[名]	T
とりかじ。船を左方向に進めること。			
tu:siNbai	トゥーシンバイ	[名]	生
おたふくかぜ。おたふくかぜでふくらんだ顔。			
tu:ta:	トゥーター	[名]	T
1 2。			
tu:ti:	トゥーティー	[名]	T
1 1。			
tu:tu:	トゥートゥー	[感]	3
鶏を呼ぶ時の言葉。			
tuN	トゥン	[名]	2
妻。			
tuN	トゥン	[名]	生
(紐状の細い) 帯。			
tuN	トゥン	[動] 4A型? tusjaN	T
通す。…しつづける。munumui ki tuNna; 物思いをしつづけるな。(S35)			
tuN	トゥン	[動] 4B型 tusjaN	T
倒す。			
tuNbjaN	トゥンビヤン	[名]	続160
(植) アオノリュウゼツラン<ヒガンバナ科>。麻に似た繊維が取れる。『植物方言集』によると、tubuが与那国方言らしい。tubuki 参照。			
tuNbutu	トゥンブトゥ	[名]	生
夫婦。mituda ともいう。			
tuNbutubagari	トゥンブトゥバガリ	[名]	2

離婚。

tuNbutumuNdu	トゥンプトゥムンドゥ	[名]	2
夫婦げんか。mitudamuNdu ともいう。			
tuNda	トゥンダ	[名]	生
三股のもり。首里方言の/tuza/、糸満方言の/tugja/にあたる。			
tuNdaNbu	トゥンダンブ	[名]	婚
東道盆。結婚式の時などに用いる盆。豚肉を主とする9品の入った重箱と、白米一斗分のひし形のもちの入ったふたつの重箱に、与那国花酒を添える。			
tuNdaku	トゥンダク	[名]	昔218
世話。t'uisi naru kagiri tuNdaku ki; 一人のできる限りの世話をし…。(昔218) minuga sika-matu agaminu tuNdaku; 女の仕事と子供の世話。(昔26)			
tuNdatuN*	トゥンダトゥン	[動] 1D*	昔184
飛び込む。hacigara t'aranu karaNki tuNdati; 橋から下の川に飛び込み…。			
tuNdi	トゥンディ	[名]	こ63
冬至。			
tuNdiruN	トゥンディルン	[動] 6A型 tuNdjaN, tuNduN	4
出る。飛び出る。da:gara tuNdiruN; 家から出る。			
tuNguci	トゥングチ	[名]	生
漁師の煙草入れ。枕にもできるように上部が曲っている。			
tuNkaN	トゥンカン	[動] 3A型 tuNkasjaN	2
ぶっつける。おしのける。			
tuNkaruN	トゥンカルン	[動] 2A型 tuNkaN	生
向かう。ujabi tuNkai NnuN; 上を仰ぎ見る。			
tuNki	トゥンキ	[名]	9
伝言。durai tuNk ; 集会の通知。			
tuNkiruN	トゥンキルン	[動] 6A型 tuNkjaN	昔170
言いつける。伝える。icimuciNtaNki tuNki; 動物達に言い聞かせて…。(昔224) tuNkiwaiti maisimunutaba; 訓戒されて亡くなったので…。(昔219) tu は有気?。			
tuNmai suN	トゥンマイスン	[句]	昔123
引き返してくる。			
tuNnuN	トゥンヌン	[名]	T
小太鼓。「唐鼓」の意。			
tubaru	トゥバル	[名]	A 7
(地) 桃原。与那国町内の字名。末尾の地図参照。			
tubaruN	トゥバルン	[動] 2A型 tubaN	4
出会う。tubaiduN とも言う。tubaiNdi hirun; 会いに行く。			

tubasidama	トゥバシダマ	[名]	沖I
米をよりわける農具。手で車を回し、粃をふき飛ばす。実のない米は外側に出ていき、実のある米は内側に落ちてくる。			
tubatai	トゥバタイ	[名]	1 6
渡海。			
tubi	トゥビ	[名]	生
クバの葉を編んで作った戸。			
tubidaN*	トゥビダン	[名]	歴106
<古>神経痛。			
tubidai	トゥビダイ	[名]	3
1 3・4 k g位の鰹。			
tubigiN*	トゥビギン	[名]	1 6
羽衣。素晴らしい着物。tubikiNとも言う。			
tubijju	トゥビユ	[名]	沖T
(魚) トビウオ。体が細く長い。			
tubikiN	トゥビキン	[名]	昔63
羽衣。素晴らしい着物。tubigiNとも言う。			
tubira*	トゥビラ	[名]	植48
(植) トベラ<トベラ科>。			
tubira*	トゥビラ	[名]	黒66
けいれん。			
tubja	トゥビヤ	[名]	昔13
噓。k'ásiとも言う。			
tubjadami	トビヤダミ	[名]	こ25
仮病。k'asidami、k'asidamaとも言う。			
tubjamunu	トゥビヤムヌ	[名]	1 6
噓つき。			
tubu	トゥブ	[名]	T
豆腐。節日には、豆腐を油で揚げた物が必ず出る。			
tubuN	トゥブン	[動]	1D型 tubjaN 生
飛ぶ。buduruN;跳ぶ参照。			
tubuki	トゥブキ	[名]	4
(植) サイザルソウ<ヒガンバナ科>。戦前、海辺に持って行って腐らし繊維を取り、ロープ、洋服を作った。『植物方言集』によると、アオノリュウゼツランか。			
tubumami	トゥブマミ	[名]	昔117
<古>大豆。輸入もの大豆。			

tubunuhama	トゥブヌハマ	[名]	A 60
(地) トゥブヌ浜。			
tubunukaci	トゥブヌカチ	[句]	3
豆腐の粕。おから。			
tuci	トゥチ	[名]	昔224
年。tucituci niNniN; 年々年々 (としとしねんねん)。(昔224)			
tuci	トゥチ	[名]	こ64
研石 (といし)。			
tuciguru	トゥチグル	[名]	こ40
年頃。			
tucinuduru	トゥチヌドゥル	[名]	続12
大晦日。			
tucisimai	トゥチシマイ	[名]	8
年の夜。年末。			
tucituiwari	トゥチトゥイワリ	[名]	無172
年をお取りくださいよ (正月の挨拶)。			
tuda	トゥダ	[名]	無33
ドゥナイドゥの中の太鼓打ち。			
tuda*	トゥダ	[名]	芸
すき。土を掘り起こす農具。			
tudaNta*	トゥダンタ	[名]	植43
(植) ハスノハギリ<ハスノハギリ科>。akasita 参照。			
tudimaruN	トゥディマルン	[動] 2A型	生
かたづく。			
tudimaruN*	トゥディマルン	[動] 2A型 tudimaN	3
とどまる。			
tudugiruN	トゥドゥギルン	[動] 6A*	生
届ける。			
tuduguN	トゥドゥグン	[動] 1B型 tudutjaN, tudutuN	1
届く。			
tudumai	トゥドゥマイ	[名]	こ52
留まること。滞在。			
tuduruti*	トゥドゥルティ	[名]	A 41
田の名。			
tuduti (1)	トゥドゥティ	[名]	昔31
始末。Nnitunu tuduti kiti; 死体の始末をして…。			

tuduti (2)	トゥドゥティ	[名]	昔186
…だそうだ。伝聞を表す形式名詞。utadu dumiburu tuduti; 唄を詠んでいたって。			
tudutiami	トゥドゥティアミ	[名]	8
にわか雨。通り雨。naciami とも言う。			
tugaNta	トゥガンタ	[名]	4
(植) オオバギ<トダイグサ科>。これで下駄、面、旗頭、獅子頭などを作った。			
tugada:	トゥガダー	[名]	沖T
(魚) ヒラニザ<ニザダイ科>。体に30本くらいの波状の細かい白線をもつ。			
tugagiN	トゥガギン	[名]	生
(魚) イソマグロ。			
tugamaNgaN	トゥガマンガン	[名]	2
10日戸明け。「10日満願」の意。tuganudwai とも言う。			
tuganudwai	トゥガヌドアイ	[名]	生
出産10日目の祝い。出産してから10日目の祝い。忌みが終り、産婆を招き、子の名をつけて祝う。tugamaNgaN とも言う。			
tugara	トゥガラ	[名]	生
(動) 蛇。			
tugarakaNda	トゥガラカンダ	[名]	T
(植) ハブカズラ<サトイモ科>。			
tugaruda*	トゥガルダ	[名]	A54
田の名。			
tugata	トゥガタ	[名]	T
(植) リュウキュウハリギリ<ウコギ科>。俗にいうヤマギリ。			
tugati	トゥガティ	[名]	生
とかき。升に盛った穀類を平らにする棒。			
tugatidwai	トゥガティドアイ	[名]	生
米寿の祝い。多くの人を招き、舞踊などをして、大きなお祝いをする。また、招待者には、1升ますと、とかきをあげる。			
tugiruN	トゥギルン	[動] 6A型 tugjaN	4
溶ける。			
tugu	トゥグ	[名]	生
仏壇。			
tugu	トゥグ	[名]	16
得。tugu kiruN; 得する。			
tugu	トゥグ	[名]	昔197

徳。ujanu kutu kitaja minu tugu muisiruN; 親孝行すれば無いはずの徳が授けられる。

tugu-kiruN	トゥグキルン	[動]	6A型 tugu-kjaN	5
得する。				
tuguru	トゥグル	[辞]		生
所。場所を数える単位。t'utuguru; 1 か所。				
tuguruNnu	トゥグルンヌ	[名]		歴151
(地) トゥグルンヌ牧場。				
tugurudagidiraba	トゥグルダギディラバ	[名]		歴133
唄の名。トゥグル嶽ディラバ。見送りの時、田草取り、刈入れの時等に歌う。tuguruutaki-diraba とも言う。				
tuguruhaci	トゥグルハチ	[名]		5
トゥグルにある橋。				
tuguruhamā	トゥグルハマ	[名]		歴73
(地) トゥグル浜。				
tugurunu	トゥグルヌ	[名]		A7
(地) 所野。与那国町内の字名。今の飛行場付近、以前は牧場だった。末尾地図参照。				
tugurunumati	トゥグルヌマティ	[名]		無6
(地) トゥグルヌ牧場。ムヌン祭後の祈願であるドムヌムヌン祭の行われるところ。				
tuguruugaN	トゥグルウカ°ン	[名]		2
トゥグルにある拝所の名。				
tuguruutaki	トゥグルウタキ	[名]		無38
(地) トゥグル御嶽。				
tuguruutakidiraba	トゥグルウタキディラバ	[名]		無38
唄の名。トゥグル嶽ディラバ。帆船時代の名残をとどめた航海安全を唄った唄。tugurudagi-diraba とも言う。				
tugutu	トゥグトゥ	[名]		昔56
ほっとすること。落ち着くこと。				
tugutu	トゥグトゥ	[副]		T
とくと。念をいれて。tugutu kaNgariju; とくと考えなさい。				
tuga	トゥカ°	[名]		T
とが。罪。				
tugai	トゥカ°イ	[名]		生
うき的一种。とった魚を糸に通して、浮かべておくもの。				
tugaruN	トゥカ°ルン	[動]	2A型	生
とがる。				
tuguN	トゥク°ン	[動]	1C型 tudjaN	2

研ぐ。				
tuhaNkaN	トゥハンカン	[形]	特殊	生
恥ずかしい。 anuja tuhaNkadu aru; 私は、恥ずかしい。				
tuharunuhana*	トゥハルヌハナ	[名]		植209
(植) ホウキズイセン<ヒガンバナ科>。				
tuiNsi	トゥインシ	[名]		1 6
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。				
tuigui	トゥイグイ	[名]		1 2
埋葬。				
tuikami	トゥイカミ	[名]		昔56
納骨。 tuikamiruN; 納骨する。 agamiNtanu tuikamidu ki; 子供達の葬式をし…。 (昔176)				
abuta tuikamikiti su:ku:maci:ki kujuki ujataN; 母の葬式をして、線香をし、供養をしてあげたという話。 (昔202)				
tuikuN	トゥイクン	[動]	1A型 tuitjaN	生
問う。尋ね聞く。				
tuisimi:	トゥイシミー	[名]		1
舟の帆柱を受ける底穴。				
tuitibuN	トゥイティブン	[名]		昔15
才能。				
tujai	トゥヤイ	[名]		昔196
付き合い (仲良くすること)。 t'utunu tujai; 人との付き合い。				
tujamahaci	トゥヤマハチ	[名]		5
祖納部落にある橋。祖納から空港へ向う最初の橋。				
tujamaugaN	トゥヤマウカ ^ン	[名]		2
十山という拝所。				
tujaruN*	トゥヤルン	[動]		無168
なくす。				
tujumarimunu	トゥユマリムヌ	[名]		昔152
模範者。有名な人。				
tujumuN*	トゥユムン	[動]	1D型	昔206
評判高い。 kisa tujumu mariNgarajo; 以前から評判の高い生まれ柄よ。 tujumari kirijo;; 有名になりなさいよ。 (16)				
tuki	トゥキ	[名]		T
時計。				
tuki*	トゥキ	[名]		歴152
<古>渡海。				

tukja	トゥキャ	[名]	1 6
海路。			
tumacidabari*	トゥマチダバリ	[名]	A 19
田の名。			
tumaimura	トゥマイムラ	[名]	T
(地) 祖納。村落名。比川の人たちは、祖納のことをこう呼ぶ。泊村、すなわち港村の意。			
tumaiugaN	トゥマイウカ°ン	[名]	2
泊りという所の拝所。			
tumaru	トゥマル	[名]	昔219
周辺。da:nu tumaru; 家の周辺。			
tumaruN	トゥマルン	[動] 2A型 tumaN	3
止まる。			
tumaruN	トゥマルン	[動] 2A型	昔4
泊る。			
tumasi	トゥマシ	[副]	1
たくさん。tumasi haiduburu; たくさん食べている。			
tumi*	トゥミ	[名]	昔126
共。ata duagaitu tumini*; 明日夜が*明けると共に…。			
tumiruN	トゥミルン	[動] 6A型 tumjaN	5
止める。			
tumiruN	トゥミルン	[動] 6A型 tumjaN	5
泊める。			
tumu	トゥム	[名]	1
とも (舟の船尾)。			
tumuNbu	トゥムンブ	[名]	T
(植) モモ<バラ科>の一種。			
tumuNtu	トゥムントゥ	[名]	こ38
共の者。従者。			
tumuhira*	トゥムヒラ	[名]	昔38
門口の両側に立っている柱。			
tumunuiku:	トゥムヌイクー	[名]	1
艫 (とも) 乗りの漕ぐ櫂 (かい)。			
tumunuki	トゥムヌキ	[名]	T
(植) タブノキ<クスノキ科>。			
tumuti	トゥムティ	[名]	昔61
早朝。			

tumutugusa	トゥムトゥク°サ	[名]	T
(植) オオバコ<オオバコ科>。			
tunaga	トゥナガ	[名]	昔205
航海中。			
tunai	トゥナイ	[名]	4
隣。近所。			
tunaisatu	トゥナイサトゥ	[名]	8
隣里。隣村。			
tunaraN	トゥナラン	[動] 3A型	T
どける。tunarai; どけなさい。			
tundaN	トゥンダン	[動] 3A型 tuNdasjaN*	資336
出す。sikara aru t'u t'aiNtuna tuNdasi; 力ある人2人ずつ出して…。			
tuni	トゥニ	[名]	1 6
殿。祭りをする所。			
tunuNtu	トゥヌントゥ	[句]	8
だまっている人 (唐の人)。			
tunudati*	トゥヌダティ	[名]	A 29
田の名。			
tunugamuti	トゥヌカ°ムティ	[名]	1 2
あずき餅。			
tunuguN	トゥヌク°ン	[動] 1C型	生
跳び越える。			
tunumaru	トゥヌマル	[名]	昔135
戸惑うこと。tunumaru kiruN; 戸惑う。			
tura	トゥラ	[名]	T
寅 (十二支の一つ)。			
turaN (1)	トゥラン	[動] 3A型 turasjaN	生
取らす。与える。turaibahai; 取らせなさい。下さい。			
turaN (2)	トゥラン	[動] 3A型 turasjaN	生
…して下さる。durusu turai; 許して下さい。tamiturasiwai hugarasa; 教えて下さってありがとう。			
turanuha	トゥラヌハ	[名]	生
家を守る神。床の北東の隅に置いてある大きな花瓶が神体。毎月、旧暦の1日と15日に拝む。床の神とも表現する。			
turanuha	トゥラヌハ	[名]	T
北東の方角。			

turanuhaNnuN	トゥラヌハンヌン	[名]	T
(家の) 北東の隅。			
turanuhakadi	トゥラヌハカディ	[名]	生
北東の風。この風が吹くと天気が悪くなると言う。			
turi	トゥリ	[名]	T
酉 (十二支の一つ)。			
turi	トゥリ	[名]	こ68
なぎ。海のおだやかなこと。			
turibaruN	トゥリバルン	[動] 2A*	生
ぼんやりする。			
turici	トゥリチ	[名]	4
(植) ソテツ<ソテツ科>。戦時中、実を食べる。アクを抜いて、味噌を作ったり、おかゆと食べた。葉は燃えやすく、芋を焼く時に使った tudici とも言う。			
turimuti	トゥリムティ	[名]	昔180
接待。kjaku turimutinu ara:gu du:diNdi; 客接待がとても上手だと…。			
turiruN	トゥリルン	[動] 6B型	S 10
(頭・目・耳などが) だめになる。機能を果たさなくなる。miNtabuja turidu burujuNgara; 耳が聞こえなくなっているから…。(S10)			
turiruN	トゥリルン	[動] 6B型 turuN	生
倒れる。			
turiruN	トゥリルン	[動] 6B型 turuN	生
風がぴったりと止む。			
turu	トゥル	[名]	生
ランプ。昭和40年頃までほとんどの家庭が使っていた。turuti; 小さいランプ。			
turu	トゥル	[名]	こ87
膜。			
turu:turu:	トゥルートゥルー	[副]	昔182
<擬>とろとろ。ちょろちょろ。(水などが) たれ落ちるさま。(煮物などを) 弱い火で煮るさま。			
turuN	トゥルン	[動] 2B型 twaN	3
取る。			
turuNki*	トゥルンキ	[名]	植125
(植) アオバノキ<ハイノキ科>。			
turuna*	トゥルナ	[名]	植163
(植) ウスベニニガナ<キク科>。			
tusiNgara	トゥシンガラ	[名]	昔206

＜古＞年柄。今はあまり使われない。			
tusiNkai*	トゥシンカイ	[名]	昔131
つづらの一種。			
tusiNkuru	トゥシンクル	[名]	沖I
麻袋。脱穀した米や、乾燥した米を入れる。現在は、クバの葉の代りに此を用いて種粃を発芽させる。			
tuti	トゥティ	[名]	生
時。			
twa:migui	トァーミク°イ	[名]	1 6
遠回り。dimitigara twa:migui aiti igutasi; 陸を遠回りして歩いて行っただって…。			
twa:migurasi	トァーミク°ラシ	[名]	9
遠廻し。			
twa:miti	トァーミティ	[名]	1 6
遠い道のり。			
twaN	トァン	[形]	生
遠い。			
twaruN	トァルン	[動] 2A型 twaN	3
鈍る。			
u	ウ	[名]	T
それ。uja nu:kibija; それはどうしたことか。(昔77)			
u(N)kara	ウ(ン)カラ	[接]	昔4
それから。			
u:	ウー	[名]	T
卯(十二支の一つ)。			
u:bu:*	ウーブー	[名]	昔32
王様。usuganaci; 首里の王様。			
u:buci	ウーブチ	[名]	3
雄ぶし。背びれ側の鰹節。			
u:marai	ウーマライ	[副]	昔81
急いで。agami u:marai kaNgiti; 子供を急いでおんぶして…。緊急の場合に使われる。			
u:tu:tu:	ウトゥー トゥー	[感]	続64
神に祈る時の言葉。u:sutui, a:tu:tu: とも言う。			
uN	ウン	[名]	生
扇。紙製のもクバの若葉で作ったものもある。			
uN	ウン	[名]	こ12
襟。			

uN	ウン	[名]	昔126
鬼。uNta; 鬼達(昔126)。			
uN	ウン	[名]	1 6
これも。uN kariN ataN; あれもこれもあった。			
uN	ウン	[動] 5B型 waN	T
追う。atugara ui ku;; あとから追って来い。			
uNcaritu	ウンツァリトゥ	[名]	歴21
伺い人。花嫁を迎えに行く時間を先方へ問い合わせ役。花嫁の家に行く花婿方からの伺いの者。			
uNgata*	ウンガタ	[名]	昔54
大型。			
uNka	ウンカ	[名]	沖I
(昆) ウンカ<ウンカ科>。稲を成長途中で枯死させてしまう、蚊のような虫。			
uNna	ウンナ	[名]	T
(地) 沖縄。			
uNnaga	ウンナガ	[名]	生
海。			
uNnarutagi	ウンナルタギ	[名]	生
(植) タイミンチク<イネ科>。小さく細い節の荒い竹。親の竹より、子の竹の方が大きくなる。uNnarunu ujugakusi; ウンナルの親隠し。子供が立派になり、親の欠点を被い隠すこと。			
uNni	ウンニ	[名]	昔41
こんな。そんなに。uNnitiNtuN; そんなにまでも。(S55) uNni ma:siku; そんなにたくさん。uNnibi; そうだから。uNni isiti; そんなにして。			
uNnina	ウンニナ	[感]	昔95
そうか。ei uNnina; えー、そうか。			
uNninu	ウンニヌ	[連体]	T
このような。そのような。uNninu munu kattiri; このような物捨てろ。uNninu munuNtiNta; こいつども(さげすんだ言い方)。			
uNnuga	ウンヌガ	[名]	生
乳を飲む頃の牛。			
uNnuguru*	ウンヌグル	[名]	昔146
当時。uNnuguruja arumaNkaja; 当時はありのままのことを…。			
uNta	ウンタ	[名]	T
これなど。この人達。uNtati; この人など(ややさげすんだ言い方)。			
uNti	ウンティ	[名]	3
(植) サツマイモ<ヒルガオ科>。			

uNti*	ウンティ	[名]	こ11
運勢。運。			
uNtimuti	ウンティムティ	[名]	こ3
芋餅。			
uNtinuciru	ウンティヌチル	[句]	T
芋を入れた汁。			
uNtinudu:	ウンティヌドゥー	[句]	T
芋を入れたおかゆ。			
uNtinuhairi	ウンティヌハイリ	[句]	生
芋の酢。寝小便をする子を他家に「ウンティヌハイリを借して下さい」と、使いにやる。その家の人は鍋の蓋をその子にかぶせてたたく。すると、寝小便がなおると言われている。			
uNtinui:	ウンティヌイー	[句]	生
芋の御飯。干した芋を煮てつぶし丸めたもの。			
uNtinukudi	ウンティヌクディ	[句]	3
芋のくず。でんぶん。			
uNtirimaju	ウンティリマユ	[名]	1 6
運取り猫。不吉な事が起こる前に鳴く猫。			
uNtu	ウントゥ	[名]	こ10
膿。			
uba	ウバ	[名]	6
鯨の肉。			
ubabu	ウバブ	[名]	続36
(昆) アブ。牛蠅。形はハエに似るが、やや大型。			
ubabuta	ウバブタ	[名]	生
一番上のおばさん。			
ubaga*	ウバガ	[名]	植62
(植) クロヨナ<マメ科>。			
ubagiN	ウバギン	[連語]	B 112
これまでも。これも。u (これ) + bagiN (までも)。ubagiN karibagiN; あれもこれも。			
ubai	ウバイ	[名]	続7
(昆) 青蠅。			
ubaiti	ウバイティ	[名]	探190
おば。両親とその人がいところで自分より年下の場合に使う呼び方。			
ubaku	ウバク	[名]	1
(植) オオバコ。葉をもんでつけると、おできに利く。			
ubama	ウバマ	[名]	1 6

(地) ウバマ。			
ubamiti	ウバミティ	[名]	探190
<古>おば。			
ubani	ウバニ	[名]	生
一番上の姉。ubu + ani の音変化した形。			
ubanida*	ウバニダ	[名]	A 46
田の名。			
ubarakaN*	ウバラカン	[名]	A 60
(地) 海岸の名。末尾の地図参照。			
ubarida*	ウバリダ	[名]	A 20
田の名。			
ubiruN	ウビルン	[動] 6A型 ubjaN	T
覚える。			
ubja	ウジャ	[名]	生
一番上の兄。女の言葉。ubu + ija の変化した形。			
ubu	ウブ	[辞]	昔127
大…。ubuNna; 大綱。			
ubu*	ウブ	[名]	黒65
こぶ。			
ubuNda	ウブンダ	[名]	1 6
<文>長者の大主。古典芸能の中の登場人物。sitibuduiの時、世果報を願う役。			
ubuNdudama	ウブンドゥダマ	[名]	3
(地) ウブンドゥ山。			
ubuNkaci	ウブンカチ	[名]	T
大昔。			
ubuNku*	ウブンク	[名]	A 55
田の名。			
ubuNmisju	ウブンミシュ	[名]	1 6
役人の役職名。			
ubuNnada*	ウブンナダ	[名]	A 14
田の名。			
ubuNsugati	ウブンスカ°ティ	[名]	歴58
祖納にある拝所。			
ubuabati	ウブアバティ	[名]	昔202
大慌て。ubuabati kiruN; 大慌てする。			
ubuami	ウブアミ	[名]	4

大雨。u:ami とも言う。			
ububata	ウブバタ	[名]	6
大腸。			
ububuci	ウブブチ	[名]	6
大武士。腕力の強い人。			
ubuda	ウブダ	[名]	生
一番上の兄。男の言葉。			
ubuda	ウブダ	[名]	こ14
母屋（おもや）。			
ubudaisi	ウブダイシ	[名]	A 62
（地）海岸の名。ubuhama の隣にある。末尾の地図参照。			
ubudami	ウブダミ	[名]	6
大病。大患い（おおわずらい）。ubujaN とも言う。			
ubudara	ウブダラ	[名]	無76
大皿。御神酒をあげるのに使う。ubudara nagadara mugudara dumidara を一組として祭りに用いる。			
ubudibaru	ウブディバル	[名]	昔16
（地）ウブディバル。祖納にある。			
ubudununuhama	ウブドゥナヌハマ	[名]	無159
（地）ウブドゥナヌハマ。東崎付近。			
ubugi	ウブギ	[名]	S 56
大きいさま。ubuginu icibuguNta; 大きな石など。			
ubugutu	ウブク°トゥ	[名]	6
大事。			
ubuhaNda*	ウブハンダ	[名]	A 42
田の名。			
ubuhama	ウブハマ	[名]	3
きい浜。海岸名。			
ubuhatagi	ウブハタギ	[名]	1
大きな畑。			
ubuhirugu*	ウブヒルグ	[名]	こ27
酷寒。			
ubui	ウブイ	[名]	1
覚え。記憶。ubuiburaN; 覚えてない。			
ubuici	ウブイチ	[名]	T
大きな石。			

ubuija	ウブイヤ	[名]	生
長男のおじさん。			
ubuisimaci	ウブイシマチ	[名]	沖1
満田原内の田の名。			
ubujaN	ウブヤン	[名]	6
大患（おおわずらい）。ubudami とも言う。			
ubuka	ウブカ	[名]	生
天の川。			
ubuka	ウブカ	[名]	T
司（神女）の長。他の10人の司を統括し中心になって行事を行う司。			
ubukadi	ウブカディ	[名]	生
大風。			
ubukati	ウブカティ	[名]	こ52
大勝。			
ubuki	ウブキ	[名]	こ52
大樹。daibaNki; 特大の樹参照。			
ubukui	ウブクイ	[名]	1
大声。ubukui kiruN; 大声（叫び声）を出す。			
ubukuju	ウブクユ	[名]	生
満月。			
ubumaci*	ウブマチ	[名]	A57
田の名。			
ubumadabari*	ウブマダバリ	[名]	A30
田の名。			
ubumasaN	ウブマサン	[形]	生
おとなしい。			
ubunaN	ウブナン	[名]	4
大波。			
ubunagu*	ウブナグ	[名]	A57
田の名。			
ubunatu*	ウブナトゥ	[名]	A57
田の名。			
ubuni	ウブニ	[名]	生
（植）ダイコン。「大きな根」の意。			
ubunibana	ウブニバナ	[名]	5
橋の名。			

uburu	ウブル	[名]	生
つるべ。以前はクバの葉で作った。miNagiuduru とも言う。			
ubusa ?	ウブサ	[副]	N 184
多く。ubusa umaritaba; 多く生まれたので…。			
ubusara *	ウブサラ	[名]	植94
(植) コバンモチ<ホルトノキ科>。			
ubusibana	ウブシバナ	[名]	歴147
(地) ウブシバナ。			
ubusikama	ウブシカマ	[名]	こ 51
大仕事。			
ubusu	ウブス	[名]	3
(魚) そうだ鰹。筋がなくて斑点のある鰹。肉が固い。			
ubusumaci *	ウブスマチ	[名]	A 23
田の名。			
ubuta	ウブタ	[名]	9
満月。ti:tarai,dugunitik'uju とも言う。			
ubutagu	ウブタグ	[名]	5
六角風。			
ubutaguru	ウブタグル	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
ubutaganaci *	ウブタカ°ナチ	[名]	続48
月。			
ubutakuju	ウブタクユ	[名]	T
満月。			
ubutana *	ウブタナ	[名]	A 41
田の名。			
ubutani *	ウブタニ	[名]	A 46
田の名。			
ubutja	ウブチャ	[名]	生
老年の大きな雄牛。			
ubutu	ウブトゥ	[名]	T
大人。			
ucari	ウツァリ	[名]	6
使者。花嫁の家に時間を知らせに行く使者。uNcaritu とも言う。			
uccu:	ウツツー	[名]	昔124
後ろ。c'ui とも言う。			

uci	ウチ	[名]	沖I
つき臼。c'i:uci で粳皮を取った後に、この臼でつき精米する。			
uci	ウチ	[名]	T
丑（十二支の一つ）。			
uci	ウチ	[名]	T
牛。			
uci:gi	ウチーギ	[名]	4
（植）シャリンバイ<バラ科>。盆栽によく使う。			
uciNgi*	ウチンギ	[名]	植100
（植）ハマヒサカキ<サカキ科>。			
uciajami	ウチアヤミ	[名]	2
闘牛。			
ucicigaraN	ウチチガラN	[動]	3A型 ucicigarasjaN T
押し倒す。			
ucidama	ウチダマ	[名]	こ63
（病気名）てんかん。			
uciji*	ウチキ°	[名]	植119
（植）ギイマ<ツツジ科>。			
ucikada*	ウチカダ	[名]	こ126
脇臭。baNtanukada とも言う。			
ucikija:	ウチキヤー	[名]	1
ふなべりのかいを滑らす木。櫓の木で作る。			
ucinaNti	ウチナンティ	[名]	沖I
穂が斜めに垂れること。稲が実りすぎて穂を持ちきれず、斜めに垂れる。			
ucinigai	ウチニカ°イ	[名]	生
牛の繁殖を願う祭り。旧暦の2月と8月の子（ね）、丑（うし）の両日に行われる。子（ね）の日は村牛願いの日で、各部落のビディリにビディリ主と世話役とが行き祈願する。翌丑の日は水祭りの日で、各家族御馳走を持ち、牧場のビディリに祈願し、遊んで帰る。			
ucinohakadi	ウチノハカディ	[名]	4
北北東の風。			
ucinubuNna*	ウチヌブンナ	[名]	植114
（植）ハマウド<セリ科>。			
ucinukabu	ウチヌカブ	[名]	6
（鳥）シラサギ（白鷺）。単に kabuとも言う。			
ucinumi:	ウチヌミー	[名]	3
牛肉。			

uciruN 映る。	ウチルン	[動]	6B型 ucuN	2
uciruN 移る。	ウチルン	[動]	6B型 ucuN	2
uciui (植) シロウリ。	ウチウイ	[名]		3
ucuN 移す。	ウツン	[名]		T
ucuN 写す。kati ucami ututiti; 書き写させて置いて…。(昔103) kati uci; 書き写し。(16)	ウツン	[動]	4A型	T
ucunugaNna* (植) キンエノコロ<イネ科>。	ウツヌガンナ	[名]		植186
uda もっこ。苗代から苗をいれて運ぶもの。	ウダ	[名]		沖I
udatu (地) 上里。与那国町の字名。比川村が三度目に、移動した所。uidatu とも言う。末尾地図参照。	ウダトゥ	[名]		1 6
udi 海水浴。	ウディ	[名]		生
udimagura 腕枕。	ウディマグラ	[名]		こ63
udina (植) カブラ<アブラナ科>。	ウディナ	[名]		T
udinaba (植) キノコの一種。牧場に生える。根元は腕の太さもあり、丸く大きく、地面をほうよう にのびていく。乾燥させて食べる。	ウディナバ	[名]		T
udu 布団。	ウドゥ	[名]		生
udu (魚) ウミウナギ。	ウドゥ	[名]		続36
uduN おどす。	ウドゥン	[動]	4A型 udusjaN	生
udubusaN 危ない。	ウドゥブサン	[形]		T
udubusaN 恐ろしい。	ウドゥブサン	[形]		1

udugiruN	ウドゥギルン	[動]	6A型 udugjaN	1 4
失う。maruudugi; 全てを失い…。				
udugumiruN	ウドゥグミルン	[動]	6A型 udugumjaN	3
埋める。				
udukata	ウドゥカタ	[名]		こ45
寝具。				
udunubata	ウドゥヌバタ	[句]		9
ふとんの綿。				
uduru	ウドゥル	[名]		こ9
(鳥) ウズラ。				
udurugaN	ウドゥルガン	[動]	3A型 udurugasja	2
驚かす。t'u udurugasi !; 人を驚かして ! (人に驚かされたりした時に発する言葉。)				
uduruguN	ウドゥルゲン	[動]	1B型	T
驚く。				
ugaNdari *	ウガンダリ	[名]		歴144
<古>小満の季節に行われる祈願祭。				
ugaNma	ウガンマ	[名]		沖T
(動) イワガニ。甲らが四角形で斜めに走るしわがある。海岸の岩場に住む。				
ugarati	ウガラティ	[副]		8
これだけ。				
ugi	ウギ	[名]		1
浮き。				
ugi	ウギ	[名]		T
桶。				
ugibaN	ウギバン	[名]		昔123
起きて番をすること。ugibaN ki du agarasi; 起きたまま夜を明かし…。				
ugibana	ウギバナ	[名]		こ74
寝起き。				
ugici *	ウギチ	[名]		植137
(植) タイワンウオクサギ<クマツヅラ科>。				
ugiruN	ウギルン	[動]	6A型 ugjaN	生
受ける。ukiruN とも言う。				
ugiruN	ウギルン	[動]	6B型 uguN	4
起きる。				
ugiwaniisa ?	ウギワニサ	[慣]		4
おはよう。「起きられたんですね」がもとの意味。				

ugiwaruNnisa	ウギワルンニサ	[句]		続50
起きていらっしゃるんですね（朝のあいさつ）。目上の人に使う。同輩には、uguNnisa（起きたんだね）を使う。（16）				
uguN	ウグン	[動]	4A型 ugusjaN	生
起こす。興す。				
uguidiN	ウグイディン	[名]		続45
送り膳（御祝いに列席しない方へ運ぶ）。				
uguri	ウグリ	[名]		昔53
騒ぎ。murauguri; 村騒ぎ。				
uguriruN	ウグリルン	[動]	6B型 uguruN	5
遅れる。				
uguura*	ウグウラ	[名]		歴135
＜古＞浦野御嶽の神名。				
ugaN	ウカ°ン	[名]		2
神を祭ってある所。拝所。				
ugaN	ウカ°ン	[動]	3A型	生
容器から容器へ入れかえる。				
ugaNhututi	ウカ°ンフトゥティ	[名]		生
豊年祭。一年間の願いを旧暦の6月の吉日に行う。				
ugaNna	ウカ°ンナ	[名]		生
（動）海岸の岩にいるカニの一種。毛が深く、トゲも目立つ。				
ugami	ウカ°ミ	[名]		5
お参り。				
ugamigutu	ウカ°ミグトゥ	[名]		1
拝み事。願、祈願、念願。				
ugamuN	ウカ°ムン	[動]	1D型 ugamjaN	2
拝む。				
uguN	ウク°ン	[動]	1B型 udjaN*	1
泳ぐ。uji; 泳げ。				
uguN	ウク°ン	[動]	1C型 udjaN	2
扇ぐ。				
uguN?	ウク°ン	[動]	1C°* uduN	T
空く。ti: uganuN; 手が空かない。ugujuNgara; （手が）空いているから…。				
uhuciNgan*	ウフチンガン	[名]		芸
大火神。				
uhumunui	ウフムヌイ	[名]		1

大口をたたくこと。

ui	ウイ	[名]	3
(植) キュウリ。kiui とも言う。			
ui	ウイ	[名]	昔16
上。ujabi とも言う。			
uiNdaN	ウインダン	[動] 3A型 uiNdasjaN	T
追い出す。uicaraN とも言う。			
uibaru	ウイバル	[名]	1 6
(地) ウイバル。			
uicaraN	ウイツァラン	[動] 3A型 uicarasjaN	T
追い払う。			
uidisubu	ウイディスブ	[名]	こ22
競泳。泳ぎ勝負。udiarasi とも言う。			
uidunuha*	ウイドゥヌハ	[名]	A 19
田の名。			
uigaN	ウイガン	[動] 3A型	続34
動かす。			
uiguN	ウイグン	[動] 1B型	生
動く。			
uihaibaru*	ウイハイバル	[名]	A 51
田の名。			
uiharaci ?	ウイハラチ	[名]	6
追い込み。			
uihuguN	ウイフクン	[動] 1C型 uihudjaN	2
急がす。sunuNgaN との違いは不明。			
uikagiruN	ウイカギルン	[動] 6A型 uikagjaN	T
追いかける。uigagiruN とも言う。			
uikanimata*	ウイカニマタ	[名]	A 26
田の名。			
uikidamasa*	ウイキダマサ	[名]	A 51
田の名。			
uikidati*	ウイキダティ	[名]	A 54
田の名。			
uinai	ウイナイ	[名]	沖I
老いた苗。深田に植えると良い。			
uinuguN	ウイヌグン	[動] 1B型 uinutjaN	T

追い抜く。			
uisagamutu	ウイサガムトゥ	[名]	沖I
満田原内の田の名。			
uisuna t'u	ウイスナ ットゥ	[句]	1 4
偉い人。			
uisurubagu *	ウイスルバグ	[名]	A 46
田の名。			
uiti	ウイティ	[名]	生
満月前後の月。			
uiti	ウイティ	[名]	7
動き。			
uitihitti	ウイティヒッティ	[名]	昔19
身動き。 uitihitti kiranuNki; 身動きもせずに。			
uitu	ウイトゥ	[名]	T
老人。			
uiui	ウイウイ	[副]	昔33
次々。 agaminasimija uiui; 子供を次々に産んで。			
uja	ウヤ	[名]	T
親。お方。 munu ciwaru uja; 物知りなお方。(昔154)			
ujaN	ウヤン	[動] 3A型 ujasjaN	4
差し上げる。…してあげる。 arudinu kutu kiujasidu kirariruNdi; 主人の事をしてあげられると…。(昔27) ku:nu t'uNtuN ujaninuNki butaNsuja; 線香の一つさえ上げられずにいたんだね。(昔73) ujai; 差し上げましょうね。			
ujaN	ウヤン	[動] 3A型 ujasjaN	生
召し上がる。「食べる」・「飲む」の尊敬語。 i: ujasiwari; 御飯を召し上がりなさい。 i:N sa:N ujasitiwari; 御飯やお茶をお上がりになって帰って下さい。(昔48)			
ujaNtu	ウヤントゥ	[名]	生
(動)ネズミ。			
ujaNtunubu *	ウヤントゥヌブ	[名]	植197
(植) リュウキュウハング<サトイモ科>。			
ujabaru *	ウヤバル	[名]	歴136
<古>御嶽の名。島仲部落のキダング山にある御嶽。神名は、ujabarubunadara。現在、uibaru と言われている。			
ujabi	ウヤビ	[名]	生
上。上の方。			
ujaburi	ウヤブリ	[名]	4

先祖。			
ujabuta *	ウヤブタ	[名]	A 44
田の名。			
ujacida *	ウヤチダ	[名]	植40
(植) シバニッケイ<クスノキ科>。			
ujadai	ウヤダイ	[名]	生
共同作業。各戸から一人ずつ出て、道路の整備、台風の後の復旧作業などをすること。			
ujagata *	ウヤガタ	[名]	こ15
親方。			
ujagi	ウヤギ	[名]	N 191
金持ち。財産。ta:damani ujagiki; たちまち金持ちになり…。(昔32)	ujagi husaminuga aga-		
mija husaN; 財産は欲しくないが、子供は欲しい。			
ujagiNtu	ウヤギントゥ	[名]	T
金持ちの人。			
ujagimura *	ウヤギムラ	[名]	昔32
裕福な村。			
ujagu	ウヤグ	[名]	生
親類。			
ujaha	ウヤハ	[名]	T
親子。ujahwa(昔111)。			
ujahamucibi	ウヤハムチビ	[名]	生
婚約祝い。男の家の人が女の家にお酒1升を持って行く。			
ujaisi	ウヤイシ	[名]	S 56
土台石。			
ujakamibata *	ウヤカミバタ	[名]	A 41
田の名。			
ujamiruN *	ウヤミルン	[動]	6A型 1
敬う。			
ujanasu *	ウヤナス	[名]	A 45
田の名。			
ujaniNtu	ウヤニントゥ	[名]	生
正月に本家などに挨拶に行くこと。			
ujanuku:ju	ウヤヌクーユ	[名]	昔112
親孝行。			
ujanunarasi	ウヤヌナラシ	[句]	続52
親の教え。			

ujasimunu	ウヤシムヌ	[名]	こ13
贈物。			
ujubi	ウユビ	[名]	生
指。ubujubi; 親指。t'usatiujubi; 人指し指。nagaujubi; 中指。namidaujubi; 薬指。gumaujubi; 子指。ujubinu sati; 指の先。			
uka	ウカ	[名]	こ31
債務。借財。			
ukatu	ウカトゥ	[名]	昔151
只。ごく普通であること。ukatunu t'u ja aranu; ただならぬ人物だ。			
uki-kiruN	ウキキルン	[動] 6A型	生
飽きる。降参する。uki-kimiruN; 降参させる。(S72)			
ukibai	ウキバイ	[名]	1
網の上部。			
ukidaki	ウキダキ	[名]	1
ふなべりに付ける竹。			
ukkatunutu	ウッカトゥヌトゥ	[句]	S 71
軽視すべき人。			
ukkumi	ウックミ	[名]	昔109
多勢集まること。たかってくること。ukumija si:sitaba; 多勢やってきたので…。			
ukumi	ウクミ	[名]	沖I
種粃を温めること。種粃を発芽させる為に、わらや茅等で温めた。			
ukumiruN	ウクミルン	[動] 2C型 ukumjaN	昔193
取り囲む。			
uma	ウマ	[名]	生
ここ。			
umariruN	ウマリルン	[動] 6B型	1 6
思われる。umariNdagi; 思われるように。(16)			
umaruN	ウマルン	[動] 2A型	生
埋まる。			
umi	ウミ	[名]	T
ここに。そこに。kumi に比べるとやや遠い所を指す。			
umiabu	ウミアブ	[名]	1
ひいおばあさん。umi は接頭語。			
umiasa	ウミアサ	[名]	素
ひいおじいさん。umi は接頭語。			
umiciNgiri	ウミチンギリ	[名]	沖I

(稲が) 熟れすぎることに。			
umijami	ウミヤミ	[名]	1
思い病み。			
umitiru	ウミテイル	[名]	民
うけ (魚を捕る具)。			
umu	ウム	[副]	S 14
主 (おも)。			
umuN	ウムン	[動] 1D型	生
熟す。umibuN; 熟している。			
umuN	ウムン	[動] 1D型	生
(糸を) 紡ぐ。			
umuN	ウムン	[動] 2B型 ?	7
思う。umuNna; 思うな。c'imakaja Ndi umurja; 島かと思ったら。(昔212)			
umuN*	ウムン	[名]	植177
(植) オオムギ<イネ科>。			
umucaN	ウムツァン	[形]	生
面白い。			
umuda	ウムダ	[名]	2
(動) イノシシ。			
umugutu*	ウムグトゥ	[名]	昔127
知恵。umugutu Ndi; 知恵が出て…。(S58) umugutuN ai idiN susataba; 知恵もあり、意地も強かったので…。(昔127)			
umugai	ウムカ°イ	[名]	生
くつわ。			
umui	ウムイ	[名]	1
思い。			
umuiNdaN	ウムインダン	[動] 3A型 umuiNdasja	T
思い出す。umuidaN とも言う。			
umuicigai	ウムイチガイ	[名]	こ32
思い違い。錯覚。			
umuiuguN	ウムイウグン	[動] 4A型	生
思い起こす。思い出す。			
umuja	ウムヤ	[名]	1 0
愛人。思っている人。			
umuka	ウムカ	[名]	T
船を右方向に進めること。おもかじ。			

umukagi	ウムカギ	[名]	こ25
面影。幻。			
umukanaN	ウムカナン	[名]	5
産毛。赤ちゃんの髪のこととも言う。ubukanaNとも言う。			
umukanaNsui	ウムカナンスイ	[名]	2
産毛を剃る儀式。出生後、一ヶ月頃に行う。			
umukazi*	ウムカジ	[名]	こ9
<新>右舷。			
umunaN	ウムナン	[動] 3A* umunasjaN*	T
見下す。umunasi da:na acukai; 粗末に取り扱ったのが…。(昔158) t'u umunasija naranuN-du; 人をなめてはいけないよ。umunaNnaju; 見下すなよ。			
umuti	ウムティ	[名]	T
表。			
uni	ウニ	[名]	1
(田の) うね。			
uni	ウニ	[副]	N113
そんなに。uNniとも言う。unidu naihirudu; こんなになっていくよ。			
unisiti	ウニシティ	[接]	N114
そして。uni(そんなに)+ isiti(して)の熟合形。unitiとも言う。			
unitura*	ウニトゥラ	[名]	歴80
(人名) 鬼虎。与那国島の伝承上の人物。			
unu	ウヌ	[名]	昔4
この。			
unuhakadi	ウヌハカディ	[名]	4
南東の風。			
unusuba kanusuba	ウヌスバ カヌスバ	[名]	6
両面。あのそば、このそば。			
unuti kunuti	ウヌティ クヌティ	[句]	昔82
両手。あの手この手。unuti kanuti; あの手この手。(6)			
upagiruN	ウバギルン	[動] 6A型 upagjaN	S28
おっかぶせる。hanasi upagiru tudutiNdja; 話をおっかぶせるわけよ。(S28)			
upusuni*	ウプスニ	[名]	黒63
大くるぶし。漁師が舟に座り通しのためにできる大くるぶし。			
ura	ウラ	[名]	T
裏。			
uraNdasugai	ウランダスカ°イ	[名]	こ114

(古式の) 洋装。

urabarumi	ウラバルミ	[名]	歴105
(地) ウラバルミ (北浦野)。慶田城大爺が検地の役人を迎えた所と言われている。			
urabudaki	ウラブダキ	[名]	ま12
(地) ウラブ岳。			
urabutagita*	ウラブタギタ	[名]	A 45
田の名。			
urada	ウラダ	[名]	T
(地) 測候所を東に行った右側にある。祖納村が、NdaN から、最初に移動した所。			
urada	ウラダ	[名]	1 4
裏座。migaidu とも言う。			
uramaciri	ウラマチリ	[名]	年182
牛馬繁盛の祈願祭で祖納で行う (酉の日)。			
uramisaN	ウラミサン	[形]	生
ねたましい。うらやましい。			
uramuN	ウラムン	[動] 1D型	昔202
恨む。uramidu burudu; 恨んでいる。			
uranu	ウラヌ	[名]	T
(地) 浦野。与那国町内の字名。測候所のすぐ東側にある。祖納村が二度目に移動した所。			
uranuugaN	ウラヌウカ [°] ン	[名]	2
浦野という拝所。			
uraumuti	ウラウムティ	[名]	こ119
うらおもて。両面。			
uri	ウリ	[名]	3
下り坂。			
uri	ウリ	[名]	T
潤うこと。uri kidu buru; (干ばつになっていた田などが) 潤っている。			
uribata	ウリバタ	[名]	1 6
織り終わりの部分。urusibata とも言う。			
uriruN	ウリルン	[動] 6A*型 urjaN, uruN	生
降りる。			
uriti*	ウリティ	[名]	ま11
下り月。先祖に対する供養の月とし、法事等を行う月とする。			
uru	ウル	[名]	6
石灰。漆くい。uru bikiru t'u; 漆くいをひっつける人。(こ30) uruci 参照。			
uruN	ウルン	[動] 2B型 waN	生

売る。				
uruN	ウルン	[動]	2B* waN*	T
織る。nunudu uiburja uiurusitidu hirariru; 布を織っているので織り終わってから行かれる。(昔218)				
uruN	ウルン	[動]	4A型	T
おろす。(野菜などを) 細かくきざむ。dasai kamatati urusi; 野菜を細かくきざみ…。t'iuruNとも言う。				
uruN (1)	ウルン	[動]	4A* urusjaN	2
降ろす。nimuti uruN; 荷物を降ろす。urusi; 降ろし (流産)。				
uruN (2)	ウルン	[動]	2B*	昔94
(カボチャなどの種を) 蒔く。nai uruNsuja; 種 (苗) を降ろすのは…。(昔94)				
urubikitu	ウルビキトゥ	[名]		こ30
左官。simiNdaigu とも言う。				
urudiN	ウルディン	[名]		T
春と夏の間の季節。				
uruga	ウルガ	[名]		生
内臓。				
urugjaN	ウルギャン	[形]		生
涼しい。				
uruici	ウルイチ	[名]		生
サンゴが死んでできた石。				
urumu	ウルム	[名]		T
(稲などが) 実っている状態。また、その時期 (春頃) を意味する。urumu naibuN; (稲などが) 良く実っている。(沖I)				
urumukadi	ウルムカディ	[名]		こ40
春風。				
usaN	ウサン	[形]		沖4
醜い。				
usaN*	ウサン	[形]		資77
悪い。粗末である。irunu usaN; 色が悪い。mainu c'aginu usaN; 米の精白が十分でない。naganu usaN; 仲が悪い。				
usaNdai	ウサンダイ	[名]		5
神仏に供えたもの。				
usaNgi	ウサンギ	[名]		こ9
兎。				
usaNni*	ウサンニ	[名]		A49

田の名。			
usada*	ウサダ	[名]	A 46
田の名。			
usagi	ウサキ°	[名]	生
3 3 年忌。死後 3 3 年で神になるといい、親類が集まり拝む。			
usagiruN*	ウサキ°ルン	[動] 6A*	続53
…して頂く。お送りする。usagiwarasaN; もう、お帰りになったよ。usapidarasjaN; 帰っていただく。*意味がいま一つははっきりしない。			
usai	ウサイ	[名]	生
祭の時の御馳走。u(御) + sai(おかず)。			
usaikagu	ウサイカゲ	[名]	無44
御馳走を入れておくかご。			
usamiruN	ウサミルン	[動] 6A型 usamjaN	5
収める。			
usamiruN	ウサミルン	[動] 6A型 usamjaN	T
納める。duna usamiruN; 税金を納める。			
usaruN	ウサルン	[動] 2A型	生
からかう。あなどる。usaidu buru; 人をなめている。			
usi	ウシ	[連語]	S 62
それで。u (これ) + si (手段を表す格助詞)。			
usigakiNmi	ウシガキンミ	[名]	1
帆柱を通す穴。			
usikaki	ウシカキ	[名]	1
帆を立てる横木。			
usiki	ウシキ	[名]	生
月の尊称。			
usikiruN	ウシキルン	[動] 6A型 usikjaN	2
押し付ける。usikiti dabira nasjaN; 押さえてベシャンコにした。(T)			
usinaN	ウシナン	[名]	4
押し波。			
usu	ウス	[名]	生
海水。潮。			
usuNti	ウスンティ	[名]	9
満潮。			
usuagi	ウスアキ°	[名]	1
潮の害。(風が) 潮を上げること。			

usuaŋikadi	ウスアキ°カディ	[名]	生
波しぶきを吹き上げる風。			
usubuN	ウスブン	[動] 1D型 usubjaN	3
うつぶす。うつむく。			
usubugu	ウスブグ	[名]	生
後頭部。			
usugai	ウスガイ	[名]	5
後頭部。usubugu 参照。			
usuganaci	ウスカ°ナチ	[名]	T
御主かなし。首里の王様。			
usuihiki	ウスイヒキ	[名]	9
干潮。			
usumidi	ウスミディ	[名]	5
神に供える海水。潮水。			
usutui	ウストゥイ	[感]	S 18
神仏を拝むときの言葉。usutui kiwariju; 拝みなさいよ。			
uta	ウタ	[名]	こ20
歌。			
utaN*	ウタン	[動] 4A型 utarasjaN ?	1
浮べる。utairuN とも言う。			
utai	ウタイ	[名]	昔31
訴え。指示。命令。			
utaki	ウタキ	[名]	生
<新>拝所。			
utanumuNku	ウタヌムンク	[句]	こ20
<新>歌の文句。歌詞。			
utaruN	ウタルン	[動] 2A型 utaN	1
浮く。			
uti	ウティ	[名]	2
二番座あるいは三番座の裏。出産の時に di:ru をここに作り、産室とする。			
utiaN	ウティアン	[名]	生
網。投網。			
uticigaraN	ウティチガラン	[動] 3A*	T
(後ろから) どんと押す。			
utiduji*	ウティドゥキ°	[名]	黒63
裸足で歩いたためにできる足裏の紋筋の切れ目。			

utigani	ウティガニ	[名]	8
釘。			
utihariruN*	ウティハリルン	[動] 6A*	昔87
うち晴れる。すっかり晴れる。kuguru utihariti; 心も晴れやかに。			
utikabi	ウティカビ	[名]	4
打ち紙。			
utimaruN	ウティマルン	[動] 2A型	生
(強く) 振る。			
utimi	ウティミ	[名]	1 1
不幸。身内の人が死んだ時のこと。			
utimiN	ウティミン	[名]	6
水が落ちてくる事。落ち水。			
utimiti	ウティミティ	[名]	歴104
<古> (地) ウティミティ。福州から与那国に漂流した乗組員をかくまった所。			
utimumu	ウティムム	[名]	こ10
内股。			
utinaN*	ウティナン	[名]	歴111
<古>神女の一種。掟阿母。			
utinuta	ウティヌタ	[名]	A 7
(地) 内之田。与那国町内の字名。末尾地図参照。			
utiru	ウティル	[名]	生
おき。火の燃やし残り。			
utiruN	ウティルン	[動] 6B型 utuN	生
落ちる。			
uttairuN*	ウツtailルン	[名] 6A*	T
指示する。命令する。sikama uttabaN; 仕事を指示しても。dakuniNtaga uttaiwaibi; 役人達が命令なさって…。(昔141)			
utu	ウトゥ	[名]	T
音。			
utuN	ウトウン	[動] 1D型 utjaN	1
たたく。打つ。			
utuN	ウトウン	[動] 4A型 utusjaN	生
落す。			
utuN	ウトウン	[動]	S 53

訴える。言いつける。Ndija t'u utuNdi iruNgadu; 君達は人に言いつけようとしているが…。

(S.53) sikamautuN; 仕事をしなさい。

utuda	ウトウダ	[名]	T
兄弟。姉妹。sudaの反対。			
utudamari	ウトウダマリ	[名]	生
一族。傍系の血統。utudamadi とも言う。(4)			
utuguN	ウトウゲン	[動] 1B型 ututjaN	1
置く。置いておく。utugu duguru minuN; 置く所がない。haiutuguN*; 張って置く。			
utugai	ウトウカイ	[名]	生
あご。あごの先。			
utuhi	ウトウヒ	[名]	T
ふろしき。			
utuiciragaN	ウトウイチラガン	[動] 3A型	生
散らかす。			
ututagaN	ウトウタガン	[形]	1 6
評判高い。			
ututu	ウトウトウ	[名]	T
<新>年下。utuda 参照。			
ututu	ウトウトウ	[名]	昔128
影。			
uwaruN	ウワルン	[動] 2A型 uwaN	5
終る。			
wa:	ワー	[名]	生
豚。			
wa:higi	ワーヒギ	[名]	5
鼻ひげ。			
wa:hju:ri	ワーヒューリ	[名]	T
十二支。			
wa:numi:	ワヌミー	[句]	3
豚肉。			
wa:nutarai	ワヌタライ	[句]	民
豚の餌入れ。			
waNgi*	ワンギ	[名]	黒46
口ひげ。			
wadaN	ワダン	[名]	続42
おうだん (黄疸)。皮膚や組織が黄色くなる病気。			

wadi	ワディ	[名]	生
上の方。			
waranaN	ワラナン	[名]	4
向い波。			
waruN (1)	ワルン	[動] 2A型	生
いらっしゃる。行く、来る、居るの尊敬語。waruN nisa; いらっしゃいませ。abuta: waisi			
Nni Ndi abuta: abi; お母さん、いらっしゃてごらんとお母さんと呼んで…。(昔111)			
waruN (2)	ワルン	[補] 2A型 waN	T
…される。尊敬の補助動詞。用言の連用形に接続する。duguiwararitana; 休まれましたか (朝			
の挨拶)。ugi waNdisa; お起きになったんですね (朝の挨拶)。(資345) ma hittui matiwar-			
iju; もう1日待って下さい。			
wasiki	ワシキ	[名]	生
天候。			
zairaisju	ザイライシュ	[名]	1 6
<新>在来種。米の在来種は、とげがあって、深い田で栽培するのが普通であった。(N21)			
zasiki	ザシキ	[名]	こ30
<新>座敷。<古>dasiki。			
ziccja *	ジッチャ	[名]	植29
(植) ギシギシ<タデ科>。移入語か。			
ziccja *	ジッチャ	[名]	植151
(植) ソクズ<スイカズラ科>。移入語か。			
zjaku	ジャク	[名]	続59
<新> (魚) 雑魚。鰹つりの餌。			
zjunagi	ジュナギ	[名]	歴
<古>門。			